Panasonic

取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-EX200V

操作編

詳しいもくじは、2〜3ページをご覧ください。

大事なお知らせ 4ページ〜21ページ
ご使用になる前に必ずお読みください。

保証書別添付　　上手に使って上手に節電

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。
インターネットでの登録が可能です。詳しくは、同梱の「ご愛用者カード」をご覧ください。

- 確認
- 受信
- 録る
- 見る/聞く
- 編集
- 便利機能
- ダビング
- 必要なとき
- さくいん

このたびはパナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　特に「安全上のご注意」（128〜129ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/
詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

もくじ

大事なお知らせ

確認

ご自分で設置される方は…
別冊「接続・設定編」をご覧になり、必要な設定を行ってください。

受信する

録る

見る/聞く

編集する

便利機能

ダビング

必要なとき

本書内の表現について

- 参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 接続・設定編で参照していただくページを 接続・設定編 P.○○ で示しています。
- 内蔵ハードディスク部分を「HDD」、ディスク部分を「DVD」、カード部分を「SD」、ビデオ部分を「VHS」として、主に説明しています。

HDD(ハードディスク)と本機で使えるディスク・カード

お使いになる前に
テレビ画面をディスクに録画するとき

本機は、下図のようにテレビ番組を直接録画できるディスクとできないディスクがあります。直接録画できないディスクは、一度HDDに録画し、HDDからのダビングを行ってください。

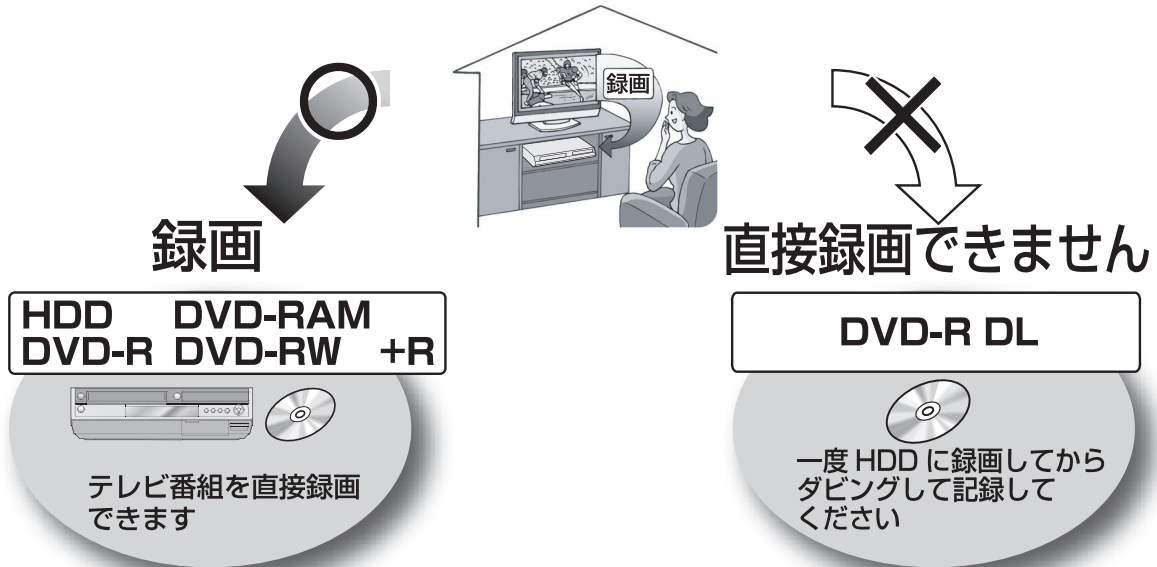
録画

HDD　DVD-RAM
DVD-R　DVD-RW　+R

テレビ番組を直接録画できます

直接録画できません

DVD-R DL

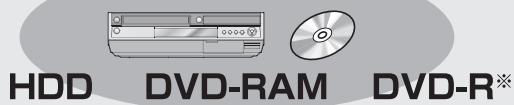
一度HDDに録画してからダビングして記録してください

■ダビングするとき
VHSからDVD-R DLにダビングすることはできません。
VHSに録画した番組をダビングしたいときは、まずHDDにダビングし、HDDから DVD-R DLへのダビングを行ってください。

記録方式について

本機は、使用するディスクによってVR方式、DVD-Video方式のどちらかの記録方式で録画します。
それぞれの記録方式には以下のような特長があります。用途に合わせて使い分けてください。

VR(ビデオレコーディング)方式

テレビ放送などを記録、編集するために作られた記録方式です。

対応ディスク

HDD　DVD-RAM　DVD-R※

- デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組を録画できます。本機では、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAM、DVD-Rに録画できます。
- DVDプレーヤーなどでの再生について
  DVD-RAM：DVD-RAM対応機器でのみ可能です。
  DVD-R　：VR方式のDVD-R対応機器でのみ可能です。さらに本機で録画した番組は、ファイナライズ(➜右記)が必要な場合があります。(ファイナライズしても再生できない場合もあります)
- 録画したあとに編集することができます。[DVD-R(VR方式)の場合は、ファイナライズ前のディスクのみ]

※DVD-RのVR方式について
DVD-RにVR方式で録画するには、録画前にフォーマット(➜右記)が必要です。フォーマットしないで録画すると、DVD-Video方式で録画されます。(一度フォーマットすると、DVD-Video方式で録画できません)

DVD-Video(DVDビデオ)方式

市販されているDVDビデオと同じ記録方式です。

対応ディスク

DVD-R　DVD-R DL
DVD-RW

- デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組は録画できません。
- ファイナライズ(➜下記)をしたあと、DVDプレーヤーなどで再生することができます。
- ファイナライズする前に編集することができます。
- 本機では、DVD-Rをフォーマット(➜下記)しないで録画すると、DVD-Video方式で録画されます。
  一度DVD-Video方式で録画すると、VR方式にフォーマットし直すことはできません。

■ファイナライズとは
録画したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。(操作方法は➜86)

■フォーマットとは
録画前のディスクを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。(操作方法は➜85)

HDDと録画・再生ができるディスク(12 cm/8 cm)

ディスクの種類		内蔵HDD	DVD-RAM	DVD-R (VR方式)	DVD-R (DVD-Video方式)	DVD-R DL (片面2層)※1	DVD-RW (DVD-Video方式)	+R
ディスクのロゴマーク		—	DVD RAM RAM4.7	DVD R R4.7		—	DVD RW	—
本書内の表示		HDD	RAM	-R(VR)	-R(V) ファイナライズ後 DVD-V	-R DL ファイナライズ後 DVD-V	-RW(V) ファイナライズ後 DVD-V	+R ファイナライズ後 DVD-V
特長	最大録画時間	約443時間(録画モード"DR"で約22時間30分)(➜39)	約8時間(4.7 GBディスク)(両面ディスクで約16時間※2)	約8時間(4.7 GBディスク)	約8時間(4.7 GBディスク)	約14時間20分	約8時間	約8時間
特長	記録、再生できるもの	**ビデオ**(通常の録画番組) **写真**(デジタルカメラなどの写真)	**ビデオ**(通常の録画番組) **写真**(デジタルカメラなどの写真)	**ビデオ**(通常の録画番組)	**ビデオ**(通常の録画番組)	**ビデオ**(通常の録画番組)	**ビデオ**(通常の録画番組)	**ビデオ**(通常の録画番組)
特長	繰り返し録画	○	○	×	×	×	○	×
互換性	他のDVD機器で再生	—	DVD-RAM対応機器でのみ可能※3(ファイナライズは不要です)	DVD-R(VR方式)対応機器でのみ可能※3(ファイナライズが必要な場合があります)	ファイナライズ後に可能(➜86)	ファイナライズ後にDVD-R DL対応機器でのみ可能※3(➜86)	ファイナライズ後に可能(➜86)	ファイナライズ後に可能(➜86)

※1 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(➜60)
※2 両面への連続録画、再生はできません。
※3 DVD-RAM　:当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーはすべて再生できます。(2005年9月現在)
DVD-R(VR方式):2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーで再生できます。(2005年9月現在)
DVD-R DL　:DVD-R DLは2005年2月にDVDフォーラムで定められた新規格です。このディスクを使用するときは、DVD-R DLに対応した機器を使用してください。

- DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+Rは、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
- ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

次ページへつづく

HDDと録画・再生ができるディスク(12 cm/8 cm)(つづき)

本機でできること

ディスクや記録方式によって、本機でできることが異なります。以下の表を参考に、使用する目的に応じてディスクを選んでください。

ディスクの種類	内蔵HDD		DVD-RAM	DVD-R		DVD-R DL (片面2層)	DVD-RW (DVD-Video方式)	+R
	録画モード "DR"	録画モード "XP"～"EP"、"FR"		(VR方式)	(DVD-Video方式)			
番組を直接録画	○	○	○	○	○	×	○	○
追っかけ再生	○	○	○	×	×	×	×	×
1回だけ録画可能のデジタル放送を録画	○	○※1	○※1 [CPRM対応ディスクのみ(➜15)]	○※1 [CPRM対応ディスクのみ(➜15)]	×	×	×	×
デジタルハイビジョン画質での録画	○	×	×	×	×	×	×	×
デジタル放送のマルチ音声をすべて記録	○	×※2	×※2	×※2	×	×	×	×
二重放送の主/副音声を記録	○	○※3	○※3	○※3	×※4	×※4	×※4	×※4
16:9映像をそのまま記録 (16 / 9)	○	○※3	○※3	○※3	× (4:3映像で記録) (4 / 3)	× (4:3映像で記録) (4 / 3)	× (4:3映像で記録) (4 / 3)	× (4:3映像で記録) (4 / 3)
番組名入力	○	○	○	○※5	○※5	○※5	○※5	○※5
番組消去	○	○	○	○※5 (残量は増えません)	○※5 (残量は増えません)	○※5 (残量は増えません)	○※5 (最後に録画した番組を消去したときのみ、残量が増えます)	○※5 (残量は増えません)
プレイリスト作成・編集	×	○	○	○※5	×	×	×	×

※1 デジタルハイビジョン画質での録画はできません。
※2 「信号切替」(➜33)または「信号設定」(➜47)で選択した音声が記録されます。
※3 アナログ放送のときは、**初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」の場合のみ。(➜17)
※4 **初期設定**「二重放送音声記録」で選択した音声が記録されます。(➜94)
※5 ファイナライズ前のみ可能です。

●DVD-R(DVD-Video方式)やDVD-RWがCPRMに対応であっても、「1回だけ録画可能」な番組を録画することはできません。

再生のみできるディスク(12 cm/8 cm)

ディスクの種類	DVDビデオ	DVDオーディオ	DVD-RW(VR方式)
ディスクのロゴマーク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD AUDIO	DVD RW
本書内の表示	DVD-V	DVD-A	-RW(VR)
特長	**映画や音楽など、高画質の市販ソフト** ●本機では下のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」または「ALL」を含むもの 例) 2 ALL 1 2 4 ●番号は国により違います。	**高音質の音楽用市販ソフト** ●本機では2チャンネルで再生されます。 ただし、マルチチャンネルのDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(➜130)が禁止されているものがあります。	**他のDVDレコーダーのVR方式で録画されたDVD-RW**※6 ●CPRM対応ディスクに録画された「1回だけ録画可能」な番組の再生もできます。 ●フォーマット(➜85)すると、本機ではDVD-Video方式で録画できます。 ●本機以外で録画されたディスクの中には、ファイナライズ(➜86)を行わないと再生できないものがあります。録画した機器でファイナライズを行ってください。

ディスクの種類	+RW	CD		ビデオCD
ディスクのロゴマーク	—	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	—	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
本書内の表示	DVD-V	CD		VCD
特長	**他のDVDレコーダーで録画された+RW**※6 ●録画した機器でファイナライズ(➜130)を行わないと再生できないものがあります。	**音楽や音声が記録された市販ソフト** (CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※6)	**MP3圧縮形式(➜132)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW**※6 **写真(JPEGやTIFF)画像が記録されたCD-RやCD-RW**※6	**音楽や映像が記録された市販ソフト** (ビデオCD形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※6)

※6 記録状態によって再生できない場合があります。

●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜130)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R
●PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●ブルーレイディスク
●DVD-ROM ●+R DL ●+R(8 cm) ●CD-ROM ●CDV ●CD-G
●Photo-CD ●CVD ●SVCD ●SACD ●MV-Disc ●PD など

本機で使えるカード

カードの種類	SDメモリーカード miniSD™カード※ マルチメディアカード
本書内の表示	SD
特長	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜67)やダビング(➜120)ができます。 ●写真のプリント枚数の設定(DPOF設定)ができます。(➜83)

※miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターに装着してご使用ください。

使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量(8 MB～2 GBまで)のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、	16 MB、	32 MB、	64 MB、	128 MB、
256 MB、	512 MB、	1 GB、	2 GBまで	

●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dvd/
●SDメモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜85)
●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。

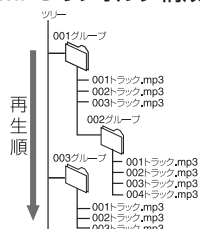
本機で再生できるMP3や写真(JPEG/TIFF)について

CDに記録されているMP3や写真(JPEG/TIFF)について

CD

●使用できるフォーマット:ISO9660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet
●フォルダ数(グループ数):ディスク上にルートを含む最大99フォルダ(グループ)まで表示されます。
●ファイル数(トラック数):ディスク上の最大999個のファイル(トラック)が再生できます。
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
●ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
●本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
●ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
●パケットライト方式には対応していません。
●記録状態によっては再生できないものがあります。

◆MP3について
●ファイル形式:MP3
※ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●ビットレート:32 kbps～320 kbpsまで
●サンプリング周波数:
16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
●ID3タグには対応していません。
●MP3に静止画など大きなデータが含まれていると、再生できない場合があります。
●再生したい順番を指定する場合は、右図のようにけた数をそろえた数字を付けたフォルダ構成にしてください。

MP3のフォルダ構成

◆写真(JPEG/TIFF)について
●ファイル形式:JPEG、TIFF[非圧縮RGB(点順次)方式]
※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●画素数:34×34～6144×4096
(サブサンプリングは、4:2:2または4:2:0)
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●Motion JPEGには対応していません。

HDD、DVD-RAM、SDカードに記録されている写真(JPEG/TIFF)について

HDD RAM SD

●使用できるフォーマット:
DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)
DCF:Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]
●ファイル形式:JPEG、TIFF [非圧縮RGB(点順次)方式]
※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●画素数:34×34～6144×4096
(サブサンプリングは、4:2:2または4:2:0)
●最大300フォルダ(上位フォルダ含む)と最大3000ファイルに対応しています。
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●Motion JPEGには対応していません。

■DVD-RAM、CD、SDカードに記録されている写真(JPEG/TIFF)のフォルダ構成については(➜130)

HDDの取り扱い

HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
大切な映像の保存のためにも、DVDディスクあるいはカセット(テープ)へのダビングを前提のうえでお使いください。
ただし、ハイビジョン画質で録画したデジタル放送の番組をDVDディスクあるいはカセット(テープ)へダビングした場合、画質や音質などをそのままダビングすることはできません。(詳しくは➜14)

■HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

■HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集やDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

■HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…

HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングし、修理をご依頼ください。HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

■本体表示窓に「HDD SLP」(SLP:SLEEP(スリープ))が表示されたとき

HDDが自動的に休止状態になっています。(通電中、HDDは高速で回転しています。HDDの寿命を延ばすため、ディスクトレイにディスクを入れていない状態で約30分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します)HDDを休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクトレイからディスクを取り出しておくことをおすすめします。

- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。[「クイックスタート」(接続・設定編 P.20)が「入」になっていても同様です]

■本機からHDDの動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません

HDDの品質を維持させるため、本機では、自動的に内部点検を行なっています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- HDDが休止状態になるとき[本体表示窓に「HDD SLP」が表示(➜上記)]
- 電源切/入時
- 午前4時ごろ(1日に1回程度)に、本機全体を自動的にリセットしているとき

重要なお願い

■設置するとき

- **後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない**
- **水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する**
- **ビデオなどの熱源となるものの上に置かない**

- **温度変化が起こりやすい場所に設置しない**
- **「露付き」が起こりにくい場所に設置する(➜11)**

■たばこの煙など

たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

■動作中

- 振動や衝撃を与えない(HDDが破損することがあります)
- 電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない

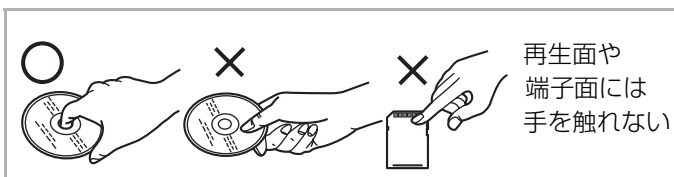
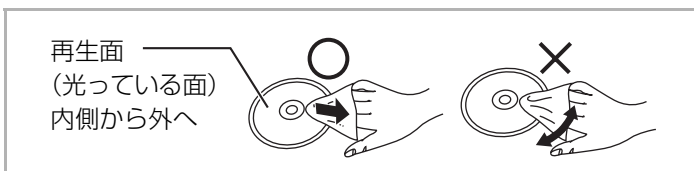
通電中、HDDは高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

■移動するとき

① 電源を切る(表示窓から「BYE」が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 完全に回転が止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

■持ちかた

■汚れたときや、露が付いたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

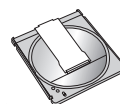
- ディスクにシールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。
  ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷付き防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
  ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  ・ハート型など、特殊な形のディスク

- 次のような場所に置かない。
  ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  ・湿気やほこりの多いところ
  ・温度差の激しいところ(結露が発生します)
  ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

大切な映像を録画するには

ディスクの記録面に、傷や汚れが付いていると、正常に録画・再生・編集ができないことがあります。

大切な映像を、傷や汚れから守るために、DVD-RAMカートリッジ付きディスクをおすすめします

ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください。

デジタル放送を録画したいときは

HDDまたはCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)をご使用ください

(CPRM➔15,131)

他のDVD対応機器でも再生したいときは

DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+Rはファイナライズが必要です

ファイナライズについては(➔86)
他のプレーヤーが、それぞれのディスクに対応している必要があります。
本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のプレーヤーでは再生できない場合があります。
DVD関連の情報は当社ホームページでご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

カートリッジなしディスクについては

傷や汚れにお気を付けください(録画・再生・編集できないことがあります)

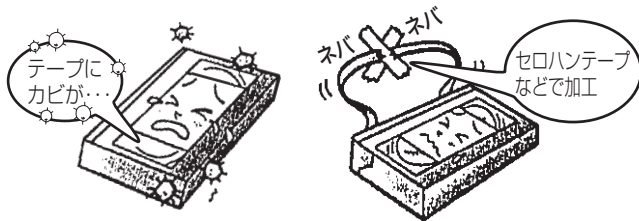
ご使用の前には、ディスクの記録面に傷や汚れが付いていないか十分に確認してください。
汚れていたときは(➔上記)

カセットについて

■品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

●品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画･再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
●品質の悪いカセット(テープ)の例
・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
・テープが波打ったりクシャクシャになっている
・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
・テープがたるんでいる

●このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
●このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜145)でビデオヘッドをクリーニングしてください。
それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
●湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

●このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

●新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

●このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

・ほこりの多いところ
・高温になるところ(推奨温度: 15 ℃～25 ℃)
・温度差が激しいところ
・湿度の高いところ(推奨湿度: 40 %～60 %)
・湯気や油煙の出るところ
・冷暖房機器に近いところ
・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

●強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

「露付き」について

「露付き」とは

●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「露付き」といいます。

●本機やカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「露付き」が発生し、ヘッドなどを傷付ける可能性があります。
●「露付き」が起こりやすいとき
・梅雨の時期
・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
●「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

受信できるテレビ放送について

放送の種類	本書内の表示	特長
地上アナログ	(地上アナログ)	従来のNHKや民放各局のテレビ放送（VHF/UHF）です。
地上デジタル	(地上デジタル)	地上波のUHF放送（13～62チャンネル）の周波数帯域を使って行うデジタル放送です。現在はアナログ放送と同じ内容や、それをハイビジョン化した放送が中心ですが、地域密着型データ放送、双方向サービスなども徐々に増えていく予定です。 〇〇（お知らせ）〇〇 ●地上デジタル放送の受信は地域によりVHF帯などを使用している場合があります。2011年7月のアナログ放送終了時（➜下記）に、VHF帯はテレビ放送以外の用途に使用されることが国の方針で決定されています。VHF帯で地上デジタル放送を受信されていると受信障害が発生する可能性があります。
BSデジタル	(BS デジタル)	放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送です。（2005年9月現在） ●WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。
110度CSデジタル	(CS デジタル)	通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。 ●ほとんどの番組は有料です。 ●「スカパー！ 110」への加入申し込みと契約が必要です。

110度CSデジタル放送について

「スカパー！ 110」には CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

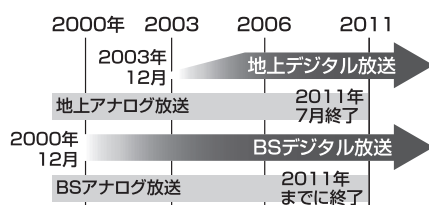
■お問い合わせ先

「スカパー！ 110」カスタマーセンター
0570-012-110（ナビダイヤル）
または
045-339-0002
受付時間　10:00～20:00（年中無休）

2003年12月から地上デジタル放送が始まっています

■**アナログ放送からデジタル放送への移行について**

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

●上記内容はJEITA（社団法人電子情報技術産業協会）の規定に基づくものです。

本機での視聴・録画	本機で利用できる主なサービス(○:できる　×:できない)				
	テレビ番組ガイド(EPG)	字幕放送	データ放送	双方向サービス	AAC
●すべての操作先(「HDD」「DVD」「SD」「VHS」)で視聴が可能です。 ●HDD、ディスク、カセットへの録画が可能です。	○ ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。(接続・設定編 P.32)	×	×	×	×
●操作先が「HDD」、「DVD」または「SD」のときに視聴が可能です。 ●操作先が「VHS」のときは視聴できません。 ●HDD、ディスクへの録画が可能です。(➜14)	○	○	○	○	○
●操作先が「HDD」、「DVD」または「SD」のときに視聴が可能です。 ●操作先が「VHS」のときは視聴できません。 ●HDD、ディスクへの録画が可能です。(➜14)	○	○	○	○	○
●操作先が「HDD」、「DVD」または「SD」のときに視聴が可能です。 ●操作先が「VHS」のときは視聴できません。 ●HDD、ディスクへの録画が可能です。(➜14)	○	○	○	○	○

●テレビ番組ガイドは、チャンネル設定後、本機の電源が「切」状態のとき(接続・設定編 P.33)にデータを受信します。受信を始めた時間帯によっては、取得に1日程度かかる場合もあります。
●字幕放送やデータ放送などの各サービスは、放送局や番組によって異なります。

■ひとくち解説

有料放送
チャンネル単位で購入する場合と、番組単位で購入する場合(ペイ･パー･ビュー)があり、それぞれ放送事業者との契約が必要です。
ペイ･パー･ビューでは、テレビ画面上で購入操作を行います。
ペイ･パー･ビューをご覧になるためには電話回線の接続が必要です。

テレビ番組ガイド(EPG)
テレビ画面に番組表(Gガイド)を映し、そこから好みの番組を選ぶシステムです。本機では、最大8日分の番組表示や、ジャンルや人名による検索、予約録画なども行えます。

字幕放送
字幕情報を表示させることができる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

データ放送
お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができる放送です。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、表示させることができます。

双方向サービス
視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。
電話回線の接続が必要です。

AAC
Advanced Audio Coding(アドバンスド オーディオ コーディング)の略で、CD並みの高音質を実現する音声方式です。
また 5.1チャンネルのマルチチャンネル信号も供給できますので、専用のアンプやスピーカーと組み合わせて、本格的なホームシアターを楽しむこともできます。

デジタル放送の録画とダビングについて

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送および地上デジタル放送は、デジタル技術の特性を活かすことにより、
●デジタルハイビジョン画質の映像
●マルチチャンネル音声
など、従来のアナログ放送にはない機能を実現しています。

デジタル放送には、3種類のサービスがあります。

■テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

■ラジオ放送　録画できません

音楽など音声を主とした放送です。

■データ放送　録画できません

お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。（天気予報やニュースなど）

●マルチビューでの放送※1
●デジタルハイビジョン画質
●マルチチャンネル音声
●字幕情報など

※1 2005年9月現在、マルチビュー対応の放送は行われていません。

デジタル放送をそのまま録画したい

録画モード「DR」で録画

録画

字幕情報の表示の入／切可能
●マルチビューでの放送
●デジタルハイビジョン画質
●マルチチャンネル音声
●字幕情報など

ダビング（移動）

デジタル放送を編集・高速ダビングしたい

録画モード「XP」〜「EP」,「FR」で録画

録画

字幕情報の表示の入／切不可能
●通常のアナログ放送の画質
●ステレオ音声
●プレイリスト作成など編集機能を使用できます。

ダビング（移動）
高速ダビング可能

DVD-RAM
DVD-R(VR 方式)
(CPRM 対応)

字幕情報の表示の入／切不可能
●通常のアナログ放送の画質
●ステレオ音声
●プレイリスト作成など編集機能を使用できます。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」※2のコピー制御信号が加えられています。
※2「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。（2004年4月から）

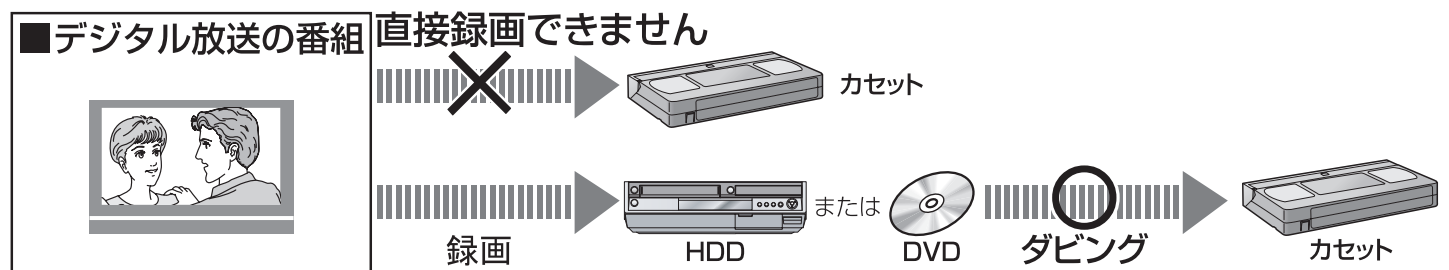
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/
社団法人　BSデジタル放送推進協会　http://www.bpa.or.jp/

カセットへの録画

本機では、デジタル放送をカセットに直接録画することはできません。本機の外部入力（L1〜L3）にBSデジタルチューナー内蔵機器などを接続して、デジタル放送を録画することはできます。(➜124)
本機だけでカセットにデジタル放送の番組を録画したい場合は、まずHDDまたはDVDに録画したあと、HDDまたはDVDからカセットへのダビングを行ってください。

■デジタル放送の番組

直接録画できません

または

デジタル放送の録画

■録画の制限について

「1回だけ録画可能」な番組は、CPRM※3という著作権保護技術に対応した録画機器とディスクでのみ録画できます。
デジタル放送をディスクに録画するときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は

- **HDDまたはCPRM※3対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)に録画できます。**
- **2.8 GB(8 cm)のDVD-RAM、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+Rには録画できません。※4**

※3 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。
※4 本機では、DVD-R(DVD-Video 方式)や DVD-R DL、DVD-RWがCPRM対応であっても録画できません。

(○: 録画できる、×: 録画できない)

録画先 / 放送の種類	内蔵HDD	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM対応)	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM非対応)	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R	カセット
制限なしに録画可能	○	○	○	○	×
1回だけ録画可能	○	○	×	×	×
録画禁止	×	×	×	×	×

DVD側での予約録画時は、挿入されているディスクにお気を付けください。

■HDDまたはディスクへ録画するとき

本機では、デジタル放送をHDDまたはディスクへ次のように録画することができます。

- **録画モード「DR」**:デジタル放送をそのままの画質や音質で録画します。
- **録画モード「XP」～「EP」、「FR」**:デジタル放送をアナログ放送同等の信号に変換して録画します。

それぞれには以下のような特長があります。

	録画モード「DR」で録画	録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画
録画先	HDDのみ	HDD、CPRM対応のDVD-RAM またはDVD-R(VR方式)
デジタルハイビジョンの画質	そのままの画質で録画	アナログ放送と同等の画質に変換して録画
マルチチャンネルの音声	そのままの音声で録画	ステレオ音声で録画
複数の映像や音声が含まれている番組	複数の映像や音声をそのまま録画	映像や音声は1つだけ録画されます※5
字幕情報が含まれた番組	再生時、字幕表示の入/切ができる	再生時、字幕表示の入/切ができない※5
サムネイルの表示や変更(➜61,76)	できない	できる
不要な部分の消去(➜75)	できる	できる
チャプター作成(➜77)	できない	できる
プレイリスト作成(➜78)	できない	できる

※5 録画したい映像や音声、字幕表示の入/切などの内容を「信号切換」(**➜33**)または「信号設定」(**➜47**)で選んでください。

- CATVデジタルセットトップボックスなどを本機の外部入力に接続した場合、ハイビジョン画質での録画はできません。アナログ放送と同等の画質での録画となります。

お知らせ

- 右図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。番組分割(**➜76**)などの編集を行っても、録画制限の情報は残ります。
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組を、他の機器で再生する場合
  - ・DVD-RAM :CPRM対応機器でのみ再生可能
[当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは、再生できます(2005年9月現在)]
  - ・DVD-R(VR方式):VR方式で記録したDVD-Rを再生できるCPRM対応機器でのみ再生可能
(2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーでは、再生できます)

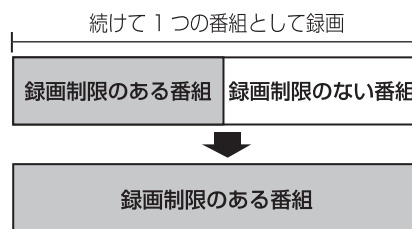
続けて1つの番組として録画

録画制限のある番組	録画制限のない番組

⬇

録画制限のある番組

次ページへつづく

大事なお知らせ

デジタル放送のダビング

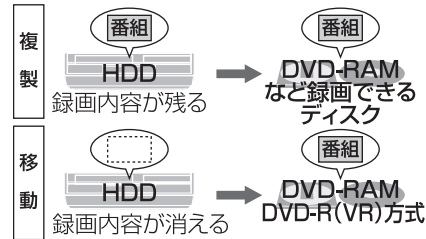
■本機で「1回だけ録画可能」な番組をダビングするとき

デジタル放送をディスクにダビングするときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は

- HDDからCPRM[※1]対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)に移動[※2]できます。(HDDからは消去されます)
- DVD-RAM、DVD-R(VR方式)からHDDまたは他のディスクへの複製・移動[※2]はできません。

※1 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

※2 複製と移動の違いについて

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先			
DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM対応)	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM非対応)	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R	カセット
○ ※3	×	× ※4	○ ※5

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先	
内蔵HDD	カセット
×	○ ※5

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先			
内蔵HDD	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM対応)	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)(CPRM非対応)	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R
○	○	×	× ※4

※3 移動します。(HDDからは消去されます)

※4 本機では、DVD-R(DVD-Video方式)やDVD-R DL、DVD-RWがCPRM対応であってもダビングできません。

※5 カセットにダビングするときに、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)へダビングするときは、コピー制御信号が記録された部分はダビングできません。

※6 本機では、カセットに直接「1回だけ録画可能」な番組を録画することはできません。(➜14)

お知らせ

- 「1回だけ録画可能」の番組をカセットにダビングする場合、マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。

■デジタル放送専用の録画モード「DR」で録画した番組のダビングについて

本機のHDDに録画モード「DR」で録画した番組を、CPRM対応のDVD-RAMやDVD-R(VR方式)、カセットへダビングすることができます。ただし、そのままの画質や音質でダビングすることはできません。

ダビング元の番組	ダビング後の番組
デジタルハイビジョンの画質	アナログ放送と同等の画質に変換されます
マルチチャンネルの音声	ステレオ音声になります
複数の映像や音声が含まれている番組	映像や音声は1つだけダビングされます[※7]
字幕情報が含まれた番組は表示の入/切ができます	字幕表示の入/切はできなくなります[※7]

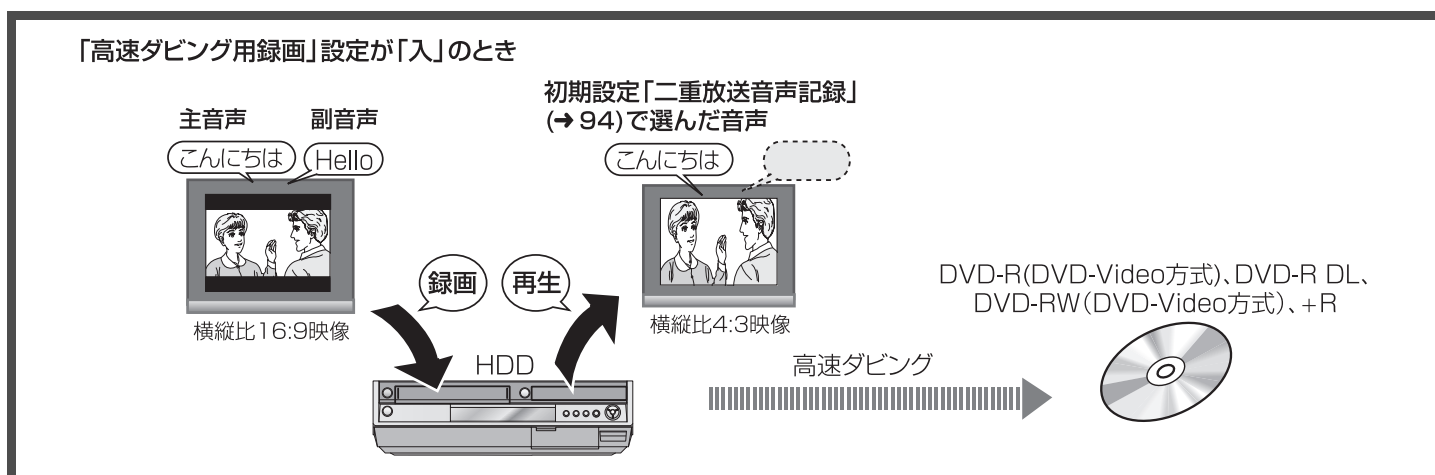
※7 ダビングする映像や音声、字幕表示の入/切などの内容を選んでダビングしたい場合、ワンタッチダビングを行ってください。(➜106)

「高速ダビング用録画」について

この設定は、アナログ放送や外部入力から録画する番組に有効です。デジタル放送から録画する番組にはこの設定は関係ありません。

◆高速ダビング用録画とは

初期設定「高速ダビング用録画」(**➜93**)を「入」にしてHDDに録画すると(**お買い上げ時は「入」に設定されています**)、録画した番組をHDDからDVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R へ高速でダビングすることができます。
設定の「入」、「切」によって以下のような違いがありますので、目的に合わせた設定をしてください。

	初期設定「高速ダビング用録画」の設定 **「入」**の場合 お買い上げ時は「入」に設定されています。		初期設定「高速ダビング用録画」の設定 **「切」**の場合	
短時間でダビングしたい	○	高速ダビングができます。 [例:LPモードで録画した1時間番組を8×高速記録対応のDVD-R(DVD-Video方式)にダビングする場合、約1.9分でダビングできます]	×	録画した番組の時間分のダビング時間またはそれ以上の時間がかかります。 [例:録画した1時間番組をダビングする場合、録画モードに関係なく1時間かけてダビングします]
画質を変えずにダビングしたい	○	画質を変えずにダビングできます。	×	録画モードを選んで、ダビングできます。
放送受信中の二重放送音声(主音声、副音声、主/副音声)の切り換えがしたい	×	音声の切り換えができません。 **初期設定**「二重放送音声記録」(**➜94**)で選んだ音声が聞こえます。	○	**[音声]ボタン**で切り換えができます。
二重放送音声を両方記録したい	×	二重放送音声を両方記録できません。 **初期設定**「二重放送音声記録」(**➜94**)で選んだ音声のみ記録します。	○	主音声、副音声を両方記録します。
ワイド放送などの画面サイズが16:9映像の番組をそのまま録画したい	×	4:3映像で録画されます。 [**初期設定**「TVアスペクト」(**➜95**)を変更して調整できます(**➜60 "映像が縦に引き伸ばされているとき"**)]	○	16:9映像のまま録画できます。

お知らせ

●DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへの記録時には、「高速ダビング用録画」の設定の入/切にかかわらず下記のように記録されます。
・**二重放送音声は主音声か副音声どちらか一方のみを記録します。**
・**ワイド放送などの画面サイズが16:9映像の番組は4:3映像で記録します。**
[**初期設定**「TVアスペクト」(**➜95**)を変更して調整できます(**➜60 "映像が縦に引き伸ばされているとき"**)]
●HDDとDVD-RAM、DVD-R(VR方式)間のダビング時には「高速ダビング用録画」の設定の「入」、「切」にかかわらず高速でダビングできます。

多重音声放送の録画とダビングについて

海外ドラマやスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
HDDまたはディスクに、このような音声を含んだ番組を録画・ダビングするときは、設定やディスクにより記録される音声が異なります。
以下の表を参考にして正しく記録してください。

従来からの多重音声放送

二重放送（主音声と副音声）

従来からあるアナログ放送の多重音声放送は、それぞれの音声がモノラル音声になっています。

音声
主音声 モノラル　こんにちは
副音声 モノラル　Hello

● デジタル放送の二重放送の番組は番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。

主+副

テレビ画面

デジタル放送の多重音声放送

マルチ音声放送（複数の音声）

デジタル放送の多重音声放送の中には、従来からの二重放送に加え、それぞれの音声がステレオ音声で放送されているものもあります。

● デジタル放送のマルチ音声放送の番組は番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。

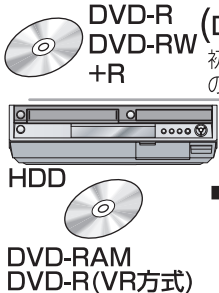
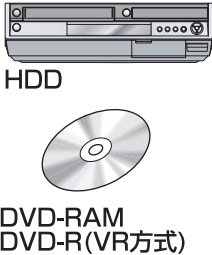
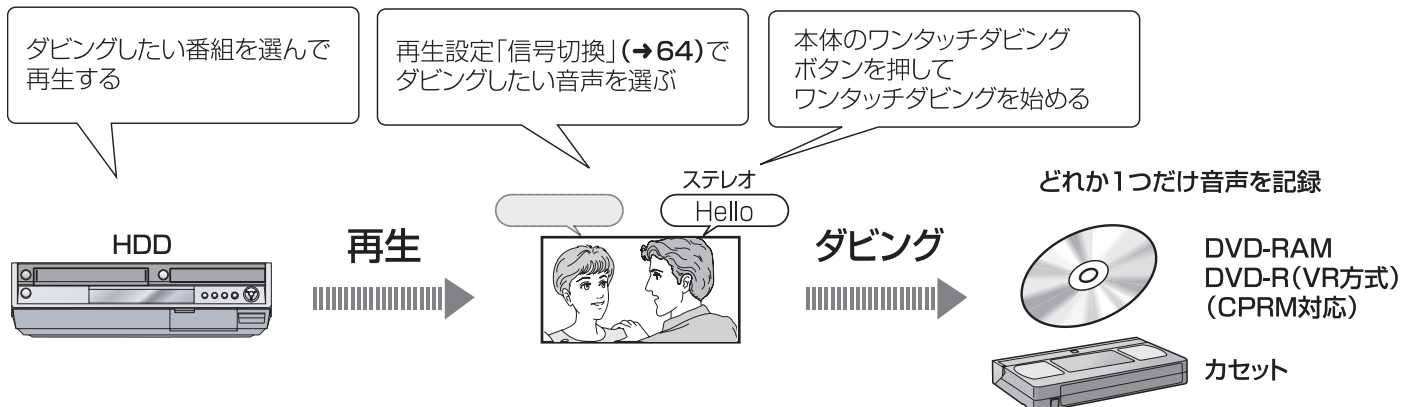
放送される番組によっては、音声の種類などは上記の限りではありません。

デジタル放送の多重音声放送の録画とダビング

■録画

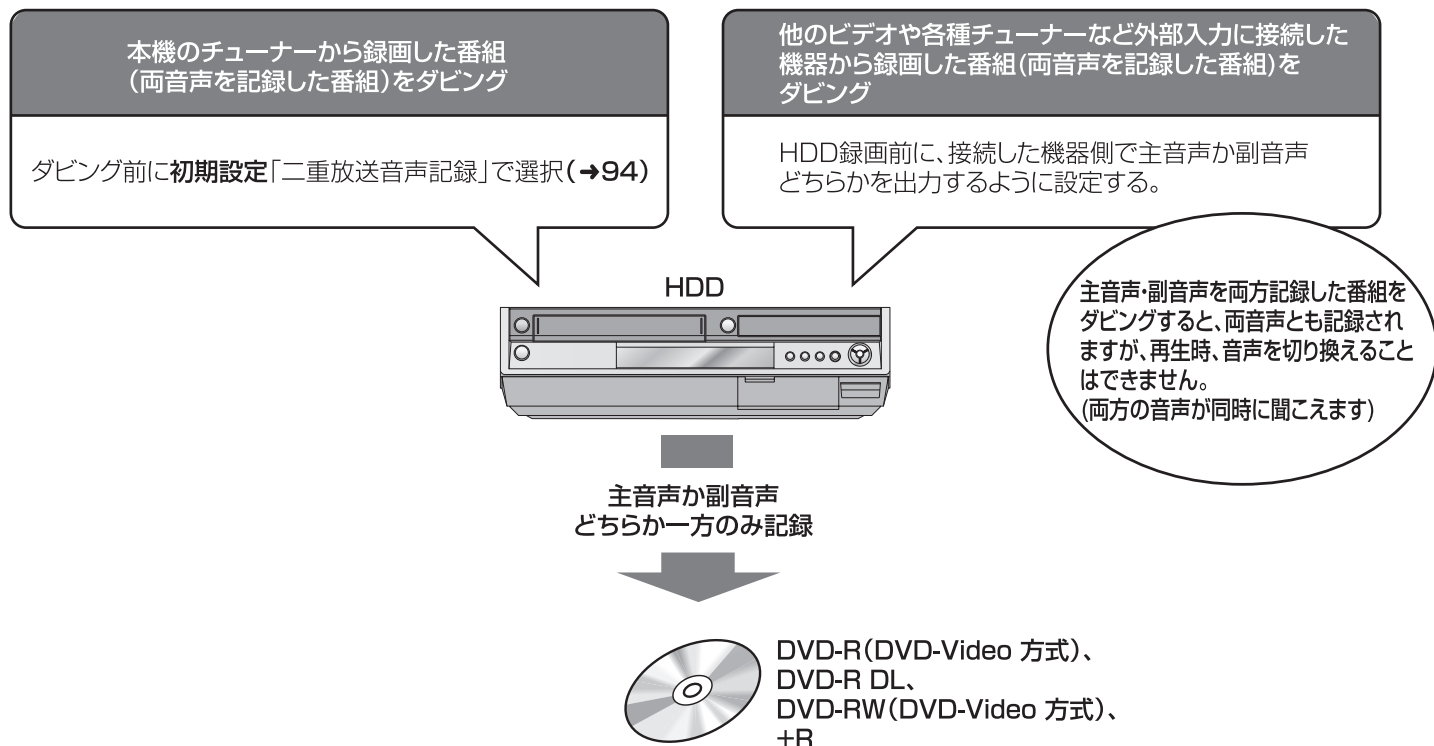
二重放送	録画モードにかかわらず	主音声・副音声を両方記録	録画後、再生時に［音声］ボタンで音声の切り換えができます。

マルチ音声放送	録画モード「DR」で録画	複数の音声をすべて記録	録画後、再生時に［音声］ボタンで音声の切り換えができます。
	録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画	どれか 1 つだけ音声を記録	**［録画●］ボタンを押して録画する場合** ➡ 視聴している音声が記録されます。 録画する前に**［便利機能］ボタン**を押して、「信号切換」の「音声」で記録したい音声を選び、録画してください。(➜33) **番組表を使って録画する場合** ➡ 番組予約の「信号設定」の「音声」で記録したい音声を選んでください。(➜47)

■録画モード「DR」で録画した番組のダビング

録画モード「DR」で録画した、複数の音声が含まれている番組を、CPRM対応のDVD-RAMまたはDVD-R（VR方式）、カセットにダビングする場合、音声は1つだけダビングされます。ダビングする音声を選んでダビングしたい場合は、ワンタッチダビングを行ってください。(➜106)
マニュアルダビングする場合は、ダビングする音声を選ぶことはできません。

アナログ放送や外部入力からの二重放送の録画とダビング

■録画

録画先・設定	記録のされ方	録画する番組	設定
DVD-R／DVD-RW／+R（DVD-Video方式） 初期設定「高速ダビング用録画」の「入」「切」に関係なし HDD、DVD-RAM、DVD-R(VR方式) ＋ 初期設定「高速ダビング用録画」(➜93) **入**（お買い上げ時）	主音声か副音声どちらか一方のみ記録	本機のチューナーで受信した番組を録画	➡録画前に**初期設定**「二重放送音声記録」で選択(➜94)
		他のビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画(➜124)	➡録画前に接続した機器側で、記録したい音声を出力するように設定
HDD、DVD-RAM、DVD-R(VR方式) ＋ 初期設定「高速ダビング用録画」(➜93) **切**	主音声・副音声を両方記録	本機のチューナーで受信した番組を録画	（録画後、再生時に[**音声**]**ボタン**で音声の切り換えができます）
		他のビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画(➜124)	➡録画前に接続した機器側で、主音声と副音声の両方を出力するように設定（録画後、再生時に[**音声**]**ボタン**で音声の切り換えができます） ●HDDに録画する場合、録画後にDVD-R（DVD-Video方 式）、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定のときは、HDDに録画する前に、接続した機器側で主音声または副音声のどちらか一方のみを出力する設定にしてください。主/副両音声を出力するように設定すると、ダビング後再生したとき、主/副両音声が同時に聞こえます。

■HDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへのダビング

お知らせ

●HDDまたはカセットとDVD-RAM、DVD-R(VR方式)間のダビングは主音声、副音声を両方記録した番組を両音声とも記録でき、再生時に[**音声**]**ボタン**で音声の切り換えができます。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

●キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

●映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。

●特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気を付ける

●本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

SDメモリーカードについて

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)

●本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVD ドライブで動作させる

●上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる

●**他社のDVDレコーダーやパソコンのDVD ドライブで記録したディスクを本機で動作させる**

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

●引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

■キャビネットが汚れているとき

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

■汚れがひどいとき

●中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

■録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナーでほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

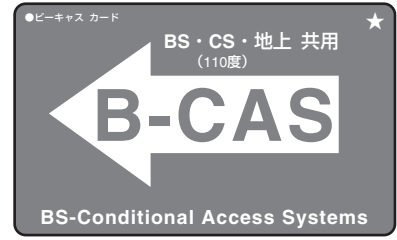
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

B-CAS(ビーキャス)カード(付属)を挿入してください

地上･BS･110度CSデジタル放送の受信には、B-CASカードが必要です。
地上･BSデジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されています。
その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
B-CASカードを挿入しないと、地上デジタルとBSデジタルの全番組と110度CSデジタル放送のほとんどの番組がご覧いただけません。
B-CASカードの挿入や登録などについては(接続・設定編 P.19 **)**

コピー制御について
「1回だけ録画可能」というデジタル信号のシステムを採用しています。不正コピーを防止し、著作権を保護することで、より魅力的な番組製作を可能にしています。
- コピー制御信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません。
- VHSなどアナログ録画機器へのダビングや、アナログ放送の録画はこれまでどおりです。

デジタル放送の録画について
- 「1回だけ録画可能」の番組は、HDD、CPRM※対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)でのみ録画できます。
  録画したディスクは、CPRMに対応していない機器では再生できません。
  ※1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。
- DVD-R(DVD-Video方式)やDVD-R DL、DVD-RW、+R、8 cmのDVD-RAMには録画できません。
- コピー制御信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません。

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください

本機では用途によって2種類の暗証番号を使います。
- **番組の視聴制限(➜34)**
- **DVDビデオの視聴制限(➜93)**

これらの暗証番号は別々に登録されます。必ずメモを取っておいてください。

暗証番号を忘れた場合
- 「番組の視聴制限」の暗証番号を忘れたときは、契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターにお問い合わせください。
- 「DVDビデオの視聴制限」の暗証番号を忘れたときは、本機の設定を初期化すれば解除できます。**(➜140 “DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた”)**

オンエアーダウンロード放送について(制御プログラムの自動書き換え)

オンエアーダウンロード放送とは、本機の不具合や放送局側の環境変化に対応するため、不定期に放送され、本機の制御プログラムを最新のものに更新するものであり、本機をご使用いただくうえで重要な役割を果たしています。
本機は電源が「切」の状態でこの放送を受信し、制御プログラムの書き換えを行いますので、ご使用にならないときは電源を切っておくことをおすすめします。
ダウンロードには約30分かかります。実際に本機でプログラムの書き換えが始まると、本体表示窓に“DOWNLOAD”と表示され、一度表示が消えたあと再表示されます。二度目の表示が消え、しばらくすると本体表示窓が時計表示※に変わり、本機の操作が可能になります。時計表示に変わるまでは操作できません。
故障の原因になりますので、本機の操作が可能になるまで絶対に電源コードを抜かないでください。

※**初期設定**「FL ディマー」**(➜95)**が「オート」のときは、本体表示窓には何も表示されません。

お知らせ
- オンエアーダウンロード放送の受信には、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

リモコン(本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています)

Ⓐ 操作先切換ボタン

操作する対象(HDD、DVD、SDまたはVHS)に合わせて、リモコンと本機の操作モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、本体のランプの点灯が切り換わり、ランプ点灯の約1秒後、点灯している先へ操作モードが切り換わります。(電源「切」のときは、切り換えることはできません)

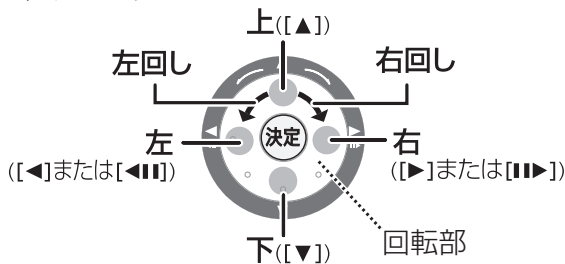
本機を操作するときは、操作モードが操作する対象に合っているか確認してください。

HDDの操作をする前には
- 必ず本体の[HDD]ランプを点灯させてください。

DVDの操作をする前には
- 必ず本体の[DVD]ランプを点灯させてください。

SDの操作をする前には
- 必ず本体の[SD]ランプを点灯させてください。

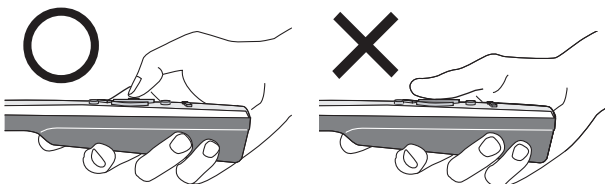
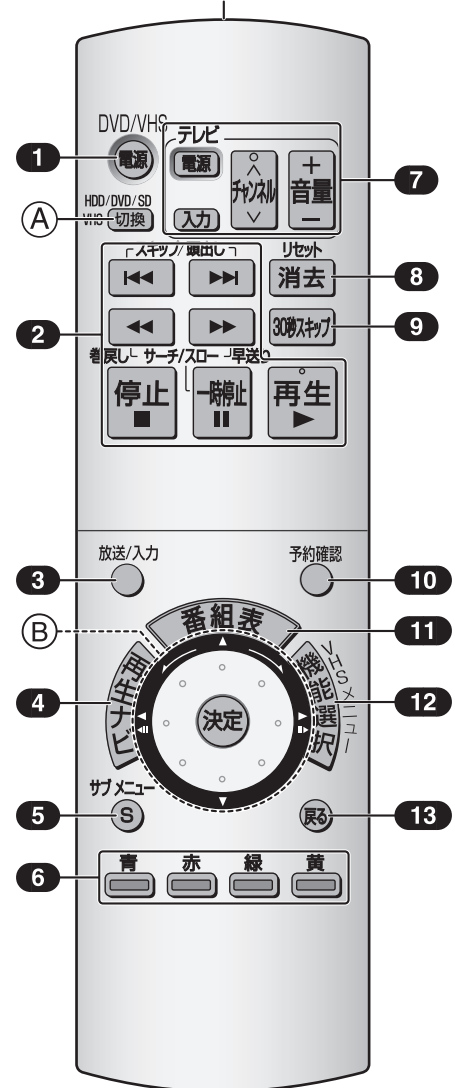
VHSの操作をする前には
- 必ず本体の[VHS] ランプを点灯させてください。

Ⓑマルチジョグ

HDD DVD SD VHS
- **メニュー画面での選択/決定:**
  選択: 上下左右([▲][▼][◀][▶])を押す
  (左右に回して選ぶこともできます)
  決定: (決定) を押す

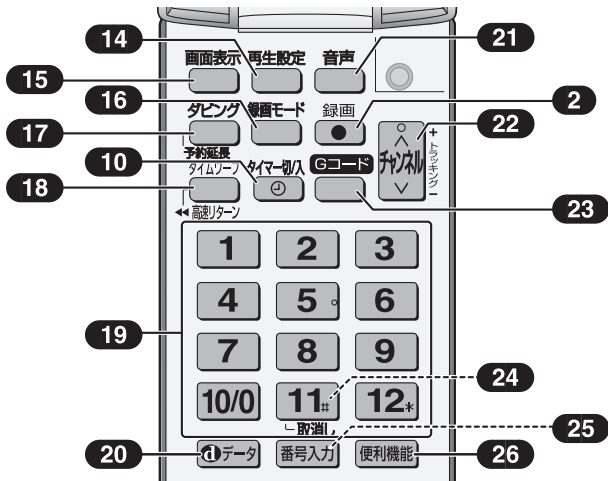
HDD DVD VHS
- **コマ送り/コマ戻し:**
  (一時停止中)**左右([◀II][II▶])を押す**
  [VHS はコマ送り([II▶])のみ]
- **早送り/早戻し:**
  (再生中)**右(送り)または左(戻し)に回す**※
- **スロー再生:**
  (一時停止中)**右(送り)または左(戻し)に回す**※

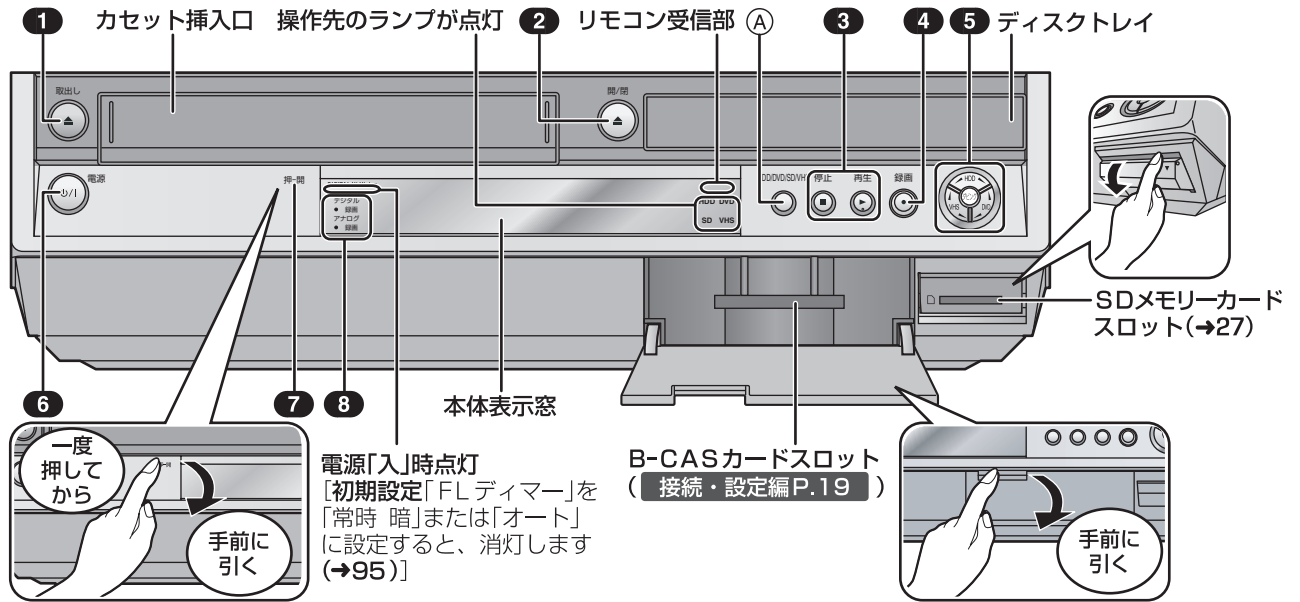
※1クリック回すごとに速度が速くなります。
　速度を遅くすることはできません。

お知らせ

誤操作を避けるために、以下のことにお気を付けください。
- マルチジョグを回すときは、あまり強く押さないでください。
- **[決定]ボタン**を押すときは、周囲の回転部を一緒に押さないように、指を立てて軽く押してください。

お知らせ
- **[録画●]ボタンなど誤動作にかかわるボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。**
- 本書では、ボタン名を[**再生▶**]などで示し、"ボタン"を省略しています。
- リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカーの設定(接続・設定編 P.48)後に行えるようになります。

■ふたをひらいたところ

画面表示 再生設定 音声
ダビング 録画モード 録画
予約延長 タイムワープ タイマー切/入 Gコード チャンネル トラッキング
◀◀高速リターン
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
取消
データ 番号入力 便利機能

1. HDD DVD SD VHS :
電源を切/入する .... (➔25,46,49,51,53)
2. HDD DVD SD VHS :
録画や再生時の基本操作................ (➔40,60,67,69)
3. HDD DVD SD VHS :
放送/入力を切り換える..................... (➔28,59,125)
4. HDD DVD SD :
録画した番組や記録した写真
などを探す/編集する.............. (➔44,61,67,74,82)
DVD :ディスクメニューを表示する............... (➔60,66)
5. HDD DVD SD :
サブメニューを表示する................ (➔68,74,80,82)
6. HDD DVD SD :
入力する文字や一覧画面を切り換える ...... (➔61,87)
データ放送の画面を操作する............................ (➔37)
HDD DVD VHS :番組表(Gガイド)を操作する....... (➔31)
7. テレビ :テレビを操作する .... (➔41)
8. HDD DVD SD :
不要な番組や写真などを消去する .... (➔63,68)
VHS :テープカウンターをリセットする .... (➔72)
9. HDD DVD :約30秒先へ飛び越す .... (➔63)
VHS :CMをとばして再生・録画する.............. (➔42,71)
10. HDD DVD VHS :予約録画時の基本操作........... (➔54,55)
11. HDD DVD VHS :番組表(Gガイド)を表示する.... (➔30,46)
12. HDD DVD SD :
機能選択画面を表示する....................... (➔25,92,96)
VHS :メニュー画面を表示する........................... (➔101)
13. HDD DVD SD VHS :
ひとつ前のメニュー画面に戻る.... (➔25,66,92,96,101)
ダビングを途中
でやめる .... (➔106,108,110,115,117,122)
●市販のDVDビデオやDVDオーディオで使用する「リターン」もこのボタンで操作します。(詳しくはディスクの説明書をご覧ください)
14. HDD DVD :ディスクの再生方法を設定する .... (➔64)
15. HDD DVD SD VHS :
操作の状態を表示する .... (➔63,68,72)
16. HDD DVD VHS :録画モードを選ぶ.......................... (➔40)
17. HDD DVD SD VHS :
マニュアルダビングする................................ (➔112)
VHS :予約録画の終了時刻を延長する .... (➔55)
18. HDD DVD :時間を指定して飛び越す .... (➔44,63)
VHS :高速で巻き戻す .... (➔70)
19. HDD DVD VHS :
チャンネルの数字やGコード予約などの
番号を入力する... (➔40,50)
DVD SD :
曲番などの数字を直接入力する.... (➔60,62,66,67)
20. HDD DVD SD :データ放送の画面を表示する ...... (➔37)
21. HDD DVD VHS :音声を切り換える.......................... (➔73)
22. HDD DVD VHS :
チャンネルを順に切り換える............................. (➔40)
VHS :トラッキングや垂直同期を調整する .... (➔72)
23. HDD DVD VHS :Gコード予約する .... (➔50)
24. HDD DVD SD VHS :
入力した数値などを取り消す..................... (➔50,54)
25. HDD DVD SD :
デジタル放送の3けた番号を入力する............. (➔28)
26. HDD DVD SD :
見ている画面に関連した機能を表示する .... (➔33)

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

Ⓐ 操作先を切り換える
- ボタンを押すごとに操作先のランプの点灯が切り換わり、ランプ点灯の約1秒後、点灯している先へ操作モードが切り換わります。(電源「切」のときは、切り換えることはできません)

❶ カセットを取り出す ……(➔27)
❷ ディスクトレイを開閉する ……(➔27)
❸ 再生時の基本操作 ……(➔60,69)
❹ 録画する/録画終了時刻を指定する ……(➔40,42)
❺ ワンタッチダビングする ……(➔106,108,110)
❻ 電源を切/入する ……(➔25,46,49,51)

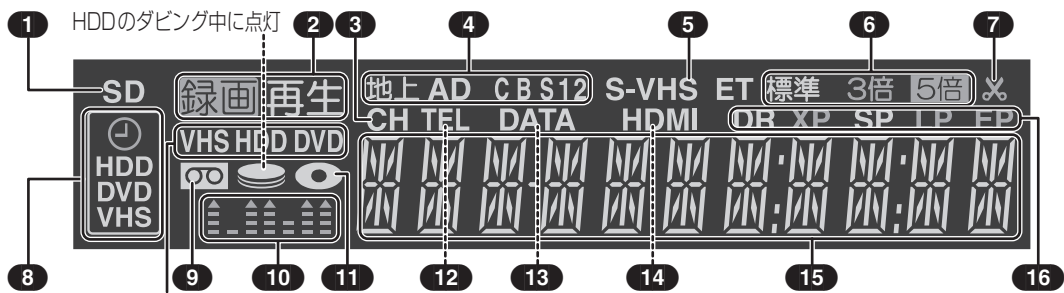
節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。この時間は変更できます。(➔93)

❼ 前面扉
押一開の部分を一度押してから、手前に引いて扉を開きます。

(扉内部)

1 外部機器などを接続 ……(➔124)
2 チャンネルを切り換える ……(➔40)
3 放送/入力を切り換える ……(➔28,59,125)

❽ 放送受信/録画ランプ(➔58)

本体表示窓

❶ SDメモリーカードが入っているとき
- ⓯ メイン表示部に"SD CARD"と表示。(操作先が「SD」のときのみ)

❷ 動作状態

❸ チャンネル ……(➔40)
- ⓯メイン表示部に現在の受信チャンネル、およびHDD/DVD/VHSの予約録画チャンネル番号を表示。

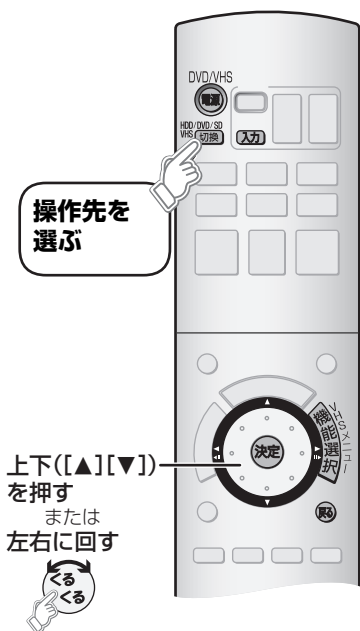
❹ 放送の種類 ……(➔28)
❺ S-VHSダビングの実行中 ……(➔105)
❻ VHSの録画モード ……(➔39)
❼ CMカット録画時 ……(➔42)
❽ 予約録画の待機中、実行中 ……(➔45〜55)

❾ カセットが入っているとき
- カセットが入っていないときに、録画･予約録画などの操作をすると点滅。
- ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。

❿ ダビング時 ……(➔106〜119)
⓫ ディスクが入っているとき
- ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。

⓬ 電話回線使用時 ……(➔36,37)
⓭ 番組表(Gガイド)データなどの受信表示 ……(接続・設定編 P.32)
⓮ HDMI接続時 ……(接続・設定編 P.12,15)
⓯ メイン表示部
- 時刻 ● 録画･再生経過時間 ●HDD/ディスク残量
- 予約録画開始の日付/時刻･終了時刻 ●各種メッセージ…など。

⓰ HDD/DVDの録画モード ……(➔39)
- 「DR」以外全点灯:FR(フレキシブルレコーディングモード)

設定を確認する

テレビに本機の画面を出す

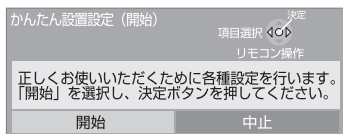
テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
HDDやDVD、SD、VHSの映像や画像を見るときも、下記の操作を行ってください。

1 テレビの入力をビデオ入力にする
テレビの電源を入れ、を数回押す

ビデオ1

- 例えば、テレビのビデオ入力1端子に接続しているときは、「ビデオ1」にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。
- [入力]を押してもテレビの入力が切り換わらないときは、本機のリモコンでテレビの操作ができるように設定するか、テレビに付属のリモコンで操作してください。
(接続・設定編 P.48)

2 電源を入れる
 を押す

下のような画面が出た場合は
- お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、下のような画面が表示されます。別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧になり、まず「かんたん設置設定」を行ってください。

本機HDD/DVD/SDの映像が出るか確かめる

チャンネル設定後に接続し直したときなどは、下記の操作を行って、テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
下記の操作を行っても本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。
(接続・設定編 P.4～21)

- 左記手順*1*～*2*のあとに操作します。

3 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ**
- 本体のランプが点灯します。[(例)HDD]

4 本機の画面が映っているか確かめる
 を押す

例)手順*3*で「HDD」を選んだとき

- 上のような機能選択画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。(➜26)
- またはDVDビデオソフトなどを再生してみてください。(➜60)
- 本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。(接続・設定編 P.4～21)

■**機能選択画面を消す** ➡ 戻る **を押す**

本機VHSの映像が出るか確かめる

- 左記手順*1*～*2*のあとに操作します。

3 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「VHS」を選ぶ**
- 本体のランプが点灯します。

4 本機の画面が映っているか確かめる
VHSの再生をしてみる(➜69)

こんなときは…

■**再生すると、音声は聞こえるが映像が出ない**
本機のDVD優先出力(S1/S2映像)端子に接続したS映像コード(別売)を、テレビのビデオ入力1(S映像)端子に接続していないか確かめてください。
➡ **S映像コード(別売)を、本機のDVD/VHS共用出力(S1/S2映像)端子に接続し直してください。**
(接続・設定編 P.9)

詳しくは、別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧ください。

機能選択画面について(HDD/DVD/SDのみ)

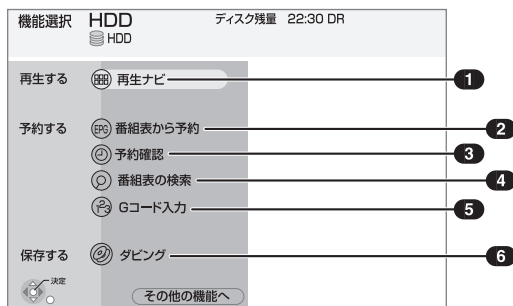
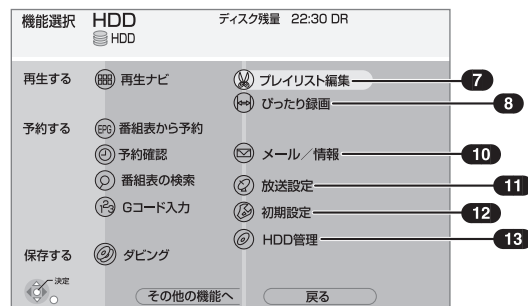
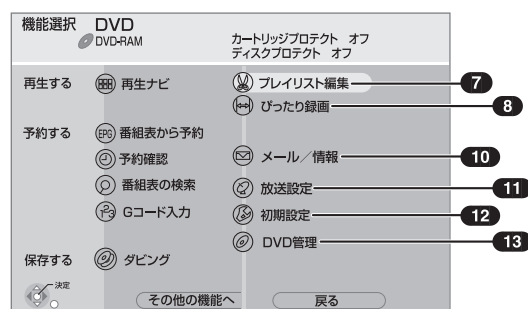
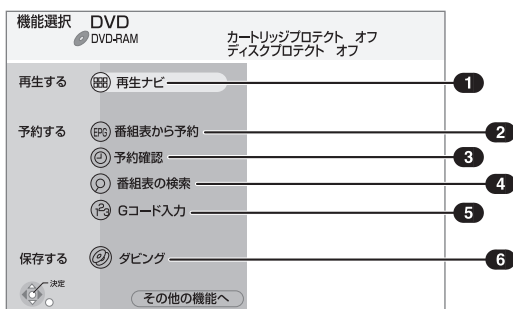
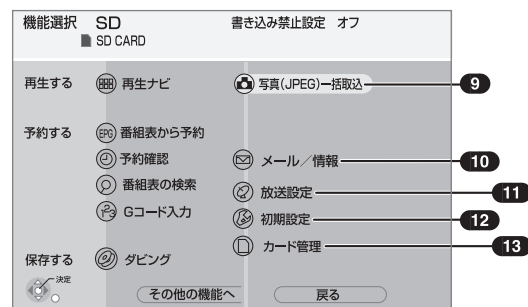
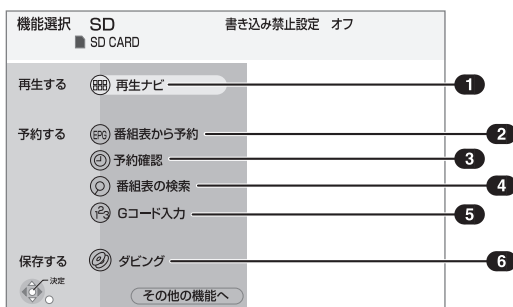
ディスクの種類に応じて、使える機能をこの画面から選ぶことができます。HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して「HDD」、「DVD」または「SD」を選び、 を押すと表示されます。

[▲][▼]で項目を選び、決定 で実行する

「その他の機能へ」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]で実行します。「戻る」を選び[決定]を押すと、「その他の機能へ」を選んだ前の画面に戻ります。機能選択画面を消すには、[戻る]を数回押します。

その他の機能へ を選んだとき

◆「HDD」選択中

テレビ画面

◆「DVD」選択中

◆「SD」選択中

●"プロテクトを設定している"など、条件によって選べない項目は灰色で表示されます。

機能の詳細はそれぞれのページをお読みください。

1 再生ナビ(➜61,67,74,82)
●録画した番組や記録済みの写真の一覧を表示させます。

2 番組表から予約(➜46)
●番組表を表示させます。

3 予約確認(➜52,54)
●録画予約の一覧を表示させます。予約の取り消しや修正ができます。

4 番組表の検索(➜48)
●ジャンルやキーワードで番組を探して予約録画します。

5 Gコード入力(➜50)
●Gコード予約ができます。

6 ダビング(➜112)
●ダビング設定画面を表示させます。

7 プレイリスト編集(➜78,80)
●プレイリストの一覧を表示させます。プレイリストの作成・再生・編集ができます。

8 ぴったり録画(➜43)
●ディスクの残量に合わせて録画できるように設定します。

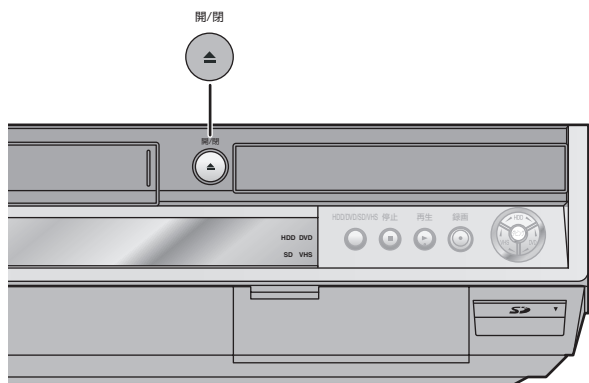
9 写真(JPEG)一括取込(➜120)
●カードの写真をHDDまたはDVD-RAMに一度にダビングします。

10 メール/情報(➜89)
●放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

11 放送設定(➜96～98)
●必要なときに本機の設定を変更します。

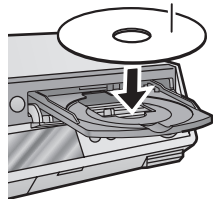
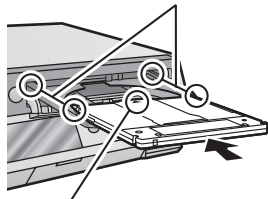
12 初期設定(➜92～95)
●必要なときに本機の設定を変更します。

13 HDD管理/DVD管理/カード管理(➜84)
●ディスクやカードの状態・用途によって、録画(記録)前や録画後に必要な処理などを行います。

ディスク・カセット・SDカードを入れる

ディスクを入れる

本体の を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度［▲開/閉］を押すと、トレイが閉まります。
●電源が切れていても取り出せます。ただし、ディスクを取り出した場合は電源「入」になります。

（カートリッジなし）

（カートリッジあり）

フォーマット確認画面が表示されたとき（➜41）

お知らせ

●8 cm DVD-RAMや8 cm DVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
●ディスクの読み込み中に、操作先を切り換えることはできません。

操作先の自動切換機能

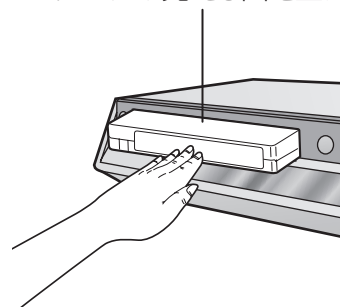
● RAM ［誤消去防止（➜85）を設定したディスクのみ］ DVD-V DVD-A CD VCD ディスクを入れると自動的に操作先が「DVD」に切り換わります。
● VHS 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“OFF”になっているカセットを入れると、自動的に操作先が「VHS」に切り換わります。

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる

●自動的に電源が入ります。

カセットを取り出す

➜【本体】 を押す

【リモコン】「VHS」選択中、 を約3秒以上押す

●VHS側が予約録画の待機中のときは働きません。（➜55）

SDカードを入れる

●本体表示窓の“SD”点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。
●miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターに装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）
入れかた

❶ スロットのふたを開ける

❷ カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

❸ スロットのふたを閉じる

出しかた

❶ スロットのふたを開ける

❷ カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

❸ スロットのふたを閉じる

テレビ番組を受信する

■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

テレビ番組を見る

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

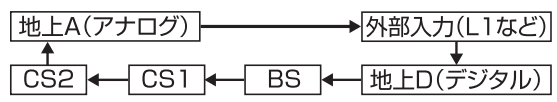
操作先が「VHS」のときは、地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送を見ることはできません。

1 見たい放送を選ぶ

 を数回押す

●押すごとに放送が切り換わります。

◆操作先がHDD/DVD/SDのとき

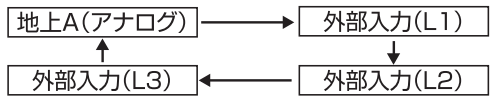
押すごとに

●はじめてお使いのとき、「かんたん設置設定」の「地上デジタル放送チャンネルの設定」(接続・設定編 P.23)を「いいえ」にした場合、「地上D」は表示されません。
●CS放送など受信していない放送がある場合は、「スキップ設定」で「スキップする」を選ぶと、設定した放送をとばして切り換えを行うことができます。ただし地上アナログ、地上デジタル放送は設定できません。(➜97)
●録画中は以下のようにしか切り換えできません。

地上アナログ放送録画中
地上A→地上D→BS→CS1→CS2→地上A…

デジタル放送(地上D、BS、CS1、CS2)録画中
録画中のデジタル放送→地上A→外部入力(L1など)→録画中のデジタル放送…

デジタル・アナログどっちも録り(➜58)のとき
録画中の地上Aもしくは録画中の外部入力(L1など)←→録画中のデジタル放送

◆操作先がVHSのとき

押すごとに

2 **チャンネルを選ぶ**

●右記"テレビ番組を選局する"の中から、選局方法を選んで行ってください。

■暗証番号の入力画面が表示されたとき
(➜35"設定した年齢や購入金額を超える番組を選んだとき")

■番組購入の画面が表示されたとき(➜36)

テレビ番組を選局する

数字ボタンで選局する

(地上アナログ)(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

[1] ～ [12] を押して、チャンネルを選ぶ

●1～12の番号にあらかじめ割り当てられた放送局のみ選べます。(➜ 右ページ)(接続・設定編 P.50,52)
●それぞれのボタンで選べる放送局を変更することもできます。(接続・設定編 P.37,39,40)

順送りで選局する

(地上アナログ)(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

 を押す

● 順送りで選べる放送局を変更することもできます。
(地上アナログ)(接続・設定編 P.37)
(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)
(➜35"選局対象を変更する")

3けたチャンネル番号を入力して選局する

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)
(3 けたチャンネル番号 ➜ 右ページ)

1 **[番号入力] を押す**

●押すごとに選局対象の放送が切り換わります。
CS1とCS2は"CS"で選んでください。

2 **[1] ～ [10/0] を押して、チャンネルを入力する**

(➜ 右ページ)(接続・設定編 P.52)

例) 103の場合…[1]→[10/0]→[3]

●入力画面が表示されている間に入力してください。

お好み選局表から選局する

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

テレビ画面に表示される放送局のリストから選局できます。

1 **停止中に、[一時停止] を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶]で放送局を選び、(決定)を押す**

●「お好み選局」画面の2、3ページにも割り当てがあります。(BSデジタル放送)
[一時停止▮▮]を押すごとに、ページが切り換わります。
●お好み選局表で選べる放送局を変更することもできます。(➜35)

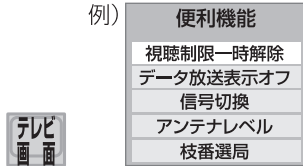
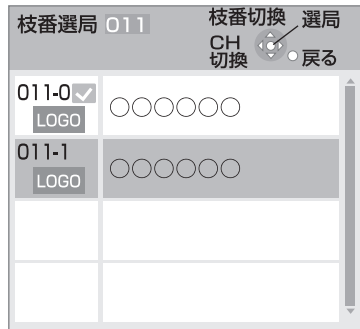
枝番組の異なる放送を選局する

（地上デジタル）

枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。(例:「011-0」、「011-1」、「011-2」)
3けたチャンネル番号を入力して選局する(➜左ページ)と、下記手順*2*の画面で、チェックマークの入った放送局が選局されます。
以下の手順で、ちがう枝番号の放送局を選局することができます。

1 停止中に、[便利機能] を押す

例）
便利機能
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル
枝番選局

テレビ画面

2 [▲][▼]で「枝番選局」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼]で放送局を選び、(決定) を押す

☞ **3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには**
[決定]を押す前に、[番号入力]を押す
●選んだ放送局にチェックマークが付き、選局時、その放送局が選ばれます。

■リモコンのボタンに割り当てられた放送局

●地上アナログ放送(接続・設定編 P.50)
●地上デジタル放送(接続・設定編 P.52)
●BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	700	NHKデータ1
12	701	NHKデータ2

● CS1(スカパー！110)

番号	チャンネル	放送局名
1	001	スカパー！110メイト
2	990	生活スタイルTV
3	025	BBC JAPAN
4	991	SHOP & TV5
5	055	ep055チャンネル
6	027	
7		
8	080	シネマ080
9	091	Act On TV
10	888	スターチャンネルHV
11	081	囲碁･将棋チャンネル
12	092	Bloomberg

●CS2(スカパー！110)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	スカパー！110プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	CS日本番組ガイド
5	250	アクティブ！スポーツ
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	182	フジテレビ739
9	194	AQステーション
10	190	宝塚プロモチャンネル
11	290	宝塚スカイ･ステージ
12	232	スター･クラシック

(2005年9月現在)

お知らせ

●放送局名やチャンネル番号は、お住まいの地域により異なる場合があります。
●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

■地上デジタル放送について

●3けたチャンネル番号

デジタル技術により、1つの物理チャンネル(接続・設定編 P.53)の中に、複数のチャンネルをのせることができます。
例えば、○○放送は、物理チャンネルの25chを使って、「101」～「103」の3つの放送を提供します。この「101」、「102」、「103」を3けたチャンネル番号と呼びます。この内、下位1けたが「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。(この場合「101」)
代表チャンネル以外の選局は、**チャンネル[∧][∨]**や3けた番号入力により、選局できます。(➜左ページ)

●リモコンのチャンネルボタン

テレビ放送の場合、3けたチャンネル番号の上位2けた(上記の場合は「10」)は、リモコンの同じ番号のボタンに割り当てられます。(本機は基本的に自動でこの割り当てを行います)
すなわち、この場合であれば**[10/0]**を押すと、3けたチャンネル番号の「101」(その放送局の代表チャンネル)が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。(接続・設定編 P.52)

番組表(Gガイド)から選んで見る

■ふたをひらいたところ

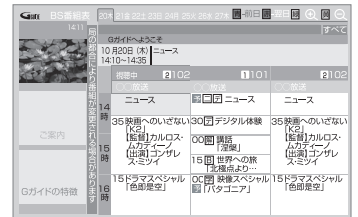
◇◇ 番組表(Gガイド)から選んで見る ◇◇

(地上アナログ)(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

新聞のテレビ欄のような一覧表から見たい番組を選ぶことができます。
この機能を使うにはまず、**番組表(Gガイド)の受信が必要です。**

準備
- 番組表(Gガイド)を受信する。(接続・設定編 P.32)
- テレビに本機の画面を出す。(→25)

1 (番組表) を押す

テレビ画面

- 操作先が「VHS」のときに[**番組表**]を押した場合は、画面がHDD/DVD/SD側に切り換わり、HDD/DVD/SD側で受信している放送の番組表(Gガイド)が表示されます。

2 見たい番組表(Gガイド)の放送を選ぶ

(放送/入力) **を数回押す**(→28)

3 [▲][▼][◀][▶]で見たい番組を選び、(決定)を押す

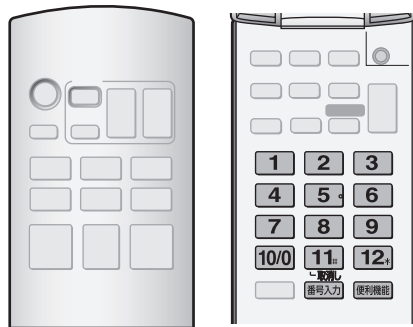
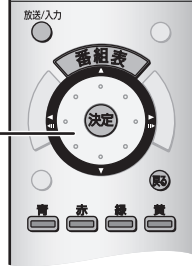
(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

[**番号入力**]を押して、3けたのチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルを含む番組表(Gガイド)を表示させることができます。

4 [▶]で「今すぐ見る」を選び、(決定)を押す

■**前の画面に戻る**➡ (戻る) **を押す**

○○(お知らせ)○○

- 「この機能を利用するにはデジタル放送を受信する必要があります。」と画面に表示されたときは、地上・BSデジタル放送が正しく受信できるか確認してください。(→28)
  正しく受信できていない場合は、アンテナ接続(接続・設定編 P.4)やアンテナ設定(接続・設定編 P.31)を確認してください。
- 地上アナログ放送の番組表(Gガイド)について
  ・Gガイド地域一覧表(接続・設定編 P.54)に登録されていない放送局は、実際には放送を見ることはできても番組表には表示されません。
- 地上デジタル放送の番組表(Gガイド)について
  ・番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、[**決定**]を押すと表示されます。(数分かかることもありますが表示されます)
  ・地上デジタル放送の番組表(Gガイド)は(Gガイドのロゴと広告を含む)、地上デジタル放送が受信可能であれば表示されます。

番組表（Gガイド）の見かた

現在視聴中の放送局の映像
現在時刻
日付
放送の種類
放送局からのお知らせ
テキスト（文字）広告
選択中の番組の紹介
リモコンのボタンの働き（別の日の番組表を見たり、番組表を拡大／縮小するとき）
リモコンのチャンネルボタン番号
番組の種類
番組ジャンルのアイコン（➔127）
現在視聴中の放送局
放送局のチャンネルボタン番号
放送局名
短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。
パネル広告
選ぶと、詳細を表示します。選んだときに番組情報があると、予約設定できます。
選択中の番組
予：番組表を使って予約録画している番組（➔46）

- ●Gガイドのロゴと広告は表示されない場合があります。
- ●機器ごとに広告のデータ取得タイミングが異なるため、表示される内容が異なることがあります。
- ●現在視聴中の放送局が一番左に表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が２つ表示される場合があります。

いろいろな使いかた

■別の日の番組表（Gガイド）を見たいとき

翌日の番組表（Gガイド）を表示する：［赤］を押す

前日の番組表（Gガイド）を表示する：［青］を押す

■ １画面に表示するチャンネル数を変更する

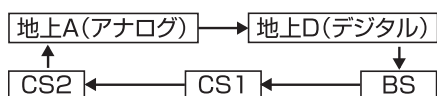
拡大（表示チャンネル数を少なくする）：［緑］を押す

縮小（表示チャンネル数を多くする）：［黄］を押す

●押すごとに、下記のように表示チャンネル数が切り換わります。

■ 別の放送の番組表（Gガイド）を見たいとき

➡ ［放送/入力］を押す

●押すごとに、下記のように番組表（Gガイド）が切り換わります。

■表示させたい種類（➔下記）の番組表（Gガイド）のみを表示させるとき

➡ **1** ［便利機能］を押す

2 ［▲］［▼］で「表示内容」を選ぶ

3 ［◀］［▶］で表示させたい放送の種類を選び、［決定］を押す

お好み：リモコンの［1］から［12＊］に設定されているチャンネルとデジタル放送のチャンネルで設定した13～36までのチャンネル

テレビ：テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみの番組表（Gガイド）

ラジオ：ラジオ放送（音声のみ）の番組表（Gガイド）

データ：データ放送の番組表（Gガイド）

すべて：受信できるすべての番組表（Gガイド）

■パネル広告、テキスト広告を選ぶ便利な方法

➡ **1** ［便利機能］を押す

2 ［▲］［▼］で「パネル広告へ」または「テキスト広告へ」を選ぶ

●パネル広告、テキスト広告選択中は「番組表へ」を選べば元の番組表（Gガイド）の表示に戻ります。

テレビ放送の設定をする

◇◇ 字幕や文字スーパーを表示させる ◇◇

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

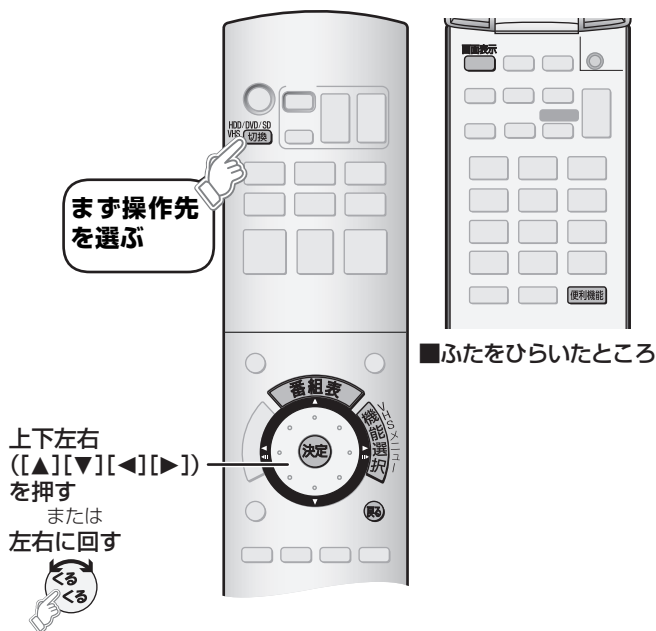
デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。
(お買い上げ時はどちらも「オフ」に設定されています)
HDD、DVD-RAM、DVD-R(VR方式)に録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容のみがそのまま録画されます。再生時にはその設定内容で再生されます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➔22)

1 停止中に、[機能選択] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で「デジタル放送・再生」を選び、[決定] を押す

5 [▲][▼]で「字幕の設定」を選び、[決定] を押す

字幕の設定		戻る
字幕	オン	オフ
字幕言語	日本語	英語
文字スーパー	オン	オフ
文字スーパー言語	日本語	英語

6 [▲][▼]で各項目を選び、[◀][▶]で設定する

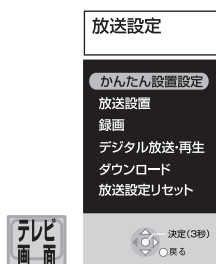
字幕　:字幕の表示 / 非表示
字幕言語　:字幕の言語を選択
文字スーパー　:文字スーパーを表示 / 非表示
文字スーパー言語:文字スーパーの言語を選択

■前の画面に戻る➔ [戻る] を押す

■画面を消す➔ [戻る] を数回押す

■字幕放送があることを確認するには

➔ 1 [番組表] を押して、番組表(Gガイド)を表示する

2 [▲][▼][◀][▶]を押して番組を選び、[決定] を押す

字幕が表示されます

- アイコンが表示されない字幕放送もあります。

○○ お知らせ ○○

- 「字幕」/「文字スーパー」が「オン」でも、字幕 / 文字スーパーのない番組や設定した言語の字幕 / 文字スーパーがない場合、字幕 / 文字スーパーは表示されません。
- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。
- 地上アナログ放送の文字放送(字幕)は見られません。

◇◇ ワンタッチ機能で呼び出す / 情報を見る ◇◇

関連機能を呼び出す

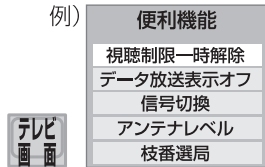
(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

今見ている画面に関連した設定機能をすぐに呼び出すことができます。

1 デジタル放送の視聴中に、[便利機能] を押す

例）

便利機能
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル
枝番選局

テレビ画面

- ●視聴している番組により表示される項目が変わります。
- ●録画中は表示されません。

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定) を押す

視聴制限一時解除 ：暗証番号(➜34)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ ：データ放送(➜37)を終了します。
信号切換 ：映像や音声などを切り換えます。(➜右記)
アンテナレベル ：アンテナの受信レベルを表示します。
枝番選局 ：地上デジタル放送の枝番号を選びます。(➜29)

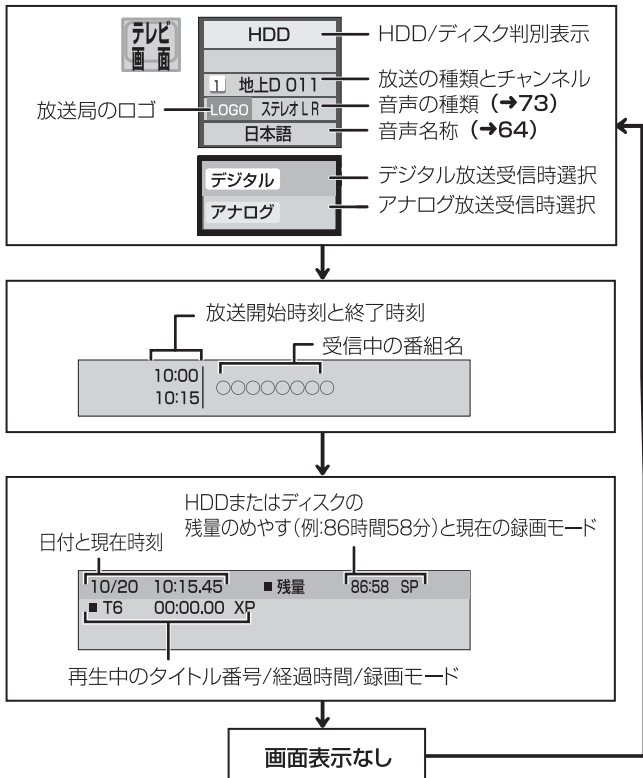
■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

見ている番組のタイトルなどを表示する

(地上アナログ)(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

[画面表示] を押す

●押すごとに切り換わります。

例）操作先が「HDD」で、地上デジタル放送を見ているとき

- ●残量表示は記録する入力信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、残量時間は記録可能なおおよその時間を表示しています。
- ●操作先が「VHS」のときは、見ている番組のタイトルなどを表示することはできません。(画面表示について➜72)

◇◇ 映像・音声・データなどの信号を切り換える ◇◇

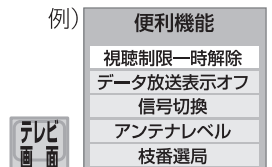
(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で選ぶことができます。

1 デジタル放送の視聴中に、[便利機能] を押す

例）

便利機能
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル
枝番選局

テレビ画面

●録画中は表示されません。

2 [▲][▼]で「信号切換」を選び、(決定) を押す

信号切換		
マルチビュー	主番組	
映像	映像 1	
音声	日本語	
二重音声	主	
データ	データ 1	
字幕	オン	オフ
字幕言語	日本語	英語

3 [▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する

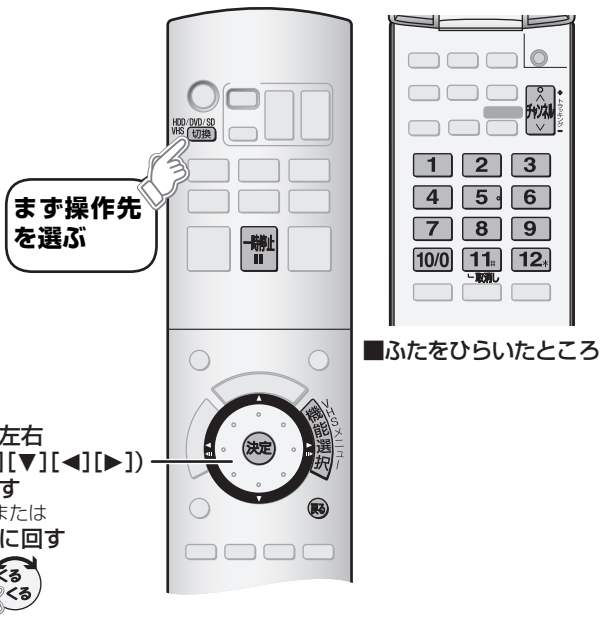
マルチビュー ：マルチビュー放送の番組を選択
映像 ：映像の種類を選択
音声 ：音声の種類を選択
二重音声 ：二重放送の音声を選択
データ ：データを選択
字幕 ：字幕の表示 / 非表示
字幕言語 ：字幕の言語を選択

- ●番組により、選べる項目が変わります。
- ●マルチビュー放送では、一つの放送の中に複数の映像があります。ただし、2005年9月現在、マルチビュー対応の放送は、行われておりません。
- ●一つしかないときは切り換えができません。
- ●HDD、DVD-RAM、DVD-R(VR方式)に録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容(「データ」を除く)のみがそのまま録画されます。再生時にはその設定内容で再生されます。

■暗証番号の入力画面が表示されたとき
(➜35"設定した年齢や購入金額を超える番組を選んだとき")

■番組購入の画面が表示されたとき(➜36)

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

■ふたをひらいたところ

番組の視聴制限を設定する

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

はじめに

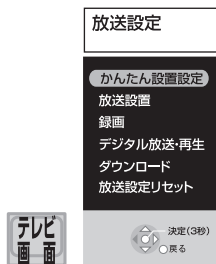
視聴制限とは

- 年齢や購入金額の上限を設定できます。
- 上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表(Gガイド)などで「･･･」と表示されます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➔22)

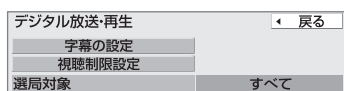
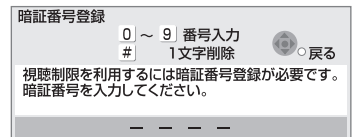
視聴制限の設定画面を表示させる

1 停止中に、[機能選択]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼]で「デジタル放送･再生」を選び、(決定)を押す

5 [▲][▼]で「視聴制限設定」を選び、(決定)を押す

暗証番号登録
0 ～ 9 番号入力
1文字削除
戻る
視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。
暗証番号を入力してください。
― ― ― ―

6 画面の指示に従って、[1]～[10/0]を押して暗証番号(4けた)を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 初めて入力するときは番号を 2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

☞ **番号を間違えたとき**
[取消し/11 #]を押す

☞ **タイマー予約時に登録しているとき**(➔53)
登録時の暗証番号を入力してください。

お知らせ
- 4けたの暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターにお問い合わせください。

年齢制限を設定する

- 左記手順*1*～*6*のあとに操作します。

7 [▲][▼]で「視聴可能年齢」を選び、[◀][▶]で年齢を選ぶ

「4才」～「19才」(1才単位)、または「無制限」(お買い上げ時)を設定できます。

視聴制限設定	戻る
視聴可能年齢	◀ 無制限 ▶
一番組限度額	無制限
暗証番号変更	
暗証番号取消し	

1番組の購入限度額を設定する

- 左記手順*1*～*6*のあとに操作します。

7 [▲][▼]で「一番組限度額」を選び、[◀][▶]で金額を選ぶ

「100円」または「500円」～「3000円」(500 円単位)、または「無制限」(お買い上げ時)を設定できます。

視聴制限設定	戻る
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	◀ 無制限 ▶
暗証番号変更	
暗証番号取消し	

暗証番号を変更する

- 左記手順*1*～*6*のあとに操作します。

7 [▲][▼]で「暗証番号変更」を選び、(決定)を押す

変更したい暗証番号の入力画面になります。手順*6*と同様の操作で、新しい暗証番号を入力してください。

視聴制限設定	戻る
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限
暗証番号変更	
暗証番号取消し	

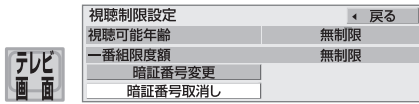
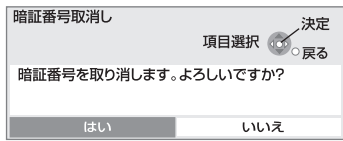
- 「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。

暗証番号を取り消す

暗証番号を取り消すと「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。

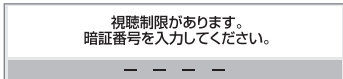
●左ページ手順*1*～*6*のあとに操作します。

7 [▲][▼]で「暗証番号取消し」を選び、(決定)を押す

視聴制限設定	◂ 戻る
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限
暗証番号変更	
暗証番号取消し	

8 [◀][▶]で「はい」を選び、(決定)を押す

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

■設定した年齢や購入金額を超える番組を選んだとき
暗証番号の入力画面が表示されます。

視聴制限があります。
暗証番号を入力してください。
－ － － －

●暗証番号を入力すると、番組が映ります。
●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。

◆◆ 選局対象を変更する ◆◆

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

チャンネル[∧][∨]で選べる放送の種類や、「お好み選局」で選べるチャンネルを変更できます。(➜28)

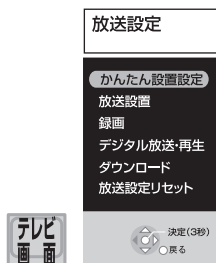
順送りできるチャンネルを変更する

テレビ放送のチャンネルだけを順送りしたいときなどに順送りできる放送の種類を選択することができます。

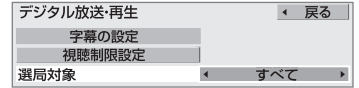
1 停止中に、(機能選択/VHSメニュー) を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼]で「デジタル放送・再生」を選び、(決定)を押す

デジタル放送・再生	◂ 戻る
字幕の設定	
視聴制限設定	
選局対象	すべて

5 [▲][▼]で「選局対象」を選び、[◀][▶]で好みの選局対象を選ぶ

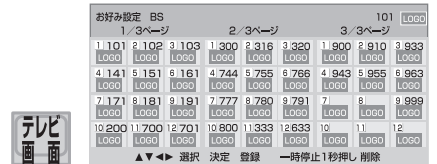
デジタル放送・再生	◂ 戻る
字幕の設定	
視聴制限設定	
選局対象	◂ すべて ▸

お好み：リモコンの[1]～[12*]に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した13～36までのチャンネル
テレビ：テレビ放送(映像＋音声)のチャンネルのみ
ラジオ：ラジオ放送(音声のみ)のチャンネルのみ
データ：データ放送のチャンネルのみ
すべて：受信できるすべてのチャンネル

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

お好み選局表に放送局を登録する

「お好み選局」(➜28)に登録されている放送局を登録し直したり削除したりして、お好み選局表を作りかえることができます。

1 登録したい放送局を受信中に、 を3秒以上押して、「お好み設定」画面を表示させる

2 [▲][▼][◀][▶]で設定したい位置を選び、(決定)を押す

●受信中のチャンネルが、「お好み選局」の設定した位置に登録されます。
●既に登録されている位置に新しく放送局を登録すると以前の放送局は消去されます。

■設定したチャンネルを削除する
➡削除したい放送局を選び、(一時停止) を1秒以上押す

有料放送を見る

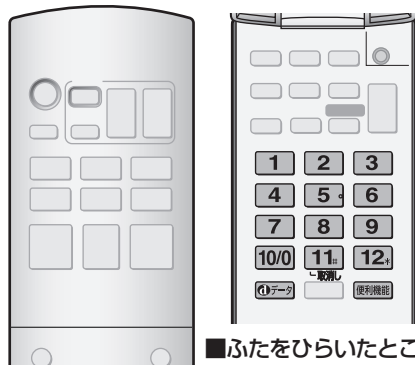
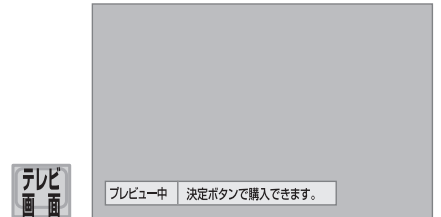
■ふたをひらいたところ

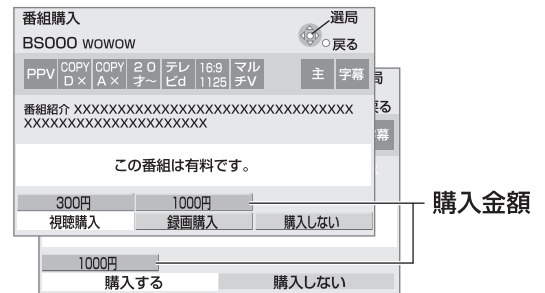
(BS デジタル)(CS デジタル)

有料放送を番組単位で購入する方法です。

●有料チャンネルを見るには、放送事業者との契約が必要です。また、ペイ･パー･ビュー(番組単位で購入)を視聴･録画するには、下記の購入操作が必要です。

準備 ●電話回線を接続する。(接続・設定編 P.18)
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

1 ペイ･パー･ビューの番組を選局し(➜28)、決定を押す

●番組によってはプレビュー(有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。

2 [◀][▶]で項目を選び、決定を押す

購入する :番組を購入したことになり、視聴できます。コピーガードのある番組は録画できません。
購入しない:番組を購入しません。
視聴購入 :料金を払うと視聴できますが、コピーガードのある番組は録画できません。
録画購入 :料金を払うと視聴と録画ができます。

●番組により、選べる項目が変わります。

■購入した有料番組を確認する(➜89)

■購入した有料番組の送信結果を確認する(➜90)

お知らせ

●デジタル放送には録画できないようにしている(コピーガード)番組があります。コピーガードが解除できない番組は、"録画購入"が表示されません。
●購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。
● 一度視聴購入をした番組は、録画購入できません。
●電話回線での通信中は、本体の表示部に"TEL"が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。"TEL"が消えるまでしばらくお待ちください。

データ放送を見る

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

準備
- 電話回線を接続する。(接続・設定編 P.18)
  (サービスの種類によっては電話回線を使う場合があります)
- ネットワークを接続する。(接続・設定編 P.44)
  (サービスの種類によってはネットワークを使う場合があります)
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)

1 データ放送のある番組を選局し(➜28)、[dデータ] を押す

- 情報が多いときは、表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 [▲][▼][◀][▶]で見たい項目を選び、(決定) を押す

- 番組により、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンを使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。
- お好みページへの登録の案内が出たときは、画面の指示に従ってください。

お好みページを使うには(➜91)

■データ画面を消す ➡ [dデータ] を押す

- データ画面が消えない場合は、[便利機能]を押し、「データ放送表示オフ」を選んでください。

■ データ放送があることを確認する

➡ **1** (番組表) を押して、番組表(G ガイド)を表示する

2 [▲][▼][◀][▶] を押して番組を選び、(決定) を押す

+d ラジオ　+d テレビ　d テレビ　d ラジオ が表示されます。(➜126)

- アイコンが表示されない番組もあります。

お知らせ

- データ放送を本機で録画することはできません。
  データ放送が含まれるテレビ番組の場合、録画が始まるとデータ画面が消えます。
- 電話回線での通信中は、本体の表示部に"TEL"が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。"TEL"が消えるまでしばらくお待ちください。

録画について

録画するディスクについて

本機ではいろいろなディスクに録画することができます。目的に合ったディスクに録画してください。(詳しくは➜5)

- ●ディスクに残量がある限り自動的に未記録の部分に録画を行いますので、カセットのように未記録部分を探す必要がありません。上書きは行いませんので、不要な番組がある場合は消去(➜63,75)してください。

1枚のディスクに録画できる番組数

HDD 最大1000番組※

※録画モード「DR」で録画：最大500番組
録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画：最大500番組
(長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 最大99番組

+R 最大49番組

●DVD-R DLに番組を直接録画することはできません。

デジタル放送を録画するとき

HDD RAM -R(VR) に録画できます。
ただし、DVD-RAM、DVD-R(VR方式)※については、CPRM対応であることが必要です。(詳しくは➜15)

※録画前にフォーマットが必要です。

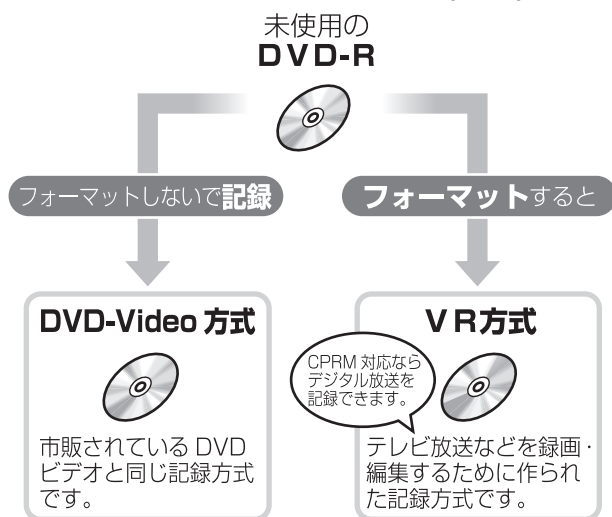
録画したあとは

HDD
録画モード「DR」で録画した番組と、「DR」以外の録画モードで録画した番組は、別々に管理されています。
それぞれを再生するには、「再生ナビ」画面での切り換えが必要です。(➜61)

-R(V) -RW(V) +R
他のDVD機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➜86,130)が必要です。

-R(VR)
DVD-R(VR方式)に対応した他のDVD機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➜86,130)が必要になる場合もあります。

■DVD-Rの記録方式とフォーマットについて

本機では、DVD-Rをフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video方式で録画します。VR方式で録画したい場合は、録画前にDVD管理でフォーマットを行ってください。(➜85)

DVD-Video 方式	特長	VR方式
×	二重放送の主・副音声を両方記録	○※1
× 4：3 映像で記録	16：9 映像をそのまま記録	○※1
×	「1回だけ録画可能」なデジタル放送の番組の記録	CPRM 対応ディスクのみ ○
×	プレイリストの作成・編集	○
ファイナライズ後に可能	他の DVD 機器で再生	DVD-R(VR 方式)対応機器でのみ可能※2

※1 初期設定「高速ダビング用録画」が「切」のとき(➜93)
※2 ファイナライズが必要な場合があります。
2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーで再生することができます。

いったん録画またはフォーマットすると、あとで記録方式を変えることはできません。

録画する番組の映像・音声の記録について

(地上アナログ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

◆初期設定「高速ダビング用録画」が「入」のとき
(お買い上げ時は「入」に設定されています)(➜93)

- ●**16:9映像の番組**
  ➡4:3映像で記録します。(➜17)
- ●**海外ドラマなどの二重放送**
  ➡主、副音声のどちらか一方のみ記録します。(➜18)
  初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜94)

◆16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには※

HDD RAM -R(VR)

➡**初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜93)**
二重放送を録画する場合、音声を選ぶ必要はありません。主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

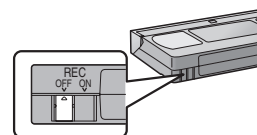
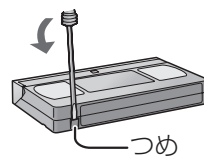
※録画後、HDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングすることはできなくなります。(1倍速でダビングします)

録画するカセットについて

VHS、S-VHS、D-VHSマークの付いたカセットが使えます。

■録画済みの番組を誤って消さないために

- ●誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
- ●再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)

- ●誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて"OFF"にしてください。
  "ON"に戻すと、再び録画できます。
  カセットの説明書もよくご覧ください。

録画の画質と時間について(録画モード)

HDD、DVDに録画するとき

HDDへの録画

録画モード ＼ ディスク			内蔵HDD容量 250 GB
DR※1 (ダイレクトレコーディング)	BSデジタル	HD放送※2(24 Mbps時)	約22時間30分
		SD放送※2(12 Mbps時)	約45時間
	地上デジタル	HD放送※2(17 Mbps時)	約31時間45分
XP(高画質)			約55時間
SP(標　準)			約111時間
LP(長時間)			約222時間
EP(長時間)			約443(333※3)時間
FR(自動調整)			最大 約443時間

DVDへの録画

録画モード ＼ ディスク	DVD-RAM 片面 (4.7 GB)	DVD-RAM 両面※4 (9.4 GB)	DVD-R/DVD-RW/+R (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層)※5 (8.5 GB)
XP(高画質)	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分
SP(標　準)	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分
LP(長時間)	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分
EP(長時間)	約8時間 (約6時間※3)	約16時間 (約12時間※3)	約8時間 (約6時間※3)	約14時間20分 (約10時間45分※3)
FR(自動調整)	最大 約8時間	片面あたり 最大 約8時間	最大 約8時間	最大 約14時間20分

※1 残量時間は、BSデジタルHD放送(24 Mbps時)として計算されます。そのため、実際の残量と異なる場合があります。
※2(➜130"デジタルハイビジョン")
※3 **初期設定**「EP時の記録時間」(**➜93**)を「EP(6H)」モードに設定した場合。
- EPモードの音質は「EP(6H)モード」の方が高音質です。
- RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

※4 両面の連続録画・再生はできません。
※5 DVD-R DLに直接録画することはできません。表はダビングでの記録時間です。

■記録時間の残量について

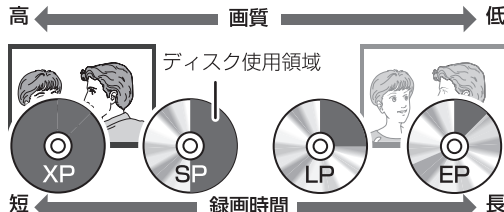
上記の数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。
(HDDとDVD-R DLでは、特にその差が著しくなります)
残量表示が少ないときは、あらかじめ不要な番組を消去し、余裕がある状態で録画してください。(プレイリストを消去しても残量は増えません)

DR(ダイレクトレコーディング)

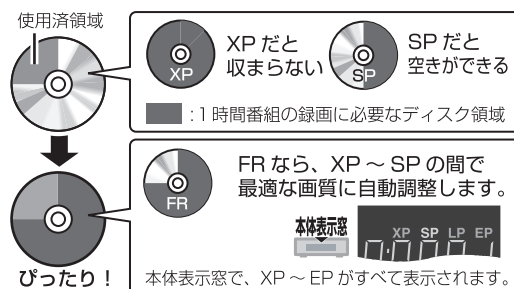
デジタル放送をデジタル信号のままHDDに録画します。
- デジタルハイビジョン画質やマルチチャンネル音声がそのまま記録されます。
- 複数の映像や音声を含む番組を録画した場合には、録画後、映像や音声を切り換えて再生することができます。
- **初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(**➜94**)が「入」に設定されているときは、デジタル放送をHDDに録画する場合、自動的に「DR」に固定されます。「XP」～「EP」、「FR」で録画したいときは、「切」に設定してください。

XP(高画質録画)～EP(長時間録画)

録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、録画できる時間は少なくなります。

例) 1時間番組を4.7 GBディスクに録画した場合

FR(フレキシブルレコーディング)

ディスクの残量に合わせて、XP～EP(8H)の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。

例) 使いかけのディスクに1時間番組をFRモードで録画すると…

- ぴったり録画やダビング、予約録画時にのみ設定できます。
- ディスクの残量によっては、予約した番組を最後まで録画できない場合があります。

VHSに録画するとき

標準:カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍:標準に対して3倍の録画ができます。
5倍:標準に対して5倍の録画ができます。

■5倍モードについて

- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の"5倍"が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
  カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

標準3倍(ぴったり録画)

予約録画時にのみ設定できます。
"標3"(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

予約内容	1番目(30分)	2番目(60分)	
実際の録画状態	"標準"で 30分録画	"標準"で 15分録画 / "3倍"で 45分録画	60分カセットを使ったとき

- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  ・**VHSメニュー**の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  ・品質の悪いカセットを使ったとき

録画する

見ている番組を録画する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➔27)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➔27)

1 **HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、録画先を選ぶ**

- 本体のランプが点灯します。[(例)HDD]

フォーマット確認画面が表示されたとき(➔右ページ)

2 録画したい放送を選ぶ(詳しくは➔28)

放送/入力 を数回押す

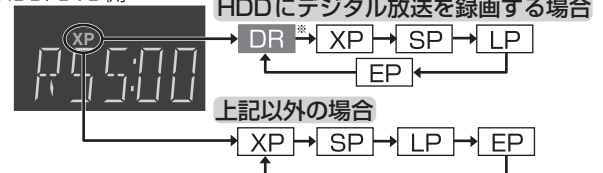
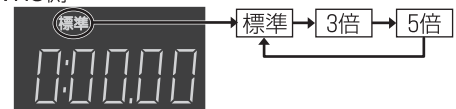
3 録画したいチャンネルを選ぶ(詳しくは➔28)

チャンネル(ふた内部)または 1 ～ 12 などを押す

例)HDD

4 録画モード(➔39)を選ぶ

録画モード を数回押す

- 押すごとに切り換わります。

※「DR」モードは、デジタル放送をHDDに録画するときのみ選択できます。ただし、外部入力をとおしてデジタル放送を録画するときは選択できません。
初期設定「デジタル放送録画モードDR固定」(➔94)が「入」に設定されているときは、自動的に「DR」が選択されます。「XP」～「EP」、「FR」でHDDに録画したいときは、「切」に設定してください。

- デジタル放送を録画するとき(➔15)
- 「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。(記録音声モードの設定〔XP時〕➔94)

5 録画を始める

録画 を押す

例)HDD

- 本体表示窓に経過時間が表示されます。

お知らせ

HDD　RAM　-R(VR)　-R(V)　-RW(V)　+R

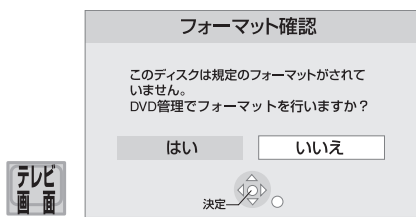
- 両面ディスクは、両面にまたがって録画することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 録画中に同じ放送のチャンネルや録画モードを変えることはできません。(例:地上デジタル放送を録画しているときは、地上デジタル放送の他のチャンネルに変えることはできません)
- 番組表(Gガイド)(➔46)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。
- -R(V)　-RW(V)　+R 他のDVD機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➔86,130)が必要です。
- -R(VR) DVD-R(VR方式)に対応した他のDVD機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➔86,130)が必要になる場合もあります。

VHS

- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。

地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送をVHSに録画することはできません。

フォーマット確認画面が表示されたとき

DVD-RAMまたはDVD-RWを入れたとき

新品のDVD-RW、パソコンや他の機器などで記録したDVD-RAM、またはDVD-RW(DVD-Video方式)を入れたときなどに表示されます。ご使用になる場合は、画面に従ってディスクをフォーマットしてください。ただし記録していた内容はすべて消去されます。

➡ [◀]で「はい」を選び、(決定)を押す
- 引き続き操作が必要です。
  (➜85 "ディスクやカードを初期化する")

残量表示について

HDD、DVDの残量は、本体表示窓では下のように表示されます。

残量(「R」: Remain(リメイン)、「55:00」: 55時間)

- 「DVD」選択時に表示される残量は、本機におけるものです。他のDVD機器では表示が異なることがあります。
- テープ残量を確認するには(➜72)

■録画中に操作先を切り換えて再生・録画する

➡ (HDD/DVD/SD VHS 切換)を押して他の操作先に切り換え、各種操作を行う
- 本機では、HDDまたはHDDとDVDに、アナログ放送の1番組とデジタル放送の1番組(録画モード「DR」で録画)を同時に録画することができます。(➜58)

■録画中に別の放送を見る

デジタル放送を録画中でも、地上アナログ放送や外部入力からの映像を見ることができます。
また、地上アナログ放送を録画中でも、地上デジタル・BS・CS1・CS2放送を見ることができます。(➜28)

■録画中にテレビで別番組を見る

➡ **1** (入力)を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

2 テレビ操作部の(チャンネル)を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

録画を一時停止する/やめる

例)HDDとVHSで録画中に、HDDの録画(地上アナログ放送)を一時停止またはやめる場合

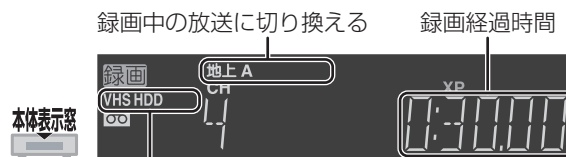
1 操作先を切り換えて再生・録画していた場合

(HDD/DVD/SD VHS 切換)を押して、録画中の操作先を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。[(例)HDD]

2 録画中の放送と異なる放送を見ていた場合

(放送/入力)を数回押して、録画中の放送を選ぶ

- 本体表示窓で録画経過時間の表示が動いてる放送が、現在録画中の放送です。

- 画面に映っている映像が、録画を一時停止したい、またはやめたい映像であるか確認してください。

3 ◆**録画を一時停止する**➡(一時停止)を押す

- 本体表示窓の録画経過時間が止まります。

- もう一度押すと録画を続けます。(録画)を押しても再開できます。(番組は分割されません)
- 録画モード「DR」で録画した場合、一時停止した部分が再生時に一瞬静止画になります。

◆**録画をやめる**➡(停止)を押す

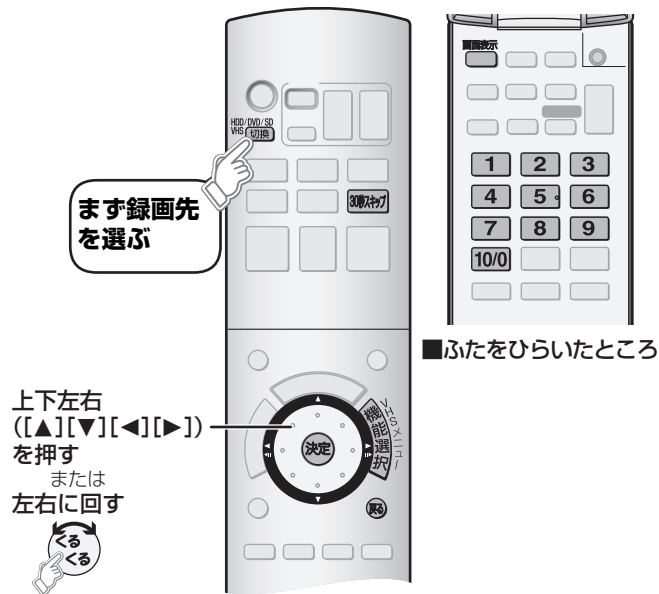
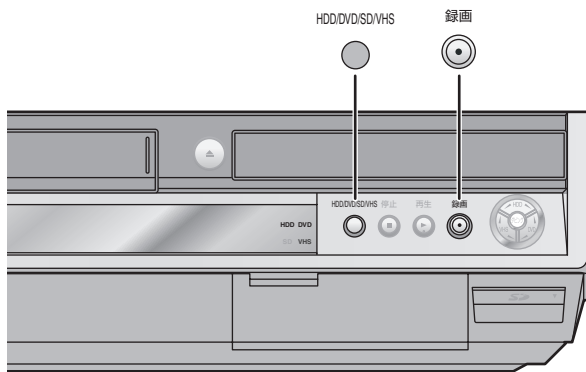
他に録画中の録画先がある場合は、録画は消灯しません

- 本体表示窓で録画をやめた録画先が消灯したことを確認してください。
- 録画開始した位置から停止した位置までを1番組として記録します。
- -R(VR) -R(V) -RW(V) +R 録画停止には約30秒かかります。

録画を一時停止する、またはやめる場合は、(一時停止)または(停止)を押す前に、必ず、録画をやめたい(一時停止したい)操作先に切り換わっていることと、録画中の放送に切り換わっていることを確認してから、ボタンを押してください。

録る

録画する

次ページへつづく

見ている番組を録画する(つづき)

録画の終了時刻を指定する(終了時刻予約録画)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

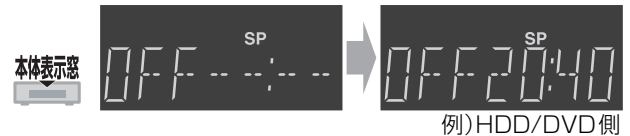
指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

HDD/DVD/SD VHS 切換 で録画中の操作先を選択し、本体の 録画 を押す

押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります。

-- --:-- --(OFF)→30分後 →60分後 →90分後 →120分後

●本体表示窓は下図のように変わります。

例)HDD/DVD側

■解除する

➡ 本体の 録画 を数回押し、録画終了時刻を"-- --:-- --"にする

●終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

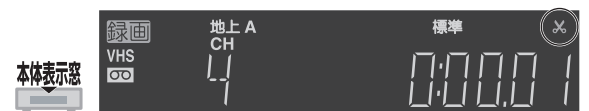
■録画をやめる(➜41)

お知らせ

●リモコンの[**録画●**]では働きません。
●ぴったり録画時(**➜右ページ**)や予約録画中(**➜46～56**)は働きません。
●録画終了時には、自動的に電源は切れません。

CMをとばして録画する(CMカット録画)

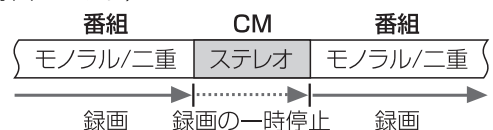
VHS

VHSに録画中、30秒スキップを押して、本体表示窓に"✂"を表示させる

●CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

■解除する ➡ もう一度、30秒スキップ を押す

●"✂"が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

お知らせ

●番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

●次のようなときは、正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき
・CMがモノラル放送または二重放送のとき
(このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)
・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・外部入力チャンネルを録画するとき
●予約録画中は働きません。

ディスクの残量に合わせて録画する
(ぴったり録画)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質(**録画モード ➔39**)で録画できます。

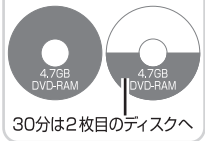
■こんなとき「ぴったり録画」を使うと便利です。

RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

ディスク1枚にぴったり収めたいときや残量が気になるディスクに録画したいとき

例)1時間30分の番組を4.7 GBのDVD-RAMに録画する

XPモードで録画すると、ディスク1枚に収まらない。

30分は2枚目のディスクへ

SPモードで録画すると、空きが生じる。

空き容量30分(SP)

「ぴったり録画」を使うと、ディスク1枚にぴったり収まる。

ぴったり!

HDD

4.7 GBディスクへのダビング時にぴったり収まるようHDDに録画したいとき

ディスクの容量に合わせるために、録画した番組を編集したり、ダビング時に録画モードを変更したりする必要はありません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、録画先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➔22)
- 録画したいチャンネルを選ぶ。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➔27)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➔41)

1 停止中に、 を押す

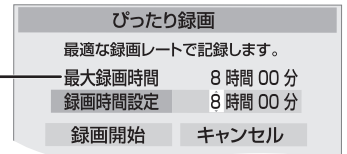
- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

テレビ画面

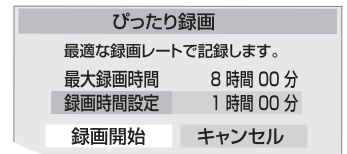
例)DVD-RAM

3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、決定 を押す

最大録画時間
EP(8H)モードで録画した場合の時間です。

4 [◀][▶]で“時間”または“分”を選び、[▲][▼]で録画したい時間を設定する

- [1]～[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

5 [◀][▶]で「録画時間設定」に戻り、[▼][◀]で「録画開始」を選んで、決定 を押す

- 録画が始まります。

- 本体表示窓の録画モードがすべて点灯します。

本体表示窓

■ぴったり録画の画面を消す ➔ 戻る を押す

■録画をやめる(➔41)

■残りの録画時間を確認する

➔ 画面表示 を押す

- 残りの録画時間を表示します。

残り時間

テレビ画面

録る

録画する(つづき)

録画しながら再生する

本機では、録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組を再生することができます。

- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、録画中の操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜22)

録画中の番組を頭から見る(追っかけ再生)

録画を続けながら、番組の先頭から再生します。

録画中に、[再生▶]を押す

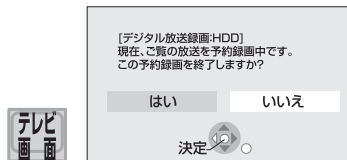
- 早送り(早戻し)中、音声は出ません。

■ **再生をやめる➜ [停止■] を押す**

- もう一度[再生▶]を押すと、停止した位置から再生します。

■ **録画をやめる**

➜ **再生停止後、約2秒以上待って [停止■] を押す**

- 予約録画中のときは、確認画面が出ます。[◀]で「はい」を選び、[決定]を押すと止まります。ただし、予約録画を再開させることはできません。

■ **予約録画をやめる(➜56)**

録画中の番組を戻して見る(タイムワープ)

録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組で、見たい場面を指定して見ることができます。

1 録画中に、[タイムワープ] を押す

- 30秒前に戻って再生を始めます。

- 飛び越し時間表示は、約5秒たつと自動的に消えます。再表示するには、[タイムワープ]をもう一度押します。

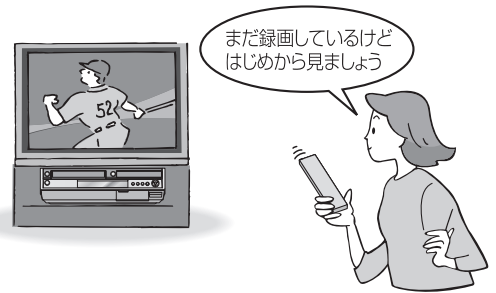
2 飛び越し時間表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、[決定] を押す

- [▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。

■ **再生をやめる➜ [停止■] を押す**

■ **録画をやめる➜ 再生停止後、約2秒以上待って [停止■] を押す**

- 予約録画中のときは、確認画面が出ます。[◀]で「はい」を選び、[決定]を押すと止まります。ただし、予約録画を再開させることはできません。

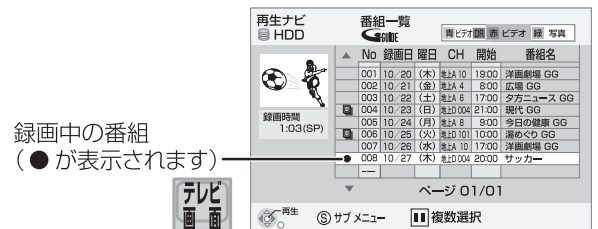
■ **予約録画をやめる(➜56)**

録画中に他の録画済みの番組を見る(同時録画再生)

録画を続けながら、すでに録画してある別番組を再生します。

- 操作先を切り換えて再生することもできます。[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押してください。(➜22)

1 録画中に、[再生ナビ] を押す

- 番組一覧(➜61)が表示されます。

録画中の番組
(● が表示されます)

2 HDD

[青](ビデオDR)または[赤](ビデオ)を押して、ビデオDR一覧またはビデオ一覧に切り換える

- サブメニューを使って切り換えることもできます。(➜61 "他の画像一覧に切り換える")

3 [▲][▼]で再生したい番組を選び、[決定] を押す

- 再生ナビ画面をサムネイル表示(➜61)にしている場合は、[▲][▼][◀][▶]で番組を選びます。

■ **再生をやめる➜ [停止■] を押す**

■ **番組一覧を消す➜ [再生ナビ] を押す**

■ **録画をやめる**

➜ **1** 再生停止後、 を押す

2 (操作先を切り換えて再生していた場合)
[HDD/DVD/SD/VHS切換] **を押して、録画中の操作先を選ぶ**

3 [停止■] を押す

- 予約録画中のときは、確認画面が出ます。[◀]で「はい」を選び、[決定]を押すと止まります。ただし、予約録画を再開させることはできません。

■ **予約録画をやめる(➜56)**

お知らせ

- デジタル放送を「XP」〜「EP」、「FR」で録画しているときは、録画モード「DR」で録画した番組は再生できません。
- HDDとDVDで2番組同時に録画しているとき(➜58)は、再生できません。

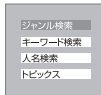
予約録画する

予約録画について

1カ月以内の番組を予約できます。

予約可能な番組数
HDD/DVD　:32番組(HDDとDVDの合計)
VHS　:16番組
[毎週/毎日予約(➜ 右記)は1番組として数えます]

4とおりの予約方法があります

番組表予約(➜46)	番組表(Gガイド)の検索を使って予約(➜48)
Gコード予約(➜50)	タイマー予約(➜52) 録画日、録画時間などを手動で設定する予約方法です。

●本機では、HDD/DVDに、同一時間帯のデジタル放送とアナログ放送を1番組ずつ同時に録画することができます。(➜58) さらに、VHSへもアナログ放送を同時に録画でき、同一時間帯の録画が最大3番組まで可能です。

地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送をVHSに予約録画することはできません。

リリーフ(代替)録画

以下のような場合、録画先が"DVD"の予約番組は、自動的に録画先を"HDD"に変更して録画されます。

●ディスク残量が足りない場合(トレイにディスクがない場合や録画できないディスクが入っている場合も含む)
●高速ダビング中に予約録画が実行された場合
●CPRM非対応のDVD-RAMまたはDVD-R(VR方式)、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rを入れて、デジタル放送を予約録画した場合
●リリーフ録画された番組には、HDDの番組一覧(➜61)で" "が表示されます。(デジタル放送を録画した場合、表示されないこともあります)
●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
●**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(➜94)が「入」のとき、デジタル放送は録画モード"DR"で録画されます。

毎週/毎日予約と自動更新(オートリニューアル)録画

連続ドラマなどを予約登録するとき、**毎週/毎日予約を設定**すると、次回からの放送を自動的に録画することができます。このとき、次回放送分を前回放送分に自動的に上書きする設定が、**自動更新(オートリニューアル)録画**です。
いずれも予約内容の修正が必要になります。
自動更新(オートリニューアル)録画は、HDDに毎週/毎日予約したときのみ、設定できます。(➜51)

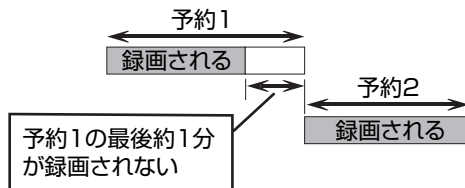
例)連続ドラマを毎週予約しておくと…
第二回、三回と、自動的に録画されていきます。

さらに自動更新(オートリニューアル)録画を設定しておくと…
常に最新のドラマだけが残り、その都度前回の録画番組を消去する手間が省けるとともに、HDDの容量を効率よく使えます。

第二回録画時に第一回に上書きします　第三回録画時に第二回に上書きします

お知らせ

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

●録画する番組が連続している場合、前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じときは、前の番組の終わりが約1分間録画されません。

●HDD/DVD側、またはVHS側で予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。ただしデジタル放送(録画モード"DR")とアナログ放送の予約が重なっている場合は、両方録画できます。

番組表(Gガイド)を使って予約録画する

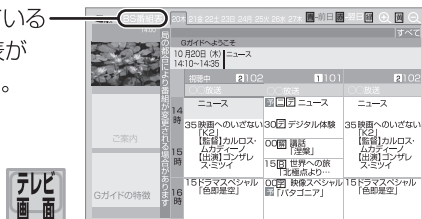
HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

予約したい番組を、番組表(Gガイド)から選ぶだけで予約できます。

番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表(Gガイド)のデータを受信する必要があります。**詳しくは、別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧ください。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
  (接続・設定編 P.49)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。
  (➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜41)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜27)

1 [番組表] を押す

現在選ばれている放送の番組表が表示されます。

- 操作先が「VHS」のときに[番組表]を押した場合は、画面がHDD/DVD/SD側に切り換わり、HDD/DVD/SD側で受信している放送の番組表(Gガイド)が表示されます。

別の放送の番組表(Gガイド)を見るには
[放送/入力]を押す
- 押すごとに、番組表(Gガイド)が切り換わります。

番組表(Gガイド)の見かた(➜31)

2 [▲][▼][◀][▶]で予約したい番組を選び、[決定]を押す

残量
録画先が“DVD”で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画➜45]

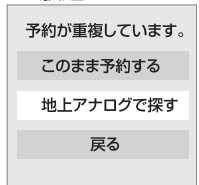
アイコン
(詳しくは➜126)

3 「番組予約へ」が選ばれている状態で、[決定]を押す

- 予約内容を確認し、必要なときは各種項目を設定してください。

各種項目を設定するには
(➜右ページ“予約内容の設定”へ)

右の画面が表示されたときは
HDD/DVD側で、地上アナログ放送の番組、または地上デジタル放送の番組の予約時間が重なっています。
(➜右ページ“HDD/DVD側で予約が重複しているとき”へ)

例)地上デジタル放送のとき

4 [▲][▼]で「予約を登録する」を選び、[決定]を押す

- 予約した番組に“予”が表示されます。(「タイマー予約へ」で登録した場合や毎週予約を設定した場合、“予”は表示されません)

予約録画の待機状態になります。(本体表示窓の“◷”が点灯)
- 予約録画待機中でも、以下の録画・再生をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
  ・HDD/DVD側が予約待機中のとき:
  HDD/DVDの録画・再生およびVHSの録画または再生
  ・VHS側が予約待機中のとき:HDD/DVDの録画・再生

- 続けて予約する場合は手順**2**へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

5 他の再生・録画などをしないときは、電源を切る

を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。

予約内容の設定

◆**毎週予約を設定する**

[▲][▼]で「毎週予約」を選び、[◀][▶]で設定する

●[◀][▶]を押すごとに、録画予定日を変更できます。

録画する曜日によって表示内容は変わります。

◆**録画先を変更する**

[▲][▼]で「録画先」を選び、[◀][▶]で設定する

●地上デジタル·BSデジタル·110度CSデジタル放送の場合は、「VHS」は選べません。HDDまたはDVDに録画してください。

◆**録画モードを変更する**

[▲][▼]で「録画モード」を選び、[◀][▶]で設定する

●録画モードについて(➜39)

●デジタル放送をHDDに録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(➜94)が「入」の場合、"DR"に固定されます。"XP"～"EP"、"FR"で録画したい場合は「切」に設定してください。

◆ (地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

番組の時間変更に合わせて予約時間も自動で変更したいとき(番組追従の情報を持っている番組のみ)

[▲][▼]で「番組追従」を選び、[◀][▶]で「する」を選ぶ

●番組追従について(➜57)

◆ (地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

映像信号や音声信号などを切り換えるときや、番組の追加購入が必要なとき

1 [▲][▼]で「信号設定」を選び、決定 を押す

テレビ画面

2 [▲][▼]で変更する項目を選び、[◀][▶]で設定する

●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。

●選べる設定項目は番組によって変わります。1つしかない場合は、切り替えられません。

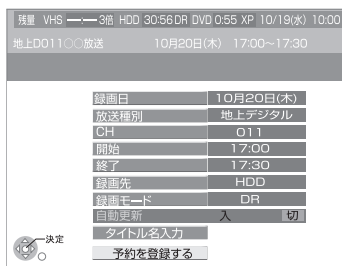
●マルチビュー放送では、1つの放送の中に複数の映像があります。ただし、2005年9月現在、マルチビュー対応の放送は、行われておりません。

●録画モードを"XP"～"EP"、"FR"にして録画する場合、複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画したあと、再生中に映像·音声や字幕の入/切の切り換えを行うことはできません。録画する前に設定項目を選択してください。(番組によっては、設定が無効になる場合があります)

◆**録画時間や番組名の変更などをする**

[▲][▼]で「タイマー予約へ」を選び、決定 を押す

●右の画面が表示されます。[▲][▼]で変更したい項目を選び、[◀][▶]で設定してください。

[詳しくは➜51"予約内容の設定(HDD/DVD側の予約内容を変更する)"]

HDD/DVD側で予約が重複しているとき

重複したまま予約するには

[▲][▼]で"このまま予約する"を選び、を押す

●録画は、開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

地上アナログ放送(または地上デジタル放送)で、同じ内容の番組を探して予約するには

[▲][▼]で"地上アナログで探す"または"地上デジタルで探す"を選び、決定 を押す

●地上アナログ放送(または地上デジタル放送)の番組表(Gガイド)が表示されます。**(➜ 左ページ手順*2*へ)**

●地上デジタル放送と地上アナログ放送で、同時間帯に同じ内容の番組が放送されている場合があります。デジタル放送の予約(録画モード"DR"で録画)とアナログ放送の予約は重複しても、2番組を同時に録画できるので、他方の放送に切り換えて、同じ内容の番組を探してください。**(➜58)**

■**前の画面に戻る➜ 戻る を押す**

■**番組表(Gガイド)を消す➜ 番組表 を押す**

■**予約録画を途中でやめる(➜56)**

■**番組表から予約を取り消す**

➜ **1** [▲][▼][◀][▶]で取り消したい番組("予"が表示されている番組)を選び、決定 を押す

2 [▶]で「予約取り消し」を選び、決定 を押す

お知らせ

●HDDまたはDVDで予約録画中の番組は、取り消しできません。

●VHSが予約録画中のときは、VHSの予約の取り消しはできません。

■**番組表から予約を修正する**

➜ **1** [▲][▼][◀][▶]で予約内容の修正をしたい番組("予"が表示されている番組)を選び、決定 を押す

2 「予約修正」が選ばれている状態で、決定 を押す

3 [▲][▼]で修正したい項目を選び、[◀][▶]で予約内容を修正する(詳しくは➜左記)

4 [▲][▼]で「修正を反映する」を選び、決定 を押す

■**予約一覧画面から予約内容を確認する·取り消す·修正する(➜54)**

■**暗証番号に関する表示が出たとき**

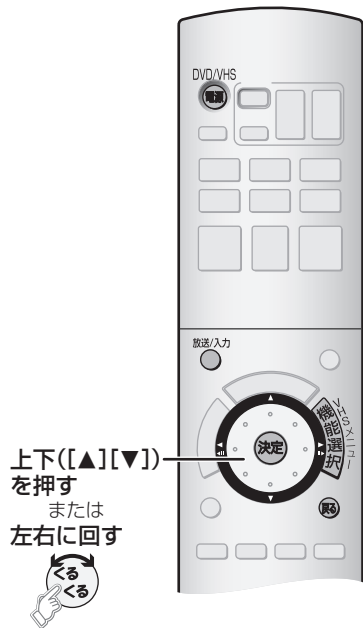
視聴制限のある番組を録画するには暗証番号の入力が必要です。視聴制限のない番組は入力の必要はありません。

●番組の視聴制限(➜34)を登録していない場合

➜ 暗証番号登録画面になります。画面の指示に従ってください。(登録すると"無制限"になります)(暗証番号は視聴制限を変更するときに必要です。忘れないでください)

●視聴可能年齢に制限をかけている場合(➜34)

➜ 34ページで設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

次ページへつづく

番組表(Gガイド)を使って予約録画する(つづき)

お知らせ

- 本体表示窓の"⌚"が消灯した状態では、予約録画は始まりません。
- 番組表予約では、HDDまたはDVDと、VHSで同じ番組を予約することはできません。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。
  (予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)
- 番組予約画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。選んでいる録画モードで計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)
- 番組予約画面で「予約を登録する」が選べないときは、設定が間違っています。もう一度設定を確認してください。
- 編集中は、HDD/DVDへの予約録画は実行されません。
- HDD、DVD間でダビング中でも、以下の場合は予約録画が可能です。
  - ・高速ダビングのとき、HDD/DVDへの予約録画(1倍速でのダビング中は、予約録画できません)
  - ・VHSへの予約録画
- VHSの再生·録画中は、VHSへの予約録画はできません。
- HDDとDVDで合わせて32番組予約されているときは、録画先が「VHS」しか選べません。また、地上デジタル·BSデジタル·110度CSデジタル放送は録画できません。
- VHSに16番組予約されているときは、録画先が「HDD」または「DVD」しか選べません。
- HDDとDVD合わせて32番組、VHSで16番組がすでに予約されているときは、テレビ画面に"予約がいっぱいです。予約を取り消してからやり直してください。"と表示されます。不要な予約を取り消してください。(➜54)

番組表(Gガイド)の検索を使って予約録画する

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** **+R** **VHS**

「ジャンル」や「キーワード」などから、録画したい番組を検索して予約録画をすることができます。

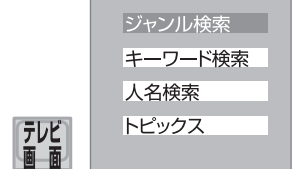
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
  (接続・設定編 P.49)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。
  (➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜41)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜27)

1 停止中に、機能選択を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「番組表の検索」を選び、決定を押す

テレビ画面

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索
トピックス

- 「トピックス」から予約録画はできません。

3 [▲][▼]で検索の方法を選び、決定を押す

(➜右ページ"検索方法ごとの項目例")

例)ジャンル検索を選んだ場合の最初の画面

4 [▲][▼]で検索したい項目を選び、決定を押す

[放送/入力]を押すと、検索する放送を切り換えることができます。

- この操作を繰り返し、検索項目を絞り込みます。

5 [▲][▼]で予約したい番組を選び、決定を押す

6 「番組予約へ」が選ばれている状態で、決定を押す

●予約内容を確認し、必要なときは各種項目を設定してください。

各種項目を設定するには(➜47 "予約内容の設定"へ)

7 [▲][▼]で「予約を登録する」を選び、決定を押す

予約録画の待機状態になります。(本体表示窓の"◷"が点灯)

●予約録画待機中でも、以下の録画・再生をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
・HDD/DVD側が予約待機中のとき:
HDD/DVDの録画・再生およびVHSの録画または再生
・VHS側が予約待機中のとき:HDD/DVDの録画・再生

●続けて予約する場合は手順1へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

8 他の再生・録画などをしないときは、電源を切る

を押す

●電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。

■画面を消す➜ 戻る を数回押す

■予約録画を途中でやめる(➜56)

■予約内容を確認する・取り消す・修正する(➜54)

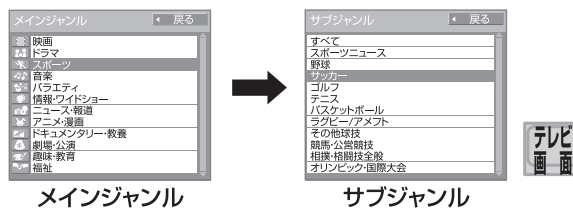
お知らせ

●本体表示窓の"◷"が消灯した状態では、予約録画は始まりません。
●電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。
(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)
●番組予約画面で「予約を登録する」が選べないときは、設定が間違っています。もう一度設定を確認してください。
●編集中は、HDD/DVDへの予約録画は実行されません。
●HDD、DVD間でダビング中でも、以下の場合は予約録画が可能です。
・高速ダビングのとき、HDD/DVDへの予約録画(1倍速でのダビング中は、予約録画できません)
・VHSへの予約録画
●VHSの再生・録画中は、VHSへの予約録画はできません。
●HDDとDVDで合わせて32番組予約されているときは、録画先が「VHS」しか選べません。また、地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送は録画できません。
●VHSに16番組予約されているときは、録画先が「HDD」または「DVD」しか選べません。
●HDDとDVD合わせて32番組、VHSで16番組がすでに予約されているときは、テレビ画面に"予約がいっぱいです。予約を取り消してからやり直してください。"と表示されます。不要な予約を取り消してください。(➜54)

検索方法ごとの項目例

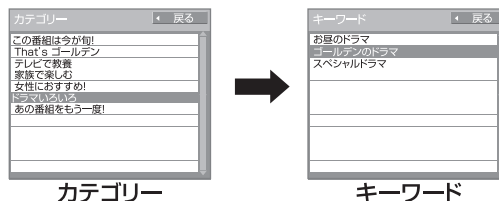
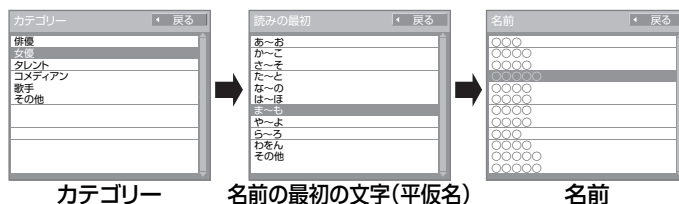
表示される項目は一定ではありません。

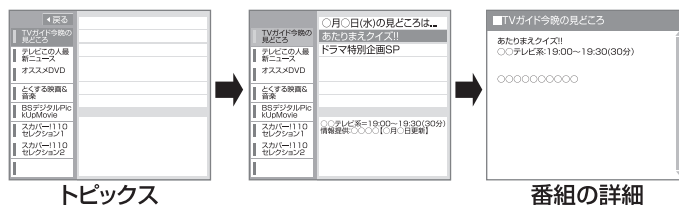
■ジャンル検索(例:サッカーを選ぶ場合)

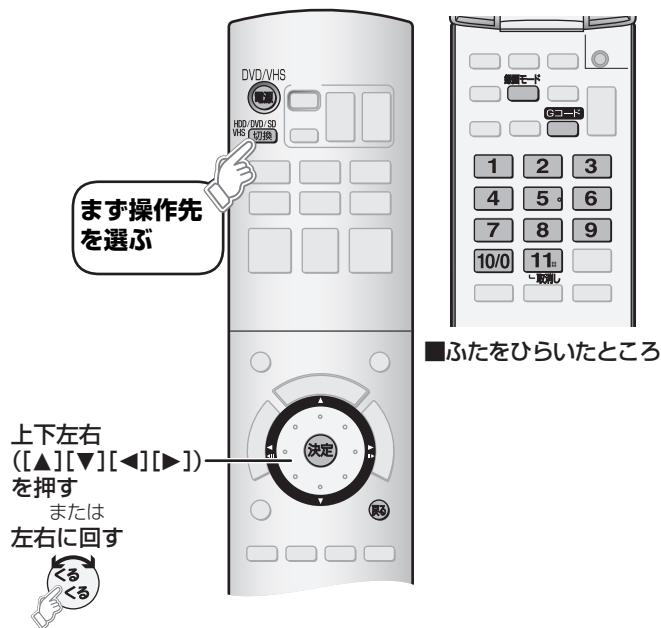
メインジャンル　サブジャンル

■キーワード検索(例:ゴールデンのドラマを選ぶ場合)

カテゴリー　キーワード

■人名検索(例:○○○○○を選ぶ場合)

カテゴリー　名前の最初の文字(平仮名)　名前

■トピックス(例:○月○日の見どころを選ぶ場合)

トピックス　番組の詳細

お知らせ

●検索結果は、各放送の番組表(Gガイド)データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

◇◇ Gコード®を使って予約録画する ◇◇

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

Gコード®(➜左記)を入力するだけで地上アナログ放送の番組が予約できます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して操作先を選ぶ。(➜22)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(接続・設定編 P.49)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜41)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜27)

1 Gコード を押す

- Gコード入力画面が表示されます。

HDD/DVDの入力画面

VHSの入力画面

2 Gコード®を入力する

1 ～ 10/0 を押す

7 8 8 6 4 – – –

例)HDD/DVDの入力画面

Gコード®を間違えたときは
[◀]または[取消し/11 #]を押して、再度入力する

3 決定 を押す

HDD/DVDの予約確認画面

- 最初は、録画先が「HDD」になっています。

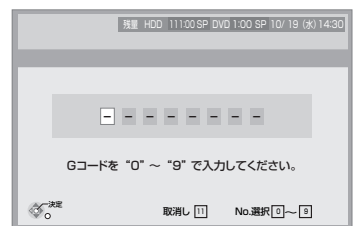
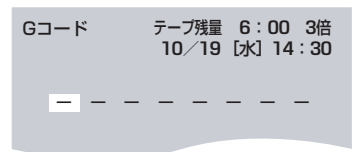
残量
録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画➜45]

VHSの予約確認画面

残量

タイマー予約	テープ残量 6：00 3倍 10／19 [水] 14：30			
録画日	CH	開始	終了	CM
23 [日]	6	17：00	17：30	3倍

- 予約内容を確認し、必要なときは各種項目を設定してください。

各種項目を設定するには
(➜右ページ"予約内容の設定"へ)

はじめに

Gコード®とは
テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。
(最大8けた)

00 夜のワイドショー
▽私の結婚観 中渡晶子
▽あの有名選手に迫る
スティーブ・グラフ 78864
55 N天 20668

■予約を正しく行うために
- 別冊の取扱説明書 接続·設定編をご覧になり、ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

〇〇 お知らせ 〇〇
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

4 ◆HDD/DVD側で録画するとき
[▲][▼]で「予約を登録する」を選び、(決定)を押す

●予約一覧画面が表示されます。

「可」が表示されていないときは、ディスクの残量などを確認してください。

◆VHS側で録画するとき
(決定)を押す

●予約一覧画面が表示されます。

録画日	CH	開 始	終 了	CM
23［日］	6	17：00	17：30	3倍
		新規予約		

予約録画の待機状態になります。（本体表示窓の“⏲”が点灯）

●予約録画待機中でも、以下の録画・再生をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
・HDD/DVD側が予約待機中のとき：
HDD/DVDの録画・再生およびVHSの録画または再生
・VHS側が予約待機中のとき：HDD/DVDの録画・再生

●続けて予約する場合は手順*1*へ戻ります。（予約待機状態でも予約できます）

5 他の再生・録画などをしないときは、電源を切る

を押す

●電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。

■**画面を消す➡(戻る)を数回押す**

■**予約録画を途中でやめる**（➜56）

■**予約内容を確認する・取り消す・修正する**（➜54）

■**予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき**

●番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することができません。
● VHS 予約録画中に終了時刻を延長することはできます。
（予約延長➜55）

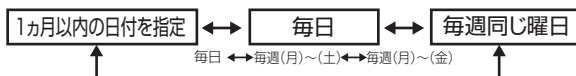
お知らせ

●本体表示窓の“⏲”が消灯した状態では、予約録画は始まりません。
●電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。（予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません）
●予約設定画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。選んでいる録画モードで計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。（ VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません）
●HDD/DVD側の予約設定画面で「予約を登録する」が選べないときは、設定が間違っています。もう一度設定を確認してください。
● VHS テレビ画面に“予約内容にミスがあります”と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
●本体表示窓に“PROG FULL”と表示されたときや、テレビ画面に“予約がいっぱいで登録できません”と表示されたときは、HDD/DVD側にすでに32番組、またはVHS側に16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。（➜54）
●編集中は、HDD/DVDへの予約録画は実行されません。
●HDD、DVD間でダビング中でも、以下の場合は予約録画が可能です。
・高速ダビングのとき、HDD/DVDへの予約録画（1倍速でのダビング中は、予約録画できません）
・VHSへの予約録画

予約内容の設定

◆HDD/DVD側の予約内容を変更する

録画を毎週/毎日予約するには

[▲][▼]で「録画日」を選び、[◀][▶]を押すごとに、

録画先を変更するには

[▲][▼]で「録画先」を選び、[◀][▶]で設定する

●「VHS」は選べません。
ただし、番組表予約（➜46）から「タイマー予約へ」を選んだ場合は、「VHS」も選べます。

録画モードを変更するには

[▲][▼]で「録画モード」を選び、[◀][▶]で設定する

●録画モードについて（➜39）
●デジタル放送をHDDに録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」（➜94）が「入」の場合、“DR”に固定されます。“XP”～“EP”、“FR”で録画したい場合は「切」に設定してください。

予約録画する番組を自動更新（オートリニューアル）するには

HDD （「毎週」、「毎日」予約の場合のみ）（➜45）
[▲][▼]で「自動更新」を選び、[◀][▶]で「入」に設定する

「毎週予約」か「毎日予約」で同じ番組を録画する場合、前回録画した番組に上書きして録画するよう設定することができます。
●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は上書きされません。（別番組として録画され、次回からそれが更新されます）
●番組が更新されると、元の番組から作られたプレイリスト（➜78）も消去されます。
●HDDの残量が少ないと番組の最後まで上書きされないことがあります。

予約する番組の「番組名入力」をするには

[▲][▼]で「タイトル名入力」を選び、(決定)を押す

●文字入力について（➜87）
●入力しなくても、番組表（Gガイド）に放送内容がある番組を録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。
● VHS VHSで録画する場合は、番組名は付きません。

「CH」の項目が「G－－」になっているとき

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。
「CH」が選ばれている状態で、[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせる

●予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。
（ 接続・設定編 P.37 ）

◆VHS側の予約内容を変更する

録画日を毎週/毎日予約するには

[◀][▶]で“録画日”を選び、[▲][▼]を押すごとに、

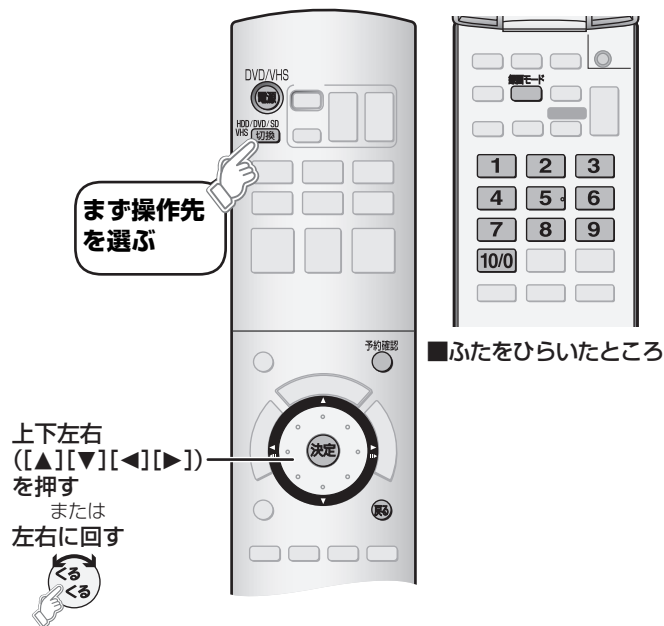
録画モードを変更するには

[◀][▶]で“録画モード”を選び、[▲][▼]で設定する

●[録画モード]を数回押しても選べます。
●録画モード、“標準3倍”について（➜39）

“CH”の項目が「G－－」（点滅）になっているとき

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。
“CH”が選ばれている状態で、[▲][▼]で予約したいチャンネルに合わせる

●予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。
（ 接続・設定編 P.37 ）

日時を指定して予約録画する

(タイマー予約)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して操作先を選ぶ。(➜22)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(接続・設定編 P.49)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜41)
- VHS に録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜27)

1 予約確認 を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

HDD/DVDの予約一覧画面

VHSの予約一覧画面

録画日	CH	開始	終了	CM
		新規予約		

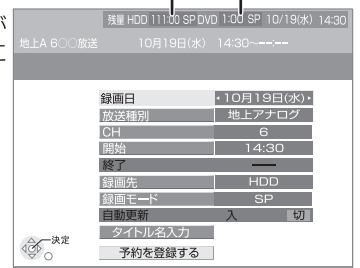
2 「新規予約」が選ばれている状態で、決定を押す

HDD/DVDの新規予約画面

残量
録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画➜45]

VHSの新規予約画面

タイマー予約 テープ残量 6 : 00 標準
10／19 [水] 14 : 30

録画日	CH	開始	終了	CM
--	[-] --	--:--	--:--	--

3 予約内容を設定する

◆**HDD/DVD側で録画するとき**

[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する

(➔51 "予約内容の設定"へ)

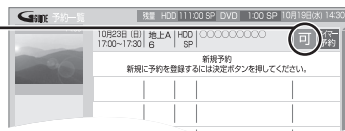
- 時刻(「開始」・「終了」)は、[◀][▶]を押し続けると15分単位で変わります。
- 録画モードについて(➔39)
- 「CH」は、[1]〜[10/0]でも選べます。
- 時刻(「開始」・「終了」)は、[決定]を押すと、[1]〜[10/0]でも選べます。

◆**VHS側で録画するとき**

[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定する

(➔51 "予約内容の設定"へ)

- 時刻は、[▲][▼]を押し続けると30分単位で変わります。
- 録画モードの項目は[録画モード]でも選べます。
- 録画モードについて(➔39)

4 ◆**HDD/DVD側で録画するとき**

[▲][▼]で「予約を登録する」を選び、決定を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

「可」が表示されていないときは、ディスクの残量などを確認してください。

◆**VHS側で録画するとき**

決定を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

録画日	CH	開始	終了	CM
23 [日]	6	17：00	17：30	3倍
新規予約				

予約録画の待機状態になります。(本体表示窓の"◷"が点灯)

- 予約録画待機中でも、以下の録画・再生をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
  - ・HDD/DVD側が予約待機中のとき：HDD/DVDの録画・再生およびVHSの録画または再生
  - ・VHS側が予約待機中のとき：HDD/DVDの録画・再生

- 続けて予約する場合は手順*2*へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

5 他の再生・録画などをしないときは、電源を切る

DVD/VHS 電源を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。

■**画面を消す➡ 戻る を数回押す**

■**予約録画を途中でやめる(➔56)**

■**予約内容を確認する・取り消す・修正する(➔54)**

■**暗証番号に関する表示が出たとき**

視聴制限のある番組を録画するには暗証番号の入力が必要です。視聴制限のない番組は入力の必要はありません。

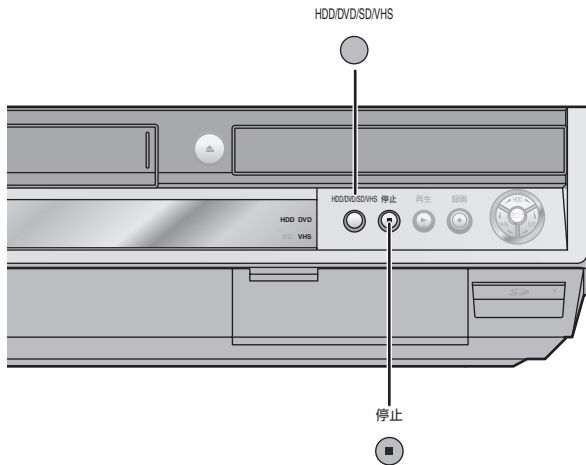
- **番組の視聴制限(➔34)を登録していない場合**

➡ 暗証番号登録画面になります。画面の指示に従ってください。(登録すると"無制限"になります)(暗証番号は視聴制限を変更するときに必要です。忘れないでください)

- **視聴可能年齢に制限をかけている場合(➔34)**

➡ 34ページで設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

お知らせ

- 本体表示窓の"◷"が消灯した状態では、予約録画は始まりません。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)
- 予約設定画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。選んでいる録画モードで計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)
- HDD/DVD側の予約設定画面で「予約を登録する」が選べないときは、設定が間違っています。もう一度設定を確認してください。
- VHS テレビ画面に"予約内容にミスがあります"と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- 本体表示窓に"PROG FULL"と表示されたときは、HDD/DVD側にすでに32番組、またはVHS側に16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(➔54)
- 編集中は、HDD/DVDへの予約録画は実行されません。
- HDD、DVD間でダビング中でも、以下の場合は予約録画が可能です。
  - ・高速ダビングのとき、HDD/DVDへの予約録画(1倍速でのダビング中は、予約録画できません)
  - ・VHSへの予約録画

■ふたをひらいたところ

◇◇ 予約内容を確認する・取り消す・修正する ◇◇

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

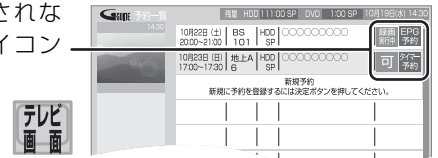
準備
- ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- ●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して予約を設定している操作先を選ぶ。(➜22)

1 予約確認 を押す

●予約一覧画面が表示されます。

HDD/DVDの予約一覧画面

予約状況や実行されなかった予約のアイコンを表示(➜126)

テレビ画面

お知らせ

- ●予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。実行後、次の予約で重複していない部分がある場合、別の番組として録画されます。(「重複」アイコンが表示されます)
- ●録画禁止番組に続く番組を予約録画した場合、「コピー×中断」アイコンが表示される場合があります。

VHSの予約一覧画面

録画日	CH	開 始	終 了	CM
23 [日]	6	17:00	17:30	3倍
22 [土]	4	20:00	21:30	3倍
新規予約				

2 取り消し/修正したい予約内容を選ぶ

[▲][▼]で選ぶ

●本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。(➜右ページ)

3 ◆取り消すとき➡ 11(取消し) を押す

- ●予約が取り消されます。
- ●HDD/DVDの予約一覧画面の場合、[決定]を押して[◀][▶]で「取り消し」を選び、[決定]を押しても、予約の取り消しができます。

◆修正するとき

HDD/DVD側の場合:

➡ 決定 を押して「修正」が選ばれている状態で、 を押す(➜手順4へ)

VHS側の場合:➡ 決定 を押す(➜手順4へ)

はじめに

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。
また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。
電源が入っている状態で、操作先を確認のうえ、操作してください。

お知らせ

- ●HDDまたはDVDで予約録画中の番組は、録画モードが“FR”以外なら予約終了時刻の変更ができます。
  ただし、番組表(Gガイド)を使って予約した番組は(予約一覧画面で「EPG予約」アイコンが表示されています)、修正することはできません。
- ●実行できなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から自動的に消去されます。

4 予約内容を修正する

◆HDD/DVD側の場合

1 [▲][▼]で修正したい項目を選び、[◀][▶]で予約内容を修正する

●デジタル放送をHDDに録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(➜94)が「入」の場合、"DR"に固定されます。"XP"~"EP"、"FR"で録画したい場合は「切」に設定してください。

2 [▲][▼]で「修正を反映する」を選び、[決定]を押す

◆VHS側の場合

1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[▲][▼]で予約内容を修正する

タイマー予約	テープ残量 6:00 3倍 10/19 [水] 14:30
録画日 CH 開 始 終 了 CM	
23 [日] 6 17:00 18:00 3倍	

2 [決定]を押す

■**前の画面に戻る**➡ (戻る) を押す

■**画面を消す**➡ (戻る) を数回押す
(VHS 約1分そのままにしたときは、[戻る]を押さなくても消えます)

本体表示窓での予約内容表示について

本体表示窓では、予約内容は下のように表示されます。
「新規予約」が選ばれているときは、チャンネル・日付・時刻が"ーー"で表示されます。

[(例)HDD/DVD側の予約内容]

予約チャンネル・予約日・録画モード

◇◇予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)◇◇

VHS

準備 ●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して「VHS」を選ぶ。(➜22)

予約録画中に、を押す

押すごとに延長される時間が変わります

+15分→+30分→+45分→+1時間→+1時間30分→+2時間→延長しない

◯◯お知らせ◯◯
●終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
●予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。
●予約録画の待機状態からは延長できません。

◇◇予約待機を解除する◇◇

予約録画の待機中に他の操作をしたいとき、予約録画の解除が必要な場合があります。電源が入っている状態で、操作先を確認のうえ、操作してください。

準備 ●[DVD/VHS電源]を押して、本機の電源を入れる。
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して予約を設定している操作先を選ぶ。(➜22)

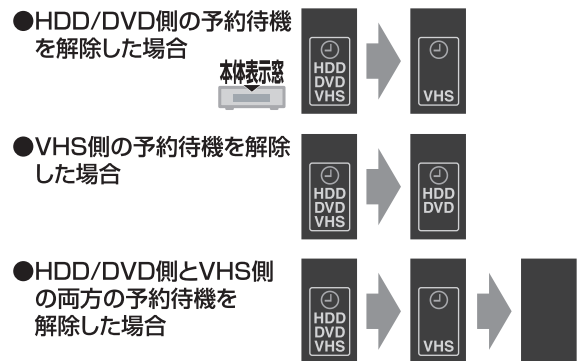
予約待機中に、を押す

●本体表示窓の"HDD" "DVD"、または "VHS"が消えます。HDD/DVD側とVHS側の両方の予約待機を解除したとき、"◷"が消えます。

例)HDD/DVD側とVHS側の両方が予約待機中に…

●HDD/DVD側の予約待機を解除した場合

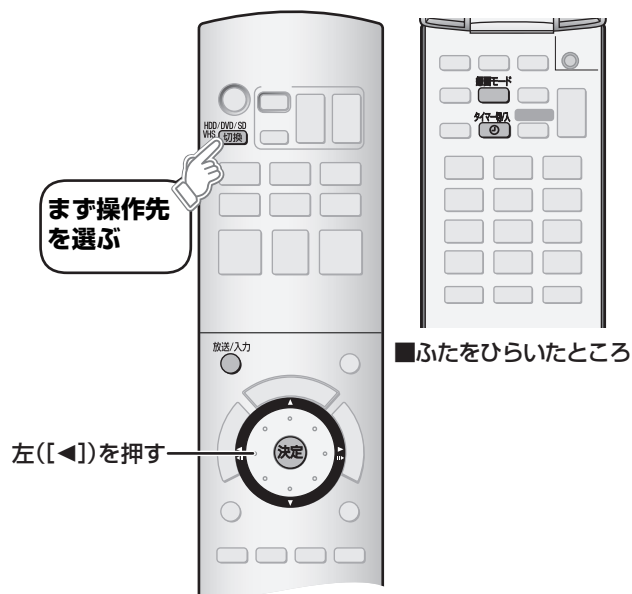
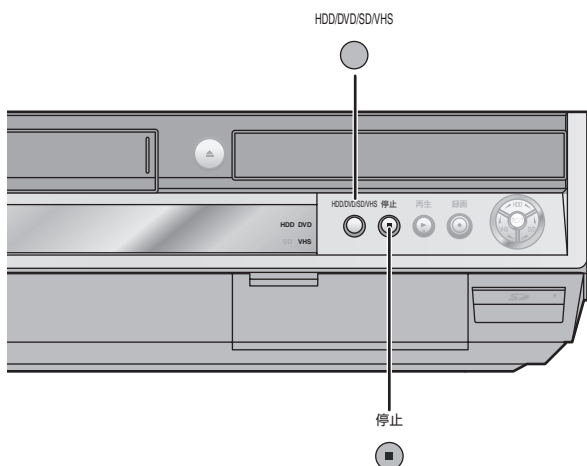
●VHS側の予約待機を解除した場合

●HDD/DVD側とVHS側の両方の予約待機を解除した場合

●本体表示窓で予約待機を解除した操作先("HDD" "DVD"、または"VHS")が消灯したことを確認してください。
●もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。(本体表示窓の"◷"と"HDD" "DVD"、または"◷"と"VHS"が表示)

予約待機を解除する場合は (タイマー切/入) を押す前に、必ず、予約待機を解除したい操作先に切り換わっていることを確認してから、(タイマー切/入) を押してください。

◯◯お知らせ◯◯
●予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
●予約録画中に行うと、予約録画が止まります。
●予約録画中の操作先を選択中、本体の[停止■]を約3秒以上押しても、予約録画の待機状態を解除することができます。

録る

予約録画する(つづき)

予約録画を途中でやめる

1 操作先を切り換えて再生・録画していた場合

[HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して、予約録画中の操作先を選ぶ

●本体のランプが点灯します。[(例)HDD]

2 予約録画をやめる

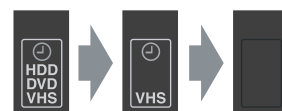
[タイマー切/入]を押す

●本体表示窓の"HDD" "DVD"、または"VHS"が消えます。HDD/DVD側とVHS側の両方の予約録画をやめたとき、"⊖"が消えます。

例)HDD/DVD側とVHS側の両方が予約録画中に…

●HDD/DVD側の予約録画をやめた場合

●VHS側の予約録画をやめた場合

●HDD/DVD側とVHS側の両方の予約録画をやめた場合

●本体表示窓で予約録画をやめた操作先("HDD" "DVD"、または"VHS")が消灯したことを確認してください。

予約録画をやめる場合は[タイマー切/入]を押す前に、必ず、予約録画をやめたい操作先に切り換わっていることを確認してから、[タイマー切/入]を押してください。

お知らせ

- HDDとDVDで2番組同時に録画しているとき(➜58)は、**[タイマー切/入⊖]**を押すと、両方の録画が止まります。
- 予約録画中の操作先を選択中、本体の**[停止■]**を約3秒以上押しても止まります。
- 操作先が「HDD」または「DVD」の場合、**[停止■]**を押すと確認画面が表示されます。**[◀]**で「はい」を選び、**[決定]**を押しても止まります。(録画中と異なる放送を見ている場合は、**[停止■]**を押す前に、**[放送/入力]**を押して、録画中の放送に切り換えてください)
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度**[タイマー切/入⊖]**を押すと予約録画が再開されます。(**[停止■]**を押して、確認画面から録画をやめた場合は、予約時間内でも予約録画は再開されません)

予約録画の便利な機能

番組追従機能

地上デジタル BS デジタル CS デジタル

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

本機では、野球中継の延長などで番組の時間が変更された場合、変更された放送時間に合わせて、自動的に予約時間を変更させることができます。

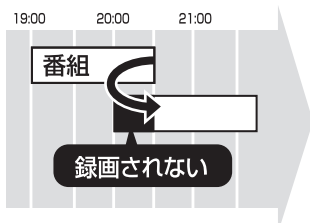
この機能は、デジタル放送で番組追従の情報を持っている番組にのみ、働きます。アナログ放送の野球延長機能には対応していません

番組追従機能は…
- 3時間の変更まで対応します。
- 野球中継などで、延長部分が他のチャンネルで放送される場合にも対応します。(ただし、番組は分割されます)
- 「毎週予約」(**➜47 "毎週予約を設定する"**)の場合や、「タイマー予約へ」(**➜47 "録画時間や番組名の変更などをする"**)で予約した場合は、番組追従は働きません。また番組表に"予"が表示されません。

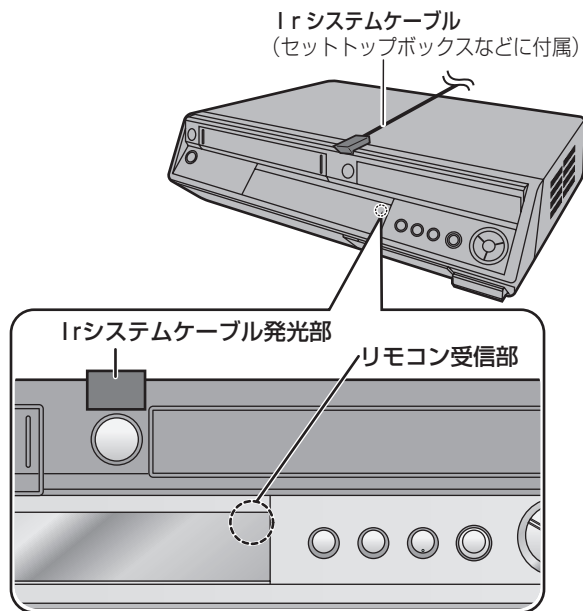
■予約番組が番組追従されるかどうか確認する

➡ 予約一覧画面で確認してください。番組追従機能の対象番組には、「変更可」アイコンまたは「検索中」アイコンが表示されます。(**➜54,127**)

■番組追従機能によって予約の重複が起こった場合

➡ 変更後の録画時間で録画の優先順位を決めます。
- 開始時刻の早い番組が録画されます。録画終了後、次の予約で重複していない部分がある場合、別の番組として録画されます。

Ir システムを使って録画する

本機は、Irシステム(**➜132**)を搭載した当社製のCATV用セットトップボックスやテレビなどに対応しています。Irシステムを利用するとセットトップボックスなどからの予約録画の信号を、本機のリモコン受信部に送信して、予約録画(連動予約またはタイマー予約)を行うことができます。

Irシステムケーブルの設置例

1 本機の外部入力端子(L1～L3)とセットトップボックスなどの出力端子を接続し、Irシステムケーブルを接続する(**➜上記**)

2 セットトップボックス側で、Irシステムの設定を行う

3 セットトップボックス側で、予約の設定を行う

4 予約方法に合わせて、本機の操作と確認を行う
- セットトップボックスなどから予約録画の信号を受けたときに、正しい録画先に録画できない場合がありますので、あらかじめ[**HDD/DVD/SD/VHS切換**]を押して、録画先を選んでおいてください。(**➜22**)

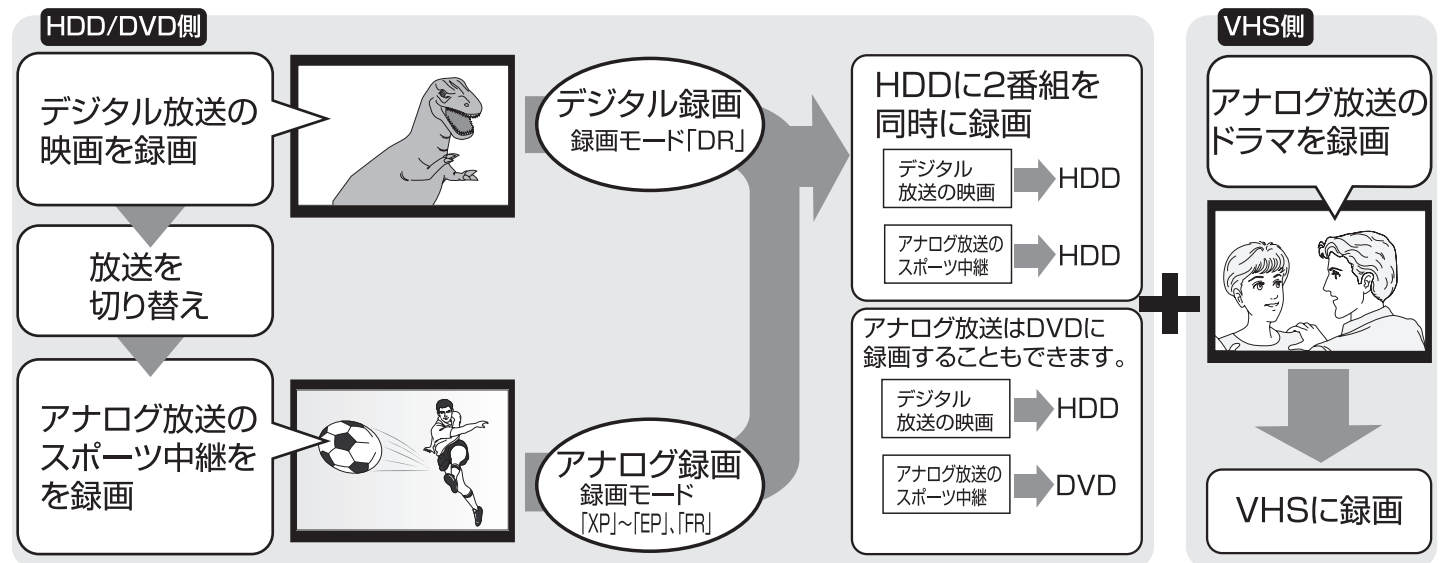
連動予約のときには
- 予約待機状態でないこと(本体表示窓の"⏲"消灯)を確認する。(本機が予約待機状態の場合、連動予約が正しく働かない場合があります)
- [**録画モード**]で録画モードを設定する。
- [**放送/入力**]で接続した外部入力端子(L1～L3)を選び(**➜28**)、本機の電源を切る。

タイマー予約のとき
- 予約待機状態であること(本体表示窓の"⏲"点灯)を確認する。
- 予約時刻になると録画が開始されます。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- 録画先、録画モードの変更や、予約内容を確認するには(**➜54**)

お知らせ
- セットトップボックスやテレビなどのIrシステムがDVDレコーダーまたはビデオに対応していることをご確認ください。
- Irシステムの設置・設定・操作はセットトップボックスやテレビなどの説明書をご覧ください。
- VHSが予約録画の待機中のときは、VHSへのIr予約は受け付けません。
- セットトップボックスやテレビ側のIrシステムの設定が、「ビデオ1」、「ビデオ2」、「ビデオ3」のいずれかになっていることをご確認ください。詳しくは、セットトップボックスやテレビの説明書をご覧ください。

HDD/DVDのデジタル・アナログどっちも録り

本機では、HDD/DVDにデジタル放送の番組とアナログ放送の番組を同時に録画することができます。
さらに、VHSへもアナログ放送の番組を同時に録画でき、同一時間帯の録画が最大3番組まで可能です。

例えば

- DVDに2番組を同時に録画することはできません。
- アナログ放送の2番組、またはデジタル放送の2番組を同時に録画することはできません。ただし、アナログ放送の場合は、カセットへ同時に録画することはできます。(➜40)
- HDD/DVD側でデジタル放送とアナログ放送の2番組同時録画中に、さらにカセットへ、アナログ放送の番組を録画することも可能です。(➜40)
- 本機の外部入力に接続したホームターミナルやセットトップボックスなどからデジタル放送の番組を録画する場合、「アナログ録画」として録画されます。
- デジタル放送を録画するときは、録画モード「DR」を選んでください。

■デジタル録画とアナログ録画について

本機では以下のように「デジタル録画」と「アナログ録画」に区別され、両方を同時に録画することができます。

放送	録画モード
地上デジタル	DR
BS	DR
CS1	DR
CS2	DR

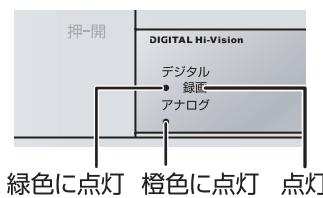
放送	録画モード
地上アナログ	XP～EP、FR
外部入力	XP～EP、FR

2番組同時録画

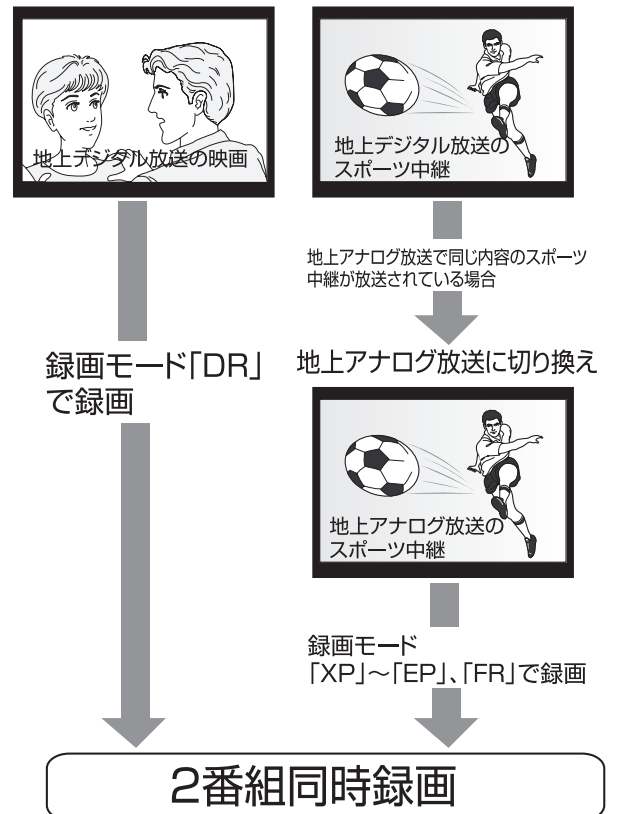
お知らせ

- 高速ダビング中には、2 番組同時に録画できません。
- 2番組を同時に録画しているときには、追っかけ再生、同時録画再生、タイムワープはできません。
- 録画の一時停止中は、「録画」ランプが点滅します。

デジタル放送(地上デジタル・BS・CS1・CS2)を録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した場合

他の番組を同時に録画することはできません。

■地上放送で録画したい番組が重なったとき

地上デジタル放送と地上アナログ放送では、同時間帯に同じ内容の番組が放送されている場合があります。一方の番組を地上デジタル放送から受信し、他方を地上アナログ放送から受信することで、2番組を同時に録画することができます。

例)

- 地上デジタル放送とBS･CS1･CS2放送で録画したい番組が重なった場合でも、地上デジタル放送の番組を地上アナログ放送に切り換えて、BS･CS1･CS2放送の番組と同時に録画することができます。この場合は、BS･CS1･CS2放送の番組を録画モード「DR」で録画してください。

録画の手順について、詳しくは“見ている番組を録画する”(➜40)をご覧ください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(接続・設定編 P.49)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜27)

1 録画先を選ぶ

HDD/DVD/SD VHS 切換を押す

- 本体のランプが点灯します。[(例)HDD]

2 録画したい放送を選ぶ(詳しくは➜28)

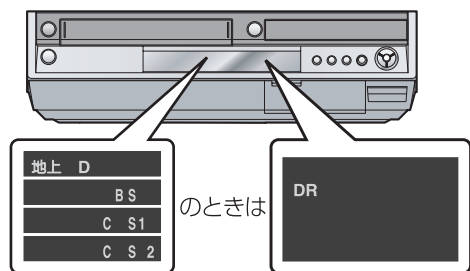
放送/入力を数回押す

例) デジタル放送を選択

3 録画したいチャンネルを選ぶ(詳しくは ➜28)

チャンネル(ふた内部)または 1 〜 12 などを押す

4 録画モード(➜39)を選ぶ

録画モードを数回押す

- デジタル放送を録画するときは、録画モード“DR”を選んでください。(➜39)

5 録画を始める

録画を押す

例)デジタル放送をHDD に録画

6 別の番組を録画する

手順1〜5を繰り返す

例)HDDにデジタル放送を録画 DVD-RAMにアナログ放送を録画

デジタル HDD
アナログ DVD

■どっちも録りの状態を確認する➡ 画面表示を押す

例)HDDに地上デジタル放送を、DVD-RAMに地上アナログ放送を録画したとき

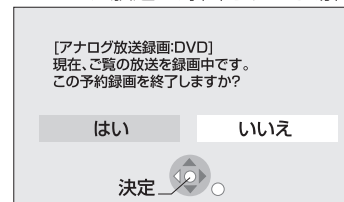
■録画をやめる

➡ 1 HDD/DVD/SD VHS 切換を押して、録画中の操作先を選ぶ

2 放送/入力を数回押して、録画をやめたい放送を選ぶ

3 停止を押す

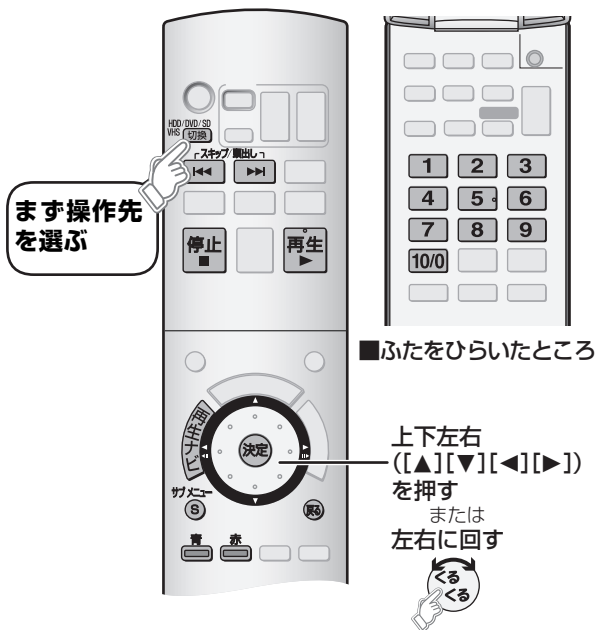
下の画面が表示されたときは

例)地上アナログ放送の録画をやめる場合

[◄]で「はい」を選び、[決定]を押す

例)地上アナログ放送の録画をやめたとき

- 両方の録画をやめるには、手順1〜3を繰り返してください。

HDD・ディスクを再生する

■ふたをひらいたところ

再生の基本操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●DVDを再生する場合は、ディスクを入れる。(➜27)

1 **HDD/DVD/SD VHS 切換を押して、操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ**

●本体のランプが点灯します。[(例)DVD]

2 再生を始める

再生 ▶ を押す

テレビ画面
例)DVD-RAM

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)：
最後に録画された番組から再生します。

DVD-V DVD-A CD VCD：
ディスクの先頭から再生します。

メニュー画面が表示されたとき

➜ **画面表示に従って操作してください。**

DVD-V DVD-A
[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、決定を押す

●[1]～[10/0]で項目を選べるディスクもあります。(**選びかた➜下記**)

VCD
[1]～[10/0](2けた)で項目を選ぶ
例) 5の場合…[10/0]→[5]
15の場合…[1]→[5]

再生の途中でメニュー画面を表示させるには
DVD-V：[再生ナビ]または[サブ メニュー]を押す
DVD-A：[再生ナビ]を押す
VCD：[戻る]を押す

■映像が縦に引き伸ばされているとき

地上アナログ放送や、外部入力からの映像を以下のように録画した場合、16:9映像は4:3映像で記録されます。

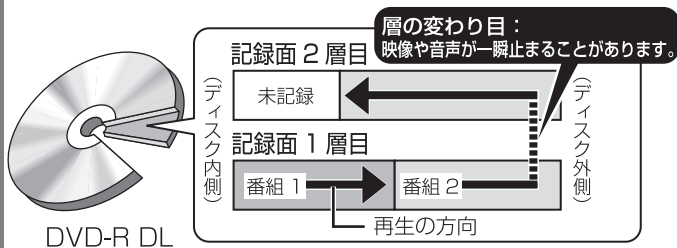
- HDD RAM -R(VR) に、**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜93)を「入」にして録画した場合(お買い上げ時の設定は「入」です)
- -R(V) -RW(V) +R に録画した場合
- -R DL にダビングした場合

初期設定「TVアスペクト」(➜95)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。
テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

はじめに

DVD-V DVD-A CD VCD
ディスクを入れると、自動的に再生が始まります。

■ -R DL DVD-R DLディスクを再生するとき

DVD-R DLディスクは、下図のように記録面が片面に2層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き2層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます。(**➜下図「番組2」**)このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編をとおして再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

お知らせ

- 録画中でも、操作先を切り換えて再生できます。[**HDD/DVD/SD/VHS切換**]を押して操作先を切り換え、[**再生▶**]を押してください。
  ただし、HDD/DVD側で2番組同時に録画しているとき(➜58)は、再生できません。
- 両面ディスクは、両面にまたがって再生することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- カートリッジ付きディスクの場合、プロテクト(➜85)を設定しているときは、ディスクを入れると自動的に再生が始まります。
- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 録画モード「DR」で録画した番組を再生時、番組の切り換わり部分や、編集を行った部分、録画中に一時停止した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[**停止■**]を押して停止させてください。

番組を選んで再生する（再生ナビ）

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

本機では、録画した番組を一覧表(再生ナビ)から簡単に探すことができます。

再生ナビ画面

他の画像への切り換え表示 HDD RAM

再生ナビ画面では、数種類の画像が別々に管理されています。それぞれを再生するには、画面の切換が必要です。

(HDD) 青 ビデオDR 赤 ビデオ 緑 写真

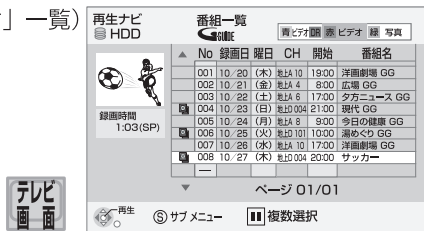
(DVD-RAM) 青 ビデオ 赤 写真

- **ビデオ DR**(HDD のみ)：録画モード「DR」で録画した番組
- **ビデオ**：録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した番組
- **写真**：SD カードなどからダビングした写真 **[➜67 "写真(JPEG/TIFF)を再生する"]**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25)**
- **[HDD/DVD/SD/VHS切換]**を押して、操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。**(➜22)**

1 再生ナビ を押す

- 番組一覧が表示されます。

例）HDD（「ビデオ」一覧）

2 HDD RAM 青 または 赤 を押して、「ビデオ DR」(HDDのみ)または「ビデオ」一覧に切り換える

- サブメニューを使って切り換えることもできます。**(➜右記"他の画像一覧に切り換える")**

3 [▲][▼]で番組を選び、決定 を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生ナビ画面をサムネイル表示**(➜右記)**にしている場合は、[▲][▼][◀][▶]で番組を選びます。

前後のページを表示する

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

- サムネイル表示の場合は、[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、**[決定]**を押しても、ページの切り換えができます。

■番組一覧を消す➜ **を押す**

再生ナビ画面について

■番組一覧の絵表示について

- 🔒 :書き込み禁止(プロテクト)を設定した番組
- :録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)
- X :HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組
- ● :録画中の番組
- :HDDにリリーフ(代替)録画された番組**(➜45)**
- :本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組**(➜14)**
- Ⓟ :PAL方式で録画された番組(再生できません)

再生ナビ画面では、サブメニューを使用して、番組の並べ替えや他の画像への切り換えなどの便利な操作が行えます。

例)HDD(「ビデオ」一覧)のサブメニュー

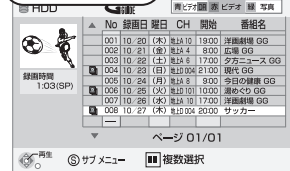
■表示方法を変更する(サムネイル表示/リスト表示)

番組一覧の表示方法の設定ができます。(電源を切っても保持されます)

- 「ビデオDR」一覧では、サムネイル表示はできません。

➜ **1 再生ナビ画面で、サブメニュー Ⓢ を押す**

2 [▲][▼]で「サムネイル表示」または「リスト表示」を選び、決定 を押す

リスト表示

サムネイル表示

■項目ごとに番組を並べ替える HDD (リスト表示時のみ)

たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。

➜ **1 再生ナビ画面で、サブメニュー Ⓢ を押す**

2 [▲][▼]で「並び替え」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

- それぞれの項目に並べ替えられます。

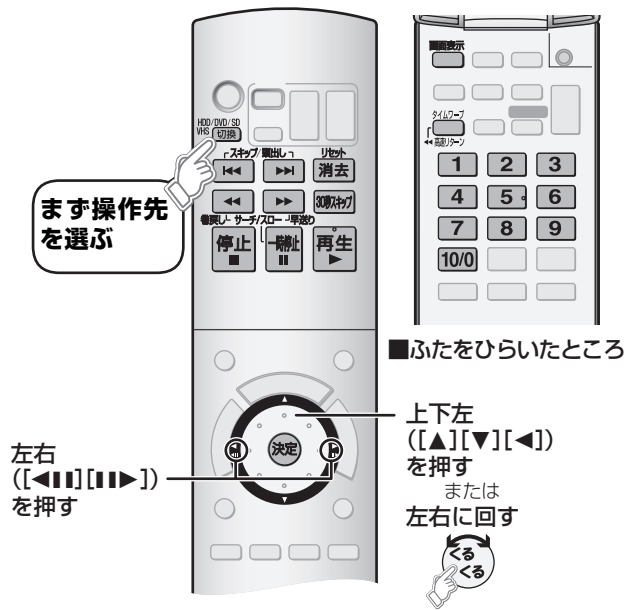
- 再生ナビ画面を消したり、他の画像の再生ナビ画面に切り換えると取り消されます。
- 「No」以外の項目で並べ替えているときは
  - ・選んだ番組の再生が終わると再生ナビ画面に戻ります。(連続再生はできません)
  - ・スキップ**(➜62)**やタイムワープ**(➜63)**は、再生中の番組内でのみ働きます。

■他の画像一覧に切り換える HDD RAM

「ビデオDR」(HDDのみ)、「ビデオ」、「写真」一覧画面に切り換えることができます。

➜ **1 再生ナビ画面で、サブメニュー Ⓢ を押す**

2 [▲][▼]で「他の画像一覧へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

再生中のいろいろな操作

停止

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

[停止■] を押す

止めた位置を一時的に記憶します。

- 本体表示窓の"再生"が点滅します。(再生ナビ画面表示中やプレイリストの場合は点滅しません)
  "再生"点滅中に[再生▶]を押すと、止めた位置から再生します(続き再生メモリー機能)
- 止めた位置は、以下の場合解除されます。
  - ・数回[停止■]を押す("再生"の点滅が消えます)
  - ・トレイを開ける(HDDを除く)
  - ・DVD-A CD VCD 電源を切る
  - ・録画や予約録画を行った場合
- [停止■]を押すと下のような画面が表示されることがあります。このあと、もう一度[停止■]を押すと、本機で受信しているテレビ放送を見ることができます。

一時停止(静止画)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

[一時停止❙❙] を押す

- もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。

早送り/早戻し(サーチ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

[◀◀ 巻戻し-サーチ/スロー] または [▶▶ サーチ/スロー-早送り] を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。

- マルチジョグの左回し/右回しでも動作します(CD、ビデオCDでは動作しません)。1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- 早送り1速時のみ音声が出ます。[DVDオーディオ(動画部以外)、CDではすべての速度で音声が出ます]
- ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

スキップ

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

再生中または一時停止中に、[◀◀❙ スキップ/頭出し] または [❙▶▶ スキップ/頭出し] を押す

押した回数だけ番組、場面や曲を飛び越して再生します。

ダイレクト再生

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

[1] ~ [10/0] を押す

番組や曲の番号を入力して再生します。

- 停止中(右の画面表示中)のみ働くディスクもあります。

☞ HDDやMP3、写真(JPEGやTIFF)が入っているディスクは3けたで入力
例)5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[1]→[5]
- MP3や写真(JPEG/TIFF)を再生するには(➜66,67)

☞ DVDオーディオのグループは停止中(上の画面表示中)に1けたで入力
例)5の場合…[5]

☞ それ以外のディスク、DVDオーディオのトラックは2けたで入力
例)5の場合…[10/0]→[5]　15の場合…[1]→[5]
- プレイバックコントロール(➜132"PBC")付きビデオCDでは、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の"ＰＢＣ"が消えます)

早見再生(1.3倍速)

HDD RAM

[再生▶] を約1秒以上押し続ける

通常の再生よりも速い速度で再生します。

- もう一度[再生▶]を押すと、通常の再生に戻ります。
- 早見再生中は、自動CM早送り再生(➜65)は働きません。
- 録画モード「DR」で録画した番組では働きません。

スロー再生

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) -RW(VR) VCD

一時停止中に、[◀◀ 巻戻し/サーチ/スロー] または [▶▶ サーチ/スロー/早送り] を押す

押すごとに速度が速くなります(5段階)。

- マルチジョグの左回し/右回しでも動作します(ビデオCDでは動作しません)。1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- ビデオCDや、録画モード「DR」で録画した番組は、送り方向[▶▶]にのみ働きます。
- スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。(DVD-V DVD-A VCD を除く)

コマ送り/コマ戻し

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) -RW(VR) VCD

一時停止中に、[◀II]または[II▶]を押す

押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。

- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- ビデオCDは送り方向[II▶]にのみ働きます。
- 録画モード「DR」で録画した番組でのコマ戻しは、10数コマ単位となります。

30秒先へスキップする

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

[30秒スキップ] を押す

押すごとに、約30秒飛び越して再生します。

- 自動CM早送り再生(➜65)が働かないときなどに使うと便利です。

時間を指定して飛び越す(タイムワープ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

1 [タイムワープ/高速リターン] を押す

- 飛び越し時間表示は、約5秒たつと自動的に消えます。再表示するには、[タイムワープ]をもう一度押します。

2 飛び越し時間表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、(決定) を押す

- [▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。

再生中の番組を消去する

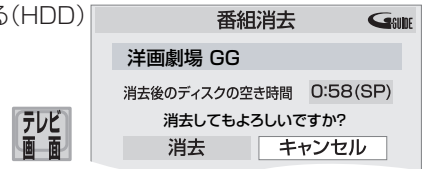
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

番組を再生中に消去します。

消去すると録画内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

1 番組を再生中に、[リセット 消去] を押す

例)番組を消去する(HDD)

2 [◀]で「消去」を選び、(決定) を押す

お知らせ

- 録画中やダビング中は消去できません。
- チャプター再生中(➜77)は働きません。チャプターを消去するには、「チャプター消去」で消去してください。(➜77)
- -R(VR) -R(V) -R DL +R 消去してもディスク残量は増えません。
- -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

操作の状態を確認する(情報表示)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜22)

[画面表示] を押す

押すごとに切り換わります。

- 残量の数字は目安です。

例)HDD

HDD・ディスクの再生設定

設定の基本操作

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜22)

- マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

1 を押す

- 再生設定画面が表示されます。
- ディスクによりメニューは異なります。

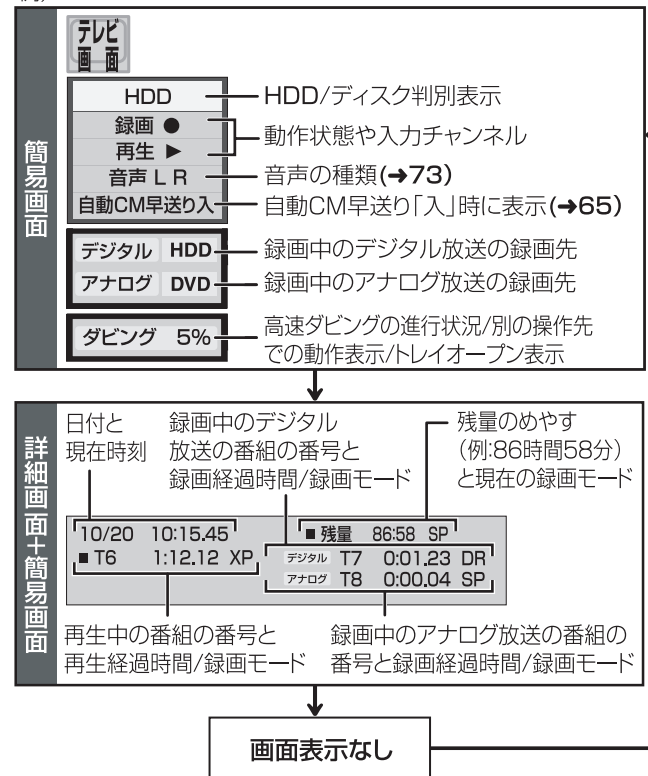
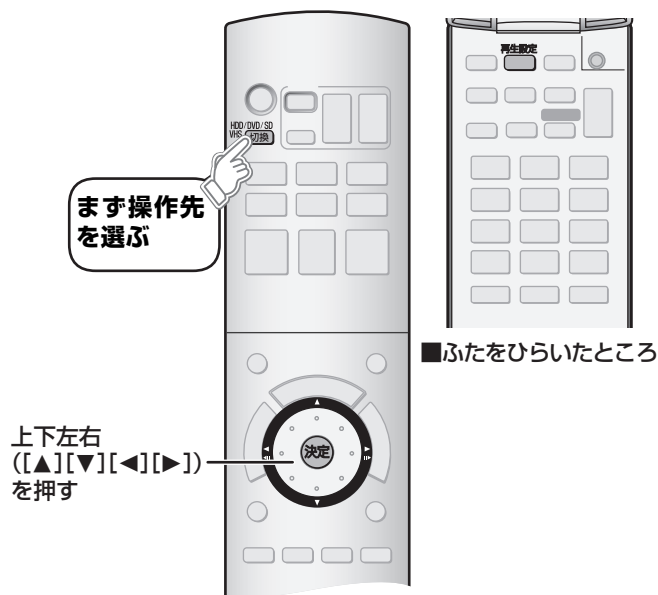
例)DVDビデオ

2 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定を変える

- [決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

■設定を終了する➜ 再生設定 を押す

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※

- DVD-V DVD-A 音声や言語を選びます。**(音声属性/言語➜下記)**
- HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)
  音声属性表示のみ

信号切換

- HDD (録画モード「DR」で録画した番組のみ)
  映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
  - ・マルチビュー
  - ・映像
  - ・音声
  - ・二重音声
  - ・字幕(オン/オフ)
  - ・字幕言語(日本語/英語)

字幕情報※

- DVD-V DVD-A
  字幕表示の入/切や、言語を選びます。**(言語➜下記)**
- HDD (録画モード「XP」~「EP」、「FR」で録画した番組のみ)
  RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)
  入/切のみ
  [他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます。本機では、アナログ放送の字幕情報は記録されません。デジタル放送の字幕情報は、録画モード「DR」でHDDに録画する場合を除き、録画時の「字幕」の設定(➜33,47)のまま記録され、再生時に入/切を切り換えることはできません]

音声チャンネル

- HDD (録画モード「XP」~「EP」、「FR」で録画した番組のみ)
  RAM -R(VR) -RW(VR) VCD
  音声(L/R)を切り換えます。

アングル※

- DVD-V DVD-A アングルを選びます。

静止画

- DVD-A 静止画の再生方法を選びます。
  - ・**スライドショー**:決められた順番で再生
  - ・**ページ**:静止画を選んで再生
    - -**ランダム**:順不同に再生
    - -**リターン**:決められた静止画を再生

PBC(プレイバックコントロール)(➜132)

- VCD
  PBC付きビデオCDでメニューの「入」、「切」が確認できます。(変更はできません)

※ディスクに収録されているメニュー画面(➜60)でのみ切り換えできるものもあります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/ DDDigital/DTS/MPEG:信号タイプ
ch:チャンネル数 k:サンプリング周波数(kHz) b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語	独:ドイツ語
伊:イタリア語	西:スペイン語	蘭:オランダ語	中:中国語
露:ロシア語	韓:韓国語	*:その他	

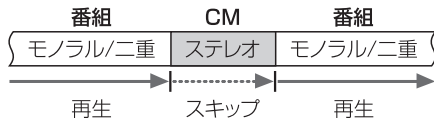
再生方法を設定する(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)

●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- **オール**　　:ディスク全体
- **番組**　　　:番組全体
- **タイトル**　:タイトル全体(DVDビデオなど)
- **チャプター**:チャプター
- **プレイリスト**:プレイリスト
- **グループ**　:グループ全体
- **トラック**　:トラック

自動CM早送り

● HDD RAM -R(VR) (音声が下記の場合のみ)
CMを自動的に飛ばして再生します。

・録画モード「DR」で録画した番組や、他のビデオからのダビングなど外部入力から録画した番組では働きません。
・早見再生中(➔62)は働きません。
・設定した内容は電源を切っても保持されます。
・録画内容により、正しく働かないことがあります。
　例:上記図のCM部分が5分以上の場合など

お好みの画質を設定する(映像)

画質選択

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)
映像ディスク再生時の画質を選びます。
録画モード「DR」で録画した番組には、「シネマ」「3次元NR」の設定は効果がありません。

- **ノーマル**:標準
- **ソフト**　:ざらつきの少ない柔らかな画質
- **ファイン**:輪郭の強調されたくっきりした画質
- **シネマ**　:映画鑑賞向け
- **ユーザー**:さらに画質を調整
  [◀][▲][▼]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す
  - **コントラスト**(白黒の強弱)
  - **ブライトネス**(画面全体の明るさ)
  - **シャープネス**(鮮やかさ)
  - **カラー**(色の濃さ)
  - **ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)
  - **3次元NR**(画面全体のノイズを除去)
  - **インテグレイティッドDNR**
    (動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正)

MPEG-DNR(画質選択が「ユーザー」以外の場合のみ)

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)
「入」を選ぶと、ノイズや文字周りのもやの補正をします。
・再生する映像の解像度によって効果が異なります。

プログレッシブ(➔131)

プログレッシブ(525p)出力するかしないかを設定します。以下のいずれかの設定を行っている場合のみ表示されます。

●**初期設定**「D端子出力解像度」で「D2」~「D4」を選んでいる場合(➔95)
プログレッシブ(525p)出力を入/切します。
●**初期設定**「HDMI映像優先モード」で「入」を選んでいる場合(➔95)
プログレッシブ(525p)出力は「入」固定になります。

映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード[「プログレッシブ」(➔上記)が「入」の場合のみ]

●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- **Auto1**(標準):24コマ/秒のフィルム素材を自動判別
- **Auto2**　:Auto1に加えて、30コマ/秒のDVDビデオにも対応(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)
- **Video**　:Auto1またはAuto2でぶれが生じるとき

外部入力NR(「L1」「L2」「L3」を選局しているときのみ)

●テープからのダビング時に設定しておけば、ノイズを減らして高画質で記録します。

- **自動**(標準):テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
- **入**　:テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
- **切**　:映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

お好みの音声効果を設定する(音声)

サラウンド(アドバンスドサラウンド)

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
(ドルビーデジタル2チャンネル以上の音声のみ)
フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。
・音声がひずむ場合、「切」にしてください。
・接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
・本機で録音した二重音声には働きません。

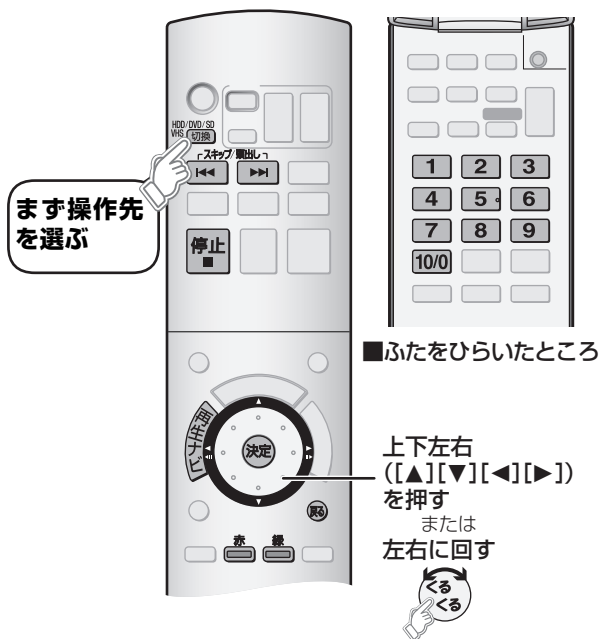
シネマボイス

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
(ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)
セリフを聞き取りやすくします。

再生設定画面の表示位置を設定する(その他)

表示位置

●1(標準位置)~5:
設定値が大きいほど、再生設定画面が下に移動します。

MP3を再生する

再生の基本操作

CD

はじめに

- パソコンなどでMP3を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
- "CDに記録されているMP3や写真(JPEG/TIFF)について"(➜8)もご覧ください。
- 停止中にMP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると、下図のような画面が表示されます。[決定]を押してから、下記手順を行ってください。

テレビ画面

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「DVD」を選ぶ。(➜22)
- MP3が記録されたディスクを入れる。(➜27)

1 [ナビ・再生]を押す

G:グループ番号
T:グループ内のトラック番号
トータル:ディスク全体のトラック番号

選んだグループ

メニュー G 3 T 6 トータル 20/23 / No グループ 3 : My favorite / トータル トラック ツリー / 1 001 Both Ends Freezing / 2 002 Lady Starfish / 3 003 Life on Jupiter

- フォルダやファイルに付けた名前(S-JIS第1水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。

2 [▲][▼]でトラックを選び、[決定]を押す

- 選んだトラックの再生が始まります。
- [1]～[10/0]でもトラックを選べます。

例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[1]→[5]

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

別のグループを選ぶには(➜下記)

■停止する➜ [停止■] を押す

■前の画面に戻る➜ [戻る] を押す

■メニュー画面を消す➜ [ナビ・再生] を押す

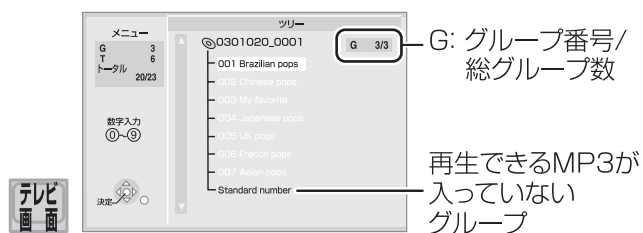
別のグループを選ぶ

1 [▶]を押す

テレビ画面

メニュー G 3 T 6 トータル 20/23 / 数字入力 ⓪～⑨ / 決定
ツリー
0301020_0001
001 Brazilian pops
002 Chinese pops
003 My favorite
004 Japanese pops
005 UK pops
006 French pops
007 Asian pops
Standard number
G 3/3

G: グループ番号/総グループ数

再生できるMP3が入っていないグループ

2 [▲][▼]でグループを選び、[決定]を押す
- 選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。

写真(JPEG/TIFF)を再生する

はじめに

●本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜8)

● HDD RAM SD "HDD、DVD-RAM、SDカードに記録されている写真(JPEG/TIFF)について" (➜8)もご覧ください。

●録画中やダビング中は写真の再生はできません。

■ CD について

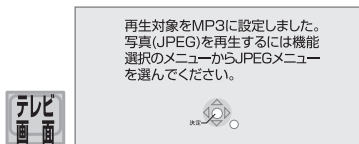
●"CDに記録されているMP3や写真(JPEG/TIFF)について" (➜8)もご覧ください。

●パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。

●停止中にMP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると、下図のような画面が表示されます。[決定]を押すと画面が消えます。右記の手順の前に、JPEGメニューを選んでください。(➜68 "JPEGメニューを選ぶ")

テレビ画面

再生対象をMP3に設定しました。
写真(JPEG)を再生するには機能選択のメニューからJPEGメニューを選んでください。

決定

■ SD カードについて

操作先が「SD」を選んでいる状態では、カードをスロットに入れるだけで、再生ナビ画面が自動的に表示されます。あとは、右記手順*3*の操作で見たい写真を選ぶだけで再生できます。(SD一発再生機能)

再生ナビ画面について
■写真一覧の絵表示について

:書き込み禁止(プロテクト)を設定された写真やフォルダ　　:プリント枚数(DPOF)が設定された写真

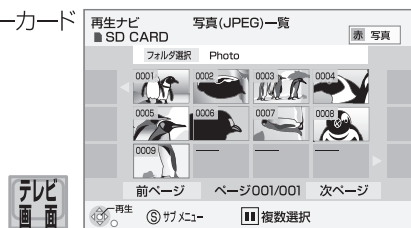
再生の基本操作

HDD RAM SD CD

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜22)
●ディスクに記録されている写真を再生する場合は、ディスクを入れる。(➜27)
●SDメモリーカードに記録されている写真を再生する場合は、カードをスロットに入れる。(➜27)

1 再生ナビ を押す

●写真一覧が表示されます。

例)SDメモリーカード

2 HDD RAM 写真(JPEG)一覧に切り換える
HDDの場合は 緑 (写真)を、DVD-RAMの場合は 赤 (写真)を押す

●サブメニューを使って切り換えることもできます。
(➜61 "他の画像一覧に切り換える")

3 [▲][▼][◀][▶]で見たい写真を選び、決定 を押す

●選んだ写真が画面に表示されます。
●[1]～[10/0]でも写真を選べます。
・ HDD RAM SD :4けたで入力
　例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[10/0]→[5]
　　 15の場合…[10/0]→[10/0]→[1]→[5]
・ CD :3けたで入力
　例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
　　 15の場合…[10/0]→[1]→[5]

別のフォルダを選ぶには(➜68)

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■再生をやめる➡ 停止■ を押す

●再生をやめた写真の位置を一時的に記憶します。
SD CD 電源を切ると記憶した位置は解除されます。

■再生中に前後の写真を見る➡[◀][▶]を押す

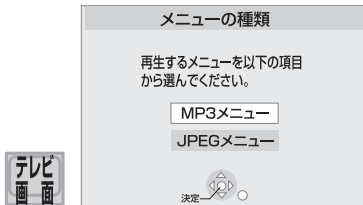
■再生ナビ/メニュー画面を消す➡ **を押す**

写真再生のいろいろな操作

JPEGメニューを選ぶ

CD

1 機能選択 を押す

2 「メニュー」が選ばれている状態で、決定 を押す

3 [▲][▼]で「JPEGメニュー」を選び、決定 を押す
(➔67手順3へ)

■選択画面を消す➡ 戻る を押す

別のフォルダを選ぶ

HDD RAM SD CD

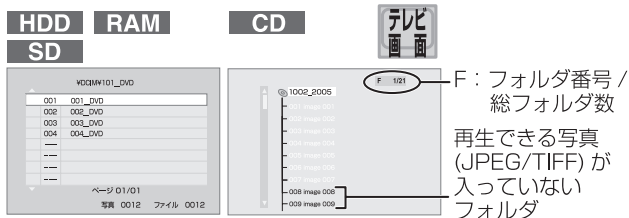
(本機で表示されるフォルダ構造例➔130)

●67ページ手順1～2のあとに操作します。

3 [▲]で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

●フォルダ選択画面が表示されます。

HDD RAM SD　CD

4 [▲][▼]でフォルダを選び、決定 を押す

●選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

■上位フォルダを切り換える RAM SD
(上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ)
➡ 1 フォルダ選択画面上で、サブメニュー S を押す
2 [▲][▼]で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す
3 [◀][▶]でフォルダを選び、決定 を押す

■フォルダ選択画面からメニュー画面に戻る➡ 戻る を押す

写真を連続して再生する(スライドショー)

HDD RAM SD CD

●67ページ手順1～2のあとに操作します。

3 [▲]で「フォルダ選択」を選び、サブメニュー S を押す

例)HDD

HDD RAM
(➔61"他の画像一覧に切り換える")

スライドショー開始
スライドショーの表示間隔
他の画像一覧へ

4 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、決定 を押す

■表示間隔を変える
➡ 1 [▲][▼]で「スライドショーの表示間隔」を選び、決定 を押す
2 [◀][▶]で表示間隔[0秒～30秒]を変更し、決定 を押す

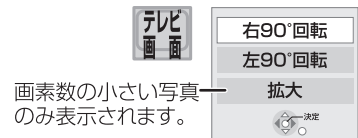
■スライドショーを停止する➡ 停止 を押す

写真を回転、拡大する

HDD RAM SD CD

1 再生中に、サブメニュー S を押す

画素数の小さい写真のみ表示されます。

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

■回転した写真を元に戻す
➡ サブメニュー S を押して逆方向への回転を選び、決定 を押す

■拡大した写真を元に戻す
➡ サブメニュー S を押して「縮小」を選び、決定 を押す

お知らせ
●回転、拡大の情報は保存されません。
●拡大すると写真の一部が欠けることがあります。

消去する

HDD RAM SD

消去すると、元に戻すことはできません。よく確認してから行ってください。

1 再生中に、リセット 消去 を押す

2 [◀]で「消去」を選び、決定 を押す

写真の情報を見る(情報表示)

HDD RAM SD CD

再生中に、画面表示 を2回押す

例) SD

■情報表示を消す➡ 画面表示 を押す

VHSを再生する

再生の基本操作

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●録画済みのカセットを入れる。(➜27)

1 **を押して、「VHS」を選ぶ**

●本体のランプが点灯します。

2 再生を始める

 を押す

■停止する➜ を押す

プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむとき

VHSの再生時も、DVDのプログレッシブ回路をとおして、本機後面のD1/D2/D3/D4映像出力端子またはHDMI映像・音声出力端子からVHSの再生映像を出力し、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。
(プログレッシブ ➜131)
HDD/DVD/SD動作中は、VHSの再生映像をDVDのプログレッシブ回路をとおして見ることはできません。

以下の接続・設定を行ってください。

◆D1/D2/D3/D4映像出力端子と接続するとき

1 本機とテレビをD端子ケーブル(別売)、またはD端子ピンケーブル(別売)を使って接続する(接続・設定編 P.10,11)

2 [HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選び(➜22)、初期設定「D端子出力解像度」を「D2」、「D3」または「D4」に設定する(接続・設定編 P.28)
●「D3」または「D4」に設定した場合でも、VHSの再生映像は「D2」で出力されます。

3 [HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して、「VHS」を選ぶ(➜22)
[テレビの入力は「色差ビデオ」に切り換えておいてください(➜25手順*1*)]

上記の準備・設定のあと、VHSの再生操作を行ってください。

◆HDMI映像・音声出力端子と接続するとき

1 本機とテレビをHDMIケーブル(別売)を使って接続する(接続・設定編 P.12)

2 [HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選び(➜22)、初期設定「HDMI映像優先モード」を「入」、初期設定「HDMI出力解像度」を「525p」、初期設定「HDMI音声出力」を「入」に設定する(接続・設定編 P.29)

3 [HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して、「VHS」を選ぶ(➜22)
[テレビの入力は「HDMI」に切り換えておいてください(➜25手順*1*)]

上記の準備・設定のあと、VHSの再生操作を行ってください。

お知らせ

●誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが"OFF"になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
●カセットが入っているときは、電源が切れていても、[再生▶]を押すだけで再生を始めます。(電源を切る前に、操作先に「VHS」を選んでいたときのみ)
●5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜72)

SQPB(S-VHS 簡易再生)機能について
(SQPB= S-VHS(エスブイエッチエス) Quasi(クワジ) Playback(プレイバック))
●S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットも再生することができます。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
●デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。

■ふたをひらいたところ

再生中のいろいろな操作

早送り/巻き戻し

停止中に、[◀◀ 巻戻し・サーチ/スロー] または [▶▶ サーチ/スロー・早送り] を押す

●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
●早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。
また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。

高速リターン

を押す

高速で巻き戻しします。

●テープカウンター表示は出ません。
●高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。
また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
●カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
●始端まで巻き戻すと、テープカウンターは"0:00.00"になります。
●途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

早送り/巻き戻し再生

[◀◀ 巻戻し・サーチ/スロー] または [▶▶ サーチ/スロー・早送り] を短く押す(または押し続ける)

短く押すごとに速度が切り換わります。
標準のとき　　　:約9倍速⟷約13倍速
3倍・5倍のとき:約27倍速⟷約43倍速

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります(3段階)。速度を遅くすることはできません。再生速度は、録画モード(➜39)によって異なります。
●**[再生▶]**で通常再生に戻ります。
●**[◀◀ 巻戻し][▶▶ 早送り]**を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。

お知らせ

●音声は出ません。
●13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。
●5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
●テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
●約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

一時停止(静止画)

[一時停止 ❚❚] を短く押す

●もう一度押すと、再生を再開します。
●音声は出ません。
●5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
●静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

スロー再生

[一時停止 ❚❚] を約2秒以上押し続ける

●一時停止中に、マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。
●右回し:スロー再生(3段階)
●左回し:逆再生(逆スロー再生はできません)
●**[再生▶]**で通常再生に戻ります。
●音声は出ません。
●5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
●スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

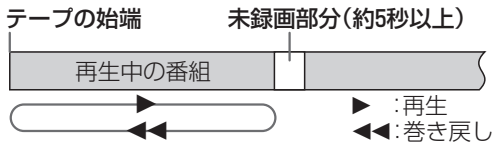
自動巻戻し再生

同じ番組を繰り返し再生します。

[再生▶] を約5秒以上押し続ける

●もう一度[再生▶]を押すと通常再生に戻ります。
●停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。
●この機能は解除するまで働き続けます。

お知らせ

●番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。(未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます)

●再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
●テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

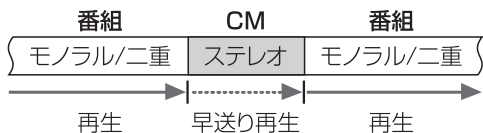
自動CM早送り再生

CMを自動的に早送りして再生します。

再生前または再生中に、[30秒スキップ]を押す

●"自動CM早送り 入"を表示させます。
●CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
●解除するには[30 秒スキップ]を押し、"自動CM早送り 切"を表示させます。
●電源を切っても解除されます。

お知らせ

●番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
(CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

●次のようなときは正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき(CMも通常どおり再生されます)
・CMがモノラル放送または二重放送のとき
・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
・外部入力録画したカセットを再生するとき

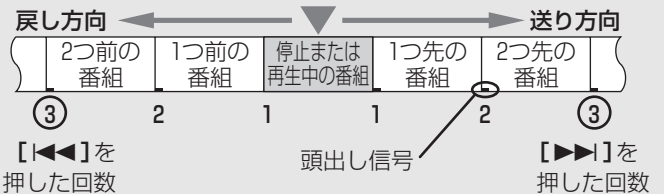
頭出し

本機でカセットに録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

[スキップ/頭出し ⏮] または [スキップ/頭出し ⏭] を押す

早送り(巻き戻し)を始め、押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。

早送り方向…[▶▶|]
巻戻し方向…[|◀◀]

頭出しする番組の指定のしかた

●最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
●ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
●以下のときに、頭出し信号が記録されます。
・[録画●]を押して録画を始めたとき。
(録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
・予約録画が始まったとき。
・録画中に、リモコンの[録画●]を押したとき。
●次のときは、正しく探せないことがあります。
・頭出し信号どうしの間隔が短いとき。
録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

① トラッキングがずれている
(白い帯状のノイズが出るときなど)

② ビデオヘッドが汚れている
(画面全体にノイズが出るときなど)

③ テープがいたんでいる
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「VHS」を選ぶ。(➜22)

① トラッキングを調整するには

再生中に、チャンネル(ふた内部[∧]または[∨])を押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

お知らせ
- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体の**チャンネル**[∧][∨]でも調整できます。

② ビデオヘッドをクリーニングするには

再生中、本体表示窓に"U11"が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。
またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。

テレビ画面

乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜145)を入れ、録画を押して約10秒間録画する

- 約10秒後に[停止■]を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるときは

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、チャンネル(ふた内部[∧]または[∨])を押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

お知らせ
- 本体の**チャンネル**[∧][∨]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

時刻、テープカウンター、テープ残量を確認する

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「VHS」を選ぶ。(➜22)

画面表示を押す

5秒以内に押すごとに、下図のように表示が切り換わります。
- ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

テレビ画面

日付/現在時刻表示

- 自動時刻合わせ機能(接続・設定編 P.49)が働いているときは、秒まで表示されます。

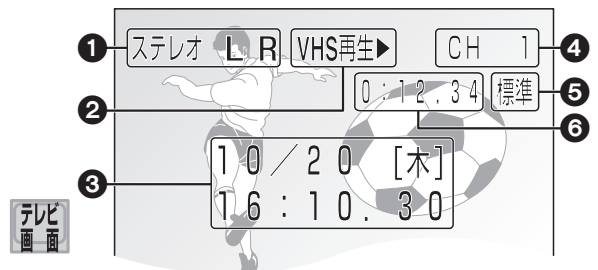
テープカウンター表示

- テープカウンター表示になっているときに[リセット/消去]を押すと、値が"0:00.00"になります。

テープ残量表示

- テープ残量の表示は目安です。
- カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
- 次のときは、正しい表示になりません。
  - ・VHSメニュー(➜101)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

画面表示について(オンスクリーン)

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

画面表示の一例

1. 音声(➜右ページ)/自動CM早送り(➜71)
2. 動作表示：再生、早送りなど、本機の動作状態。
3. 日付/現在時刻表示(➜上記)
4. チャンネル表示：チャンネル切り換え時、録画開始時。
5. 録画モード表示：録画開始時、テープ残量表示時など。
6. テープカウンター/テープ残量表示(➜上記)

お知らせ
- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中
  - ・VHSメニュー(➜101)の「オンスクリーン」を「切」にしているとき
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

音声を切り換える

■ふたをひらいたところ

HDD RAM -R(VR) DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD VHS

はじめに

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- デジタル放送で切り換えることのできる音声の種類と数は、番組により異なります。
- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

2カ国語オート再生機能について

- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・[音声]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
  - ・HDD RAM -R(VR) 外部入力で録画したディスクを再生中
  - ・VHS 外部入力で録画したカセットを再生中
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
  - ・番組の途中から再生を始めたとき
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは[音声]で音声を選んでください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先を選ぶ。(➔22)

放送受信時

HDD/DVD側は、初期設定「高速ダビング用録画」(➔93)が「切」になっていないと、アナログ放送の音声を切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です)

音声 を押す

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) →(二重L(主)へ戻る)

お知らせ

- HDD RAM -R(VR) VHS 録画中に[音声]を押しても、記録される音声に影響はありません。
- VHS 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 外部入力から録音する場合、入力した音声(L/R)のまま出力されます。
- 次のときは音声を選ぶことができません。
  - ・「DVD」選択中、ディスクトレイにDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っているときのアナログ放送の音声
  - ・録画モードが「XP」で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➔94)が「LPCM」になっているとき
  - ・HDDまたはDVDからVHSへのワンタッチダビング(➔106,110)の実行中
- 音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると、二重音声などを切り換えできません。
  以下のどちらかの方法で切り換えできるようになります。
  - ・「Dolby Digital」を「PCM」にする。(➔94)
  - ・音声コード(別売)も音響機器に接続し、音響機器側で入力を切り換える。(**接続方法は、別冊の取扱説明書 接続・設定編をご覧ください**)

再生時

音声 を押す

- HDD RAM -R(VR) DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD :
  押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD RAM -R(VR) -RW(VR) VCD

音声L → 音声R → 音声LR →(音声Lへ戻る)

DVD-V DVD-A

音声情報 1日 DD Digital 2/0ch

(➔64"言語")

- VHS :録画したテレビ番組の音声が切り換わります。
  ステレオの番組:
  ステレオ音声 → 左音声 → 右音声 → ノーマル音声(左+右)
  二重放送:
  主音声+副音声 → 主音声 → 副音声 → ノーマル音声(主音声)
  モノラルの番組:
  左音声+右音声 → 左音声 → 右音声 → ノーマル音声(モノラル)

HDD RAM -R(VR) -RW(VR) VHS

二重放送の主、副両音声を録画した場合は、主音声が"L"、副音声が"R"に記録されています。
押すごとに切り換わります。

お知らせ

- モノラル放送の音声を再生する場合、切り換えにかかわらずすべてモノラルとなります。

録画した番組を編集する

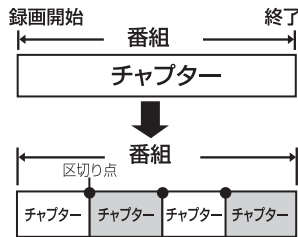
はじめに

録画した番組の不要部分を消去したり、番組名を付けたりすることができます。

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気を付けください。
- 録画中(➜40～44)やダビング中(➜106～125)などは編集できません。
- VHS側でカセットに録画された番組は表示されません。

■番組/チャプターについて

番組を録画すると、1つのチャプターからなる番組として記録されます。

録画開始 ― 番組 ― 終了
チャプター
↓
番組
区切り点
チャプター | チャプター | チャプター | チャプター

HDD RAM -R(VR)
好みの位置に区切り点を入れることができます。この区切り点で分けられた範囲1つ1つが1チャプターとなります。
(➜77"チャプターを 作成する")

HDDの「ビデオDR」一覧(➜右記)の番組は、チャプターを作成することができません。
「ビデオ」一覧(➜右記)の番組のみ作成することができます。

最大記録数

番組：HDD 1000(「ビデオDR」一覧：500、「ビデオ」一覧：500)
RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 99
+R 49

チャプター：
HDD (1番組あたり)約1000(「ビデオ」一覧の番組のみ)
RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 約1000
+R 約250
(記録状態によって変化します)

お知らせ

- 二重放送の番組のCM部分など、自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。(「ビデオ」一覧の番組のみ)
- -R(V) -RW(V) +R ファイナライズ(➜86,130)すると自動的に約5分ごとのチャプターが作成されます。
- -R DL ファイナライズ(➜86,130)してもチャプターは自動的に作成されません。高速ダビングした場合のみ、ダビング元のチャプターが複製されます。

■DVD-R(VR方式)の編集について

編集を行うと、編集情報がディスクに書き込まれます。DVD-R(VR方式)ディスクでは、一度書き込まれた部分に上書きはされません。編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあとDVD-R(VR方式)にダビングすることをおすすめします。

番組編集の基本操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)
[ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、DVD-R(VR方式)、DVD-RW(VR方式)は、ファイナライズ後でも「内容確認」のみできます]

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜22)
- RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜85)

1 再生中または停止中に、[再生ナビ]を押す

- 番組一覧が表示されます。

例)HDD(「ビデオ」一覧)

No	録画日	曜日	CH	開始	番組名
001	10/20	(木)	地上A 10	19:00	洋画劇場 GG
002	10/21	(金)	地上A 4	8:00	広場 GG
003	10/22	(土)	地上A 6	17:00	夕方ニュース GG
004	10/23	(日)	地上D 004	21:00	現代 GG
005	10/24	(月)	地上A 8	9:00	今日の健康 GG
006	10/25	(火)	地上D 101	10:00	湯めぐり GG
007	10/26	(水)	地上A 10	17:00	洋画劇場 GG
008	10/27	(木)	地上D 004	20:00	サッカー

2 HDD RAM

[青]または[赤]を押して、「ビデオDR」(HDDのみ)または「ビデオ」一覧に切り換える

ビデオDR(HDDのみ)：録画モード「DR」で録画された番組
ビデオ：録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画された番組

3 [▲][▼]で編集する番組を選ぶ

- 再生ナビ画面をサムネイル表示(➜61)にしている場合は、[▲][▼][◀][▶]で番組を選びます。

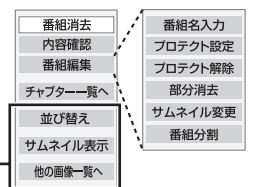
前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- サムネイル表示の場合は、[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

複数の番組をまとめて編集するには

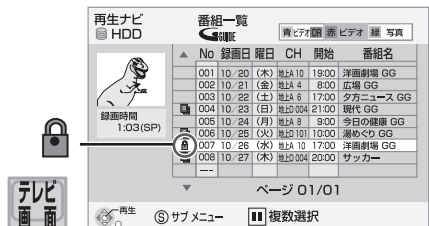
[▲][▼]([◀][▶])で番組を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

4 [サブメニュー]を押す

例)HDD(「ビデオ」一覧)

5 [▲][▼]で編集する項目を選び、[決定]を押す

- 「番組編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

以下、"番組編集項目一覧"(➜右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

"チャプター一覧へ"を選んだ場合は

チャプター一覧画面に切り換わります。(➜77手順6へ)

■前の画面に戻る➜[戻る]を押す

■画面を消す➜ を押す

番組編集項目一覧

●左ページ手順*1*～*5*のあとに操作します。

項目	内容
番組を消す 番組消去	HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R **消去すると元に戻すことができません。**消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀]で「消去」を選び、決定を押す** ● -R(VR) -R(V) -R DL +R 消去しても残量は増えません。(➜下記) ● -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみディスク残量が増えます。(➜下記)
内容を確認する 内容確認	HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR) 番組名、録画日、チャンネルなどが表示され、確認できます。 **画面を消すには**➡[決定]を押す
番組名を付ける 番組名入力	HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R ●文字入力について(➜87)
誤消去防止の設定/解除 プロテクト設定/解除	HDD RAM -R(VR) 大切な録画内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。 **[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す** ●プロテクト設定すると"🔒"が表示されます。解除すると消えます。
番組の不要な部分を消す 部分消去	HDD RAM -R(VR) 録画した番組の消したい部分を指定して消去します。 **1 消去する部分の開始点(イン点)で、決定を押す** ●編集中の便利な機能(➜下記) **2 消去する部分の終了点(アウト点)で、決定を押す** **3 [▲][▼]で「終了」を選び、決定を押す** **続けて別の不要な部分を消去するには** 「次へ」を選んで[決定]を押す(手順4を行ったあと、手順1へ) **4 [◀]で「消去」を選び、決定を押す**

イン点
アウト点
次へ
終了

編集中の便利な機能

●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜62,63)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

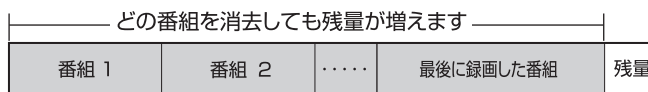
次ページへつづく

■番組消去後のディスクの残量について

HDD RAM :録画した番組を消去すると、消去した番組分、ディスク残量が増えます。

-RW(V) :最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません ／ 消去すると残量が増えます

番組 1	番組 2	·····	最後に録画した番組	残量

-R(VR) -R(V) -R DL +R :消去しても残量は増えません。
● HDD RAM -RW(V) -RW(VR) フォーマット(➜85)すると、一度に未記録状態にすることができます。

番組編集項目一覧(つづき)

●74 ページ手順*1*～*5*のあとに操作します。

編集中の便利な機能
●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜62,63)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する サムネイル変更

「ビデオDR」一覧の番組では変更できません。

1 再生 を押す

2 お好みの場面で、決定 を押す

●編集中の便利な機能(➜上記)

場面を選び直すには
① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定]を押す

3 「終了」が選ばれている状態で、決定 を押す

番組を2つに分割する 番組分割

HDD RAM -R(VR)

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

1 分割する場面で、決定 を押す

●編集中の便利な機能(➜上記)

分割する場面を確認するには
「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す
●分割する場面の前後10秒間が再生されます。

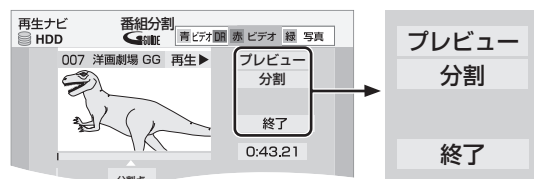
分割する場面を選び直すとき
① [▲][▼]で「分割」を選ぶ
② [再生▶]を押して、再生を始める
③ 分割する場面で、[決定]を押す

再生ナビ HDD 番組分割 007 洋画劇場 GG 再生▶ プレビュー 分割 終了 0:43.21 分割点

プレビュー
分割
終了

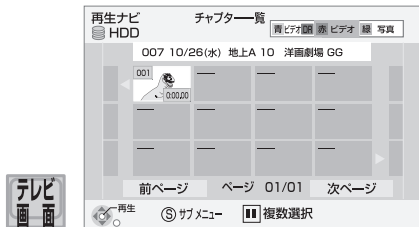
2 [▲][▼]で「終了」を選び、決定 を押す

3 [◀]で「分割」を選び、決定 を押す

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(➜上記)で確認のうえ、実行してください。
●番組名(➜75)や番組の録画制限(➜15)などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。

チャプターを再生/編集する

HDD RAM
-R(VR)（ファイナライズ後は再生のみ）
-RW(V)（再生のみ）

●74ページ手順*1*～*5*のあとに操作します。

6 [▲][▼][◀][▶]で再生または編集するチャプターを選ぶ

前後のページを表示するには
[|◀◀]（前ページ）または[▶▶|]（次ページ）を押す
●[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

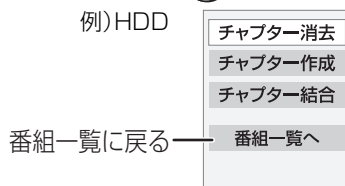
複数の番組をまとめて編集するには
[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す（複数選択）
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

7 ◆再生する➡ 決定 を押す

●選んだチャプターの再生が始まります。

◆編集する➡ サブメニュー S を押す（➡手順*8*へ）

8 サブメニュー S を押した場合のみ
[▲][▼]で編集する項目を選び、決定 を押す

例）HDD

以下、"チャプター編集項目一覧"（➡右記）に進み、それぞれの編集を行ってください。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す

■画面を消す➡ 再生ナビ を押す

チャプター編集項目一覧

●左記手順*1*～*8*のあとに操作します。

チャプター部分を消す（部分消去） チャプター消去	HDD（「ビデオ」一覧の番組のみ） RAM -R(VR) 指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。**実行すると元に戻すことができませんので、消去してよいか確認してから行ってください。** ●チャプターの区切り点のみ消去したい場合は、「チャプター結合」を行ってください。（録画内容は消去されません）**（➡下記）** **[◀]で「消去」を選び、決定 を押す**
チャプターを作成する チャプター作成	HDD（「ビデオ」一覧の番組のみ） RAM -R(VR) 映像を見ながら区切りたい部分を指定します。 **1 チャプターを区切る位置で、決定 を押す** ●**編集中の便利な機能（➡左ページ）** ●繰り返して複数の位置を指定できます。 **2 [▲][▼]で「終了」を選び、決定 を押す**
チャプターをつなぐ チャプター結合	HDD（「ビデオ」一覧の番組のみ） RAM -R(VR) 選択中のチャプターと次のチャプターの区切り点をなくし、1つにつなぎます。録画内容は消去されません。 **[◀]で「結合」を選び、決定 を押す**

プレイリストを作成・再生・編集する

はじめに

■プレイリストについて

チャプター作成(➜77)で作成した好みのチャプターを集めて、再生したい順に並べたものです。
録画モード「DR」で録画した番組では、プレイリストを作成できません。

- ダビング(➜106,110,112)すると、ダビング先では番組になります。(8時間を超えるプレイリストはダビングできません)
- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。ただし、DVD-R(VR方式)でプレイリスト編集を行う場合は、残量の減少にお気をつけください。(➜下記)
- プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元の番組やチャプターには影響しません。

HDD RAM -R(VR)

最大記録数

プレイリスト:99
プレイリストのチャプター:約1000(記録状態によって変化します)

- 最大記録数を超えるプレイリスト、チャプターは、すべて登録されません。

■DVD-R(VR方式)のプレイリスト編集について

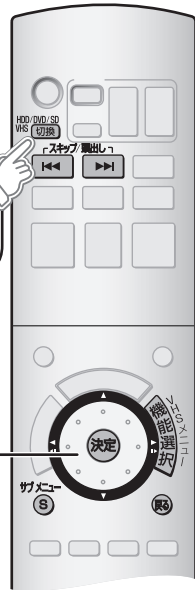
プレイリスト編集を行うと、編集情報がディスクに書き込まれます。DVD-R(VR方式)ディスクでは、一度書き込まれた部分に上書きはされません。編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。
編集はHDD上で行い、そのあとDVD-R(VR方式)にダビングすることをおすすめします。

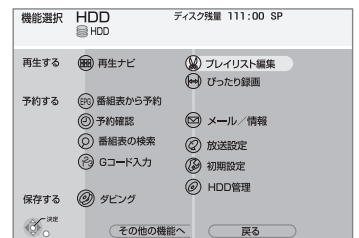
プレイリストを作成する

HDD RAM
-R(VR) (ファイナライズしたディスクではできません)

- 録画中やダビング中は、プレイリストの作成はできません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜22)
- RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜85)

1 停止中に、[機能選択]を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 「プレイリスト編集」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [▲][▼][◀][▶]で「新規作成」を選び、[決定]を押す

- はじめてプレイリストを作成するときは、そのまま[決定]を押してください。
- プレイリスト新規作成画面が表示されます。

前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

5 1行目の操作

[◀][▶]でプレイリストに加えたいチャプターの入っている編集元番組を選び、[▼]を押す

☞**編集元番組内のチャプターをすべて選ぶには**
編集元番組を選んだあと、[決定]を押す(➜手順7へ)

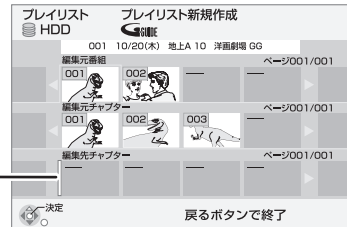
6 2行目の操作

[◀][▶]でプレイリストに加えたい編集元チャプターを選び、(決定)を押す

☞**編集元チャプターを選び直すには**
[▲]を押す

☞**別の編集元番組を選ぶには**
[▲]を数回押して編集元番組の行を選び、手順5に戻る

7 3行目の操作

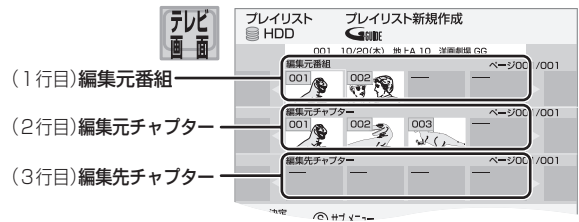
手順6で選んだ編集元チャプターの挿入位置を [◀][▶]で選び、(決定)を押す

☞**続けて編集元チャプターを追加するには**
手順6〜7を繰り返す

8 作成が終わったら、(戻る)を押す

●選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

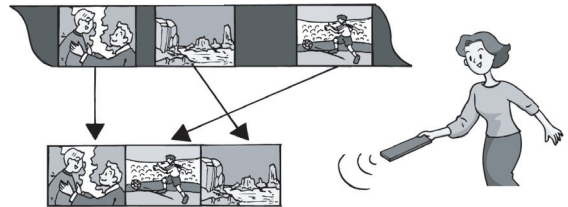
■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

プレイリスト新規作成画面について

1行目、2行目は、録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した番組とその番組に含まれるチャプターの一覧です。これらをお好みの順番で3行目に登録し、プレイリストを作成します。

お知らせ

●プレイリスト新規作成画面から、編集元番組のチャプターを新たに作成することもできます。作成するには、編集元番組や編集元チャプターを選んで、**[サブ メニュー]**を押し、“チャプター作成”を表示させて**[決定]**を押します。
(操作方法は➜77“チャプターを 作成する”)

編集する

プレイリストを作成・再生・編集する

プレイリストの再生/編集の基本操作

HDD RAM -R(VR) -RW(VR)

[DVD-RW(VR方式)、ファイナライズしたDVD-R(VR方式)では、再生と「内容確認」のみできます]

- プレイリストのチャプターを編集しても、元の番組やチャプターには影響しません。
- 録画中やダビング中は、プレイリストの編集はできません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➔22)
- RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)を解除(➔85)し、プレイリスト作成(➔78)済みのディスクを入れる。

1 停止中に、[機能選択]を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 「プレイリスト編集」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [▲][▼][◀][▶]で再生または編集するプレイリストを選ぶ

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

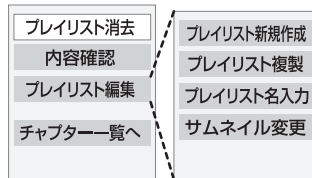
複数のプレイリストをまとめて編集するには
[▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

5 ◆再生する➔[決定]を押す

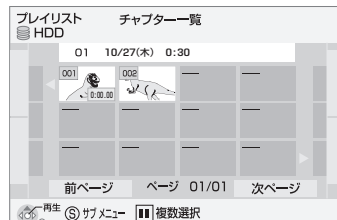
- 選んだプレイリストの再生が始まります。

◆編集する➔[サブメニュー]を押す(➔手順6へ)

6 [サブメニュー]を押した場合のみ
[▲][▼]で編集する項目を選び、[決定]を押す

- "プレイリスト編集"を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

以下、"プレイリストの編集項目一覧"(➔右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

"チャプター一覧へ"を選んだ場合は
チャプター一覧画面に切り換わります。(➔手順7へ)

7 [▲][▼][◀][▶]で再生または編集するチャプターを選ぶ

前後のページを表示するには(➔上記手順4)

複数のチャプターをまとめて編集するには(➔上記手順4)

8 ◆再生する➔[決定]を押す

- 選んだチャプターの再生が始まります。

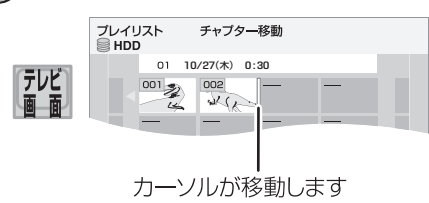
◆編集する➔[サブメニュー]を押す(➔手順9へ)

9 [サブメニュー]を押した場合のみ
[▲][▼]で編集する項目を選び、[決定]を押す

- チャプター追加
- チャプター移動
- チャプター作成
- チャプター結合
- チャプター消去
- プレイリスト一覧へ (プレイリスト一覧に戻る)

以下、"プレイリストのチャプター編集項目一覧"(➔右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

■前の画面に戻る➔[戻る]を押す
■画面を消す➔[戻る]を数回押す

プレイリスト編集項目一覧

プレイリストの編集項目一覧

●左ページ手順*1*～*6*のあとに操作します。

項目	内容
プレイリストを消す プレイリスト消去	HDD RAM -R(VR) **消去すると、元に戻すことができません。** 消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す**
内容を確認する 内容確認	HDD RAM -R(VR) -RW(VR) 作成日などが表示され、確認できます。 **画面を消すには➡**[決定]を押す
プレイリストを新しく作成する プレイリスト新規作成	HDD RAM -R(VR) (操作方法は➜78“プレイリストを作成する”手順*5*～*7*)
プレイリストを複製する プレイリスト複製	HDD RAM -R(VR) 複製されたプレイリストは、最も新しいプレイリストとして複製されます。 **[◀]で「複製」を選び、(決定)を押す**
プレイリスト名を付ける プレイリスト名入力	HDD RAM -R(VR) ●文字入力について(➜87)
プレイリスト一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する サムネイル変更	HDD RAM -R(VR) **1 (再生▶)を押す** **2 お好みの場面で、(決定)を押す** ●編集中の便利な機能(➜下記) **場面を選び直すには** ① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める ② お好みの場面で、[決定]を押す **3 「終了」が選ばれている状態で、(決定)を押す**

プレイリストのチャプター編集項目一覧

●左ページ手順*1*～*9*のあとに操作します。

項目	内容
チャプターを追加する チャプター追加	HDD RAM -R(VR) (操作方法は➜78“プレイリストを作成する”手順*5*～*8*)
チャプターの順番を変える チャプター移動	HDD RAM -R(VR) **[▲][▼][◀][▶]で移動先を選び、(決定)を押す** カーソルが移動します
チャプターを作成する チャプター作成	HDD RAM -R(VR) 映像を見ながら区切りたい部分を指定します。 **1 チャプターを区切る位置で、(決定)を押す** ●編集中の便利な機能(➜下記) ●繰り返して複数の位置を指定できます。 **2 [▲][▼]で「終了」を選び、(決定)を押す**
チャプターをつなぐ チャプター結合	HDD RAM -R(VR) 選択中のチャプターと次のチャプターの区切り点をなくし、1つにつなぎます。録画内容は消去されません。 **[◀]で「結合」を選び、(決定)を押す**
チャプター部分を消す(部分消去) チャプター消去	HDD RAM -R(VR) チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。 **[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す**

編集中の便利な機能

●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜62,63)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

写真を編集する

はじめに

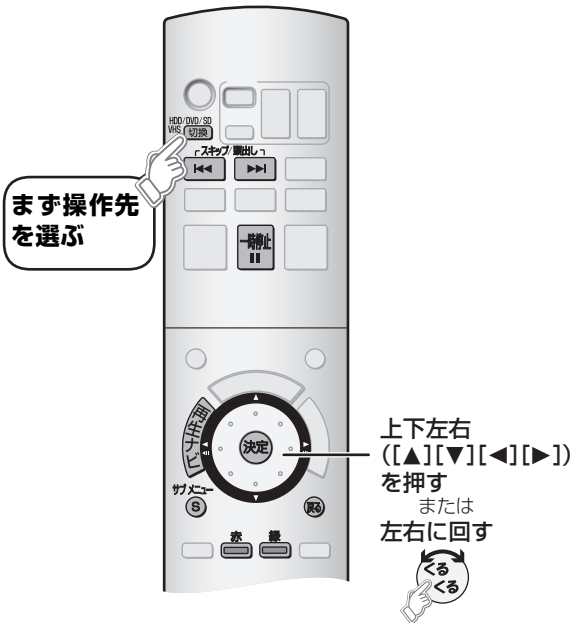
- 写真単位、またはフォルダ単位で編集することができます。
- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜8)
- CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

■写真消去後のディスク、カードの残量について

HDD RAM SD:
記録した写真を消去すると、消去した写真分、ディスク残量、カード残量が増えます。

どの写真を消去しても残量が増えます

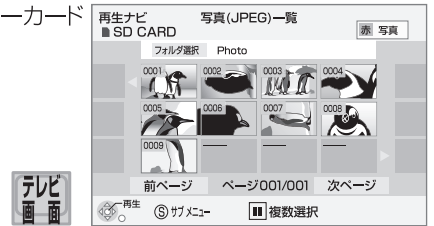
写真1	写真2	·····	最後に記録した写真	残量

- HDD RAM SD フォーマット(➜85)すると、一度に未記録状態にすることができます。

写真編集の基本操作

HDD RAM SD

準備
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい写真が入っている操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜22)
- ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜85)

1 [ビデオナビ] を押す

例)SDメモリーカード

テレビ画面

2 HDD RAM

写真(JPEG)一覧に切り換える

HDDの場合は[緑](写真)を、DVD-RAMの場合は[赤](写真)を押す

- サブメニューを使って切り換えることもできます。(➜61"他の画像一覧に切り換える")

3 [▲][▼][◀][▶]で編集したい写真を選ぶ

前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

複数の写真をまとめて編集するには

[▲][▼][◀][▶]で写真を選び、[一時停止❚❚]を押す
操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

別フォルダの写真を選ぶには(➜右ページ)

4 [サブメニュー S] を押す

例)SDメモリーカード

写真の消去
写真のプロテクト設定
写真のプロテクト解除
写真のDPOF設定

5 [▲][▼]で編集する項目を選び、[決定]を押す

以下、"写真編集項目一覧"(➜右ページ)に進み、それぞれの編集を行ってください。

■前の画面に戻る➜ [戻る] を押す

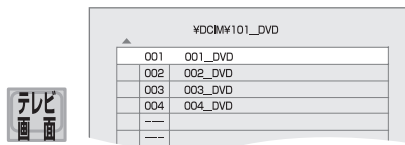
■画面を消す➜ [ビデオナビ] を押す

別のフォルダを選ぶ

1 [▲]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

●フォルダ選択画面が表示されます。

テレビ画面

¥DCIM¥101_DVD	
001	001_DVD
002	002_DVD
003	003_DVD
004	004_DVD
―	
―	

2 [▲][▼]でフォルダを選び、(決定)を押す

●選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

フォルダごと編集する

●左ページ手順 *1*～*2*のあとに操作します。

3 [▲]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼]で編集したいフォルダを選ぶ

☞**前後のページを表示するには**（➜左ページ手順 *3*）

☞**複数のフォルダをまとめて編集するには**（➜左ページ手順 *3*）

5 サブメニュー(S)を押す

テレビ画面

例）SDメモリーカード

- フォルダごと消去
- フォルダ名入力
- フォルダのプロテクト設定
- フォルダのプロテクト解除
- フォルダ内のDPOF設定
- フォルダ選択

RAM SD
上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ表示されます。

☞**上位フォルダを切り換えるには**（➜下記）

6 [▲][▼]で編集する項目を選び、(決定)を押す

以下、“写真編集項目一覧”（➜右記）に進み、それぞれの編集を行ってください。

■**前の画面に戻る**➜ (戻る) を押す

■**画面を消す**➜ (ビエラリンク) を押す

■**上位フォルダを切り換える** RAM SD
（上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ）

➜ **1** [▲][▼]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

2 [◀][▶]でフォルダを選び、(決定)を押す

写真編集項目一覧

●左ページ“**写真編集の基本操作**”手順*1*～*5*のあと、または左記“**フォルダごと編集する**”手順 *1*～*6*のあとに操作します。

消去する 写真の消去 フォルダごと消去	HDD RAM SD **消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。**消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す** ●フォルダを消去する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも消去されます。（フォルダ内の下位フォルダは除く）
フォルダ名を付ける フォルダ名入力	HDD RAM SD ●文字入力について（**➜87**） ●本機で入力したフォルダ名は、他の機器では表示されないことがあります。
誤消去防止の設定/解除 写真のプロテクト設定/解除 フォルダのプロテクト設定/解除	HDD RAM SD **[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す** ●プロテクトを設定すると“”が表示されます。解除すると消えます。 ●本機でフォルダにプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。
プリンターや写真店でプリントする枚数を設定する 写真の DPOF 設定 フォルダ内の DPOF 設定	SD **[◀][▶]で枚数（0枚～9枚）を選び、(決定)を押す** ●DPOFマークが表示されます。（「フォルダ内のDPOF設定」では設定したフォルダの中の写真に表示されます） ☞**設定を解除するには「0枚」に設定する** ●本機での設定は他の機器で見られない場合があります。 ●本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。 ●写真やフォルダがDCF規格[➜8“**HDD、DVD-RAM、SDカードに記録されている写真（JPEG/TIFF）について**”]でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。

HDD・ディスクやカードを整理する

はじめに

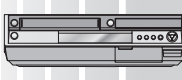
操作先によって、機能選択画面に表示されるメニューは異なります。それぞれ以下のメニューを選んでください。
- 操作先が「HDD」の場合 :「HDD管理」
- 操作先が「DVD」の場合 :「DVD管理」
- 操作先が「SD」の場合　:「カード管理」

HDD管理/DVD管理/カード管理では、ディスクやカードのフォーマット(初期化)やファイナライズを行うことができます。

■フォーマットについて

フォーマットとは

新品、または他の機器で使っていたディスクやカード

フォーマットすると

そのままでは本機で記録できない場合があります。

本機で記録できるようになります。

■ファイナライズについて

ファイナライズとは

そのままでは他の DVD 機器で再生できません。

他の DVD 機器で再生できるようになります。

◇◇ HDD/DVD/カード管理の基本操作 ◇◇

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) -RW(VR) +R SD

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜22)
- RAM SD ディスクやカートリッジ付きディスク、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜右ページ)

1 停止中に、[機能選択] を押す

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

例)DVD-RAM

3 [▲][▼]で「HDD管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、(決定)を押す

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

(ファイナライズしたディスクにはできません)

ディスクごとにタイトルを付けることができます。
- 上記手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 「ディスク名入力」が選ばれている状態で、(決定)を押す

- 文字入力について(➜87)
- 未使用のDVD-Rにディスク名を入力すると、DVD-Video方式となり、VR方式としてフォーマットできなくなります。

入力したディスク名は、[機能選択]を押すと表示されます。

例)DVD-RAM

-R(V) -R DL -RW(V) +R

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

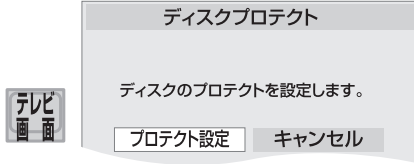
誤消去防止の設定/解除(ディスクプロテクト)

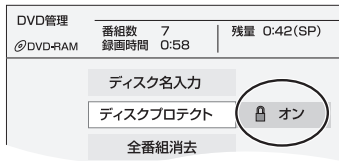
RAM -R(VR) (ファイナライズしたディスクにはできません)
ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

●左ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

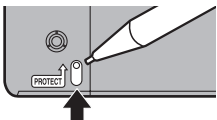
4 [▲][▼]で「ディスクプロテクト」を選び、決定を押す

テレビ画面

ディスクプロテクト
ディスクのプロテクトを設定します。
プロテクト設定　キャンセル

5 [◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

●プロテクト設定すると“🔒オン”が表示されます。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す
■画面を消す➡ 戻る を数回押す

■カートリッジ付きDVD-RAMやカードの場合
本機で上記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定(プロテクト)ができます。

カートリッジ付きディスク

設定すると、本機に入れたとき自動的に再生します。

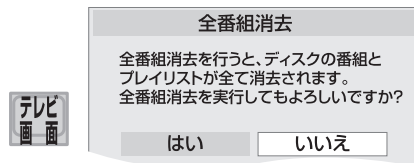
SDメモリーカードなど

スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する(全番組消去)

HDD RAM -R(VR) (ファイナライズしたディスクではできません)
●左ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「全番組消去」を選び、決定を押す

全番組消去
全番組消去を行うと、ディスクの番組とプレイリストが全て消去されます。
全番組消去を実行してもよろしいですか?
はい　いいえ

5 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

6 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

●**実行すると録画内容が消え、元に戻すことはできません。**よく確認してから行ってください。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す
■画面を消す➡ 戻る を数回押す

お知らせ
●番組を全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。
● HDD RAM 写真は消去されません。
● -R(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやカードを初期化する(HDDのフォーマット/ディスクのフォーマット/カードのフォーマット)

HDD RAM -RW(V) -RW(VR) SD
-R(V) (未使用のディスクのみ)
●DVD-Rの記録方式とフォーマットについては(➜38)
● SD 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜8)

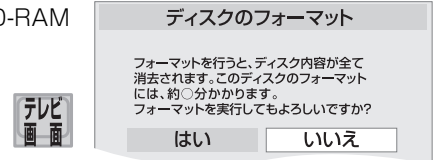
フォーマット(➜130)を実行すると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません(パソコンのデータなども含む)。すべて消してよいか確認してから行ってください。(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

●左ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。
(カードの場合は、手順*3*で「カード管理」を選んでください)

4 [▲][▼]で「ディスクのフォーマット」を選び、決定を押す

例)DVD-RAM

テレビ画面

ディスクのフォーマット
フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには、約○分かかります。
フォーマットを実行してもよろしいですか?
はい　いいえ

●別の操作先やディスクで行う場合は、それぞれ以下のメニューを選んでください。
・操作先が「HDD」の場合：「HDDのフォーマット」
・操作先が「SD」の場合　：「カードのフォーマット」
・未使用の DVD-R　　　：「フォーマット(VR方式)」

5 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

6 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

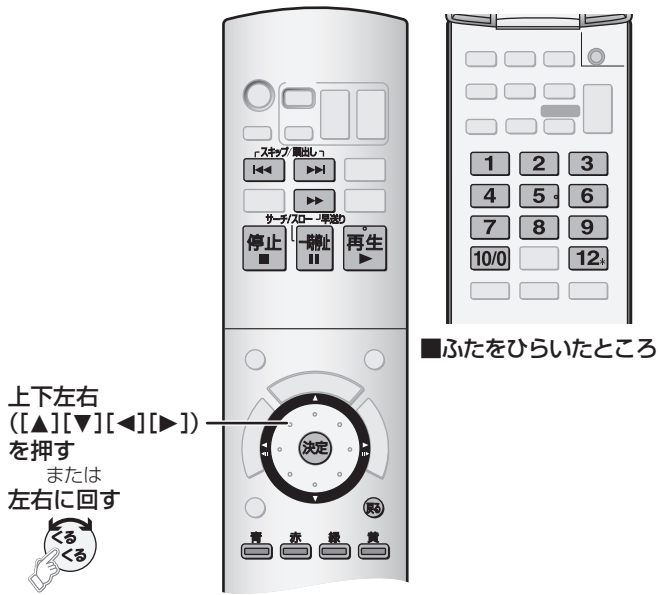
●フォーマットが始まります。通常は数分、DVD-RAMでは最大約70分かかります。

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

■フォーマットを中止する➡ 戻る を押す
● RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

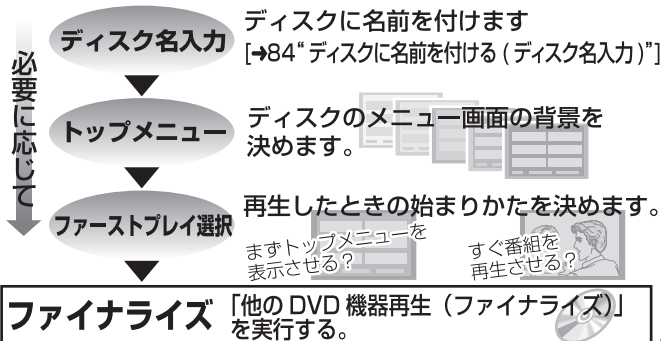
■前の画面に戻る➡ 戻る を押す
■画面を消す➡ 戻る を数回押す

お知らせ
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●DVD-R DL、+R、+RW、CD-R/RW、録画済みのDVD-Rはフォーマットできません。
●本機ではDVD-RWをフォーマットすると、DVD-Video方式になります。
●本機では未使用のDVD-Rをフォーマットすると、VR方式になります。(フォーマットすると、DVD-Video方式では記録できなくなります)

次ページへつづく

HDD/DVD/カード管理の基本操作(つづき)

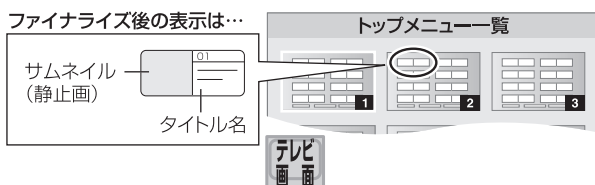
他の機器で再生できるようにする[トップメニュー/ファーストプレイ選択/他のDVD機器再生(ファイナライズ)]

-R(V) -R DL -RW(V) +R :
録画後に他のDVD機器で再生するには、ファイナライズをする必要があります。ただし、それぞれの機器がファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。他の機器との互換性は5ページをご覧ください。

-R(VR) :VR方式のDVD-R対応機器で再生できますが、ファイナライズが必要になる場合があります。

●84ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。
(-R(VR) 以下の「トップメニュー」「ファーストプレイ選択」の設定はできません。手順*8*から行ってください)

トップメニュー -R(V) -R DL -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。(設定しないときは、手順*6*に進む)

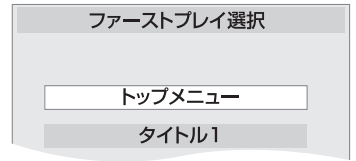
4 [▲][▼]で「トップメニュー」を選び、決定を押す

5 [▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。[➜76"番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する"]

ファーストプレイ選択 -R(V) -R DL -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。(設定しないときは、手順*8*に進む)

6 [▲][▼]で「ファーストプレイ選択」を選び、決定を押す

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

7 [▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、決定を押す

トップメニュー:再生時、メニュー画面を表示する
タイトル1　　:再生時、ディスクの先頭から再生する

他のDVD機器再生(ファイナライズ)

8 [▲][▼]で「他のDVD機器再生(ファイナライズ)」を選び、決定を押す

他のDVD機器で再生する(ファイナライズ)
他のDVD機器で再生するには、ファイナライズが必要です。開始すると約○分かかります。
ファイナライズを行いますか?
はい　いいえ

9 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

10 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

●ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
●ディスクの残量が少ない場合は数分、最大約15分かかります。(-R DL の場合は最大で60分かかります)

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

■前の画面に戻る➜ 戻る を押す
■画面を消す➜ 戻る を数回押す

■ファイナライズすると

● -R(VR) -R(V) -R DL +R **再生専用となり、録画(ダビング)や編集はできなくなります。**
● -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(➜85)すると、繰り返して録画や編集ができます。ただし録画していた番組などはすべて消去されます。
● -R(V) -R DL -RW(V) +R
・高速モードでダビングした番組では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
・直接録画した番組や、高速モード以外でダビングした番組では、約5分ごとのチャプターが自動的に作成されます。(-R DL は除く。実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します)
・番組やチャプターのつなぎ目が数秒間静止するようになります。

お知らせ

●本機以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
●本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のDVDプレーヤーでは再生できない場合があります。
再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)
●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(約4倍)

文字入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R SD

はじめに

録画した番組などに名前を付けることができます。

入力できる文字数

	種類	半角英数	その他
HDD RAM -R(VR)	番組名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	フォルダ名（-R(VR) を除く）	36	18
	ディスク名（HDD を除く）	64	32
-R(V) -R DL -RW(V) +R	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	フォルダ名	36	18

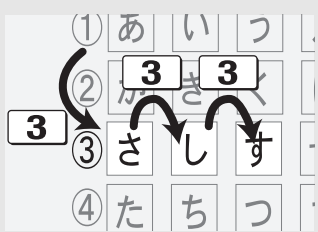
※予約録画時　半角英数：44文字　　その他：22文字

お知らせ

●予約録画時の番組名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

[1]～[10/0]、[12＊]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す
●「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

1 入力画面を表示する

予約録画する番組に名前を付けるには
「タイトル名入力」を選ぶ
(➜50手順3、➜53手順3)

録画した番組に名前を付けるには
「番組名入力」を選ぶ(➜74手順5)

プレイリストに名前を付けるには
「プレイリスト名入力」を選ぶ(➜80手順6)

ディスクに名前を付けるには
「ディスク名入力」を選ぶ(➜84手順4)

写真のフォルダに名前を付けるには
「フォルダ名入力」を選ぶ(➜82手順5)

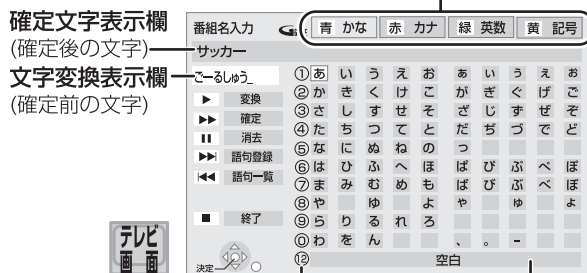
2 入力する文字の種類を選ぶ

青(かな)、赤(カナ)、緑(英数)、黄(記号)を押して、決定を押す

●[▲][▼][◀][▶]で文字の種類を選んで、[決定]を押しても、文字の種類が選べます。
●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

入力できる文字の種類
(ひらがなは漢字に変換することもできます)

確定文字表示欄
(確定後の文字)

文字変換表示欄
(確定前の文字)

数字ボタンで選ぶ(➜左記)

スペースを入力する

3 入力する文字を選ぶ

[▲][▼][◀][▶]で選び、決定を押す

●確定文字表示欄では“_”の部分に文字が挿入されます。
●この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

◆**ひらがなを入力する**➡[▶▶早送り](確定)を押す

◆**ひらがなを漢字変換する**
➡ **1** [再生▶](変換)を押す
●変換候補選択画面が表示されます。
2 [▲][▼]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
●[|◀◀]または[▶▶|]を押すと、前ページまたは次ページの文字候補選択画面が表示されます。
●[戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

◆**よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出す**(➜88)

◆**消去する**➡[一時停止❚❚](消去)を押す

4 入力が終わったら、

停止■(終了)を押す

●“書き込み中です…”と表示されたあと、番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

■**途中で終わる**➡ 戻る **を数回押す**(文字は入力されません)

次ページへつづく

よく使う語句を登録する

登録できる語句数:20個まで
登録できる文字数(1個あたり): 半角英数　先頭から20文字
その他　先頭から10文字

1 **登録したい語句を入力後、[▶▶|](語句登録)を押す**

2 **[◀]で「登録」を選び、(決定)を押す**

■登録を中止する➡ (戻る) を押す

登録した語句を呼び出す

1 **[|◀◀](語句一覧)を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、(決定)を押す**

●確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。

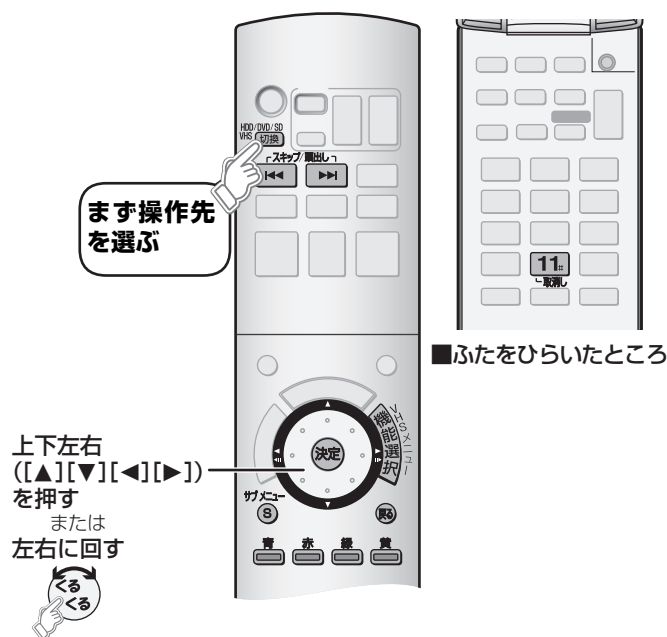
登録した語句を消去する

1 **[|◀◀](語句一覧)を押す**

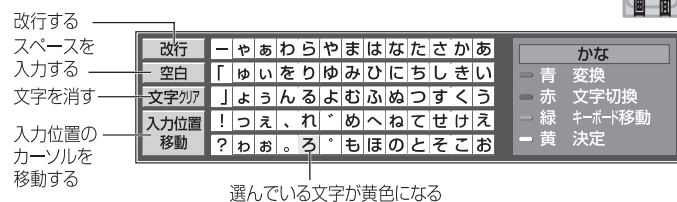
2 **[▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、(サブメニュー)を押す**

3 **「語句消去」が選ばれている状態で、(決定)を押す**

4 **[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す**

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

◇◇データ放送画面での文字入力のしかた◇◇

データ放送を表示中(➜37)、画面に説明された操作をしたときに、次のような文字入力画面(キーボード表示)が表示される場合があります。

例)入力モードが「かな」のとき

●この文字入力画面は、プロキシの設定(接続・設定編 P.47)でも表示されます。

[▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び (決定) を押す

■画面上のキーボードの表示位置を移動させたいとき
➡ [緑](キーボード移動)を押す
●押すごとに移動します。

■文字の種類を選ぶ
➡ [赤](文字切換)を押す
●押すごとに以下のように切り換わります。

●漢字を入力するときは「かな」を選びます。
●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。

■文字を確定する
➡ [黄](決定)を押す

■ひらがなを漢字変換する
➡ [青](変換)を押して[▲][▼]で変換候補を選び、(決定) を押す

■記号を入力する
➡ **1** “きごう”と入力する
2 [青](変換)を押す
●画面上のキーボードが消え、記号を表示します。
●他の記号に変換したいときは、[▼]を押し、候補の中から選び、[決定]を押します。

いろいろな情報を見る

放送局などから届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

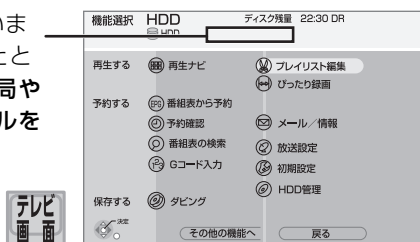
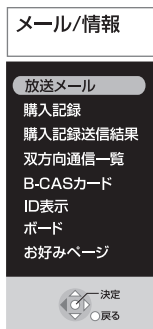
メール/情報確認の基本操作

●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➜22)

1 停止中に、[機能選択]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

●「メールがきています」と表示されたとき(➜右記"放送局や本機からのメールを見る")

3 [▲][▼]で「メール/情報」を選び、[決定]を押す

■前の画面に戻る➜ [戻る] を押す

■画面を消す➜ [戻る] を数回押す

放送局や本機からのメールを見る

放送メールには、放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。

●左記手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 「放送メール」が選ばれている状態で、[決定]を押す

5 [▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す

●メールの内容が表示されます。

●本機の機能向上のためのダウンロード情報が届いた場合、メールの内容画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。ダウンロードの予約を「する」または「しない」を選んでください。
「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。
※ダウンロード方法を「自動」にしている場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行なわれます。

ダウンロード方法については(接続・設定編 P.35)

お知らせ

●メールが最大保存数を超えると、未読/既読に関係なく、日付けの古い順に消去されます。また、最大保存数を超えていなくても、受信から14日経過したメールは消去されます。
●メールはお客様自身で消去することはできません。
●メールの送信や返信はできません。
●放送メールはインターネットメールではありません。

購入した有料番組を確認する

●左記手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「購入記録」を選び、[決定]を押す

●購入した番組が表示されます。

■累計金額をリセットする(0円に戻す)

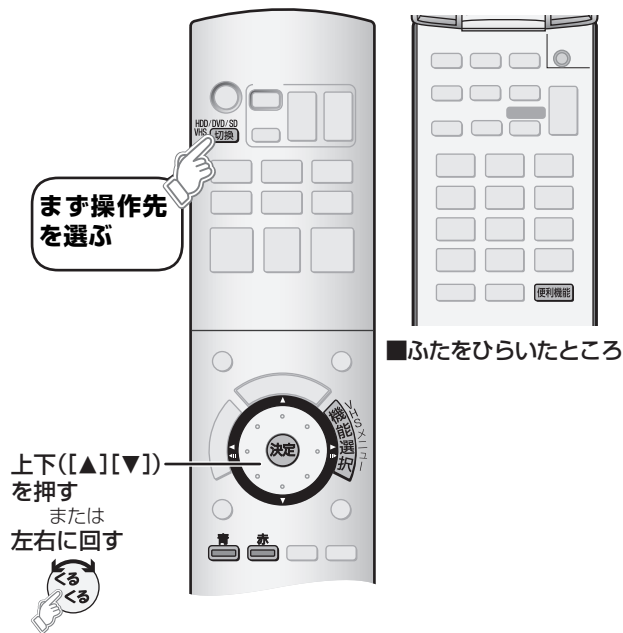
➜ **1** [11] を押して、リセット画面を出す

2 [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

●リセットした項目は、うすい文字で表示されます。

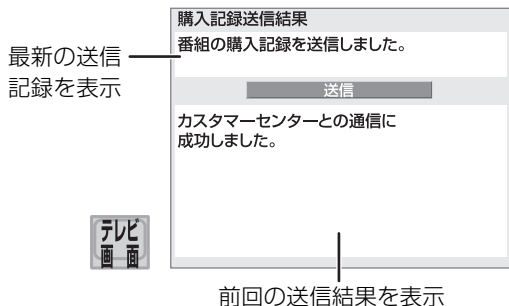
お知らせ

●表示される金額は参考です。価格改定などにより請求金額は異なる場合があります。

■ふたをひらいたところ

購入した有料番組の送信結果を確認する

有料放送の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。

●89ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「購入記録送信結果」を選び、(決定)を押す

●前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、[決定]を押すと再送信できます。

双方向通信の結果一覧を見る

データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。

●89ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「双方向通信一覧」を選び、(決定)を押す

●一覧が表示されます。

双方向通信一覧

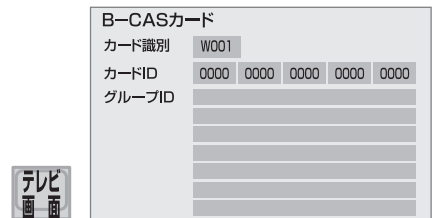
通信開始時刻	電話番号
10月20日(木) 9:00	123456******
10月21日(金) 9:00	123456******
10月22日(土) 9:00	123456******
10月23日(日) 9:00	123456******

B-CASカードの番号などを見る

契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターへの問い合わせのときなど、B-CASカードの番号が必要なときに使用します。

●89ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「B-CASカード」を選び、(決定)を押す

●カードの状況が表示されます。

本機に関する情報を見る

当社の「お客様ご相談センター」への問い合わせのときなど、本機の情報を調べたいときに使用します。

●89ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「ID表示」を選び、(決定)を押す

●本機のIDなどの情報が表示されます。

■その他の情報を見る

➡ (青)を押す

●本機のソフト情報を表示します。

➡ (赤)を押す

●データ放送時のルート証明書の情報を表示します。

110度CSデジタル放送から送られる情報を見る

110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

●89ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「ボード」を選び、(決定)を押す

CS1ボード:「CS1」からの情報
CS2ボード:「CS2」からの情報

5 [▲][▼]で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、(決定)を押す

6 [▲][▼]で確認したい情報を選び、(決定)を押す

●内容が表示されます。

データ放送からのお好みページを使う

データ放送の画面上で、「お好みページ」の登録操作を行ったときに「お好みページ」が本機に登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に開始されていく予定です。(2005年9月現在)
ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。

●89ページ手順*1*～*3*のあとに操作します。

4 [▲][▼]で「お好みページ」を選び、決定 を押す

5 [▲][▼]で実行したいタイトルを選び、決定 を押す

●登録されている内容に従った動作が行われます。
例えば
・指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換えます。
・インターネット上の(特殊な言語で構成された)ページを表示します。(ブロードバンド環境が必要です)

■お好みページを削除したり自動で消去する

 1 便利機能 を押す

2 削除する場合は「消去」を選び、決定 を押す

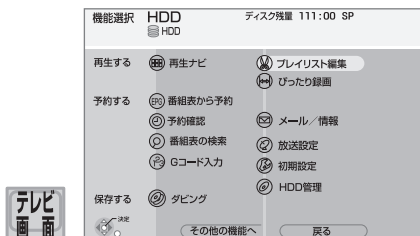
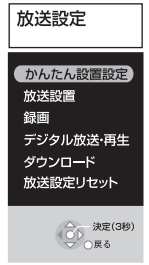
●データ放送からの指示により、自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだあと、「更新」を選び、[決定]を押してください。

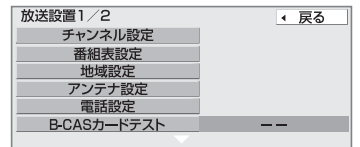
番組表(Gガイド)の受信スケジュールを確認する
(番組表設定)

各放送の番組表(Gガイド)データの受信時間を確認するときに行います。

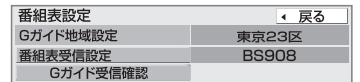
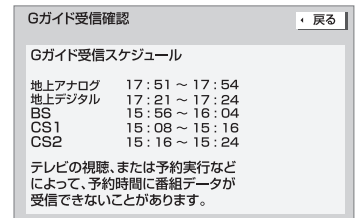
準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➜22)

1 停止中に、機能選択 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]で「放送設置」を選び、決定 を3秒以上押す

●[決定]を押すときは、周囲の回転部を一緒に押さないようにお気をつけください。

5 [▲][▼]で「番組表設定」を選び、決定 を押す

番組表設定	戻る
Gガイド地域設定	東京23区
番組表受信設定	BS908
Gガイド受信確認	

6 [▲][▼]で「Gガイド受信確認」を選び、決定 を押す

●確認結果が表示されます。
●衛星アンテナが正しく接続されているかお確かめください。
●結果の表示は最大2分かかります。

番組表(Gガイド)のその他の設定について

Gガイド地域設定
「かんたん設置設定」(接続・設定編 P.22)を行うことで、自動的に設定されます。
●設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。表示されなくなった場合は、かんたん設置設定を最初からやり直してください。

番組表受信設定
本機の場合、番組表(Gガイド)をBS908のメガポートより受信しています。(2005年9月現在)
放送局からの案内がない限り、この設定は変更しないでください。設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。

本機の設定を変える(初期設定一覧)

■ふたをひらいたところ

初期設定変更の基本操作

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➜22)

例)「自動電源〔切〕」の設定を変える場合

1 **停止中に、機能選択を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す**

3 **[▲][▼]で「初期設定」を選び、決定を押す**

●初期設定画面が表示されます。

4 **[▲][▼]でメニュー(「設置」)を選び、[◀][▶]を押す**

5 **[▲][▼]で設定項目(「自動電源〔切〕」)を選び、決定を押す**

6 **[▲][▼]で設定内容を選び、決定を押す**

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す

■初期設定画面を消す➡ 戻る を数回押す

はじめに

初期設定一覧(➜右ページ～95)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。 ●時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。	▶2H　▶6H　▶切
	リモコンモード(接続・設定編 P.48 **)**	▶リモコン1　▶リモコン2　▶リモコン3
	ワイドモード(接続・設定編 P.27 **)** テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。 **(S映像出力➜132)**	▶S1　:テレビの端子が「S」または「S1」のとき。 ▶S1/S2　:テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ▶切　:テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。
	時刻合わせ(接続・設定編 P.49 **)**	▶(年/月/日/時/分)　▶自動時刻チャンネル
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から以下の操作がすばやく行えるようになります。 ●**[番組表]**を押して約3秒後※に、番組表(Gガイド)を表示して、予約録画することができます。**(➜46)** ●**[DVD/VHS電源]**を押して約3秒後※に、テレビ番組を見ることができます。 ※ただし映像またはS映像コードでテレビと接続しているときのみ。D端子ケーブルおよびHDMI ケーブル接続時は、さらに数秒かかります。	▶入　▶切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、1日1回(午前4時ごろ)、本機全体を自動的にリセットし、内部的に再起動します。そのときは、電源ボタンを含むすべてのボタン操作が数分間できません。また内部から動作音がしますが、故障ではありません。(午前4時に電源が入っていた場合や午前4時を含む予約録画がある場合を除く) ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが定期的に低速で回ります。
	初期設定リセット(➜99) 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (時刻と視聴制限は除く)	▶する　▶しない 初期設定リセットを行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。本体表示窓に"U30 REMOTE"と表示され、リモコンが操作できなくなった場合は、リモコンモードを変更してください。**(** 接続・設定編 P.48 **)**
ディスク	**再生設定**	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●**視聴制限** DVDビデオの視聴制限ができます。 ・暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って**[1]**～**[10/0]**で暗証番号(4けた)を入力してください。 ・**暗証番号は忘れないでください。**	▶レベル8 すべて視聴可　:すべてのディスクが視聴可。 ▶レベル7～1　:制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶レベル0 すべて視聴不可　:すべてのディスクが視聴不可。 ▶ロック解除　▶暗証番号変更　▶レベル変更　▶一時解除
	●**DVD-AudioのVideoモード再生** DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	▶入(電源「切」または本体の**[⏏開/閉]**で「切」に戻ります) ▶切
	●**音声言語** DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶日本語　▶英語 ▶オリジナル(ディスクの最優先言語で再生) ▶その他＊＊＊＊ ＊には**[1]～[10/0]で言語番号(➜95)を入力**(選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面**(➜60)**でのみ切り換えるものもあります)
	●**字幕言語** DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶オート: 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶日本語　▶英語　▶その他＊＊＊＊
	●**メニュー言語** テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶日本語　▶英語　▶その他＊＊＊＊
	記録設定	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●**EP時の記録時間** 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 **(録画モード➜39)**	▶EP(6H)　:4.7 GBディスクに6時間記録 ▶EP(8H)　:4.7 GBディスクに8時間記録
	●**高速ダビング用録画** (アナログ放送や外部入力から録画・ダビングするときのみ) HDDに録画後、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングできるようになります。ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。**(➜右記)** 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへの高速ダビングはできなくなります。	▶入:高速ダビング対応にする →**[決定]**を押して、さらに「はい」を選びます。 ・録画される番組には以下の制限がかかります。 - 画面サイズは 4:3 になります。 - 二重放送の音声は「二重放送音声記録」**(➜94)**で選んだほうの音声のみ記録されます。 ・本機を接続した入力(ビデオ1など)でテレビを視聴中、音声を切り換えることはできなくなります。(二重放送の音声は、「二重放送音声記録」で選ばれている方が出力されます) ▶切

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ディスク	●デジタル放送録画モードDR固定	▶入:デジタル放送をHDDに録画する場合、録画モードは「DR」に固定されます。 ▶切:デジタル放送をHDDに録画する場合、録画モードは「DR」、「XP」～「EP」、「FR」が選べます。
映像	**スチルモード** 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 **(フレーム/フィールド ➜131)**	▶オート ▶フィールド:動きのある映像や"オート"時にぶれが生じるとき ▶フレーム:"オート"時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生する状態が選べます。 録画モード「DR」に録画した番組には、この設定は無効です。	▶入:なめらかに再生(早見再生中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ▶切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HDノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。	▶入:「D端子出力解像度」(接続・設定編 P.28)が「D3」「D4」のときのみ有効 ▶切
	S-VHSダビング設定 S-VHS方式またはS-VHS ET方式で記録されたテープからディスクへダビングするときに、S-VHS方式でダビングするか、SQPBでダビングするかを選びます。(➜105)	▶S-VHS 再生:S-VHS方式のまま再生し、ダビングするとき。Y(輝度信号)の帯域が広いままでダビングできるので、より高画質となります。 ▶SQPB:VHS方式で再生し、ダビングするとき。(S-VHS本来の高画質にはなりません)
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶入(ドルビーデジタルの音声にのみ働きます) ▶切
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。 ●DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに録画/ダビングする場合 ●「高速ダビング用録画」(➜93)を「入」にして録画する場合 ●「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜下記)を「LPCM」にして録画する場合	▶主音声 ▶副音声 他のビデオからのダビングなど、外部入力から録画する場合は、本機では選べません。接続した機器側で選んでください。
	HDMI音声出力(接続・設定編 P.29)	▶入:HDMI 映像・音声出力端子から音声を出力するとき ▶切:HDMI 映像・音声出力端子から音声を出力しないとき
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●PCMダウンサンプリング変換 サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶入:96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき。 ▶切:96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき。 176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわりなく48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。
	●Dolby Digital※ ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM"に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream:ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM:ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき。
	●DTS※ DTSの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM"に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream:DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM:DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき。
	●AAC※ AACの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM"に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream:AACをデコードできる機器に接続するとき。 ▶PCM:AACをデコードできない機器に接続するとき。 (Dolby Digital・DTS・AAC共通)正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 ドルビーデジタル DOLBY DIGITAL DTSデジタルサラウンド DIGITAL dts SURROUND
	●HDMI接続スピーカー設定 スピーカーの出力設定により、理想的な音空間をつくります。	▶オート:接続した機器のスピーカー設定に合わせるとき ▶マルチチャンネル:スピーカーを3本以上接続して、接続した機器側でスピーカー設定ができないとき ▶2チャンネル:スピーカーを2本接続
	●マルチチャンネル設定 「HDMI接続スピーカー設定」で「マルチチャンネル」を選んだときのみ表示されます。	スピーカーの有無とサイズ、音声出力の遅延効果の設定をしてください。(接続・設定編 P.30)
	記録音声モードの設定〔XP時〕 録画モードがXP時に、記録する音声の種類が選べます。(XPでの録画時やダビング時に働きます)	▶Dolby Digital(➜131) ▶LPCM(➜132): ・画質は少し下がります。 ・XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜上記)であらかじめ選んでください。

※ HDMI 映像・音声出力端子から音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれていると、接続機器の性能により設定どおりに出力されない場合があります。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切(表示しない)
	UVブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。	▶入 ▶切(表示しない)
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。 ●「常時 明」に設定すると、電源「入」時に本体の前面パネル左上部分(DIGITAL Hi-Visionのロゴマークの下)が、点灯します。	▶常時 明 ▶常時 暗 ▶オート:再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・ボタン操作時に一時的に明るくなります。電源「切」時の消費電力の節電になります。
接続	**TVアスペクト** 接続したテレビに合わせて設定します。 (接続・設定編 P.26)	▶4:3　:4:3 標準テレビに接続しているとき ▶16:9　:ワイドテレビに接続しているとき ▶16:9フル:ワイドテレビに接続していて、サイドパネル(左右に黒い帯がある状態)をなくして表示したいとき
	HDMI映像優先モード(接続・設定編 P.29)	▶入:HDMI映像·音声出力端子を使って映像をご覧になるとき ▶切:D端子、コンポーネント(色差)ビデオ入力端子、映像端子またはS映像端子を使って映像をご覧になるとき
	HDMI設定 HDMI端子で接続したときのみ表示されます。	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●HDMI出力解像度	▶525p (プログレッシブ) ▶1125i (インターレース) ▶750p (プログレッシブ):750pの映像以外は、1125iで出力されます。 接続した機器が対応している項目には、画面上に"＊"が表示されます。"＊"のついていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の[停止■]と[VHS▶DVD](ダビング)を5秒以上押したままにしてください。"525p"に設定が戻ります。
	●HDMIカラースペース 接続した機器によって画質が異なります。お好みの画質を選んでください。 接続した機器が対応していない項目は表示されません。	▶YCbCr 4:4:4 ▶YCbCr 4:2:2 ▶RGB:「HDMI RGB出力レンジ」(➜下記)の設定が有効になります。
	●HDMI RGB出力レンジ 「HDMIカラースペース」(➜上記)で、"RGB"を選んだときのみ設定が有効になります。	▶スタンダード ▶エンハンス:映像の黒白が鮮明でないとき
	D端子出力解像度(接続・設定編 P.28)	▶D1　▶D2　▶D3　▶D4 設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の[停止■]と[VHS▶DVD](ダビング)を5秒以上押したままにしてください。"D1"に設定されます。
	TVアスペクト(4:3)設定 4:3テレビでの16:9映像の映しかたを選びます。 ●DVD-Video	▶パン&スキャン:左右の切れた映像で再生するとき。 パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶レターボックス:上下に帯のある映像で再生するとき。
	●DVD-RAM	▶スルー:録画された映像の横縦比で再生するとき。 ▶パン&スキャン:左右の切れた映像で再生するとき。 ▶レターボックス:上下に帯のある映像で再生するとき。

言語番号一覧

アイスランド……7383
アイマラ……6589
アイルランド……7165
アゼルバイジャン……6590
アッサム……6583
アファル……6565
アフリカーンス……6570
アブハジア……6566
アムハラ……6577
アラビア……6582
アルバニア……8381
アルメニア……7289
イタリア……7384
イディッシュ……7473
インターリングア……7365
インドネシア……7378
ウェールズ……6789
ウォロフ……8779
ヴォラピュック……8679
ウクライナ……8575
ウズベク……8590
ウルドゥー……8582
英語……6978
エストニア……6984
エスペラント……6979
オーリヤ……7982
オランダ……7876
カザフ……7575
カシミール……7583
カタロニア……6765
ガリチア……7176
韓国(朝鮮)語……7579
カンナダ……7578
カンボジア……7577
キルギス……7589
ギリシャ……6976
クルド……7585
クロアチア……7282
グアラニー……7178
グジャラト……7185
グリーンランド……7576
グルジア……7565
ケチュア……8185
ゲール
(スコットランド)……7168
コーサ……8872
コルシカ……6779
サモア……8377
サンスクリット……8365
ショナ……8378
シンド……8368
シンハラ……8373
ジャワ……7487
スウェーデン……8386
スロバキア……8375
スロベニア……8376
スワヒリ……8387
スンダ……8385
スペイン……6983
ズールー……9085
セルビア……8382
セルボクロアチア……8372
ソマリ……8379
タイ……8472
タタール……8484
タミル……8465
タガログ……8476
タジク……8471
チェコ……6783
中国語……9072
チベット……6679
ティグリニア……8473
テルグ……8469
デンマーク……6865
トウイ……8487
トルクメン……8475
トルコ……8482
トンガ……8479
ドイツ……6869
ナウル……7865
日本語……7465
ネパール……7869
ノルウェー……7879
ハウサ……7265
ハンガリー……7285
バシキール……6665
バスク……6985
パシュト……8083
パンジャブ……8065
ヒンディー……7273
ビハール……6672
ビルマ……7789
フィジー……7074
フィンランド……7073
フェロー……7079
フランス……7082
フリジア……7089
ブータン……6890
ブルガリア……6671
ブルターニュ……6682
ヘブライ……7387
ベトナム……8673
ベロルシア(白ロシア)……6669
ベンガル(バングラ)……6678
ペルシャ……7065
ポーランド……8076
ポルトガル……8084
マオリ……7773
マケドニア……7775
マライ(マレー)……7783
マラッタ……7782
マラヤーラム……7776
マルタ……7784
マダガスカル……7771
モルダビア……7779
モンゴル……7778
ヨルバ……8979
ラオ……7679
ラテン……7665
ラトビア(レット)……7686
リトアニア……7684
リンガラ……7678
ルーマニア……8279
レトロマンス……8277
ロシア……8285

本機の設定を変える(放送設定一覧)

放送設定変更の基本操作

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➜22)

例)「Gガイド地域設定」の設定を変える場合

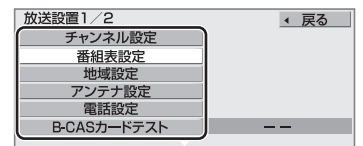
1 **停止中に、[機能選択] を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す**

3 **[▲][▼]で「放送設定」を選び、(決定)を押す**
- 放送設定画面が表示されます。

4 **[▲][▼]でメニュー(「放送設置」)を選び、(決定)を押す**

- 選んだメニューによっては、[決定]を3秒以上押さないといけない場合もあります。画面の指示に従ってください。
- [決定]を押すときは、周囲の回転部を一緒に押さないようにお気をつけください。

5 **[▲][▼]で設定項目(「番組表設定」)を選び、(決定)を押す**

- さらに項目がある場合はこの操作を繰り返してください。([▲][▼]で、「Gガイド地域設定」を選ぶ)

6 **[◀][▶]で設定内容を変更する**

■**前の画面に戻る➡ (戻る) を押す**

■**画面を消す➡ (戻る) を数回押す**

はじめに

放送設定一覧(➜右ページ～98)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

お知らせ
- 操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
かんたん設置設定	かんたん設置設定（ 接続・設定編 P.22 ）	→[決定]を３秒以上押して、さらに設定します。
放送設置	チャンネル設定（ 接続・設定編 P.36～40 ）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●地上アナログ	
	●地上デジタル	
	●BS	
	●CS1	
	●CS2	
	●スキップ設定	▶視聴する ▶スキップする：[放送/入力]を押しても表示されなくなります。
	番組表設定（➜91）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄：（「かんたん設置設定」の実行で自動的に設定）
	●番組表受信設定	BS908：（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）
	●Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定（ 接続・設定編 P.34 ）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●県域設定	▶東北海道～沖縄県
	●郵便番号	――― - ――――（郵便番号）
	●地域設定消去	▶はい　▶いいえ
	アンテナ設定（ 接続・設定編 P.31 ）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●地上デジタル　－　ブースター電源	▶オン　▶オフ
	●衛星　－　アンテナ電源	▶オン　▶オフ
	電話設定（ 接続・設定編 P.41 ）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●回線設定	▶自動　▶プッシュ　▶ダイヤル 20　▶ダイヤル 10
	●トーン検出 「回線設定」（➜上記）が「自動」以外のときに設定できます。	▶する　▶しない
	●内線設定	―――――――――（内線番号）
	●電話テスト	――
	●発信者番号通知	▶指定なし　▶通知する　▶通知しない
	●電話会社設定	―――――――――（電話会社番号）
	●マイラインプラス 「電話会社設定」（➜上記）を設定した時のみ設定できます。	▶解除する　▶解除しない
	B-CASカードテスト（ 接続・設定編 P.35 ）	――
	ネットワーク設定（ 接続・設定編 P.45 ）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●接続テスト	――
	●IPアドレス自動取得	▶する　▶しない
	●IPアドレス	―――.―――.―――.―――
	●サブネットマスク	―――.―――.―――.―――
	●ゲートウェイアドレス	―――.―――.―――.―――
	●DNS-IP自動取得	▶する　▶しない
	●プライマリDNS	―――.―――.―――.―――
	●セカンダリDNS	―――.―――.―――.―――
	●接続速度自動設定	▶オン　▶オフ
	●接続速度設定 「接続速度自動設定」（➜上記）が「オフ」時のみ設定できます。	▶10BASE半二重　▶10BASE全二重 ▶100BASE半二重　▶100BASE全二重
	●MACアドレス	＊＊ - ＊＊ - ＊＊ - ＊＊ - ＊＊ - ＊＊（MACアドレス表示）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
放送設置	ブラウザ設定（ 接続・設定編 P.47 ）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●標準に戻す	—
	●プロキシアドレス	（初期値は空欄）
	●プロキシポート番号	（初期値は 0）
	受信設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●地上デジタル 物理チャンネル（ 接続・設定編 P.53 ）を指定してアンテナレベルを確認します。	▶物理チャンネル選択　－－ CH
	●衛星 衛星周波数などを変えます。（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）	▶トランスポンダ選択　BS-1～BS-15、CS-2～CS-24 ▶衛星周波数　－－.－－－－ GHz
録画	時間変更追従	▶<u>する</u>　：デジタル放送番組の時間変更に合わせて、予約も自動で変更したいとき ▶しない：デジタル放送番組の時間変更に関係なく、最初の予約設定時間で予約を実行したいとき
デジタル放送・再生	字幕の設定（➜32）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●字幕	▶オン　▶<u>オフ</u>
	●字幕言語	▶<u>日本語</u>　▶英語
	●文字スーパー	▶オン　▶<u>オフ</u>
	●文字スーパー言語	▶<u>日本語</u>　▶英語
	視聴制限設定（➜34）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●視聴可能年齢	▶<u>無制限</u>　▶4 才～ 19 才（1 才刻み）
	●一番組限度額	▶<u>無制限</u>　▶100 円　▶500 円　▶1000 円　▶1500 円 ▶2000 円　▶2500 円　▶3000 円
	●暗証番号変更	—
	●暗証番号取消し	—
	選局対象（➜35） デジタル放送でチャンネル[∧][∨]を押して順送りできるチャンネルを選びます。	▶お好み：リモコンの[1]～[12*]に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した 13～36 までのチャンネル ▶テレビ：テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ ▶ラジオ：ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ ▶データ：データ放送のチャンネルのみ ▶<u>すべて</u>：受信できるすべてのチャンネル
ダウンロード	ダウンロード予約（ 接続・設定編 P.35 ） デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶<u>自動</u>　▶手動
放送設定リセット	設定項目リセット（➜100） アンテナ設定、電話設定の設定値をお買い上げ時に戻します。	▶はい　▶<u>いいえ</u>
	個人情報リセット（➜100） 本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が、すべて消去されます。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	▶はい　▶<u>いいえ</u>

設定をお買い上げ時の状態に戻す

■ふたをひらいたところ

はじめに

本機の設定リセットには、以下の3とおりの方法があります。どの設定をお買い上げ時の状態に戻したいかに合わせて、リセットの方法を選んでください。
以下の設定リセットを行っても、設定のみがお買い上げ時の状態に戻るだけで、HDDに録画されている番組は消去されません。

初期設定リセット(➜右記)
- 以下の項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
  - ・**初期設定**項目(**➜93～95**)(時刻と視聴制限は除く)

設定項目リセット(➜100)
- 以下の項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
  - ・**放送設定**「アンテナ設定」(**➜97**)(ブースター電源は除く)
  - ・**放送設定**「電話設定」(**➜97**)

個人情報リセット(➜100)
- 以下の項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
  - ・**初期設定**項目(**➜93～95**)[時刻(年/月/日/時/分)は除く]
  - ・**放送設定**項目(**➜97～98**)(受信設定は除く)
- 本機に記録されている、お客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)や、HDD/DVD側の予約一覧画面(**➜54**)の内容も消去されます。

お知らせ
- 初期設定リセットや個人情報リセットを行うと、本体側のリモコンモードもお買い上げ時の状態(リモコン1)に戻ります。
  リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に"U30 REMOTE"と表示)、リモコンモードを変更してください。
  (接続・設定編 P.48)

初期設定をお買い上げ時の状態に戻す
(初期設定リセット)

初期設定項目(**➜93～95**)をお買い上げ時の状態に戻します。
(時刻と視聴制限は除く)

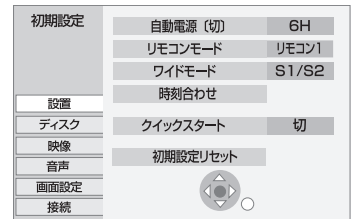
準備
- テレビに本機の画面を出す。(**➜25**)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(**➜22**)

1 停止中に、[機能選択/VHSメニュー]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、(決定)を押す

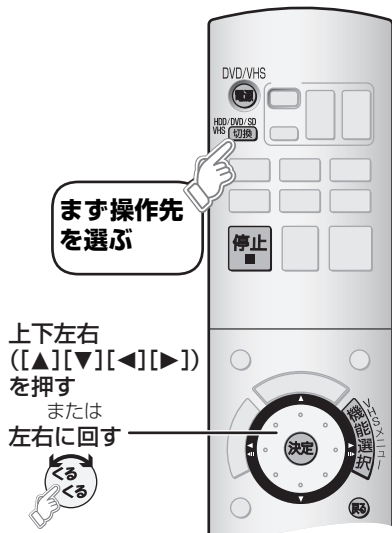
- 初期設定画面が表示されます。

初期設定		
	自動電源(切)	6H
	リモコンモード	リモコン1
	ワイドモード	S1/S2
	時刻合わせ	
設置		
ディスク	クイックスタート	切
映像		
音声	初期設定リセット	
画面設定		
接続		

4 「設置」が選ばれている状態で、[◀][▶]を押す

5 [▲][▼]で「初期設定リセット」を選び、(決定)を押す

6 [▲][▼]で「する」を選び、(決定)を押す

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■画面を消す➡ (戻る) を数回押す

アンテナ設定、電話設定をお買い上げ時の状態に戻す
(設定項目リセット)

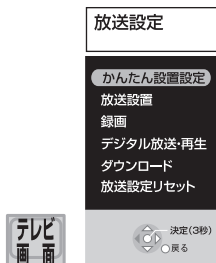
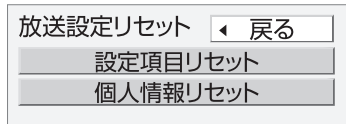
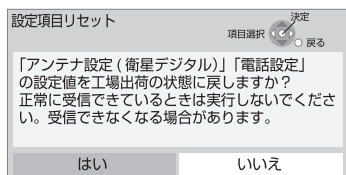
放送設定「アンテナ設定」(➜97)(ブースター電源は除く)、**放送設定**「電話設定」(➜97)をお買い上げ時の状態に戻します。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➜22)

●99ページ手順*1*～*2*のあとに操作します。

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、決定を押す

●放送設定画面が表示されます。

テレビ画面

4 [▲][▼]で「放送設定リセット」を選び、決定を3秒以上押す

5 [▲][▼]で「設定項目リセット」を選び、決定を押す

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

■前の画面に戻る➜ 戻る を押す

■画面を消す➜ 戻る を数回押す

すべての設定を消去する
(個人情報リセット)

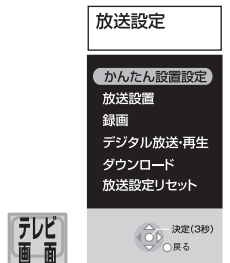
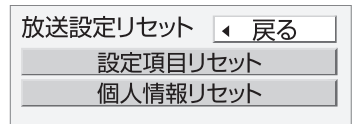
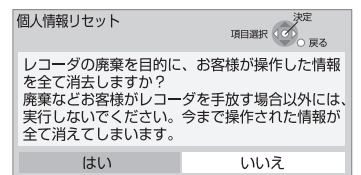
初期設定項目(➜93～95)(時刻は除く)、**放送設定**項目(➜97～98)(受信設定は除く)をお買い上げ時の状態に戻します。また、本機に記録されている、お客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が、消去されます。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」のいずれか)を選ぶ。(➜22)

●99ページ手順*1*～*2*のあとに操作します。

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、決定を押す

●放送設定画面が表示されます。

テレビ画面

4 [▲][▼]で「放送設定リセット」を選び、決定を3秒以上押す

5 [▲][▼]で「個人情報リセット」を選び、決定を3秒以上押す

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

7 リセット終了後、DVD/VHS 電源を押して電源を切る

■前の画面に戻る➜ 戻る を押す

■画面を消す➜ 戻る を数回押す

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- [決定]を押すときは、周囲の回転部を一緒に押さないようにお気をつけください。

VHSの設定を変える(VHSメニュー)

いろいろな項目の設定を変える
(モード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「VHS」を選ぶ。(➜22)

1 **を押す**

●VHSメニュー画面が表示されます。

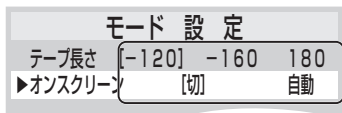
VHSメニュー
▶ モード 設 定
テープリフレッシュ

2 「モード設定」が選ばれている状態で、(決定)を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選ぶ

モード 設 定
テープ長さ [-120] -160 180
▶オンスクリーン 切 [自動]

4 [◀][▶]で設定内容を変える

モード 設 定
テープ長さ [-120] -160 180
▶オンスクリーン [切] 自動

■前の画面に戻る➡ (戻る) を押す

■VHSメニューを消す➡ (戻る) を数回押す

モード設定メニュー(下線部はお買い上げ時の設定です)

テープ長さ

▶ _－120_ :T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。
▶ －160 :T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき。
▶ 180 :T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

※D-VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

オンスクリーン(➜72)

▶ 切 :テレビ画面に表示を出さないようにするとき。
▶ _自動_ :操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

カセットの録画内容をすべて消す
(テープリフレッシュ)

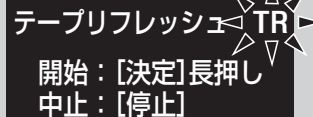
この操作をすると映像、音声はすべて消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「VHS」を選ぶ。(➜22)
●テープリフレッシュしたいカセットを入れる。(➜27)

1 **を押す**

●VHSメニュー画面が表示されます。

VHSメニュー
▶ モード 設 定
テープリフレッシュ

2 [▲][▼]で「テープリフレッシュ」を選び、(決定)を押す

3 “TR”点滅中に、
もう一度(決定)を約2秒以上押す

●テープリフレッシュが始まります。

テープリフレッシュ中
中止:[停止]

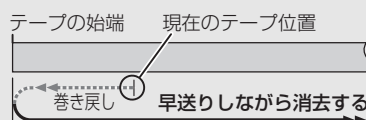
■途中でやめる➡ [停止■] を押す

●止めたところまでは消去されています。

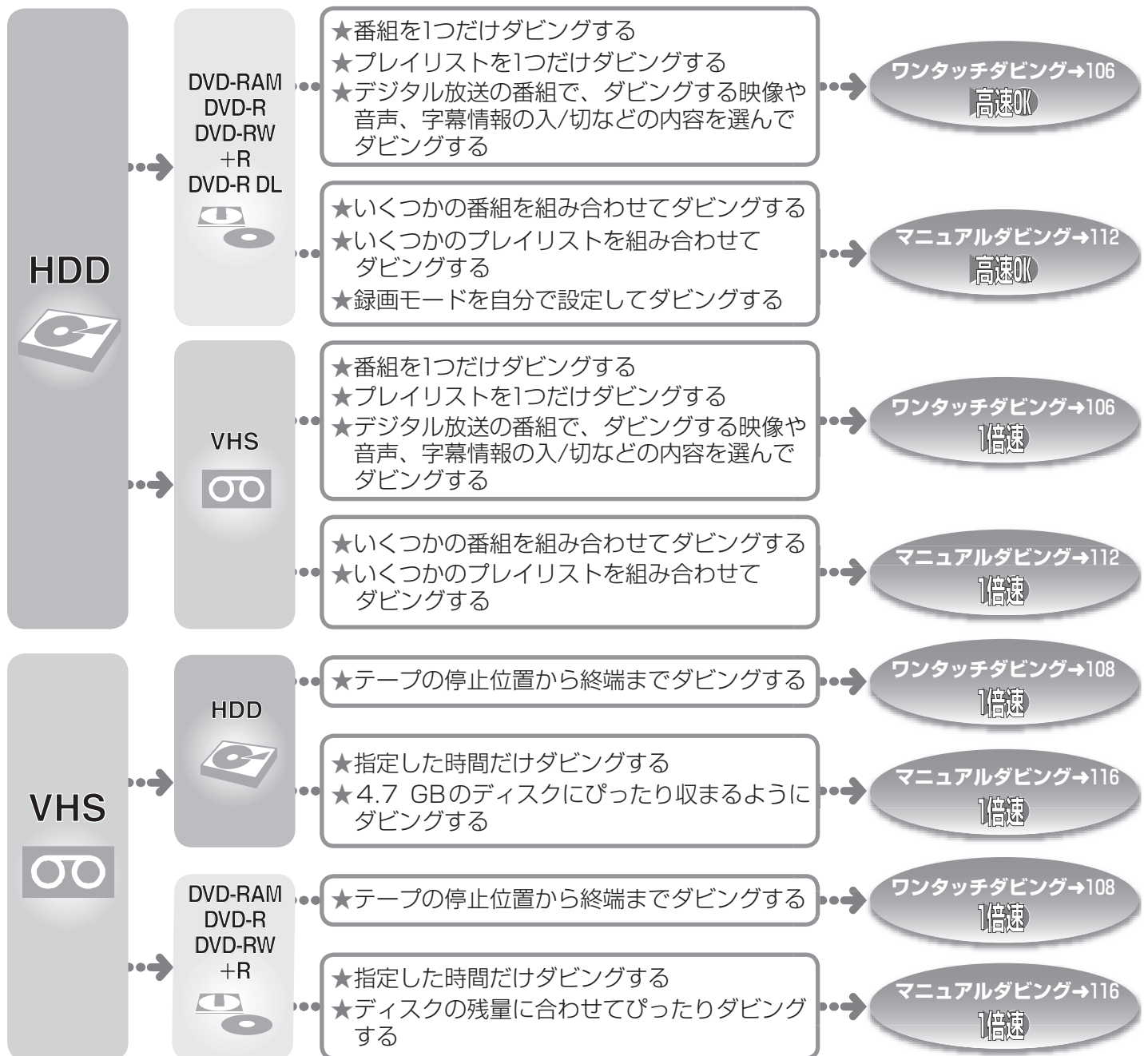
お知らせ

●VHSメニュー(➜左記)の「テープ長さ」を正しく合わせておかないと、テープ残量が正しく表示されません。
●テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。
●誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

テープリフレッシュの動作

1 テープを始端まで巻き戻す
2 早送りしながら、録画された内容を消去していく
3 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する
●120分カセットで約21分かかります。(目安です)

ダビングの種類を選ぶ

本機ではいろいろなダビングのしかたが選べます。

番組をダビングする

表の見かた

高速OK　高速でダビングすることができます。

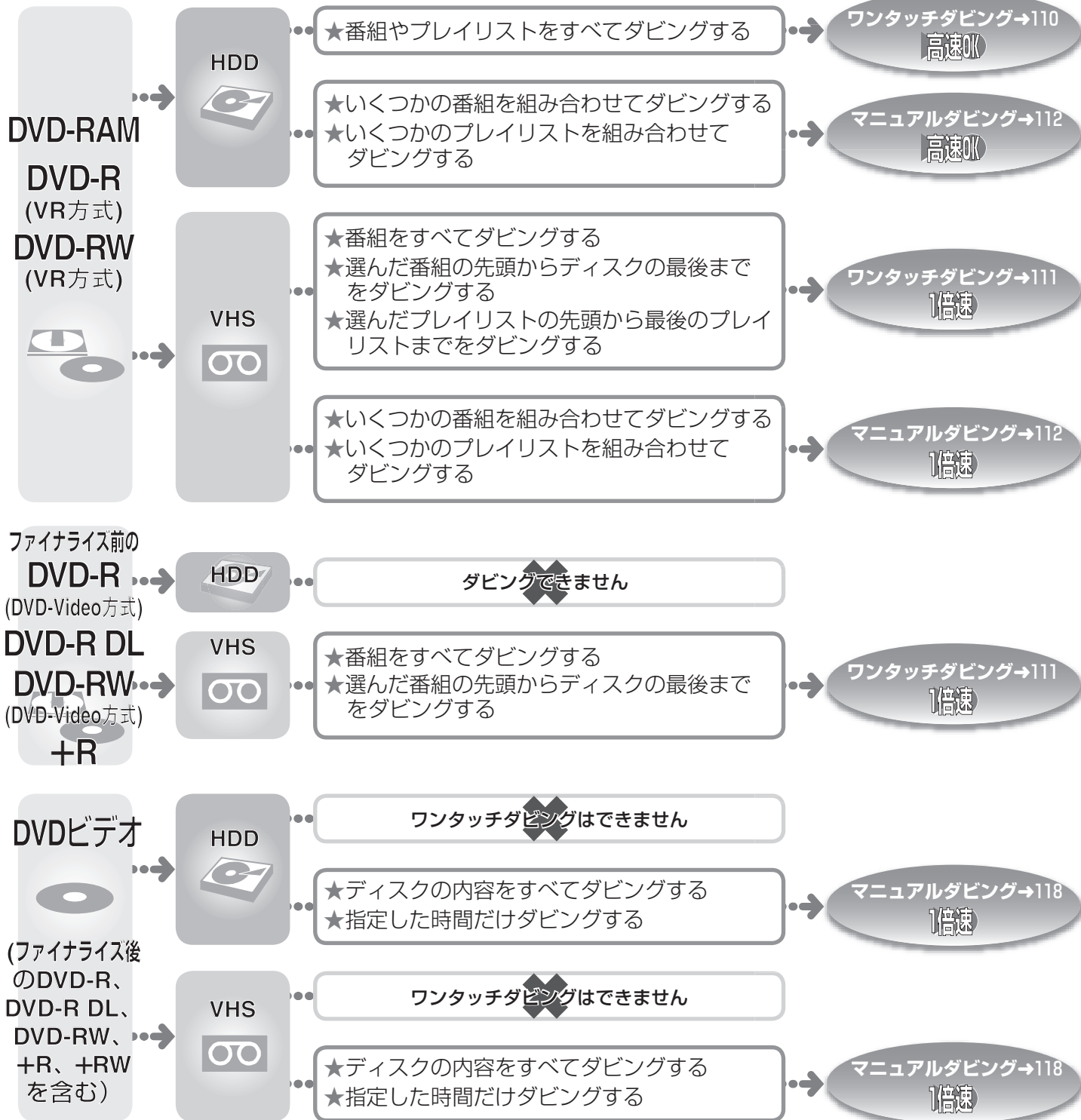
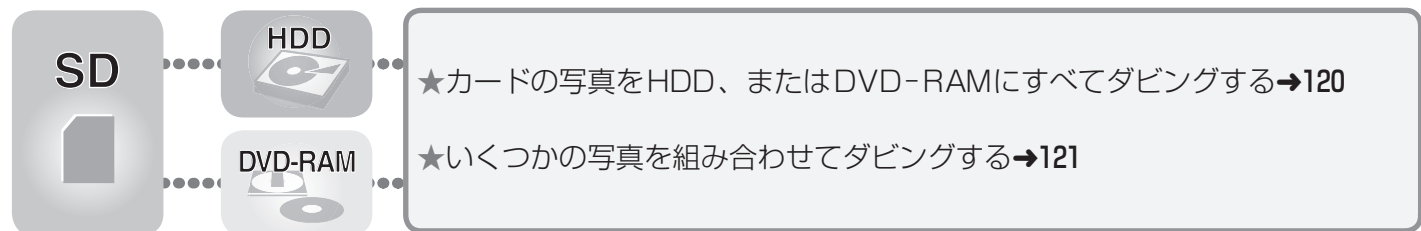
1倍速　番組の録画時間と同じ時間をかけてダビングします。

●コピー禁止処理がされている映像はダビングすることはできません。

写真をダビングする

SD → HDD / DVD-RAM

★カードの写真をHDD、またはDVD-RAMにすべてダビングする**➜120**

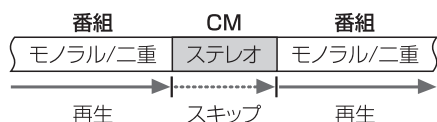
★いくつかの写真を組み合わせてダビングする**➜121**

ダビングを始める前に

ダビング時の録画モードについて（HDD、DVD間のダビング）

ダビングするときの速度には、以下の2とおりあります。

- **高速**：ダビング元の記録時間よりも短い時間でダビングします。画質（録画モード）を変えずに、すばやくダビングすることができます。
- **1倍速**：ダビング元の記録時間と同じ時間かけてダビングします。録画モードを選んでダビングすることができます。

	高速ダビング 画質（録画モード）を変えずにすばやくダビング!	**録画モード（XP ～ EP、FR）を選んでダビング** **（1倍速でダビング）** ディスクに記録する時間・画質を調整できます!
ダビングにかかる時間	下記「高速でのダビング所要時間のめやす」	ダビング元の記録時間と同じ時間※1
画質	ダビング元の画質	変更できる※2
チャプター / サムネイル変更の保持	できる※3	できない（1番組が1チャプターとして記録され、サムネイルは先頭の位置になります）
ダビング中の他の操作	HDD、VHS での再生または録画ができる	VHS での再生または録画ができる※4
CM をとばす	できない	できる※5

※1 DVD-R DLにダビングするときは、ダビング元の記録時間より長くかかります。
※2 ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。（劣化防止にはなります）
※3 +Rは約100チャプターまで保持されます。
また、プレイリストをDVD-R（DVD-Video方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）や+Rにダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。
※4 HDDからDVD-R DLへのダビング中はできません。
※5 **自動CM早送り**
音声が下記の場合のみ働きます。

・5分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
・番組内容をCMとまちがえて消してしまう場合があります。デジタル放送などの移動される番組（➜下記）では、元に戻すことができません。CMを「部分消去」（➜75）で消してから、「切」（➜114手順6）でダビングすることをおすすめします。

録画モードFRでのダビング
ダビング先のディスク残量をすべて使い切るように画質を自動で調節して記録します。ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。

高速ダビングについて

高速でのダビング所要時間のめやす（最高速時）
（管理情報の書き込み時間を除く）

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5×高速記録対応 DVD-RAM	8×高速記録対応 DVD-R	2×高速記録対応 DVD-R DL（片面２層）	4×高速記録対応 DVD-RW	8×高速記録対応 +R
DR	1時間	—	—	—	—	—
XP		約12分	約8.7分	約30分	約15分	約8.7分
SP		約6分	約3.8分	約15分	約7.5分	約3.8分
LP		約3分	約1.9分	約7.5分	約3.8分	約1.9分
EP(6H)		約2分	約1.3分	約5分	約2.5分	約1.3分
EP(8H)		約1.5分	約56秒	約3.75分	約1.9分	約56秒

- **ディスクの状態によっては、記録品質を優先するため、速度を落としてダビングすることがあります。**
- ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速にならないことがあります。

「ビデオDR」一覧の番組は、高速ダビングできません。

DVD-R（DVD-Video方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rへの高速ダビングについて
下記の場合は高速モードではダビングできません。
・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」にして、HDDに録画した番組
・録画モードが異なる番組から作ったプレイリスト
・録画モードがFRの複数の番組から作ったプレイリスト
・音声が混在するプレイリスト（Dolby DigitalとLPCMなど）
・部分消去を繰り返した番組

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。HDD に録画したデジタル放送の番組をダビングするには CPRM に対応した DVD-RAM または DVD-R※ が必要です。

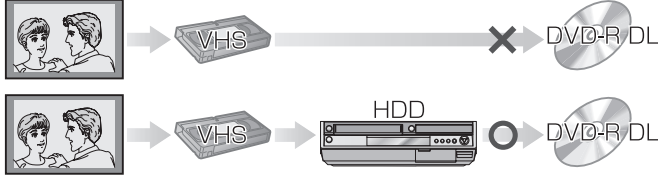
※VR 方式にフォーマットする必要があります。（➜ 右記）

DVD-R へダビングする前に

本機では DVD-R をフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video 方式で記録されます。VR 方式で記録したい場合は、フォーマットを行ってください。（➜85“ディスクやカードを初期化する”）

※CPRM 対応ディスクのみ

DVD-R DL(片面2層)へダビングするとき

DVD-R DLへのダビングは、HDDからのダビングのみ可能です。VHSに録画した番組をDVD-R DLにダビングしたいときは、まずHDDにダビングし、HDDからDVD-R DLへのダビングを行ってください。(HDDへは、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしてダビングすることをおすすめします)

DVD-R DLに高速モード以外でダビングする場合、1倍速で番組をHDDに一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製したHDDの番組は消去されます。また、以下の場合DVD-R DLにダビングすることができなくなります。

- HDDの残量が少ない場合(ディスクいっぱいにダビングする場合、HDDの残量が8.5 GB以上必要になります)
- HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合

２層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(➜60)

DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき

DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rを他の機器で再生するには、ダビング後ファイナライズが必要です。(➜86)

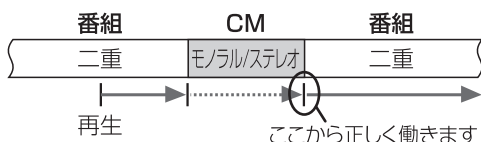
二重放送の番組を以下のようにダビングするとき

- **DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき(16:9映像は4:3映像で記録されます)**
- **初期設定「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜94)を「LPCM」にし、XPモードで、1倍速でダビングするとき**

➡ ダビング先には、主、副音声のどちらか一方しか記録されません。ダビング前に記録する音声を選んでください。※
初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜94)

※次のようなときはダビング時に記録する音声を選ぶことはできません。そのままでダビングすると、主、副両音声が記録され、再生時、音声が混ざって聞こえます。
・本機、または当社の自動CM早送り機能付きビデオで録画していないカセットをダビングするとき
・他のビデオや各種チューナーなどの外部機器から録画された番組をダビングするとき

二重放送の番組の途中からダビングを始めた場合

- 二重放送の番組の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は正しく働きません。CMがモノラル放送またはステレオ放送で、次に音声が二重放送に切り換わったときに正しく働きます。

ダビングを実行中にダビングを中止すると

■高速モードでダビング中のとき

ワンタッチダビングでは、番組はまったくダビングされません。ワンタッチダビング以外のダビングでは、ダビングが完了した番組までをダビングします。

■1倍速でダビング中のとき

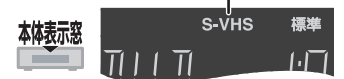
中止したところまでダビングされます。
ただし「1回だけ録画可能」の番組をHDDからDVDへダビングする場合、ダビングが完了した番組までをディスクに移動し、中止した番組は移動せずにHDDに残ります。

- DVD-R DLへのダビングの場合は、中止した番組はダビングされません。

DVD-R、DVD-R DL、+Rは番組がダビングされなくても、ディスクに書き込まれた分の残量が減少します。

S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングするとき

ワンタッチ/マニュアルダビングを始める前に、初期設定「S-VHSダビング設定」(➜94)で「S-VHS再生」を選ぶ

「S-VHS再生」でダビング実行中

- S-VHSビデオと同じ方式で再生し、ダビングします。
Y(輝度信号)の帯域が広いままダビングできるので、S-VHS 本来の高画質を再現できます。
- 録画されたテープの状態によっては、充分な画質が得られない場合があります。このときは、「SQPB」を選んでください。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- 工場出荷時は、「S-VHS再生」にしていますので、通常はこのままお使いください。

頭出し信号の書き込み/番組分割について

■頭出し信号の書き込み

HDD/DVDからVHSへのダビング時には、1つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。
カセットへのダビング後は、[頭出し ⏮][頭出し ⏭]を使って番組を探すことができます。
HDD/DVDからVHSへの頭出し信号の書き込みは、以下のダビング時に可能になります。

- ワンタッチダビング
- マニュアルダビング

■番組の分割

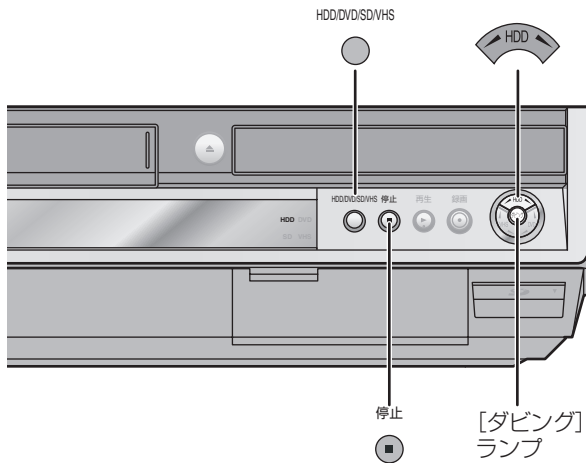
VHSからHDD/DVDへのダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して録画します。
HDD/DVDへのダビング後は、再生ナビ番組一覧(➜61)を使って、番組を探すことができます。
HDD/DVDからVHSへの頭出し信号の書き込みは、以下のダビング時に可能になります。

- ワンタッチダビング
- マニュアルダビングで「時間設定」が「切」のとき

お知らせ

- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- 頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
- 分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。
- **番組分割しないでダビングしたいときは、マニュアルダビングで「時間設定」を「入」にしてダビングしてください。(➜117)**
(ただし HDD RAM -R(VR) へダビングすると、番組は分割されませんが、チャプターが作成されます)

ワンタッチダビング

■ふたをひらいたところ

HDDに録画した番組をダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➡ダビング先

HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

HDD ➡ VHS

(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

●「ビデオDR」一覧の「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVD-RAMとDVD-R(VR方式)にダビング(移動)できます。また、カセットにダビング(複製)することもできます。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

ダビング先(DVDまたはVHS):

●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜41)
●VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。(➜27,69)
●十分な残量があることを確認しておく。
● -R(V) -R DL -RW(V) +R
HDD側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜19,105"二重放送の番組を以下のようにダビングするとき")
● VHS 録画モードを選んでおく。(➜39)

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「HDD」を選ぶ**(➜22)

2 ダビングしたい番組を再生する、またはプレイリストを再生する(➜61,80)

再生▶ を押す

●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

3 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、

 を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。(➜右ページ)
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。

4 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

●HDDの再生が終わるか、またはダビング先の残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ダビング中にHDDの録画や再生をする(高速でダビング時のみ)

➡ 決定 を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする

●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。

■DVDへのダビングを途中でやめる➡ 戻る を3秒以上押す

●高速モード以外でダビングしているときは、[停止■]を押してもダビングをやめることができます。

■VHSへのダビングを途中でやめる➡ を押す

はじめに

再生中の番組またはプレイリストを1つだけ自動的にダビングします。再生位置にかかわらず、再生中の番組やプレイリストの先頭からダビングされます。
●8時間を超えるプレイリストはダビングできません。

■「ビデオDR」一覧の番組をダビングするとき

複数の映像・音声や字幕情報が含まれていても、再生されている内容のみがダビングされます。ダビング後は、映像・音声の切り換えや字幕の入 / 切はできなくなります。
右記手順 *2* で**再生設定**「信号切換」(➜64)を行って、ダビングしたい内容を選んでください。

●デジタル放送の番組をカセットにダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜16)

ダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

HDD ➡ RAM -R(VR) :高速

HDD ➡ -R(V) -R DL -RW(V) +R :下表参照

高速ダビング用録画(➜93)	
「入」で録画	「切」で録画
高速	元と同じモード [XP~EP、FR] (プレイリストは“FR”でダビングされます)

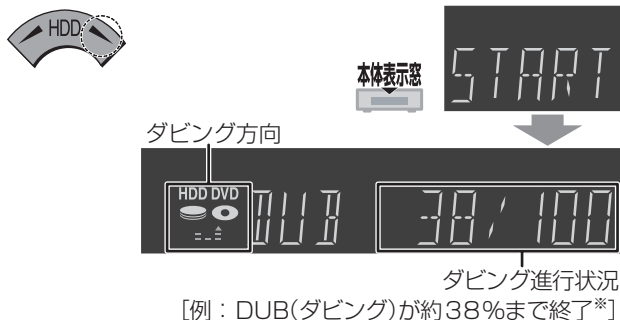
- DVDへのダビングの場合、上記のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は、“FR”になります。
- 「ビデオDR」一覧の番組は、1倍速でダビングされます。(録画モードは“FR”でダビングされ、ダビング元の画質ではダビングできません)

HDD ➡ VHS :1倍速のみ
(録画モードはダビング前にVHSで選んでいたモードになります)

ワンタッチダビングボタンとダビング方向について

◆DVDへダビングするとき

ダビング方向

ダビング進行状況
[例：DUB(ダビング)が約38%まで終了※]

※ 1倍速でダビングしている場合は、残りのダビング時間が表示されます。

◆VHSへダビングするとき

ダビング方向

ダビング中に自動的に行われること	
HDD側のオンスクリーン表示(➜95)	切
テレビへの出力	HDDまたはVHSから
HDD再生時の音声出力	ステレオ(L R)
頭出し信号の書き込み(➜105)	HDDからVHSへのダビング時

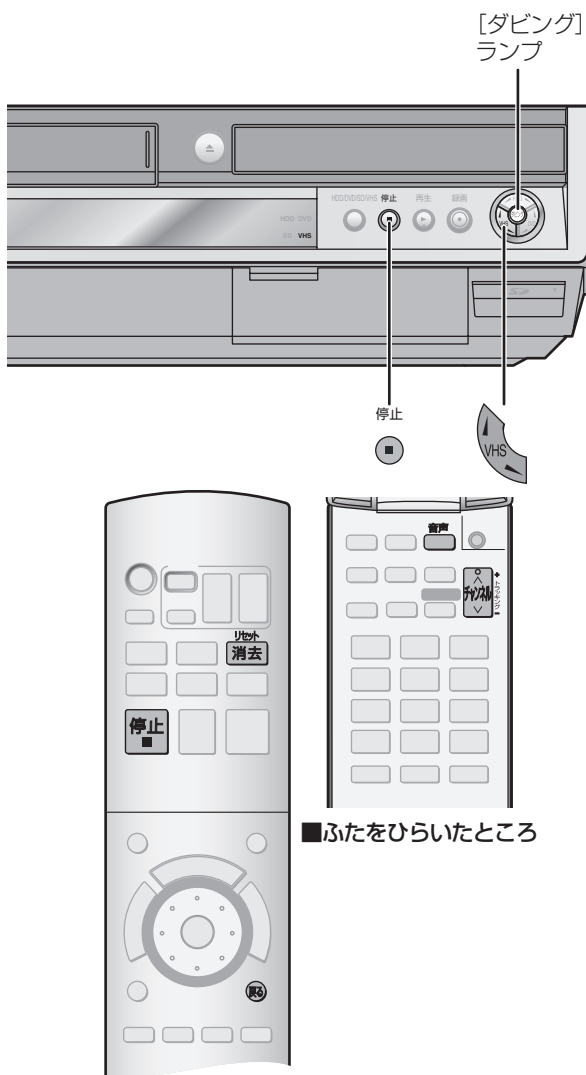
ダビング実行中にできること

	ダビング方向		
	HDD→DVD		HDD→VHS
	高速	1倍速	
ダビングの中止(➜左ページ)	○	○	○
HDDの録画・再生(➜左ページ)	○	×	×
VHSの録画・再生※1(➜40,69)	○	○※2	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※1※3	—		○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※1(➜72)	—		○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※1(➜72)	—		×

※1 操作先が「VHS」のとき。
※2 DVD-R DLへのダビング中はできません。
※3 録画には影響ありません。

お知らせ

- ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- 録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定にかかわらずHDDに録画されます。
- VHS側が予約録画の待機中または動作中のときは、カセットにダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除(➜55)、または動作を停止させてください。
- 「自動CM早送り」(➜104)はできません。
- 「1回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリストはディスクにダビングできません。(➜104)
- 5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合、お買い上げ時は「最高速モード」でダビングされます。「静音モード」でダビングしたい場合は、マニュアルダビングの手順7(➜114)で「DVDドライブ速度」を切り換えてください。
- DVD-R DLへのダビング中に操作先を「VHS」に切り換えても、ダビングが終了するまでVHS側の映像を見ることはできません。([停止■]を押して、ダビング前からVHS側で実行していた録画をやめることはできます)

■ふたをひらいたところ

VHSに録画した番組をダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➡ダビング先

VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)

ダビング先(HDDまたはDVD):
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜41)
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 地上アナログ放送に切り換えて(➜28)、録画モードを選んでおく(➜39)。
- -R(V) -RW(V) +R
  VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜19,105"二重放送の番組を以下のようにダビングするとき")

ダビング元:(VHS)
- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。(➜27,69)

1 ダビング元(VHS)・ダビング先(HDDまたはDVD)ともに停止状態で、本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

- ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。(➜右ページ)
- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。

2 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

- テープの終端になるか、またはダビング先の残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ダビングを途中でやめる➡ 停止■ を押す

- [戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

はじめに

カセットに録画された番組をワンタッチ操作でダビングすることができます。
ダビング開始時のテープの再生位置から自動的にダビングします。

■VHSからHDDへダビングするとき
HDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。(お買い上げ時の設定は「入」です)
[➜17,104"DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへの高速ダビングについて"]

■S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする(➜105)

- コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、ダビングできないようになっています。
- デジタル放送の番組がダビングされたカセットをHDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜16)

ワンタッチダビングボタンとダビング方向について

◆**HDDへダビングするとき**

◆**DVDへダビングするとき**

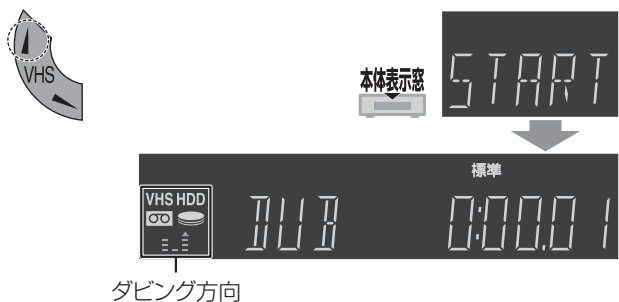
ダビング中に自動的に行われること	
VHS側のオンスクリーン表示(➔101)	切
ダビング開始直後の操作先	「VHS」
番組分割(➔105)	VHSからHDD･DVDへのダビング時

ダビング実行中にできること

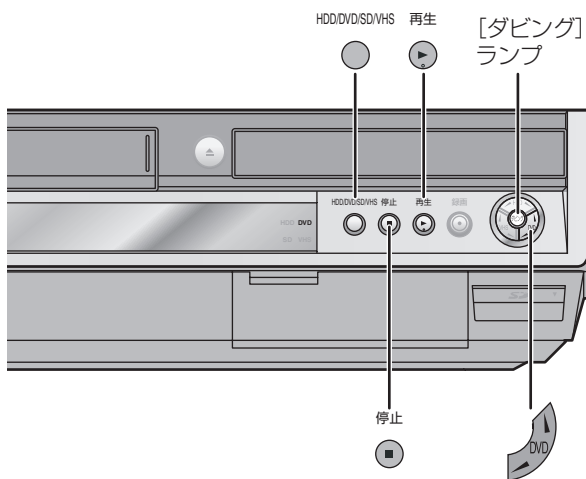
	ダビング方向	
	VHS→HDD	VHS→DVD
ダビングの中止(➔左ページ)	○	○
HDDの再生※1(➔60)	○	○
[音声]によるVHS音声の切り換え※2※3	○	○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※2(➔72)	○	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※2(➔72)	○	○

※1 編集はできません。
また、HDDの再生中は、操作先を「VHS」に切り換えることはできません。

※2 操作先が「VHS」のとき。

※3 切り換えた音声で記録されます。音声の種類は、**[音声]**を押したときに本体表示窓で確認できます。

お知らせ

- ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➔55)
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード(➔39)で録画された部分では、HDDやディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。

■ふたをひらいたところ

はじめに

DVDに録画された番組やプレイリストをHDDまたはカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。
- 8時間を超えるプレイリストはダビングできません。(複数のプレイリストをダビングする場合、8時間を超えたプレイリストはとばしてダビングされます)

- ファイナライズ(➜86,130)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+RをHDDへダビングすることはできません。
- デジタル放送などの1回だけ録画可能な番組やプレイリストはHDDへダビングできません。(➜16)
- デジタル放送の番組をカセットへダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜16)
- コピー禁止処理がされているディスクはダビングすることはできません。多くのディスクは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、録画・録音できないようになっています。

ダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

RAM -R(VR) -RW(VR) ➜ HDD :高速
DVDへのダビングの場合、上記のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は、"FR"になります。

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR) ➜ VHS :
1倍速のみ(録画モードはダビング前にVHSで選んでいたモードになります)

DVDに録画した番組をダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➜ダビング先
RAM -R(VR) -RW(VR) ➜ HDD
RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR) ➜ VHS

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)

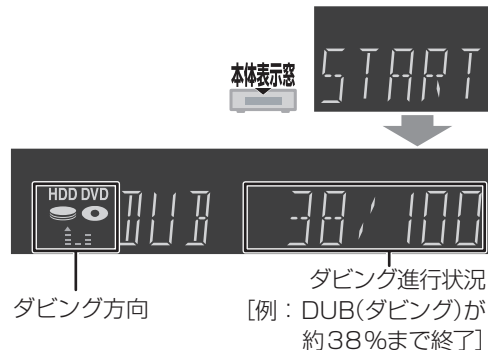
ダビング先(HDDまたはVHS):
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。(➜27,69)
- 十分な残量があることを確認しておく。
- VHSにダビングするときは、録画モードを選んでおく。(➜39)

ダビング元(DVD):
- ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。(➜27)

DVDからHDDへダビングする

1枚のディスクに録画されている番組全部、またはプレイリスト全部をHDDに自動的にダビングします。

1 ◆プレイリストをダビングする場合のみ
プレイリストを再生する(➜80)
- [一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
- 再生位置にかかわらず、先頭のプレイリストから最後のプレイリストまですべてダビングされます。

2 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、
を約3秒以上押し続ける
- ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。

3 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。
- ディスクの再生が終わると、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ダビングを途中でやめる➜ 戻る を3秒以上押す

DVDからVHSへダビングする

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] **を押して「DVD」を選ぶ**(➜22)

2 ■1枚のディスクに録画されている番組全部をダビングするとき

➡ **DVDが停止状態であることを確認する**

- 本体表示窓で"再生"が点滅しているときは、続き再生メモリー機能が働いています。
  このときは、[停止■]を押して解除してください。(➜62)

■選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングするとき

■選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングするとき RAM -R(VR) -RW(VR)

➡ [再生▶] **を押してダビングしたい番組を再生する、またはプレイリストを再生する**
(➜60,80)

- [一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

3 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

- ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。

ダビング方向

4 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

- ディスクの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■] を押す

- [戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■ダビング中にHDDの再生や録画をする
(高速でダビング時のみ)

➡ (決定)を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする

- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。

ダビング中に自動的に行われること	
DVD側のオンスクリーン表示(➜95)	切
テレビへの出力	HDDまたはVHSから
DVD再生時の音声出力	ステレオ(L R)
頭出し信号の書き込み(➜105)	DVDからVHSへのダビング時

ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	DVD→HDD	DVD→VHS
ダビングの中止(➜左ページ, 左記)	○	○
HDDの録画・再生(➜上記)	○	×
VHSの録画・再生※1 (➜40,69)	○	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※1※2	—	○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※1(➜72)	—	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※1(➜72)	—	×

※1 操作先が「VHS」のとき。
※2 録画には影響ありません。

お知らせ

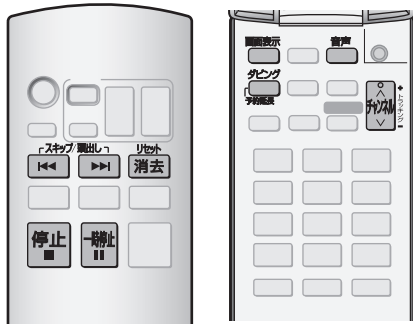
- ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- 「自動CM早送り」(➜104)はできません。

RAM -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD

- 録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定にかかわらずHDDに録画されます。

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR) ➡ VHS

- 本体表示窓で"再生"が点滅しているときは、続き再生メモリー機能(➜62)によって、ディスクの再生開始位置が記憶されています。このときにダビングを開始すると、再生開始位置が含まれる番組の先頭からディスクの最後までのダビングが実行されます。
- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜55)
- コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。

マニュアルダビング

■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

- デジタル放送の番組をカセットにダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜16)
- デジタル放送の番組をディスクにダビングするときは、CPRM対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)に移動のみできます。CPRM非対応のDVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+Rにはダビングできません。(➜16)

ダビング中に自動的に行われること	
HDD/DVD側のオンスクリーン表示(➜95)	切(VHSへのダビング時)
頭出し信号の書き込み(➜105)	VHSへのダビング時

ダビング実行中にできること

	ダビング方向		
	HDD→DVD DVD→HDD		HDD→VHS DVD→VHS
	高速	1倍速	
ダビングの中止(➜115)	○	○	○
HDDの録画・再生(➜115)	○	×	×
VHSの録画・再生※1(➜40,69)	○	○※2	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※1※3	—		○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※1(➜72)	—		○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※1(➜72)	—		×

※1 操作先が「VHS」のとき。
※2 DVD-R DLへのダビング中はできません。
※3 録画には影響ありません。

HDD/DVDに録画した複数の番組やプレイリストを組み合わせてダビングする

はじめに

HDDまたはDVDに録画された複数の番組やプレイリストを組み合わせて、ダビングすることができます。

■ HDD 「ビデオDR」一覧の番組をダビングするとき

- 複数の映像・音声や字幕情報が含まれていても、どの内容をダビングするか選ぶことはできません。ダビング後は、映像・音声の切り換えや字幕の入/切はできなくなります。ダビングする内容を選んでダビングしたいときは、ワンタッチダビング(➜106)を行ってください。
- 番組の先頭、編集した部分で一瞬映像が止まることがあります。

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

■ダビング元➜ダビング先

HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
HDD ➜ VHS
RAM -R(VR) -RW(VR) ➜ HDD VHS

(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません)

- 「ビデオDR」一覧の「1回だけ録画可能」な番組は、CPRM対応のDVD-RAMとDVD-R(VR方式)にダビング(移動)できます。また、カセットにダビング(複製)することもできます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)

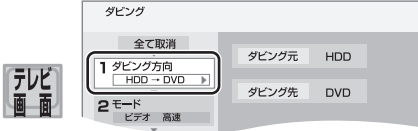
ダビング先:
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜41)
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。(➜27,69)
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 二重放送の番組をダビングする場合、下記のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜19,105"二重放送の番組を以下のようにダビングするとき")
  - ・DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき
  - ・**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜94)を「LPCM」にし、XPモードでダビングするとき

ダビング元:
- DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。(➜27)

画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「DVD」を選んだとき

1 停止中に、[ダビング 予約延長]を押す

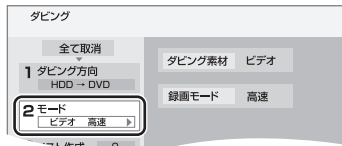
●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

●ダビング元とダビング先を設定します。
●設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*3*または*4*に進んでください。

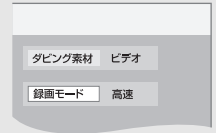
◆設定を変更する

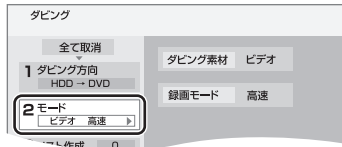
1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」または「DVD」を選び、[決定]を押す
3 [▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」、「DVD」または「VHS」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

●ダビング元とダビング先に同じ操作先を選ばないでください。

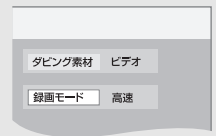
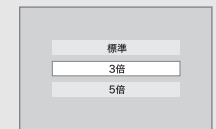
3 ダビング素材を選ぶ

●設定を変更しないときは、手順*4*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング素材」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「ビデオDR」(HDDのみ)または「ビデオ」を選び、[決定]を押す
●続けて録画モードを設定するときは
(➜下記手順*4*の**2**へ)
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す(➜114手順*5*へ)

●「写真」を選んだとき、またはダビング先に「SD」を選んだときは、写真のダビングになります。(➜121手順*3*へ)

4 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*5*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 [▼]で「録画モード」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
3 [◀]を押す
4 [▼]を押す

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。
●「ビデオDR」一覧の番組をDVDにダビングする場合は、「高速」は選べません。
●録画モードについて(➜39)

ダビング先「DVD」

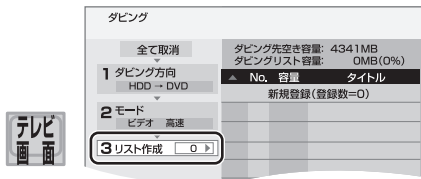
ダビング先「VHS」

次ページへつづく

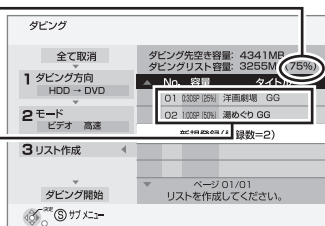
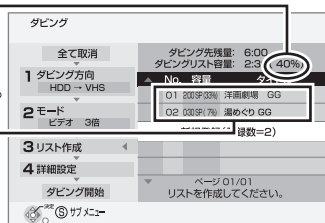
お知らせ

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「VHS」を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。
●録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定にかかわらずHDDに録画されます。
●「1回だけ録画可能」の番組は、プロテクト(➜75)が設定されているとディスクへ移動できません。
●「1回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリストはディスクへダビングできません。
●移動される番組を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。
●VHS側が予約録画の待機中は、カセットにダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜55)
●コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
●DVD-R DLへのダビング中に操作先を「VHS」に切り換えても、ダビングが終了するまでVHS側の映像を見ることはできません。([停止■]を押して、ダビング前からVHS側で実行していた録画をやめることはできます)
●当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をDVD-RAMからHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。

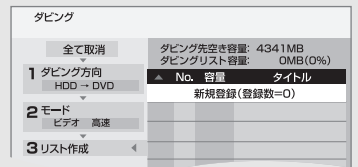
5 ダビングする番組やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

テレビ画面

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、[▼]を押して、手順*6*または*7*に進んでください。
- 「ビデオ」一覧と「ビデオDR」一覧の番組を同じリストに登録することはできません。

●ダビングリスト作成後

ダビング先がDVDのときの例

ダビング先が VHSのときの例

◆リストを作成する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 (113ページ手順*3*の**3**で「ビデオ」を選んだ場合)
[青](ビデオ)または[赤](プレイリスト)を押す
- 番組を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

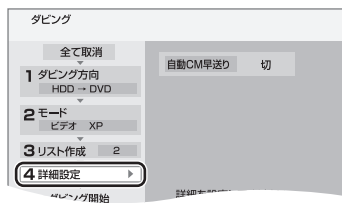
4 [▲][▼]でダビングする番組やプレイリストを選び、[決定]を押す
- 再生ナビ画面をサムネイル表示(➜61)にしている場合は、[▲][▼][◀][▶]で番組を選びます。
- DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングする場合は、▶▶◎ 表示のあるもののみ登録できます。
- 手順**2**～**4**を繰り返すと、複数の番組やプレイリストをダビングリストに登録できます。

複数の番組やプレイリストをまとめて登録するには
[▲][▼]([◀][▶])で番組やプレイリストを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、タイトル番号の小さい順から登録されます。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

ダビングリストの便利な機能(➜右ページ)

5 [◀]を押す
- [◀]を押す前に、"ダビングリスト容量"が"ダビング先空き容量"よりも小さいことを確認してください。

6 [▼]を押す

6 ダビング素材に「ビデオ」を選び、録画モードを「高速」以外に設定(➜113手順*3*～*4*)したときのみ
自動CM早送り(➜104)の切/入を選ぶ

- 設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*7*に進んでください。

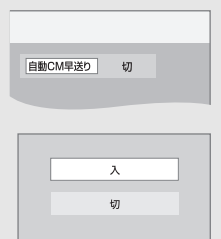
◆設定を変更する

1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す

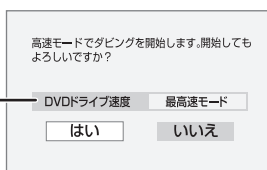
3 [▲][▼]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す

4 [◀]を押す

5 [▼]を押す

- ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、「自動CM早送り」(➜104)はできません。

7 「ダビング開始」が選ばれている状態で、(決定)を押す

- 確認画面が表示されます。

DVDドライブ速度(➜右記)
(5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速記録対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合のみ)

例)8×高速対応のDVD-Rに高速モードでダビング

◆「DVDドライブ速度」を切り換える

1 [◀][▶]で「最高速モード」または「静音モード」を選ぶ
- 「静音モード」を選ぶと本機内部の動作音が「最高速モード」時より小さくなりますが、ダビングの所要時間は約2倍になります。

2 [▼]を押す

8 [◀]で「はい」を選び、(決定)を押す

- ダビングが開始されます。

「リスト作成」画面の表示について

: DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、＋Rに高速でダビングできるもの(➜104)

: 静止画を含むもの(静止画部分はダビングされません※)

:「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの(➜16, 104“デジタル放送のダビングについて”)

: 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組(➜16, 104“デジタル放送のダビングについて”)

ダビングリスト容量：ダビング先に記録される容量
- 1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
- 管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より若干大きくなります。

※カセットにダビングする場合は、静止画部分もダビングされます。

■前の画面に戻る➜ [戻る] を押す

■ダビング中にHDDの録画や再生をする(高速でダビング時のみ)

➜ [決定]を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする

- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
- デジタル放送などの「移動」される番組(➜104)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。

■ダビングを途中でやめる➜ [戻る] を3秒以上押す

ダビングリストの便利な機能

■前後のページを表示する

➜ [スキップ/頭出し ⏮] (前ページ)または [スキップ/頭出し ⏭] (次ページ)を押す
- 「リスト作成」の画面では、[▲][▼][◀][▶]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。(サムネイル表示時)

■まとめて登録/消去する

➜ [▲][▼]([◀][▶])で選び、[一時停止] を押す操作を繰り返す(複数選択)

- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止⏸]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑ が消えます。

■「リスト作成」画面の表示方法を変更する/他の画像一覧に切り換える
(「ビデオ」一覧または「プレイリスト」一覧表示時のみ)

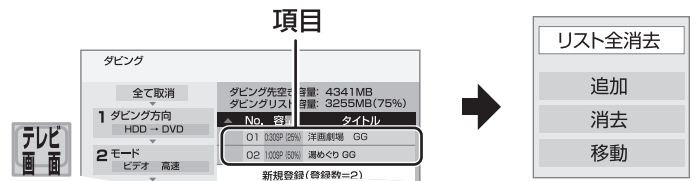
➜ **1** [▲][▼]([◀][▶])で番組を選び、[サブメニュー S] を押す
- サブメニュー画面が表示されます。

2 [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

リスト表示/サムネイル表示:
ダビングリストの表示方法を変更します。
(「ビデオDR」一覧ではリスト表示のみ、「プレイリスト」一覧ではサムネイル表示のみが可能)
(☑ が付いている場合はできません)

他の画像一覧へ:
「ビデオ」または「プレイリスト」一覧画面に切り換えます。

■リストの項目(番組やプレイリストの登録)を消去/追加/移動する

➜ **1** [▲][▼]で編集したい項目を選び、[サブメニュー S] を押す
- サブメニュー画面が表示されます。

2 [▲][▼]で編集したい内容を選び、[決定]を押す

リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加: 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼]([◀][▶])で追加する番組やプレイリストを選び、[決定]を押してください。

消去: 選んだ項目を消去します。
まとめて消去することもできます。(➜左記)
「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

移動: 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。
「移動」を選んだときは、さらに[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。

■リストの不要な項目を新しい項目と入れ替えたい場合

➜ **1** [▲][▼]で不要な項目を選び、[決定]を押す

2 [▲][▼]([◀][▶])で新しく登録したい番組やプレイリストを選び、[決定]を押す
- 項目が入れ替わります。

■以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す

➜ [▲]で「全て取消」を選び、[決定]を押す
- 確認画面が表示されます。[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

- 設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
  - ・ダビング元で番組やプレイリストの消去をした場合
  - ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行った場合

- ●コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、ダビングできないようになっています。
- ●デジタル放送の番組がダビングされたカセットを、HDDやDVDにダビングするとき、デジタル放送の番組の部分はダビングされません。(➜16)

ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	VHS→HDD	VHS→DVD
ダビングの中止(➜右ページ)	○	○
HDDの再生※1(➜60)	○	○
[音声]によるVHS音声の切り換え※2※3	○	○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※2(➜72)	○	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※2(➜72)	○	○

※1 編集はできません。また、HDDの再生中は、操作先を「VHS」に切り換えることはできません。
※2 操作先が「VHS」のとき。
※3 切り換えた音声で記録されます。音声の種類は、[音声]を押したときに本体表示窓で確認できます。

VHSに録画した番組をダビングする

はじめに

カセットに録画された番組を、設定した時間に合わせてHDDまたはDVDにダビングすることができます。
ダビング開始時のテープの再生位置※からダビングします。

※録画モードを「FR」に設定し、時間設定を「切」にした場合は、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。
(詳しくは➜右ページ"録画モード「FR」について")

■VHSからHDDへダビングするとき
HDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。(お買い上げ時の設定は「入」です)
[➜17,104"DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW (DVD-Video方式)、+Rへの高速ダビングについて"]

■S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする(➜105)

この方法では、以下のダビング方向が選べます:
■ダビング元➡ダビング先
VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

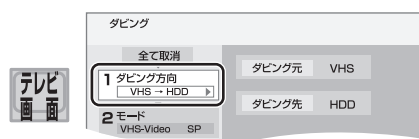
準備
- ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

ダビング先:
- ●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜27)
- ●十分な残量があることを確認しておく。
- ● -R(V) -RW(V) +R
  VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜19,105"二重放送の番組を以下のようにダビングするとき")

ダビング元(VHS):
- ●ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。(➜27,69)

画面表示の例)ダビング元に「VHS」、ダビング先に「HDD」を選んだとき

1 停止中に、[ダビング/予約延長]を押す
- ●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

- ●ダビング元を「VHS」、ダビング先を「HDD」または「DVD」に設定します。
- ●設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*3*に進んでください。

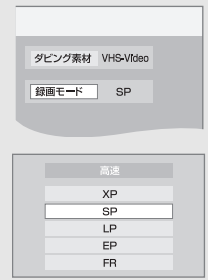
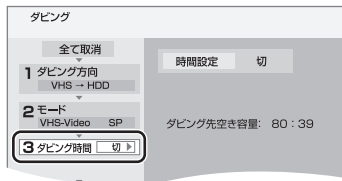
◆**設定を変更する**
1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[▲][▼]で「VHS」を選び、[決定]を押す
3 [▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」または「DVD」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

●ダビング元とダビング先に同じ操作先を選ぶことはできません。

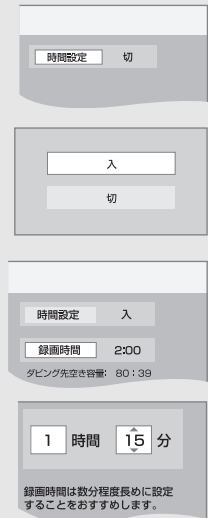
3 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順*4*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
●「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。(➔39)
●FRモードについて(➔下記)
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

4 ダビング時間を設定する

●設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順*5*に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[▲][▼]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
●「切」に設定したときは、下記手順**4**に進んでください。
3 [▼]で「録画時間」を選び、[決定]を押す
[◀][▶]で"時間"または"分"を選んで
[▲][▼]で設定し、[決定]を押す
●[1]～[10/0]も使えます。
●25時間を超えて設定することはできません。
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。

●テープの終端になるか、HDDまたはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■録画モード「FR」について

上記手順*4*、119ページ手順*4*で「時間設定」を「切」に設定した場合:

●カセットに録画されている部分(未記録部分は録画しません)だけすべてを、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
●HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
●ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングが中断されます。
●テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して録画します。

上記手順*4*、119ページ手順*4*で「時間設定」を「入」に設定した場合:

●カセットのダビング開始点から設定した録画時間分だけを(未記録部分も録画します)、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
●HDDでは、設定した録画時間で4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
●番組分割はしません。 HDD RAM -R(VR) のみ、チャプターが作成されます。

■前の画面に戻る➡ 戻る を押す

■ダビングを途中でやめる➡ 戻る を3秒以上押す

ダビング中に自動的に行われること	
VHS側のオンスクリーン表示(➔101)	切
ダビング開始直後の操作先	「VHS」

お知らせ

●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➔55)
●コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。

■ふたをひらいたところ

ダビング実行中にできること

	ダビング方向	
	DVD→HDD	DVD→VHS
ダビングの中止(➜右ページ)	○	○
HDDの再生・録画(➜111)	○	×
VHSの再生・録画※1 (➜40,69)	○	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※1※2	—	○
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※1(➜72)	—	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※1(➜72)	—	×

※1　操作先が「VHS」のとき。
※2　録画には影響ありません。

DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+RWを含む)をダビングする

はじめに

ディスクを再生しながら、再生している内容を録画します。ファイナライズ(➜86,130)されたDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R、+RW※の番組をHDDにダビングすると、番組を再編集できます。

※本機ではファイナライズできません。

- **ダビング中に行った操作や画面表示をそのまま記録します。** ただし、HDDにダビングする場合は、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。**
- **DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。**

この方法では、以下のダビング方向が選べます：

■ダビング元➜ダビング先

DVD-V ➜ HDD VHS

DVD-V：ファイナライズ後の -R(V) -R DL -RW(V) +R +RW を含む

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)

ダビング先：
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。(➜27,69)
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 二重放送の番組をダビングする場合、下記のときは、音声の設定が必要です。(**詳しくは➜19,105“二重放送の番組を以下のようにダビングするとき”**)
  - ・**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜94)を「LPCM」にし、XPモードでダビングするとき

ダビング元：
- DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。(➜27)

画面表示の例) ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだとき

1 停止中に、[ダビング 予約延長]を押す

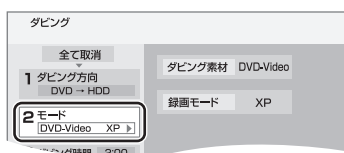
- ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

- ダビング元とダビング先を設定します。
- 設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順*3*に進んでください。

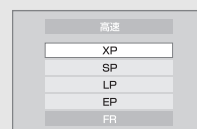
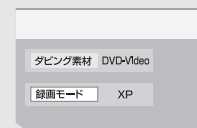
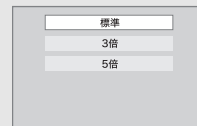
◆**設定を変更する**

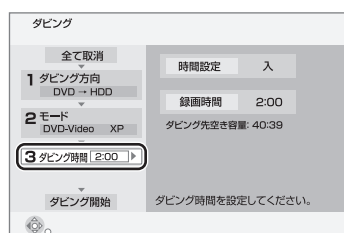
1. 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2. 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
   [▲][▼]で「DVD」を選び、[決定]を押す
3. [▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
   [▲][▼]で「HDD」または「VHS」を選び、[決定]を押す
4. [◀]を押す
5. [▼]を押す

3 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順*4*に進んでください。
●ダビング素材は自動的に「DVD-Video」になり、変更はできません。

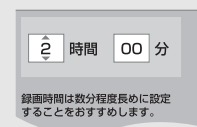
◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

●ダビング先に「HDD」を選んだときは、「XP」、「SP」、「LP」、「EP」から選びます。
●録画モードについて(➜39)

ダビング先「HDD」

ダビング先「VHS」

4 ダビング時間を設定する

●設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順 *5* に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶] を押す
2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定] を押す
3 [▲][▼]で「入」を選び、[決定] を押す
●「切」にした場合(➜下記)
4 [▼]で「録画時間」を選び、[決定] を押す
[◀][▶]で“時間”または“分”を選び、
[▲][▼]で設定する

●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。
●[1]～[10/0]も使えます。
●25時間を超えて設定することはできません。
5 [決定]を押し、[◀]を押す
6 [▼]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、(決定)を押す

●確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、(決定)を押す

●「ファーストプレイ選択」(➜86)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まり、ダビングが開始されます。
●最初に右の画面が録画されます。

☞ **トップメニューが表示されたときには**
[▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたい番組を選び、[決定] を押す

●選んだ番組から順に再生し、設定した時間まで録画します。
●ディスクの最後の番組の再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを録画します。

■前の画面に戻る➡ (戻る)を押す

■ダビングを途中でやめる➡ [停止 ■] を押す
●[戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■「時間設定」を「切」にした場合(上記手順*4*の3)
●HDDの容量またはカセットの残量がなくなるまでダビングを続けます。

お知らせ

●ダビングの開始から終了までが1番組として記録されます。
●自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらないときは[再生▶]を押してください。
●高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。

写真をダビングする

はじめに

- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜8)
- CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。
- カセットにはダビングできません。
- 操作先が「SD」を選んでいる状態でカードをスロットに入れると、再生ナビ画面が自動的に表示されます。(**SD一発再生機能**)
  ダビングをするには、[**再生ナビ**]を押して、再生ナビ画面を消してください。

■写真のダビングについて

- フォルダやカードごとダビングする場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜8)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。(➜83)
- プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。

カードの写真を一度に HDDやDVD-RAMに ダビングする [写真(JPEG)一括取込]

この方法では、以下のダビング方向が選べます:

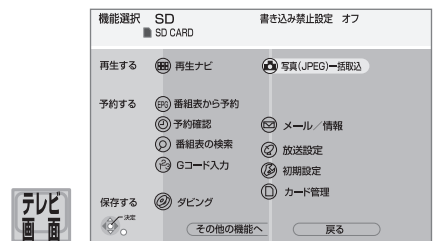
■ダビング元➜ダビング先

SD ➜ HDD RAM

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- SDメモリーカードを入れる。(➜27)
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき➜41)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して「SD」を選ぶ。(➜22)

1 **停止中に、[機能選択]を押す**

- 機能選択画面が表示されます。

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す**

3 **「写真(JPEG)一括取込」が選ばれている状態で、(決定)を押す**

上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合は、[◀][▶]で切り換えができます。

4 **[▲][▼]で「どこへ」を選び、[◀][▶]で設定する**

5 **[▲][▼][◀]で「実行」を選び、(決定)を押す**

■前の画面に戻る➜ (戻る)を押す

■ダビングを途中でやめる➜ (戻る)を3秒以上押す

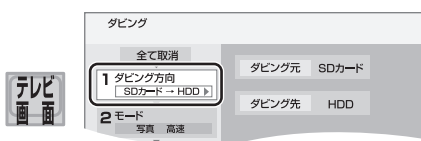
写真を組み合わせてダビングする

この方法では、以下のダビング方向が選べます：

■ダビング元➜ダビング先

HDD RAM SD ➜ HDD RAM SD

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- SDメモリーカードを入れる。(➜27)
- DVD-RAMを入れる。(➜27)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜41)

画面表示の例)ダビング元に「SD」、ダビング先に「HDD」を選んだとき

1 停止中に、[ダビング 予約延長]を押す

- ダビング設定画面が表示されます。

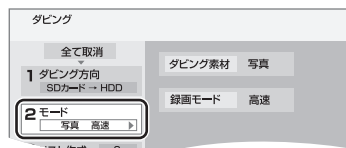
2 ダビング方向を設定する

- ダビング元とダビング先を設定します。
- 設定を変更しないときは、[▼]を押して、手順3に進んでください。

◆設定を変更する

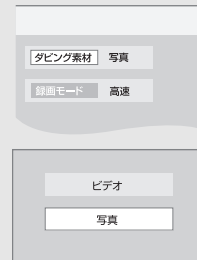
1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[▲][▼]で「SDカード」などを選び、[決定]を押す
3 [▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」などを選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

- ダビング元とダビング先に同じ操作先が選べます。

3 ダビング素材を選ぶ

- 設定を変更しないときは、[▼] を押して、手順4に進んでください。
- 録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング素材」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「写真」を選び、[決定]を押す
- 「ビデオDR」(HDDのみ)または「ビデオ」を選んだ場合は、番組やプレイリストのダビングになります。(➜113手順3へ)

4 [◀]を押す
5 [▼]を押す

次ページへつづく

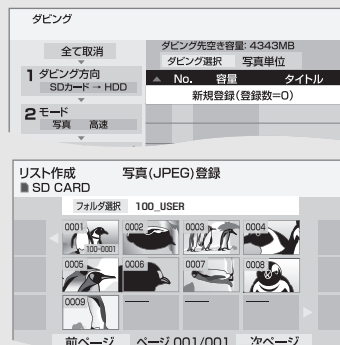
4 ダビングする写真やフォルダを登録する(ダビングリスト作成)

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、[▼]を押して、手順 *5* に進んでください。
- 写真単位、あるいはフォルダ単位で登録できます。
  ただし、写真とフォルダを同じリストに登録することはできません。

◆写真単位で登録する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [▲][▼][◀][▶]でダビングする写真を選び、[決定]を押す
- 手順**2**～**3**を繰り返すと、複数の写真をダビングリストに登録できます。

複数の写真をまとめて登録するには

[▲][▼][◀][▶]で写真を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[**一時停止❚❚**]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、写真番号の小さい順から登録されます。

ダビングリストの便利な機能(➜右ページ)

4 [◀]を押す

5 [▼]を押す

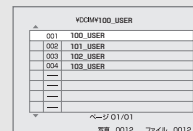
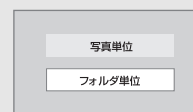
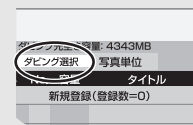
◆フォルダ単位で登録する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 [▲]で「ダビング選択」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「フォルダ単位」を選び、[決定]を押す

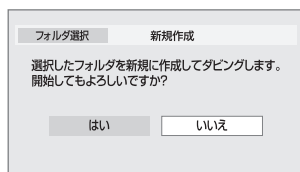
4 [▼]で「新規登録(登録数=0)」を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]でダビングするフォルダを選び、[決定]を押す
- 手順**4**～**5**を繰り返すと、複数のフォルダをダビングリストに登録できます。

複数のフォルダをまとめて登録するには

[▲][▼]でフォルダを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[**一時停止❚❚**]を押すと解除されます。

ダビングリストの便利な機能(➜右ページ)

6 [◀]を押す

7 [▼]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、(決定)を押す

(写真単位のダビングをする場合のみ)
別のフォルダをダビング先に指定するには(➜ 右ページ)

6 [◀]で「はい」を選び、(決定)を押す

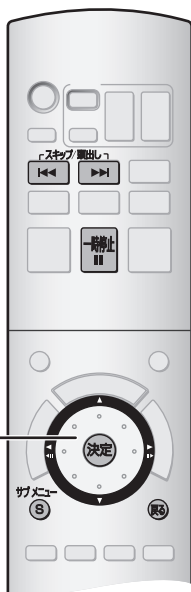
- ダビングが開始されます。

■前の画面に戻る➡ (戻る)を押す

■ダビングを途中でやめる➡ (戻る)を3秒以上押す

ダビングリストの便利な機能

■前後のページを表示する

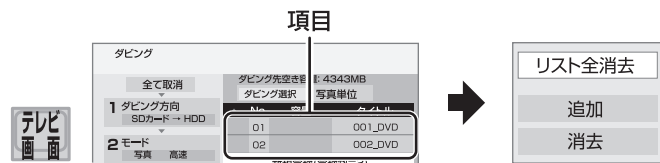
➡ [スキップ/頭出し ⏮](前ページ)または[スキップ/頭出し ⏭](次ページ)を押す

●[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■まとめて登録/消去する

➡ [▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止]を押す操作を繰り返す
(複数選択)

● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
●ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

■リストの項目(写真やフォルダの登録)を消去/追加する

➡ **1** [▲][▼]で編集したい項目を選び、[サブメニュー Ⓢ]を押す

●サブメニュー画面が表示されます。

項目

2 [▲][▼]で編集したい内容を選び、(決定)を押す

リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加: 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼][◀][▶]で追加する写真やフォルダを選び、[決定]を押してください。

消去: 選んだ項目を消去します。
まとめて消去することもできます。(➜上記)
「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

■リストの不要な項目を新しい項目と入れ替えたい場合

➡ **1** [▲][▼]で不要な項目を選び、(決定)を押す

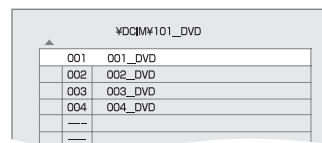
2 [▲][▼][◀][▶]で新しく登録したい写真やフォルダを選び、(決定)を押す

●項目が入れ替わります。

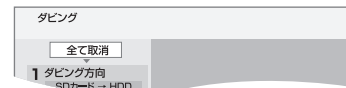
■別のフォルダの写真を選ぶ/別のフォルダをダビング先に指定する/上位フォルダを切り換える

➡ **1** [▲]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

☞ [ダビングリスト作成時(➜左ページ手順4)のみ]
上位フォルダを切り換えるには
(上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ)
① [サブ メニュー]を押す
② 「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
③ [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す
●上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。

2 フォルダを選び、(決定)を押す

●別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

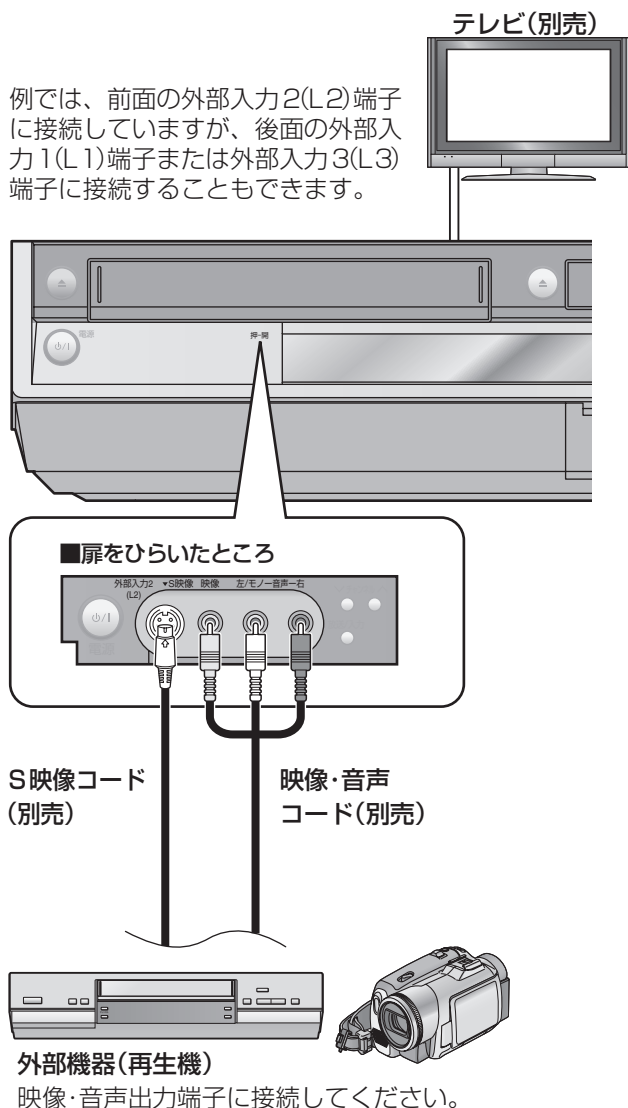
■以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す

➡ [▲]で「全て取消」を選び、(決定)を押す

●確認画面が表示されます。
[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをした場合
・ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変えるなどを行った場合

他のビデオやビデオカメラからダビングする

例では、前面の外部入力2(L2)端子に接続していますが、後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)端子に接続することもできます。

外部機器(再生機)
映像・音声出力端子に接続してください。

はじめに

■録画する番組の映像・音声の記録について
(詳しくは➜19)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

●16:9映像の番組
➡4:3映像で記録します。

●海外ドラマなどの二重放送
➡主、副音声のどちらか一方のみ記録してください。両音声を記録すると、再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。
接続する機器側で、「主音声」または「副音声」のどちらか一方のみを出力する設定にする
(接続した機器側で音声を選べない場合➜右ページ)

16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには※ HDD RAM -R(VR)

① **初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜93)**

② **(二重放送を録画する場合のみ)**
接続した機器側で、「主音声」と「副音声」の両方が出力されるように設定する
●主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

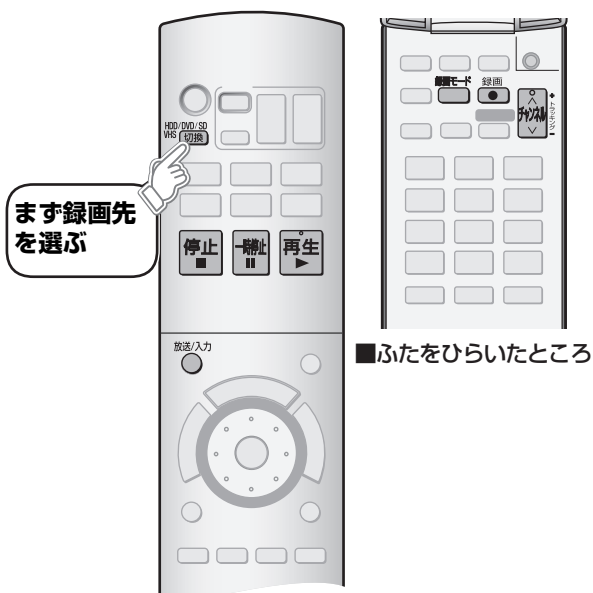
※HDDへダビング後、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定の場合は、この操作を行わないことをおすすめします。
・高速でダビングできなくなります。
(1倍速でダビングします)
・**主、副音声の両方を記録した番組をダビングすると、ディスクに両音声とも記録され、ディスク再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。**

市販のビデオやDVDソフトのほとんどは、録画禁止処理がされており録画できません。

■外部機器の音声出力端子がモノラルのとき

●本機前面の外部入力2(L2)端子に接続するときは、音声は[左/モノ](白)に接続してください。
●本機後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)端子に接続するときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

■S映像入力について

●S映像コードからの入力は、S1/S2規格(**➜132**)に対応しています。
VHS側は、S映像コードからの入力はできますが、S-VHS方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

他のビデオやビデオカメラからダビングする

●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して録画先(「HDD」、「DVD」または「VHS」)を選ぶ。(➜22)
●録画可能なディスクまたはカセットを入れる。(➜27)

1 外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

◆HDD/DVD側で録画するとき

1 [放送/入力]を押して、"L1"を選ぶ
2 チャンネル[∧][∨](ふた内部)を押して、外部機器を接続した外部入力チャンネル("L1"、"L2"または"L3")を選ぶ

◆VHS側で録画するとき

[放送/入力]を押して、外部機器を接続した外部入力チャンネル("L1"、"L2"または"L3")を選ぶ

L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3: 外部入力3端子(後面)に接続したとき

2 VHS 録画開始点を探す

(HDD/DVD側で録画する場合、この操作は不要です)

1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
2 [一時停止❚❚]を押して、録画の開始点で静止画にする
3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

3 録画モード(➜39)を選ぶ

録画モードを数回押す

4 接続した機器で、再生を始める

5 録画を始める

◆HDD/DVD側で録画するとき

録画を始めたい場面で、録画●を押す

◆VHS側で録画するとき

録画を始めたい場面で、一時停止❚❚を押す

■録画を一時停止する➜ **を押す**

●もう一度押すと録画を続けます。

■録画をやめる➜ 停止■ **を押す**

●接続した機器の再生も停止させてください。

■ディスクの残量に合わせて録画する

(HDD/DVD側で録画する場合)
➜ぴったり録画(➜43)

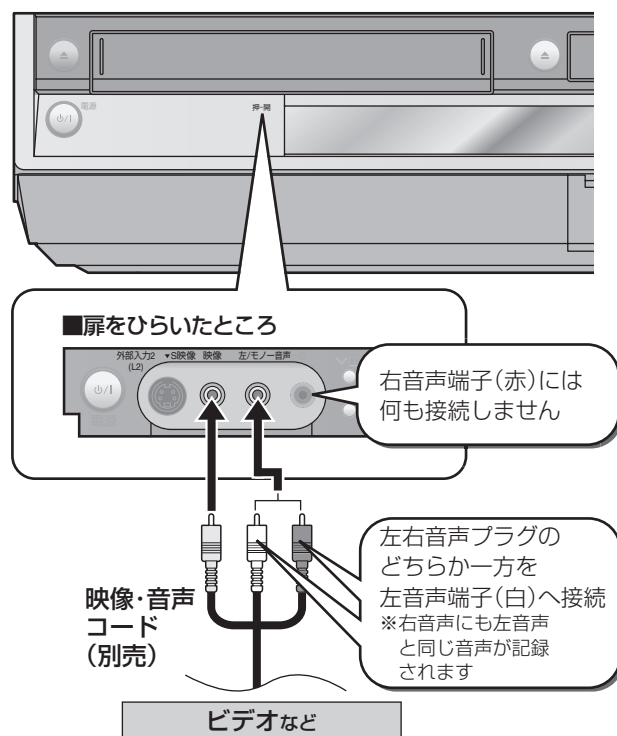
■本機を再生機として使うとき

●テレビ画面にオンスクリーン表示を出さない設定(➜95,101)にすると、不要な文字や表示が出なくなります。

■テレビの近くで操作するとき

●接続した機器をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

接続した機器側で音声を選べない場合

録画前に、ビデオなどからの映像·音声コードを本機前面のL2端子に接続し直す

●左右の音声プラグからそれぞれ主または副音声が出力されます。接続後、両方のスピーカーから記録したい音声が出るか確認してください。
●L2端子以外の端子で上記接続を行うと、再生時、片方のスピーカーからしか音声が出ません。

アイコン一覧

●本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	内容
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1チャンネルなどのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
デジタル 1COPY	「1回だけ録画可能」な番組（**➜14**） （録画後、ダビングできません）
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
デジタル X出力	デジタル出力端子からデジタル信号を出力しない番組
アナログ X出力	アナログ（DVD/VHS共用出力、DVD優先出力、D1/D2/D3/D4映像出力）出力しない番組（音声も出力されません）
ラジオ	ラジオ放送の番組
臨時	臨時ニュースなど予定外の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1125i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－1125i、750p） （デジタル標準テレビ放送－525p、525i）
主+副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
有料	有料のデータを含むペイ・パー・ビュー番組
字幕	番組の中に字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
19才～	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は4～20才まであります）

再生ナビ画面（番組・写真一覧）

番組や写真に書き込み禁止（プロテクト）を設定

録画禁止信号により録画できなかった番組
（デジタル放送など）

HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組

録画中の番組

HDDにリリーフ（代替）録画された番組（**➜45**）

本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組（**➜14**）

PAL方式で録画された番組
（このマークの番組は再生できません）

プリント枚数（DPOF）が設定された写真（**➜83**）

予約一覧画面

 録画が可能な番組

 番組追従(➜57)を設定した予約番組で、録画が可能な番組

 日時が他の予約と重複している番組

 録画中の番組

 残量不足で録画が中断された番組

 予約時にディスクが未挿入などで、HDDにリリーフ(代替)録画(➜45)される番組

 予約録画が実行されなかった番組

 毎週/毎日予約のときに、表示された日付(最大1カ月先)まで録画予約されます。(他の番組が録画や消去された場合など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります)

 番組追従を実行中(時間確認中)

 Gコード予約(➜50)またはタイマー予約(➜52)で予約した番組

 番組表(Gガイド)を使って予約した番組(➜46)

 番組表(Gガイド)を使って予約したペイ·パー·ビュー番組

 録画禁止信号により録画が中断された番組(デジタル放送など)

 予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組

 毎週/毎日予約のときに自動更新(オートリニューアル)(➜51)をする場合、表示されます。(前回録画した内容を上書きして録画します)

番組ジャンル

番組をジャンル別に検索するときに選びます。(➜48)

 映画

 音楽

 ニュース·報道

 劇場·公演

 ドラマ

 バラエティー

 アニメ·漫画

 趣味·教育

 スポーツ

 情報·ワイドショー

 ドキュメンタリー·教養

 福祉

他にも、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

その他の画面

 視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組。暗証番号を入力すると視聴可(➜35)

 メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)

 番組表(G ガイド)を使って予約された番組

有料 1番組限度額の設定より高い金額の番組
暗証番号を入力すると視聴可(➜35)

 メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール(既読メール)

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

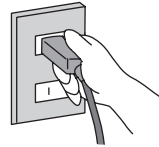
⚠警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

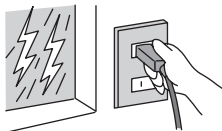
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

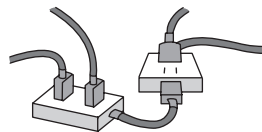
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **外装チューブのはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために外装チューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

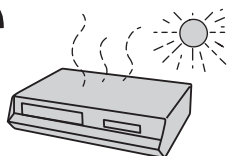
電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

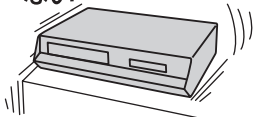
内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

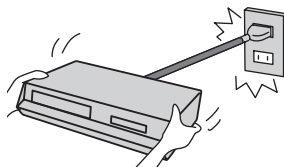
屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

用語解説

ア アンテナレベル
アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

カ (株)B-CAS（ビーキャス）
BSデジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するために設立された（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行･管理をしています。地上デジタル放送や110度CSデジタル放送も同システムを使用しています。

● ゲートウェイアドレス
インターネットのアクセスで経由すべき機器のIPアドレス。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスのことをいいます。
（例：192.168.0.1）

サ サブネットマスク
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。
（例：255.255.255.0）

● サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。（本機では、番組一覧などに番組内の1場面が表示されます）

● サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

● スプリッター
電話回線のネットワーク用の信号と電話用の信号を分ける機器です。

タ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

● ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、HDMIケーブルで、CPPMに対応したHDMI Ver1.1 規格のアンプと接続している場合を除き、本機では正常に再生できません。

● データ放送
お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができる放送です。例えば、お客様のお住まいの地域の天気予報を、表示させることができます。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。その他に、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどが行われます。

● デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

● デジタルハイビジョン
デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送（SD）とデジタルハイビジョン放送（HD）があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525 本の倍以上の1125 本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ハ ハブ
複数の機器をネットワークに接続するための機器です。

● パン＆スキャン/レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が16：9）を前提に制作されているため、横縦比が4：3のテレビ画面に映し出そうとすると、画面に収まらなくなります。
4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。

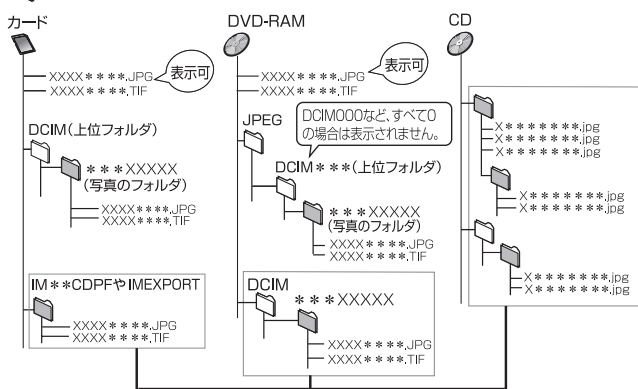
● ファイナライズ
録音･録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。本機ではDVD-R（DVD-Video方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rのファイナライズが可能です。
DVD-R（DVD-Video方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rをファイナライズすると再生専用ディスクとなり、録画や編集ができなくなります。DVD-RW（DVD-Video方式）はフォーマットすると、繰り返し録画できます。

● フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画撮影で使われるフィルムは、24コマ/秒で画像が記録されています）
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

● フォーマット
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDD、DVD-RAM、DVD-RW、SDメモリーカード、未使用のDVD-Rのフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。
未使用のDVD-Rをフォーマットすると、DVD-R（VR方式）になります。

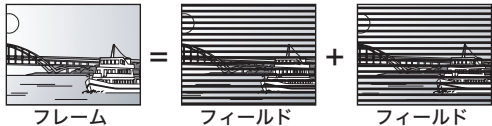
● フォルダ
ハードディスクやSDメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真（JPEG/TIFF）の保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例
：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字

CD
最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

● **プライマリDNS/セカンダリDNS**
インターネット上で名前とIPアドレスを対応させる電話帳のような機能を持ったサーバーです。本機はこのサーバーのIPアドレスを2つまで登録することができます。

● **ブラウザ**
ネットワーク上のページを表示するためのソフトウェアです。

● **フレーム/フィールド**
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

- **フレームスチル**
  2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- **フィールドスチル**
  情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

● **プログレッシブ/インターレース**
従来の映像信号(NTSC)は525i(i:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p:プログレッシブ=順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。また、本機の D1/D2/D3/D4 映像出力端子やHDMI映像·音声出力端子はハイビジョン映像出力(750p、1125i)にも対応しています。
プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむには、それぞれ対応テレビが必要です。

● **プロテクト**
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

● **ブロードバンド**
ご家庭でいつでもインターネットを楽しめる、ADSLなどのインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

● **プロバイダー**
ケーブルや電話回線に接続した機器をインターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。「hi-ho(ハイホー)」など、多くの会社があります。

エーエーシー　アドヴァンスド　オーディオ　コーディング
Ⓐ **AAC(Advanced Audio Coding)**
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド·オーディオ·コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

エーディーエスエル　アシンメトリック　デジタル　サブスクライバー　ライン
● **ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line)**
電話回線を使ったブロードバンド接続方式の一種です。回線業者、プロバイダーとの契約が必要です。

ビットストリーム
Ⓑ **Bitstream**
圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

シーピーピーエム
Ⓒ **CPPM**
コンテント　プロテクション　フォー　プリレコーディッド　メディア
(Content Protection for Prerecorded Media)
DVDオーディオのファイルコピーを防止する著作権保護技術です。本機はCPPMに対応しています。CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声をHDMIで楽しむには、CPPM対応機器と接続してください。

シーピーアールエム
● **CPRM**
コンテント　プロテクション　フォー　レコーダブル　メディア
(Content Protection for Recordable Media)
デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクに録画できます。

Ⓓ **D映像端子**
コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。また、本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子はハイビジョン映像出力(750p、1125i)にも対応しています。ただし、ハイビジョン映像を楽しむには対応テレビが必要です。

ディーエイチシーピー
● **DHCP**
ダイナミック　ホスト　コンフィギュレーション　プロトコル
(Dynamic Host Configuration Protocol)
サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

ドルビー　デジタル
● **Dolby Digital**
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2チャンネル)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。本機で、録画モード「XP」~「EP」、「FR」で録画すると、通常はドルビーデジタル(2チャンネル)で記録されます。(録画モード「DR」で録画した場合は、番組の音声方式のまま記録されます)

ディーポフ　デジタル　プリント　オーダー　フォーマット
● **DPOF(Digital Print Order Format)**
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
● **DTS (Digital Theater Systems)**
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

イーピージー　エレクトロニック　プログラム　ガイド
Ⓔ **EPG(Electronic Program Guide)**
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表(Gガイド)を使って予約録画などができます。

Ⓗ **HDD(ハードディスクドライブ)**
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

エイチディーエムアイ
● **HDMI**
ハイ ディフェニション　マルチメディア　インターフェイス
(High-Definition Multimedia Interface)
HDMIとは、デジタル機器向けの次世代インターフェイスです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声·映像信号を伝送することができます。また、本機のHDMI映像·音声出力端子はハイビジョン映像出力(750p、1125i)にも対応しています。ただしハイビジョン映像を楽しむには対応テレビが必要です。

アイディースリー
Ⓘ **ID3 タグ**
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

IP アドレス
インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。家庭では、ブロードバンドルーターなどの DHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）

Ir システム
セットトップボックスやテレビなどから予約録画などの信号を、録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製のCATV用セットトップボックスやテレビなどのIrシステムが、DVDレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。セットトップボックスやテレビなどの説明書をご覧ください。

J

JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L

LPCM（リニア PCM）
圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは48 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されていますので、CDよりも高音質での再生が可能です。本機では、デジタル音声出力端子からのリニアPCM音声は 2チャンネルで出力されます。録画モード「XP」で録画する場合、LPCMで録画することができます。

M

MACアドレス
ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサーネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

MP3（MPEG Audio Layer3）
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

P

PAL（Phase Alternating Line）
水平走査線が625本、フレーム周波数が25 Hzのインターレース方式を使用したアナログカラーテレビ放送の規格です。フランス以外の西ヨーロッパなどで採用されています。

PBC（Playback Control）
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
（本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています）

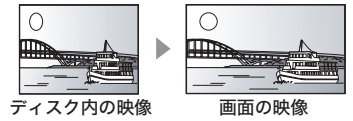
PCM（Pulse Code Modulation）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の１つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

S

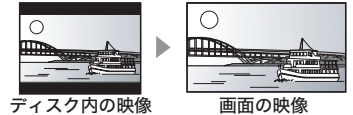
S映像出力
映像信号をＣ（色信号）とＹ（輝度信号）に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●S1映像信号
映像の横縦比が4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

●S2映像信号
S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

SQPB（S-VHS Quasi Playback）
S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

S-VHS ET（Super VHS Expansion Technology）
VHSカセットにS-VHS方式で録画する機能です。
本機にはこの機能はありません。

T

TIFF（Tag Image File Format）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

V

VBR（Variable Bit Rate）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

1

1125i(1080i)
デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

5

525i(480i)
1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。

525p(480p)
1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

7

750p(720p)
デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

Q＆A（よくあるご質問）

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

	Q（質問）	A（回答）	ページ
地上デジタル・BS・CS放送	BSアナログ放送を見ることはできるか？	●本機だけではBSアナログ放送を見ることはできませんが、BSアナログ放送の番組と同じ内容の番組が、BSデジタル放送でも放送されている場合があります。BSデジタル放送であれば、本機だけでご覧いただけます。	―
	地上デジタルやCS、BSの放送を見ることができるか？ また、それらの放送を録画できるか？	●専用チューナーを接続しなくても、本機で地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を見たり録画したりすることができます。 ●有料放送を見るには、放送会社との（複数のBS放送を見るには放送局ごとに）受信契約が必要な場合があります。 ●デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられている番組があります。このような映像を録画するには、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R（VR方式）ディスクが必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、録画したこれらの映像は複製することはできません。 HDDから、CPRM対応のDVD-RAMまたはDVD-R（VR方式）への移動が可能です。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、CPRM対応のDVD-RWやDVD-R（DVD-Video方式）には録画できません。	― ― 14 14
	ハイビジョン放送は録画できるか？	●HDDへは録画モードを「DR」にすることでハイビジョン画質のまま録画できます。 ●CPRM対応のDVD-RAM、DVD-R（VR方式）へも録画できますが、ハイビジョン画質にはなりません。 ●CATVデジタルセットトップボックスなど、外部機器との接続ではハイビジョン画質での録画はできません。通常画質での録画となります。	14,39 14 ―
ディスク	両面のDVD-RAMは使えるか？	●使用できますが、両面にまたがった使いかたはできません。（自動で裏返すことはできません）	40,60
	DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+RWは使えるか？	●使用できます。（高速記録対応にも対応） ・DVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rは録画・再生できます。 ・DVD-RW（VR方式）、+RWは再生のみとなります。 ・DVD-R DLは、ダビング・再生ができます。（本機では、番組を直接録画することはできません）	4
	CD-RやCD-RWは使えるか？	●CD-DA、ビデオCD、MP3や写真（JPEG/TIFF）のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。MP3や写真（JPEG/TIFF）は、1枚のディスクにルートを含む最大99フォルダ（グループ）まで表示され、最大999個のファイル（トラック）が再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	7,8 ―
	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか？	●映像方式がNTSCであれば再生できます。DVDオーディオは音声のみ再生できます。 ●DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	― 7
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか？	●DVDビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。	―
カセット	S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか？	●できます。ただし、S-VHS、D-VHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 デジタル（D-VHS）方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。	― 69
	S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか？	●カセットアダプター（別売）を使えばできます。ただし、S-VHS-Cカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたS-VHS-Cカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。	― ―
	海外で録画したカセットを再生できるか？	●同じNTSC方式のSP（標準）、またはEP（3倍）で録画されたものならできます。	―
	本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？	●できません。	39

	Q(質問)	A(回答)	ページ
HDD・DVD録画・録音	市販のビデオやDVDから録画できるか?	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	—
	本機で録画したDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rは他の機器で再生できるか? 本機でダビングしたDVD-R DLは他の機器で再生できるか?	●本機で録画したDVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)や +Rを本機でファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます(ただし、すべての機器で再生保証するものではありません)。また、記録状態によって再生できない場合があります。 ●DVD-R(VR方式)は、DVD-R(VR方式)対応機器でのみ再生可能です。 ●DVD-R(VR方式)は、2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーで再生できます。(2005年9月現在) ●DVD-R DLは、2005年2月にDVDフォーラムで定められた新規格です。このディスクを再生するときは、DVD-R DLに対応した機器を使用してください。	86 — — —
	本機で、外部入力からのデジタル信号を録音できるか?	●できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	—
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか?	●できます(PCM)。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」:「入」 「Dolby Digital」:「PCM」 「DTS」:「PCM」 「AAC」:「PCM」 (ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です) ●MP3信号は録音できません。	94 —
	すべてのディスクで追っかけ再生できるか?	●HDDとDVD-RAMのみできます。 ただし、2 番組を同時に録画中は再生できません。	44
	録画中、音声多重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか?	●**[音声]**を押して切り換えることができます。 ただし録画モードが"XP"で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」を「LPCM」にして録画している場合は、音声を切り換えることができません。 ●以下の場合、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。(**初期設定**「二重放送音声記録」で選ばれている音声が聞こえます) ・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画している場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに録画している場合 ●デジタル放送の、マルチ音声の切り換え(「信号切換」の「音声」による切り換え)はできません。	73 94 93 — 33
	ディスクに高速でダビングできるか?	●できます。高速記録対応のディスクを使用すると、1時間の番組をDVD-R、+Rに最短約56秒、DVD-RAMに最短約1.5分、DVD-RW(DVD-Video方式)に最短約1.9分、DVD-R DLに最短約3.75分でダビングできます。 ●録画モード「DR」で録画した番組は高速ダビングできません。	104 —
	MPEG4は録画できるか?	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	—
VHS録画・録音	録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?	●できます。**[音声]**で聞きたい音声を選んでください。	73
	ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか?	●できません。	—
	VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?	●BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。また、HDD/DVD側に切り換えて見ることもできます。	—
予約録画	予約録画は予約した順番に行われるのか?	●予約内容の日付・時刻順に行われます。	—
	予約録画の待機中に、他のディスクやカセットを見ることができるか? またはディスクやカセットを入れ替えることができるか?	●ディスクやカセットを他のものに入れ替えて再生するときなど、予約録画の待機状態を解除しないとできない場合があります。 ●HDD/DVDの予約待機中でもHDD/DVDの録画・再生、VHSの録画または再生ができます。 ●VHSの予約待機中でもHDD/DVDの録画・再生ができます。	55 45 45
	予約録画開始時、テレビの電源は入れていなくてもいいのか?	●本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。	—

こんな表示が出たら

本機は、操作の確認のためや正常な操作が行われなかった場合に、テレビ画面や本体表示窓にメッセージを表示します。
それらのメッセージの多くは通信や受信時の異常、ディスクの制限によるものです。
テレビ画面にメッセージが表示された場合、そのメッセージに従って操作をしてください。
「ページ」の項目の ○○ は別冊の取扱説明書 接続・設定編のページを示しています。

テレビ画面に出る主なメッセージ

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
異常が発生しました。 決定ボタンを押してください。	●[決定]を押すと、復旧動作を行います。復旧動作中(本体表示窓に“SELF CHECK”表示中)は操作できません。	136
読み込みできません。 ディスクを確認してください。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	27
(対応)カードが入っていません。	●本機に対応したカードが入っていません。対応したカードを入れたのに表示された場合は、本体の電源を切り、カードを入れ直してください。 ●カードのフォーマットが異なっています。	8,27 8
記録できないディスクが入っています。 このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R以外のディスクが入っています。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っています。 ●DVD-RW(VR方式)が入っています。 ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RW が入っています。	5 5 7 85
ディスクがいっぱいで記録できません。 番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	●不要な番組や写真を消去してください。 HDD RAM -RW(V) SD ●新しいディスクやカードを使ってください。	63,75,83 —
録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	15 — 38
ディスクへの書き込みができません。 ディスクを確認してください。 フォーマットできません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	10
ディスクを交換してください。	●ディスクに異常が発生した恐れがあります。 [開/閉▲]を押して、ディスクを取り出し、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	10
番組データは未取得です。受信予定時刻が取得できません。 番組データは未取得です	●地上アナログ放送の番組表(Gガイド)でのみ表示されます。番組表(Gガイド)の受信の条件を確認してください。	32
番組データがありません。決定ボタンで取得します。	●地上デジタル放送の番組表(Gガイド)のみで表示されます。番組表(Gガイド)で取得したい放送を選んで[決定]を押すと、受信可能なチャンネルであれば数分で受信します。	—
購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	●B-CASカードの記録容量を超えている場合など、購入記録が送信できないときに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。	18,41
現在、受信できません。	●受信するための送信データが異常の場合に表示されます。	—
視聴できません。視聴するには決定ボタンを押してください。	●有料放送の購入をしていません。 [決定]で、再度購入操作が行えます。	—
データを送信します。よろしいですか?	●データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。	—
降雨対応放送に切り替わりました。	●雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できない場合もあります。	—
緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	●緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。	—
予約チャンネルを合わせてください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード予約ができません。	37
録画中は実行できません。	●DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R で追っかけ再生はできません。	—
著作権保護のため音声はHDMIから出力できません。	●CPPM非対応機器と接続すると、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声はHDMI映像・音声出力端子からは出力できません。音声コード(赤、白)をHDMIに対応した音声入力端子に接続してください。	15
⊘	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。ディスクが入っていない状態でDVDを再生しようとしていないかなど、操作をご確認ください。	—
再生できません。	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	7
本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしました。 ●本体表示窓の“SD”が点滅していないことを確認して、カードを入れ直してください。	— 27
フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	130
データを取得中です	●デジタル放送からデータを取得中です。	—
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	31
この機能を使用するには、デジタル放送を受信する必要があります。	●デジタル放送から取得する時刻情報が取得できていないために操作できません。デジタル放送を受信して、時刻が正しく表示されているか確認してください。	—
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	●放送を休止しているチャンネルを選んでいます。	—

テレビ画面に出る主なメッセージ(つづき)

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
受信できません。アンテナ設定、もしくは、このチャンネルの契約をご確認ください。	●正しく受信できない番組を録画した場合、または購入されていない有料放送の番組を録画した場合に表示されます。 ●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局している場合は正しく受信できません。 ●有料放送の場合は、購入してから録画してください。	36 31 36
ダビングできませんでした。	●ディスク、または光ピックレンズ※が汚れています。 ※ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。	10,20
コピー禁止信号を検出したため、ダビングを中断しました。	●コピー禁止処理がされたカセットをワンタッチダビングしようとしています。 ●コピー禁止処理がされたカセットをマニュアルダビングしようとしています。	108 116
コピー禁止信号が設定されています。ダビングできません。	●コピー禁止処理がされたディスクをマニュアルダビングしようとしています。	112
1回だけ録画可能な番組はダビングできません。	●「1回だけ録画可能」な番組をダビングできない録画先へダビングしようとしています。	16

通信時の主なメッセージ

メッセージ(エラーコード)	調べるところ・原因・対策	ページ
サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	●サーバーが混みあっているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●まったく接続できない場合は、「ブラウザ設定」やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。	— 47
サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。	—
認証に失敗しました。(B401)	●回線業者やプロバイダーからのIDやパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの取扱説明書に従って、正しく設定してください。	—
接続先サイトの証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか? サイト名:○○○○	●接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをおすすめします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。	—

本体表示窓に出る主なメッセージ

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)(➔145)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[開/閉▲]を押してクリーナーを取り出してください。	10 —
SELF CHECK	●録画や再生、ダビング中に、ディスクに異常が確認された場合や、停電、または動作中に電源コードが抜けた場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示します。故障ではありません。表示が消えると使えます。	139
UNSUPPORT	●本機で録画や再生できないディスクが入っています。	7
HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	148
HDD SLP	●HDDの寿命を延ばすため、休止状態になりました。[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して操作先に「HDD」を選ぶと、HDDが起動します。	9
PROG FULL	●HDD/DVD側ですでに32件の予約がされています。不要な予約を消してください。 ●VHS側ですでに16件の予約がされています。不要な予約を消してください。	54 54
U11※	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	72
U59※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、後面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	129
F99※	●本体が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。 それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
H□□または F □□※	●異常と思われます。(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります) **1** **電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む** **2** **[DVD/VHS電源]を押し、電源を入れる**(直ることがあります)	—
UNFORMAT	●フォーマット(初期化)されていないDVD-RAM、DVD-RW、または他の機器で記録されたDVD-Video方式のDVD-RWが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	85
PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●**初期設定**「クイックスタート」を「入」に設定している場合、停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— 93
R35:50 (数字は例です)	●HDDまたはディスクの残量です。(異常ではありません) 「R」は「Remain(残量)」を、「35:50」は「35時間50分」を意味します。	41
DOWNLOAD	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。	21

※これらの表示をサービス番号と呼びます。上記に紹介している操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(➔149)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には「サービス番号、H01」などとお知らせください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜149)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音がする。(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 電源切/入や休止時(「HDD SLP」状態)、および午前4時ごろ[「クイックスタート」が「入」のとき(➜93)] に音がする。休止中の反応が遅い。
- 早送り/早戻し(VHSでは巻き戻し再生)すると映像が乱れる。
- 気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

「ページ」の項目の ○○ は別冊の取扱説明書 接続・設定編のページを示しています。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、午前4時から数分間、本機は動作を安定させるため、本機全体を自動的にリセットし、内部的に再起動します。その間、電源ボタンを含むすべてのボタン操作ができません。(午前4時に電源が入っていた場合や午前4時を含む録画予約がある場合を除く)	20 93
	自動的に電源が切れた	●**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます) ●各種安全装置が働いていることがあります。**[DVD/VHS電源]**を押し、電源を入れてください。	93 —
テレビ画面や映像	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	●分配器で、テレビと本機に電波を分配したためです。ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください) ●アンテナ線が劣化している。販売店にご相談ください。 ●「衛星アンテナ設定」が「個別」または「おまかせ」に設定されているときは、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 ●LANケーブルとアンテナケーブルの距離を離してください。	— — — —
	映像が出ない 映像が乱れる	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像やハイビジョン映像に対応していないテレビに接続し、本機でそれらの映像を出力する設定をしている。本体の**[停止■]**と**[VHS▶DVD](ダビング)**を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ・D端子ケーブルで接続しているときは、「525i」出力になります。(**初期設定**「D端子出力解像度」が「D1」になります) ・HDMIケーブルで接続しているときは、「525p」出力になります。(**初期設定**「HDMI出力解像度」が「525p」になります) ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●お使いのテレビによっては、再生、停止などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ●HDMI接続で4台以上つなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	4~21 — 95 95 — — —
	横縦比4:3の画像が左右に伸びる 画面サイズがおかしい	●**初期設定**「TVアスペクト」をお使いのテレビに合わせて設定してください。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 調整できないテレビの場合、**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。 効果がない場合や「切」にできない場合は、**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」に、または「HDMI映像優先モード」を「切」に設定してください。 ●**初期設定**「ワイドモード」や「TVアスペクト(4:3)設定」の「DVD-Video」や「DVD-RAM」の設定を確認してください。	95 65 95 93,95
	録画した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●地上アナログ放送や、外部入力からの映像を以下のように録画した場合、16:9映像は4:3映像で記録されます。 ・ HDD RAM -R(VR) **初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画した場合(お買い上げ時は「入」に設定されています) 16:9映像のまま記録したいときは、「高速ダビング用録画」を「切」にしてください。 ・ -R(V) -R DL -RW(V) +R に記録(ダビング)した場合 **初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	93 — 95
	映像の左右の端が切れる または色が薄い	●表示領域の広いテレビでは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「インテグレイテッドDNR」を0にするか、「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	65
	プログレッシブ映像出力(525p、750p)、ハイビジョン映像出力(750p、1125i)時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」[525i(インタレース)で出力]にしてください。 HDMI映像・音声出力端子から映像出力時は、以下の手順で設定してください。 **1 HDMI映像・音声出力端子以外の映像端子で接続する** **2 初期設定「HDMI映像優先モード」を「切」にする** **3 初期設定「D端子出力解像度」を「D1」にする**	95 95
	「HDMI出力解像度」設定中、接続機器が対応している項目に"*"が表示されない	●接続する機器が対応していれば、"*"が表示されていない項目も選べます。	95
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	テレビにVHS側の画面が出ない	●本機のDVD優先出力端子をお使いの場合、HDD/DVD/SD動作中は、VHSの映像が映りません。テレビ側で入力を切り換えてください。	10~12
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」を「切」にしている。	95

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
テレビ画面や映像	ブルーバック(青い画面)にならない	●**初期設定**「UVブルーバック」を「入」にしていない。	95
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
	VHSの画面メッセージが出ない	●**VHSメニュー**の「オンスクリーン」を「切」にしている。	101
	VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
デジタル放送	デジタル放送が受信できない	●アンテナが正しく接続されていない。後面の端子の接続が間違っていないか確かめてください。 ●アンテナ線やアンテナプラグが劣化している。 ●B-CASカードを正しく挿入していない。	4 — 19
	BS・110度CSデジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	●BS・110度CSデジタル放送対応アンテナを使用していない。BSデジタル放送のみを受信する場合でも、従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。 ●BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナケーブルや分配器、分波器、ブースターなどを使用していない。 ●**放送設定**「アンテナ設定」が正しく設定されていない。アンテナレベルを調整してください。 ●風や振動により、アンテナの向きが変わっている。アンテナを調整し、**放送設定**「アンテナ設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。 ●着雪(アンテナ)、雨、雷雲などによる電波の減衰が考えられます。BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。 ●降雨対応放送になっている。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、放送によっては電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換わることがあります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 ●衛星アンテナ設定で、アンテナレベルの表示が白色で映らないときは、位相雑音の多いことが考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	8 5,8 31 31 — — — —
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていない。 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。 ●地上デジタル放送に対応したUHFアンテナ、ブースターなどを使用していない。 現在の地上アナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要になる場合があります。 ●UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●風や振動により、アンテナの向きが変わっている。アンテナを調整し、**放送設定**「アンテナ設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。 ●**放送設定**「アンテナ設定」の「ブースター電源」の設定を変更すると、受信できる場合があります。 ●ご使用の共聴システムが、地上デジタル放送に対応(パススルー方式)していない。CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問合せください。	— 7 — 31 31 —
	字幕や文字スーパーが出ない	●**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」になっている。 ●字幕や文字スーパーのない番組を選局している。字幕のある番組は、番組内容画面に「字幕」のアイコンが表示されています。	32 32
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに機器と受信契約が必要です。視聴契約手続きをしてください。 ●電話回線を正しく接続していない。 ●**放送設定**「電話設定」を正しく行っていない。	36 18 41
	デジタル放送受信時の音量、またはデジタル放送を録画した番組の再生時の音量が小さい	●デジタル放送はアナログ放送に比べ、音量が小さいときがあります。	—
ボタン操作	操作できない	●「かんたん設置設定」を正しく終了していない。お買い上げ後、はじめて電源を入れたときに行う「かんたん設置設定」を、最後まで行ってください。 ●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。 ●**[HDD/DVD/SD/VHS切換]**で間違った操作先を選んでいる。 ●本体表示窓に"U59"点灯時は本体内部温度が高くなっています。"U59"が消えるまで待ってください。 ●ダウンロードの実行中になっている(本体表示窓に"DOWNLOAD"が表示)。 ダウンロードが終了するまでお待ちください。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 HDD/DVD部の操作ができない場合: **1** **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る** ●電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) **2** **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	22 — 22 136 — —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●メーカー番号が合っていない。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 ●電池が消耗している。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していない。 ●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）などがある。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。 ●本体とリモコンモードが合っていない。 電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。	48 — 3 3 3 48
本体	ディスク・カセットが入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●正しく入れていない。	— 27
	ディスク・カセットが取り出せない	●予約録画の待機中、または実行中になっている。 ●録画中になっている。 ●上記のいずれでもない場合、ディスクトレイは電源「切」状態で本体の**[停止■]**と**チャンネル[∧]**を同時に約５秒以上押したままにすると開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	55,56 40 —
	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機ではじめて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。	—
	起動が遅い	●HDDが休止状態になっている。（本体表示窓に"HDD SLP"と表示）	9
表示	時刻表示が"0：00"で点滅している	●時刻が合っていない。 ●内部のバックアップ電源が切れています。お買い上げの販売店にご相談ください。	49 —
	"再生"が点滅している	●続き再生メモリー機能が働いています。解除するには**[停止■]**を数回押してください。（"再生"の点滅が消えます）	62
	表示が出ない	●**初期設定**「FLディマー」が「オート」になっている。「オート」の場合は、電源「切」時は本体表示窓の表示が消灯しています。	95
	表示が暗い	●**初期設定**「FLディマー」で明るさを変えてください。	95
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に１秒を0.999秒（29.97フレーム）としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。 （例：１時間番組の時間表示は約59分56秒となります）	—
	電源「切」時に、本体表示窓に"DATA"が表示される	●番組データを受信中など自動的に放送情報を受信するために、表示する場合があります。	32
	電源「切」時に、本体表示窓に"TEL"が表示される	●購入記録の送信など電話回線使用中です。	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする MP3の再生時間が実際と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード"DR"で録画した場合はとくにばらつきが大きくなります。 ●DVD-R、DVD-R DL、+Rは番組を消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW（DVD-Video方式）は、最後に録画した番組を消去したときのみ残量が増えます。 ●DVD-R（VR方式）で編集を行うと、その編集情報が未記録部分に書き込まれるため、残量が減少します。編集を繰り返すごとに減少は顕著になります。 ●DVD-R、DVD-R DL、+Rへの録画（ダビング）や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り／早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — — — — —
	本体表示窓に"SELF CHECK"が表示され、ディスクが取り出せない	●以下の操作でディスクを取り出してください。 **1** **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る**（電源が切れない場合は、本体の**[電源⏻/I]**を約10秒以上押したままにすると強制的に切れます） **2** **本機の電源が「切」状態で、本体の[停止■]とチャンネル[∧]を同時に約5秒以上押したままにする**（ディスクトレイが開きます）	—
	VHSのテープカウンター表示の値が動かない	●テープの未記録部分では、値は動かずに秒表示の部分が右記のようになります。 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
HDD・DVD録画	録画できない	●ディスクが入っていない。または録画できないディスクが入っている。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止（プロテクト）が設定されている。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は録画できません。（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください） ●本機では、DVD-R DLに直接録画することはできません。HDDからダビングしてください。ただし、ファイナライズ後はダビングできません。 ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RWが入っている。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）、+RまたはDVD-RW（VR方式）には録画できません。DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。 ●ディスクの出し入れや電源の切／入を約50回以上繰り返すと、録画やダビング、編集ができなくなることがあります。 -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R ●本機で録画したDVD-Rは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。 ●以下のような録画に制限のある番組を録画しようとした。 ・「1回だけ録画可能」な番組 「1回だけ録画可能」な番組は、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R（VR方式）にのみ録画できます。DVD-R（DVD-Video方式）、DVD-R DL、DVD-RW、+Rには録画できません。 ・録画禁止の番組 ・録画購入の必要がある番組 ●デジタル放送のラジオ番組や、データ放送の番組は録画できません。	5 85 75 4 85 86 — — — —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD・DVD録画	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画や編集中に停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット(HDD RAM -RW(V))するか、新しいディスクを使ってください。(当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません) ●HDDに自動更新(オートリニューアル)を「入」にして録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、予約録画します。	85 45,51
	録画モードが選べない	●**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」が「入」になっている。	94
	デジアナどっちも録りができない(2番組を同時に録画できない)	●デジタル放送(地上デジタル・BS・CS1・CS2)を録画モード"XP"～"EP"、"FR"のいずれかで録画しているときは、アナログ放送(地上アナログ・外部入力)を録画することはできません。 ●高速ダビング中は、1番組のみ録画可能です。	58 —
VHS録画	録画できない	●カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。 ●カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。	38 38
	テレビ番組が録画できない	●録画したい番組のチャンネルを選んでいない。	40
HDD・DVD・VHS予約録画	予約録画が正しくできない Gコード予約ができない	●予約内容(予約チャンネルや開始・終了時刻など)が間違っている。 ●予約録画の待機状態になっていない場合は、**[タイマー切/入⏲]**を押して、本体表示窓に"⏲"を点灯させてください。 ●予約録画の時間帯が重なっている。 ●ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 ●同じガイドチャンネルが複数設定されている。不要な方を削除してください。 ●時刻が合っていない。 ●「番組追従」が正しく設定されていない。時間変更や延長があった番組を予約録画する場合、「番組追従」が正しく設定されていないと、番組の一部が録画されない場合があります。(「番組追従」はデジタル放送のみに対応しています。アナログ放送には対応していません) ●フォーマット中、ダウンロード実行中など中断できない操作の実行中は予約録画は実行されません。	54 55 — 37 37 49 47 —
	[停止■]を押しても、予約録画が終わらない	●予約録画実行中は **[タイマー切/入⏲]** を押してください。(本体表示窓の"⏲"消灯)	56
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎週/毎日予約のときは消えません。 ●予約が正しく終了しなかった場合は、「一部未実行」などのアイコンが表示されます。予約を取り消す操作をしてください。(翌々日の午前4時を過ぎると自動的に消えます)	— 54
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の切/入にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
番組表(Gガイド)	番組表(Gガイド)に"予"が表示されない	●番組表(Gガイド)を使って予約した場合のみ表示されます。ただし、「毎週予約」を設定した場合は表示されません。	47
	番組表(Gガイド)に同じ放送局が2つ表示されている	●現在視聴中の放送局が一番左に表示されるため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	—
	録画した番組と番組名が合っていない	●予約設定後に番組内容が変更されても、予約時の番組名で録画されます。	—
HDD・DVD再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていない(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っている。 ●他機でフォーマットのみ行った+RWが入っている。 ●他のDVDレコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ●DVD-RAMにEP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。 ●静止画を含むMP3は再生できないことがあります。	10,27 7 — 14 93 —
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候等により電波状態の悪い状態で録画した番組を再生している。 ●録画モードの異なる番組やプレイリストのチャプターのつなぎ目、アスペクト比(映像の横縦比)、解像度(525i、525p、750p、1125i)の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。	— —
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生すると起きます。 ●高速モードでダビングしたファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ●DVD-R DLの場合、2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声がとぎれることがあります。	— — — —
	録画した番組が再生ナビ画面に表示されない	● HDD RAM 他の画像一覧を表示している。 「ビデオDR」(HDDのみ)または「ビデオ」一覧に切り換えてください。 ・「ビデオDR」(HDDのみ):録画モード"DR"で録画された番組 ・「ビデオ」:録画モード"XP"～"EP"、"FR"で録画された番組	61
	[データ]を押してもデータ放送画面が表示されない	●本機では、再生中にデータ放送画面を表示することはできません。	—
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている。**初期設定**「視聴制限」を変更してください。	93
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていない。 ●本機の設定画面ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 60
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	64
	DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 操作先に「DVD」を選び、**[開/閉▲]**を押してトレイが開いている状態で、本体の**[録画●]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押すと戻ります。(本体表示窓に"INIT"が表示)	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD・DVD再生	**字幕が出ない**	●デジタル放送の字幕情報は、録画モード“DR”で録画した番組の場合、ディスクに字幕が記録されています。**再生設定**「ディスク」メニューの「信号切換」の「字幕」を「オン」にしてください。 ●字幕情報のあるデジタル放送の番組を、録画モード“XP”～“EP”、“FR”のいずれかで録画する場合は、録画時に「字幕」を「オン」に設定して、字幕を記録してください。 録画時の設定のまま記録されるため、再生時に字幕の入/切を切り換えることはできません。 ●市販ディスクや他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ字幕の入/切が切り換えられます。**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」を「入」にしてください。	64 33,47 64
	早見再生ができない	●音声がドルビーデジタル以外の場合は働きません。 ●録画モードが“XP”または“FR”での録画中は働きません。 RAM ●録画モード“DR”で録画した番組には働きません。	— — —
	自動CM早送り再生が働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。また、早見再生中は働きません。 ●録画モード“DR”で録画した番組には働きません。 ●最大49回働きます。(HDD :1番組あたり49回/ RAM -R DL :ディスク1枚あたり49回)それを超えた場合は働きません。	62 — —
	続き再生メモリー機能が働かない	●本体表示窓の“再生”が点滅していないときは働きません。(再生ナビ画面表示中やプレイリストの場合は点滅しません) ●記憶した位置は、以下の場合解除されます。 ・数回 **[停止■]** を押す。(“再生”の点滅が消えます) ・トレイを開ける(HDDを除く) ・録画や予約録画を行った場合 ・電源を切る DVD-A CD VCD SD	62 —
HDD・DVD音声	**音声が切り換えられない**	●地上アナログ放送を以下のように録画した場合、二重放送の主/副音声は、録画前に**初期設定**「二重放送音声記録」で選ばれていたほうのみ記録されます。再生時に切り換えることはできません。 ・HDD、DVD-RAM、DVD-R(VR方式)に、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画した場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R に録画した場合 ●デジタル放送を録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した場合、マルチ音声は、録画前に「信号切換」(または「信号設定」)の「音声」で選ばれていたほうのみ記録されます。再生時に切り換えることはできません。 ●録画モードが“XP”で、**初期設定**「記録音声モードの設定(XP時)」が「LPCM」の場合、音声を切り換えることはできません。 ●以下の場合、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・操作先に「DVD」を選択中、ディスクトレイにDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rが入っている場合 ●光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルでアンプと接続しているとき、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	— 93 — 33,47 94 93 — 94 —
	音が出ない **聞きたい音声が聞こえない** **音が小さい、おかしい**	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●正しい音声を選んでいない。 ・**[音声]** を押して、正しい音声を選んでください。 ・(デジタル放送のマルチ音声のみ)「信号切換」の「音声」で、正しい音声を選んでください。 ●ディスクによってはサラウンドの効果が出にくいものや、出ないものがあります。 以下の場合は**再生設定**「音声」メニューで「サラウンド」を「切」にしてください。 ・カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクのとき ・二重放送の番組を再生するとき ●ディスク側で音声の出力方法が制限されている。 ダウンミックスが禁止されたマルチチャンネルディスクは、HDMIケーブルで、CPPMに対応したHDMI Ver1.1規格のアンプと接続する場合を除き、本機では正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。DVD-A ●デジタル音声出力端子またはHDMI映像・音声端子から音声出力時は、音声効果がBitstream信号には働きません。 ●HDMI接続で4台以上つなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、音声をその他の端子から出力する場合は、**初期設定**「HDMI音声出力」を「切」にしてください。 ●HDMIケーブルでアンプと接続時に音声が乱れる場合は、**初期設定**「HDMI接続スピーカー設定」で、本機とアンプのスピーカーの有無とサイズをスピーカーが接続されている状態に合わせて設定してください。 ●HDMIケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。 ●番組、放送によっては音が小さい場合があります。	94 73 33,64 65 — 15 — — 94 94 — —
VHS再生	**再生できない**	●他のテレビ方式(PAL、SECAMなど)で録画されたカセットは再生できません。	—
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	72 11
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。	—
VHS音声	**聞きたい音声が聞こえない**	●正しい音声を選んでいない。	73
	音声がステレオではない	●ステレオ音声を選んでいない。	73
	ステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	72 11

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
写真	再生ナビ画面を表示できない	●デジアナどっちも録り中や1倍速でダビング中はできません。	—
写真	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります)	85
写真	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れている(カードの内容が壊れている場合もあります)。他の機器ではFAT12またはFAT16で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっている。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB〜2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。	8 8 — 8
写真	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 85
HDD・DVD編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	●DVD-RやDVD-R DL、+Rは、消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video方式)は、最後に録画した番組を消去したときのみ残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。 ●DVD-RAMドライブなどで記録したパソコンのデータは、番組消去では消去できませんので、ディスクの残量は増えません。必要であれば、フォーマットしてください。	— — 85
HDD・DVD編集・整理	編集できない	●HDDに空き容量がないと、HDDでの編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を増やしてください。 ●番組やチャプターが最大数を超えている。 ●ファイナライズ済みのDVD-R(VR方式)を使っている。	63,75 38 —
HDD・DVD編集・整理	フォーマットできない	●ディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスクを使っている。	10 7
HDD・DVD編集・整理	チャプターが作成できない 部分消去のイン点やアウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ●静止画部分では作成できません。	— — —
HDD・DVD編集・整理	番組名が入力できない	●番組名には文字数の制限があります。	87
HDD・DVD編集・整理	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	81
HDD・DVD編集・整理	プレイリストが作成できない	●番組が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。 ●録画モード“DR”で録画した番組では作成できません。	78 —
HDD・DVD編集・整理	サムネイルが表示されない	●DVD-R(DVD-Video方式)や+Rはファイナライズすると、ファイナライズする前まで再生ナビで表示されていたサムネイルはなくなります。	—
ダビング・外部入力	DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングできない	●HDDへの録画前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定している。(お買い上げ時の設定は「入」です) ●録画モード“DR”で録画した番組は、高速ダビングできません。	93 —
ダビング・外部入力	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っている。高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。 ●6時間以上の番組は、EP(8H)モードのない他の当社製DVDレコーダーでは、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングできません。	— — —
ダビング・外部入力	カセットからディスクにダビングできない ディスクからカセットにダビングできない	●ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 ●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●市販されているビデオソフトやDVDソフト(レンタルビデオ、レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画・録音できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたカセットの場合は、再度、HDDやCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)にダビングするとき、「1回だけ録画可能」な番組の部分はダビングされません。 ●機能選択画面、予約一覧画面、VHSメニュー画面などが表示されているときは、ダビングできません。	85 38 — 16 —
ダビング・外部入力	編集後の音声レベルがHDD/DVD側とVHS側で合っていない	●ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—
ダビング・外部入力	黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。接続した機器をテレビから離してください。	124
ダビング・外部入力	外部機器から録画・録音できない	●正しく接続していない。 ●再生機を接続した外部入力チャンネル“L1”、“L2”または“L3”を選んでいない。	124 124
その他	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●付属のモジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応用も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
その他	ダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	35
その他	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	35

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　年　月　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号（保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　月　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り（有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。	
HDDの初期化（録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容はすべて失われます） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります）	ご署名　　印

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください）　例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。	
発生条件	＜発生条件＞ 1. □ HDD　□ DVD　□ VHS （下欄※に詳細をご記入ください） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時 └□ 本機のチューナーからの録画 └□ 外部入力からの録画（他のビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など）	＜エラー表示＞ □ 有り └□ テレビ画面 表示内容：＿＿＿＿＿＿ └□ 本体表示窓 表示内容：＿＿＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿ 回に ＿＿＿ 回位	

＜※DVDディスクに関して＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク	□ DVD-RAM	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R DL	メーカー名：	品番：
	□ DVD-RW	メーカー名：	品番：
	□ ＋R	メーカー名：	品番：
	□ DVDビデオ	タイトル：	ディスクNo.：
	□ その他		
発生箇所	□ 最初から再生できない	□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生	□ タイトルNo.： チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ HDMI端子　□ その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

✂ きりとり線

別売品のご紹介（2005年9月現在）

●※印の付いているものは、サービスルート扱いでご用意しております。お買い上げの販売店にご注文ください。

■映像や音声を楽しむには

●**映像・音声コード（ステレオ←→ステレオ）**
：RP-CVP3G05（0.5 m）
：RP-CVP3G10（1.0 m）
：RP-CVP3G15（1.5 m）
：RP-CVP3G20（2.0 m）
：RP-CVP3G30（3.0 m）

●**映像・音声コード（ステレオ←→モノラル）**
：RP-CVP2G10（1.0 m）
：RP-CVP2G20（2.0 m）
：RP-CVP2G30（3.0 m）

●**音声コード（ステレオ←→ステレオ）**
：RP-CAP3G05（0.5 m）
：RP-CAP3G10（1.0 m）
：RP-CAP3G15（1.5 m）
：RP-CAP3G20（2.0 m）
：RP-CAP3G30（3.0 m）

●**S映像コード**
：RP-CVS0G10（1.0 m）
：RP-CVS0G20（2.0 m）
：RP-CVS0G30（3.0 m）

●**D端子ピンケーブル**
：RP-CVCDG15（1.5 m）
：RP-CVCDG30（3.0 m）

●**D端子ケーブル**
：RP-CVDG15A（1.5 m）
：RP-CVDG30A（3.0 m）

●**光デジタルケーブル（光角形プラグ←→光角形プラグ）**
：RP-CA2005A（0.5 m）
：RP-CA2010A（1.0 m）
：RP-CA2020A（2.0 m）
：RP-CA2030A（3.0 m）

●**HDMIケーブル**
：RP-CDHG15（1.5 m）
：RP-CDHG30（3.0 m）

■テレビ放送を楽しむには

●**75Ω同軸ケーブル**：VJA1091※（1.4 m）
●**BS同軸ケーブル**：VW-KBS1（2.0 m）
●**75Ωアンテナプラグ（VHF/UHF入力端子専用）**
：VSQ1035※
●**アンテナプラグ**：VUA7050※
●**CS・BS/U・V分波器**：TY-6S7BCSW

■カセットを楽しむには

●**カセットアダプター**：VW-TCA7
●**ビデオヘッドクリーナー**
：VFK0923FM※（乾式、使用回数180回）
：VFK0923FS※（乾式、使用回数30回）

■お手入れには

●**レンズクリーナー**：RP-CL720
●**ブルーレイ/DVDディスククリーナー**：RP-CL750

別売品は販売店でお買い求めいただけます
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます
Pana Sense
http://www.sense.panasonic.co.jp/

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	動作時：約60 W
	待機時（クイックスタート「切」）：約3.9 W※1 （時刻表示点灯時・約4.3 W 、時刻表示消灯時・約2.3 W）
	待機時（クイックスタート「入」）：約19.5 W※1 （時刻表示点灯時・約19.7 W、時刻表示消灯時・約18.6 W）

※1 VTRの省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。

本体

■本体外形寸法
約幅430 mm×高さ125 mm×奥行391 mm

■本体質量
約8.4 kg

■許容周囲温度
5 ℃～40 ℃

■許容相対湿度
35 %～80 %RH（結露なきこと）

■時計部
クォーツ制御、24時間、デジタル表示

■プログラム数
●HDD/DVD　1カ月　32プログラム
●VHS　1カ月　16プログラム

■停電保証時間
約5年

■テレビジョン方式
●映像方式　NTSC方式、525本、60フィールド
●アンテナ受信入力
　地上アナログ入力　VHF　：1～12チャンネル　75 Ω
　UHF　：13～62チャンネル　75 Ω
　CATV：C13～C63チャンネル　75 Ω
　地上デジタル入力（DVD専用）
　90 MHz～770 MHz　75 Ω
　（VHF：1～12チャンネル、
　UHF：13～62チャンネル、
　CATV：C13～C63チャンネル）
　BS・110度CSデジタル入力（DVD専用）
　1032 MHz～2071 MHz
　（IF入力周波数）　75 Ω
　電源供給
　（右旋円偏波時：DC 15 V、最大4 W/
　左旋円偏波時：DC 11 V、最大3 W）

■映像
●映像入力（ピンジャック）

入力端子：	3系統	
入力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω

●S映像入力

入力端子：	3系統	
Y入力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω
C入力レベル：	0.286 Vp-p	75 Ω

●映像出力（ピンジャック）

出力端子：	2系統（内DVD優先1系統）	
出力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω

●S映像出力

出力端子：	2系統（内DVD優先1系統）	
Y出力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω
C出力レベル：	0.286 Vp-p	75 Ω

●D映像出力（DVD優先）　D1/D2/D3/D4映像出力（525i/525p/1125i/750p）

出力端子：	1系統	
Y出力レベル：	1.0 Vp-p	75 Ω
PB/CB出力レベル：	0.7 Vp-p	75 Ω
PR/CR出力レベル：	0.7 Vp-p	75 Ω

●HDMI映像・音声出力（19ピン）（DVD優先）
　出力端子：　1系統

■音声
●アナログ入力（ピンジャック）

入力端子：	3系統
基準入力：	309 mVrms
入力インピーダンス：	22 kΩ

●アナログ出力（ピンジャック）

出力端子：	2系統（内DVD優先1系統）
基準出力：	309 mVrms
出力インピーダンス：	1 kΩ
負荷インピーダンス：	10 kΩ

●デジタル出力（DVD優先）　光コネクター（PCM、ドルビーデジタル、DTS対応）

HDD/DVD部

■内蔵HDD容量　250 GB

■映像
●記録圧縮方式　MPEG2(Hybrid VBR)

■音声
●記録・再生圧縮方式　Dolby Digital:2ch記録
リニアPCM(XPモードのみ切り換え可):2ch記録
●アナログ入力レベル　FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
●アナログ出力レベル　FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
●チャンネル数
記録:　2チャンネル
再生:　2チャンネル

■記録可能ディスク
DVD-RAM:Ver.2.0
Ver.2.1/3×-SPEED DVD-RAM Revision 1.0
Ver.2.2/5×-SPEED DVD-RAM Revision 2.0
DVD-R:　for General Ver.2.0
for General Ver.2.0/4×-SPEED DVD-R Revision 1.0
for General Ver.2.x/8×-SPEED DVD-R Revision 3.0
for DL Ver.3.x/4×-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0
DVD-RW:　Ver.1.1
Ver.1.1/2×-SPEED DVD-RW Revision 1.0
Ver.1.2/4×-SPEED DVD-RW Revision 2.0
+R:　Ver.1.0
Ver.1.1
Ver.1.2

■記録方式
DVD-RAM:　DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-R:　DVDビデオ規格準拠
DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-R DL(片面2層):DVDビデオ規格準拠
DVD-RW:　DVDビデオ規格準拠

■記録時間
(4.7 GBディスク使用時)
最大8時間
XP:約1時間　SP:約2時間
LP:約4時間　EP:約6時間または8時間
(内蔵HDD使用時)
最大443時間
DR:約22時間30分(転送レート24 Mbps時)
XP:約55時間　SP:約111時間
LP:約222時間　EP:約333時間または443時間

■再生可能ディスク
DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL(片面2層)、+RW、+R、DVD-Video、DVD-Audio、CD-Audio(CD-DA)、VCD、CD-R/CD-RW(CD-DA、VCD、MP3、JPEGフォーマット記録のディスク)

■LAN端子　10BASE-T/100BASE-TX

■電話回線(モジュラー)端子
V.22bis(2400 bps、着呼機能なし)

VHS部

■録画方式　VHS規格

■テープ速度　標準:33.35 mm/秒
3倍:11.12 mm/秒

■使用カセット　VHSビデオカセット

■録画時間　最大9時間(T-180使用、3倍モード)

■早送り・巻き戻し時間
約54秒(T-120使用時)
高速リターン時:約36秒(T-120使用時)

■音声
●トラック数
ハイファイ:　2トラック
ノーマル:　1トラック

SD部

■SDカード機能　静止画(JPEG、TIFF)
●スロット　SDメモリーカード
●対応カード　SDメモリーカード※2
マルチメディアカード
●対応フォーマット　FAT12、FAT16

●画像ファイル形式
JPEGベースライン方式[DCF(Design rule for Camera File system)準拠]、TIFF(非圧縮RGB、点順次)対応、DPOF対応
●画素数　34×34～6144×4096
サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
●解凍時間※3　約7秒(200万画素、JPEG)

※2 miniSD™カードを含む。(miniSD™アダプター装着時)
※3 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?」(➜137〜142)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(➜136)が表示されている場合その番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	DVDレコーダー
品　　番	DMR-EX200V
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-3644

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

さくいん

■著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
- この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- Gコード(またはG-CODE)は、ジェムスター社の登録商標です。Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」はDTS社の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれております。
  お問い合わせ先:(社)私的録画補償金管理協会
  ☎ 03-3560-3107(代)
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[機能選択]ボタンを押し、"その他の機能へ"→"メール/情報"→"ID表示"→"ソフト情報表示"をご参照ください。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomson multimedia からライセンスを受けています。
- SDロゴは商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のDVDレコーダーの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● テープやディスクをいためた ● その他の異常や故障がある	▶	このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMR-EX200V
販売店名	☎ (　　)　—	お客様ご相談窓口 ☎ (　　)　—	
B-CASカード番号	B-CASカード番号を記入してください。 お問い合わせのときに必要な場合があります。		

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT0T03
F0905Mr0 (　7000 Ⓐ)

Panasonic® DVDレコーダー DMR-EX200V 取扱説明書 操作編